Canon

PUB. DIJ-0465-000E

EOS C200
EOS C200B

デジタルシネマカメラ

Firmware ver. 1.0.5.1.00

使用説明書

本機の特長

C200 / C200Bは、4K対応のスーパー35mm相当大判CMOSセンサーを搭載。有効画素数は約885万画素（4096×2160）。4K映像の記録／出力に対応するデジタルシネマカメラです。

シネマ画質4K記録システム

4K対応のスーパー 35mm相当CMOSセンサー搭載
有効画素数約885万画素（4096×2160）のCMOSセンサーと、新映像エンジン「Dual DIGIC DV 6」を搭載して、中心解像度1800TV本*1を実現。独自の高感度・低ノイズ技術により、ISO160からISO25600まで幅広い感度*2で撮影できます。

*1 取り付けるレンズによって異なります。

*2 ISO100 ～ ISO102400に拡張することもできます。

さまざまな記録信号形式に対応（🕮 72）
動画形式、ビットレート、解像度、音声記録方式、フレームレートの組合せによって、さまざまな信号形式で映像を記録できます。動画形式は、HDRの素材データに適したキヤノン独自のフォーマットであるCinema RAW Light形式に加えて、汎用性の高いMP4形式と高画質で効率よく記録できるXF-AVC形式にも対応。Cinema RAW Light形式は4K（4096×2160）の59.94P映像を10bitで、29.97P / 24.00P / 23.98P映像を12bitで記録できます。MP4形式は4K（3840×2160）/2K*の59.94P / 29.97P / 24.00P / 23.98P映像を、XF-AVC形式は4K（3840×2160）の59.94P / 29.97P / 24.00P / 23.98P、2K*の59.94P / 59.94i / 29.97P / 24.00P / 23.98P映像を8bitで記録できます。音声は、リニアPCM（最大24ビット、48kHz）の4チャンネル記録が可能です。また、MP4形式ではMPEG-2 AAC-LC（16ビット、48kHz）の2チャンネル記録も可能です。

* 解像度が2048×1080（Proxy記録時のみ）、または1920×1080の映像のこと。

記録メディアにCFastカードとSDカードを採用
転送速度が高く汎用的なCFastカードにCinema RAW Light形式の4K映像を、SDカードにMP4形式とXF-AVC形式の4K映像を記録可能。CFastカードへの記録と同時に、容量の軽いプロキシ映像（🕮 129）をSDカードに記録できます。また、2つのSDカードスロットに連続／同時記録*できます。

* Proxy記録時を除く

優れた機動力と汎用性

カスタマイズの自由度が高いボディーデザイン（🕮 39）
最小幅の抱え持ちスタイルで使用できる本体ボディーに、着脱可能なLCDモニターやハンドルユニット、カメラグリップを撮影状況に応じて組み合わせて使用可能。ワンマンオペレーションをサポートします。

ワンマンオペレーションに適した充実のオート機能（🕮 84、90、91）
ボタンを押しているあいだ、絞りを自動的に調整するプッシュオートアイリスや、常に適切なホワイトバランスになるよう自動的に調整するオートホワイトバランスを搭載。デュアルピクセルCMOS AFを搭載しているため、画面中央の被写体に自動でピントを合わせ続けられるコンティニュアスAFや、ボタンを押すとフォーカスを自動的に調整するワンショットAFを使用できます。

制作意図に応える多彩な表現力

さまざまな映像表現が可能な特殊記録（🕮 130）
スローモーション記録で、最低1/5倍速のスローモーション（オーバークランク）撮影が可能。また、インターバル記録で自然観察などの長時間の変化を間欠的に収録したり、フレーム記録でクレイアニメーションを制作したりすることもできます。プレ記録は、撮影開始時点の約3秒前から記録することで、取り逃がしを防ぎます。

プロの画づくりを実現するカスタムピクチャー（📖 146）
ガンマやカラーマトリックスなどの画質調整により、制作意図に応じた自由な画づくりが可能。Canon Logの特徴を残したままダイナミックレンジを広くとるCanon Log 3ガンマを搭載。用途に応じて選択できます。また、Logガンマを使用して、100本を超えるEFレンズと組み合わせることで、多彩な映像表現を可能にします。

汎用ワークフローに対応するソフトウェア

XF Utilityと専用プラグインによるNLEとの連携
記録メディアに記録したXF-AVC形式の動画は、簡易ブラウザー XF Utilityを使って確認・管理できます。また、専用プラグインを使用すれば、ノンリニア編集システムへの取り込みも簡単です（📖 181）。

Cinema RAW Light形式のRAWデータを現像するCinema RAW Development（📖 182）
CFastカードに記録した4KのCinema RAW Light形式のRAWデータは、Cinema RAW Developmentで現像*してDPX、OpenEXRなどの標準ファイル形式に書き出し可能。カラーグレーディング処理との連携もスムーズです。また、専用のRAWプラグインを使用すれば、Cinema RAW Light形式のRAWデータを直接NLEに取り込むこともできます。
* EDLの入力にも対応しています。

進化したフォーカス機能

デュアルピクセルCMOS AFによるAF機能（📖 91）
コンティニュアスAFやワンショットAFに対応したほか、手動で大まかに調整すると合焦付近は自動調整する「AFブーストMF」を搭載。不確実な調整動作を行わないため、コンティニュアスAFよりも安定して調整できます。顔検出AFや顔以外の被写体への追尾も可能です。AF枠のサイズ・位置やAF速度／応答性の調整もできます。

デュアルピクセルフォーカスガイドを搭載（📖 93）
デュアルピクセルフォーカスガイドを表示すると、ピントの状態と調整方向、調整量が視覚的に確認可能。4K撮影時の目視によるフォーカス調整を強力にアシストします。

業務用途に対応する拡張性

Wi-Fiとイーサネットによるネットワーク機能（📖 184）
5 GHz帯、2.4 GHz帯に対応するWi-Fiを内蔵。Wi-Fi、またはイーサネットでネットワークに接続すれば、ネットワーク機器からリモート撮影するブラウザーリモートや、撮影映像のFTP転送が使用できます。

タイムコード生成と重畳出力（📖 108、110）
内蔵のタイムコードジェネレーターでタイムコードを生成できます。生成したタイムコードは、映像とともにメモリーカードに記録されるほか、SDI端子／ HDMI OUT端子に出力できます。また、出力信号にユーザービットを重畳することもできます。

モノラルマイク（📖 119）
モノラルマイクを使ってボイスメモを記録できます。編集時、映像と音声を同期しやすくなります。

使いやすさを向上させるさまざまな機能

充実したアシスト表示機能
ピーキング、拡大、マーカー、ゼブラパターン、白黒、波形モニターを表示・出力したり、映像にLUTを適用したりすることが可能。出力先は、SDI端子やLCDモニター、C200 ファインダーから選択可能*。
* 出力先によって、選択できるアシスト表示機能が異なります。

- 拡張すると5濃度が選べるNDフィルター。
- レンズの周辺光量／倍率色収差補正機能（📖 42）。
- 表示項目は、カスタムディスプレイ（📖 224）で選択可能。
- カスタマイズ可能なマイメニュー（📖 35）。
- メニュー設定やカスタムピクチャー設定は、SDカードに保存／読み出しでき、複数のC200 / C200Bと共有可能（📖 156）。
- 残量の目安や寿命（劣化度）を確認できるインテリジェントリチウムイオンバッテリー。
- 業界標準の抜け防止プラグを備えたDC IN端子。
- 撮影データを管理しやすいクリップファイル名。
- GPSレシーバー GP-E2（別売）を装着すればGPS情報も記録可能（📖 127）。
- リモートコントローラー RC-V100（別売）に対応。

Contents

本機の特長 2
本書の読みかた 8

はじめに

商品を確認する 10
各部の名称 12
本体の名称 12
LCDモニター LM-V1の名称 17
LCDアタッチメントユニット LA-V1の名称 18
カメラグリップ GR-V1の名称 19
ハンドルユニット HDU-2の名称 20
マイクホルダーの名称 20
4Kワークフローの紹介 21
ACESワークフローによるカラーグレーディング 22

準　備

電源を準備する 24
バッテリーを使う 24
コンセントにつないで使う 26
電源を入れる／切る 27
ハンドルユニット HDU-2を取り付ける 28
LCDモニター LM-V1を取り付ける 29
ハンドルユニット HDU-2に取り付ける 29
カメラ本体に取り付ける 30
日時を設定する 32
日付と時刻を設定する 32
メニューで設定を変える 33
メニュー操作の基本 33
マイメニューを使う 35
カメラを準備する 39
本機の構成例 39
レンズを準備する 40
LCDモニター LM-V1を使う 44
C200 ファインダーを使う 44
LCDモニター LM-V1 ／ C200 ファインダーの画面を調整する 46
カメラ本体を三脚に取り付ける 47
カメラグリップ GR-V1を取り外す／取り付ける 47
マイクホルダーを取り付ける 49
ショルダーストラップを取り付ける 49
端子カバーを取り外す／取り付ける 50
有機EL電子ビューファインダー EVF-V70（別売）を使用する 51
記録メディアを準備する 52
使用可能な記録メディア 52
CFastカードを入れる 53
CFastカードを取り出す 54
SDカードを入れる／出す 54
初期化する 55
記録／再生に使用するSDカードスロットを切り換える 56
2つのSDカードに記録する方式を選ぶ 57
CFastカード／ SDカードの記録可能時間を確認する 57
クリップを修復する 57
ブラックバランスを調整する 59

撮　影

動画を撮影する 62
準備する 62
撮影する 62
撮影時の画面表示 64
RAWクリップのクリップファイル名を設定する 67
XF-AVCクリップのクリップファイル名を設定する 68
MP4クリップ／静止画番号の付けかたを選ぶ 70
冷却ファンの動作方法を選ぶ 71

「安全上のご注意」と「取り扱い上のご注意」を必ずお読みください（257 ～ 263ページ）。

映像の信号形式を選ぶ 72
カメラダイレクト設定を使う 74
　カメラダイレクト設定の基本操作 74
シャッタースピードを調整する 75
　設定可能なシャッタースピード 75
　調整する 76
ISO感度／ゲインを調整する 78
　設定可能な値 78
　調整する 79
　電子ダイヤルで調整する 80
NDフィルターを切り換える 81
アイリスを調整する 82
　マニュアルで調整する 83
　一時的にオートで調整する（プッシュオートアイリス） 84
　オートで調整する（オートアイリス） 85
　露出を調整する（AEシフト） 85
　測光方式を設定する 86
ホワイトバランスを調整する 87
　ホワイトバランスセットで調整する 88
　プリセット設定／色温度設定で調整する 89
　ホワイトバランスの設定を微調整する 89
　オートホワイトバランス（AWB）で調整する 90
フォーカスを調整する 91
　マニュアルで調整する 92
　ワンショットAFで調整する 96
　AFブーストMFで調整する 97
　コンティニュアスAFで調整する 97
　AF枠の位置／サイズを変更する 100
　顔を検出してフォーカスを合わせる（顔検出AF） 100
　選んだ被写体を追尾する 102
ズームを操作する 103
マーカー／ゼブラパターンを表示する 105
　マーカーを表示する 105
　ゼブラパターンを表示する 107
タイムコードを設定する 108
　カウントアップ方式を選ぶ 108
　ドロップフレーム／ノンドロップフレームを切り換える 109
　タイムコードを保持する（タイムコードホールド） 109
ユーザービットを設定する 110
　任意の16進数を設定する 110
　時刻、または日付を設定する 110
音声を記録する 111
　記録音声と必要な設定 111
　外部マイク／外部ライン入力機器を本機に接続する 112
　INPUT端子の音声を設定する 113
　音声のオーディオ形式を選ぶ 114
　録音する入力音声を選ぶ 115
　録音レベルを調整する 116
　モノラルマイクを使う 119
　ヘッドホンでモニターする 119
カラーバー／テストトーンを出力する 120
　カラーバーを表示／出力する 120
　テストトーンを出力する 120
波形モニターを表示する 121
ショットマークを付加する 123
　撮影中にショットマークを付加する 123
OKマーク／チェックマークを付加する 124
　撮影が終了したあとにOKマーク／チェックマークを付加する 124
メタデータを操作する 125
　XF Utilityを使ってユーザーメモを設定する 125
　撮影情報（シーン、テイク）を設定する 126
GPS情報を記録する 127
　GPSレシーバーを取り付ける 127
レックレビューで確認する 128
プロキシ動画を同時に記録する 129
特殊記録を行う 130
　スローモーション記録を行う 130

プレ記録を行う 132
フレーム記録を行う 132
インターバル記録を行う 133
常時記録を行う 135
静止画を記録する 137
カメラモードで静止画を記録する 137
静止画を再生する 138
静止画インデックス画面を表示する 138
静止画を再生する 138
静止画を消去する 139
RC-V100(別売)でリモート撮影する 140

カスタマイズ

アサインボタンの機能を変更する 142
機能を変更する 145
アサインボタンに割り当てた機能を使う 145
カスタムピクチャーを使用する 146
カスタムピクチャーファイルを選ぶ 147
画質を調整してカスタムピクチャーファイルとして登録する 148
カスタムピクチャーファイルをコピーする 150
カスタムピクチャーファイルをクリップと一緒に保存する 151
カスタムピクチャーの設定項目 151
設定データの保存と読み出し 156
設定データを保存する 156
設定データを読み込む 156

再　生

クリップを再生する 158
インデックス画面 158
再生する 160
クリップを操作する 163
クリップメニュー一覧 163
クリップメニューで操作する 163
クリップ情報を表示する 164
OKマーク／チェックマークを付加する 165
OKマーク／チェックマークを消去する 166
ショットマークを付加／消去する 167
クリップを消去する 168
クリップに付加されているユーザーメモ／GPS情報を消去する 168

接　続

出力信号形式 170
外部のモニター／レコーダーを接続する 173
接続のしかた 173
SDI端子を使用する 173
HDMI OUT端子を使用する 174
出力信号の走査方式を設定する 175
HDRで出力する 175
出力映像にLUTを適用する 176
出力映像に画面表示を重畳する 178
音声出力を選択する 179
音声出力チャンネルを選ぶ 179
クリップを保存／現像する 181
MP4クリップを保存する 181
XF-AVCクリップをパソコンに保存する 181
RAWクリップを現像する 182

ネットワーク

ネットワークの接続設定をする 184
Wi-Fiで接続する 185
イーサネットで接続する 192
ネットワーク接続設定を選ぶ 193
ネットワーク接続設定を確認／変更する 193
ネットワーク機器でリモート撮影する 194
リモート設定を行う 194
ブラウザーリモートを起動する 195
リモート撮影する 198
クリップをFTPで転送する 208
FTP転送の準備をする 208
クリップをFTPで転送する 209

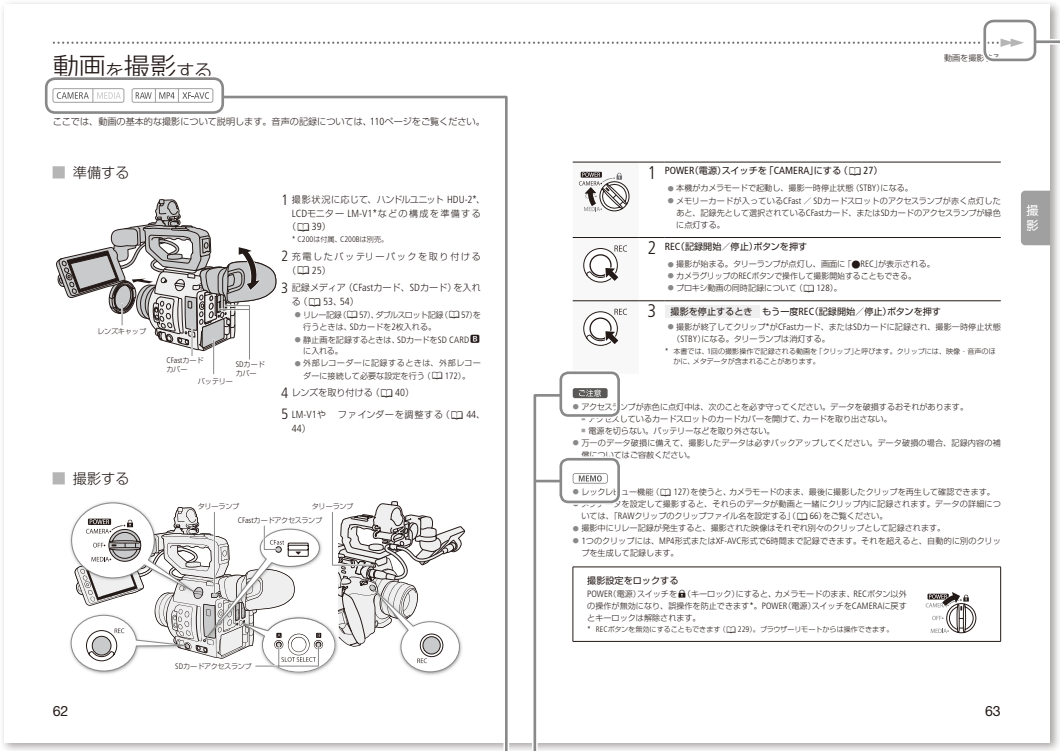
メニュー

メニュー一覧 212
メニューの階層 212
メニューの設定項目 216

その他

ステータス画面を表示する 234
操作のしかた 234
ガンマ／色空間／カラーマトリックス
ステータス画面 235
カスタムピクチャーステータス画面 235
カメラステータス画面 236
アサインボタンステータス画面 237
オーディオステータス画面 238
メディアステータス画面 239
端子出力ステータス画面 239
記録ステータス画面 240
メタデータステータス画面 240
バッテリー／アワーメーターステータス画面 241
ネットワーク設定ステータス画面 241
GPS情報表示ステータス画面 243
トラブルシューティング 244
電源 244
撮影中 244
再生中 245
表示やランプ 246
画面や音 247
アクセサリー 248
他機 249
ネットワーク接続 250
エラーメッセージ 252
ネットワーク機能使用時 255
安全上のご注意 257
取り扱い上のご注意／日常のお手入れ 259
カメラ本体 259
バッテリー 261
メモリーカード 262
充電式内蔵電池 262
その他のご注意 262
カメラ本体を清掃する（日常のお手入れ） 263
アクセサリー紹介 264
主な仕様 266
C200 ／ C200B本体 266
付属品 270
対応レンズと機能 271
動画の記録可能時間の目安 272
バッテリーの充電時間の目安 273
索引 274

本書の読みかた



動画を撮影する

動画を撮影する

CAMERA | MEDIA | RAW | MP4 | XF-AVC

ここでは、動画の基本的な撮影について説明します。音声の記録については、110ページをご覧ください。

■ 準備する

1 撮影状況に応じて、ハンドルユニット HDU-2*、LCDモニター LM-V1*などの構成を準備する（□ 39）
* C200は付属、C200Bは別売。

2 充電したバッテリーパックを取り付ける（□ 25）

3 記録メディア（CFastカード、SDカード）を入れる（□ 53、54）
- リレー記録（□ 57）、ダブルスロット記録（□ 57）を行うときは、SDカードを2枚入れる。
- 静止画を記録するときは、SDカードをSD CARD B に入れる。
- 外部レコーダーに記録するときは、外部レコーダーに接続して必要な設定を行う（□ 172）。

4 レンズを取り付ける（□ 40）

5 LM-V1や　ファインダーを調整する（□ 44、44）

レンズキャップ / CFastカードカバー / SDカードカバー / バッテリー

■ 撮影する

タリーランプ / CFastカードアクセスランプ / タリーランプ / CFast / REC / SDカードアクセスランプ / SLOT SELECT / REC

62

1 POWER（電源）スイッチを「CAMERA」にする（□ 27）
- 本機がカメラモードで起動し、撮影一時停止状態（STBY）になる。
- メモリーカードが入っているCFast／SDカードスロットのアクセスランプが赤く点灯したあと、記録先として選択されているCFastカード、またはSDカードのアクセスランプが緑色に点灯する。

2 REC（記録開始／停止）ボタンを押す
- 撮影が始まる。タリーランプが点灯し、画面に「●REC」が表示される。
- カメラグリップのRECボタンで操作して撮影開始することもできる。
- プロキシ動画の同時記録について（□ 128）。

3 撮影を停止するとき　もう一度REC（記録開始／停止）ボタンを押す
- 撮影が終了してクリップ*がCFastカード、またはSDカードに記録され、撮影一時停止状態（STBY）になる。タリーランプは消灯する。

* 本書では、1回の撮影操作で記録される動画を「クリップ」と呼びます。クリップには、映像・音声のほかに、メタデータが含まれることがあります。

ご注意
- アクセスランプが赤色に点灯中は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。
  - アクセスしているカードスロットのカバーを開けて、カードを取り出さない。
  - 電源を切らない。バッテリーなどを取り外さない。
- 万一のデータ破損に備えて、撮影したデータは必ずバックアップしてください。データ破損の場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。

MEMO
- レックレビュー機能（□ 127）を使うと、カメラモードのまま、最後に撮影したクリップを再生して確認できます。
- メタデータを設定して撮影すると、それらのデータが動画と一緒にクリップ内に記録されます。データの詳細については、「RAWクリップのクリップファイル名を設定する」（□ 66）をご覧ください。
- 撮影中にリレー記録が発生すると、撮影された映像はそれぞれ別々のクリップとして記録されます。
- 1つのクリップには、MP4形式またはXF-AVC形式で6時間まで記録できます。それを超えると、自動的に別のクリップを生成して記録します。

撮影設定をロックする
POWER（電源）スイッチを🔒（キーロック）にすると、カメラモードのまま、RECボタン以外の操作が無効になり、誤操作を防止できます*。POWER（電源）スイッチをCAMERAに戻すとキーロックは解除されます。
* RECボタンを無効にすることもできます（□ 229）。ブラウザーリモートからは操作できます。

63

撮影

POWER（電源）スイッチの位置を示すマーク

CAMERA | MEDIA	CAMERAにする
CAMERA | MEDIA	MEDIAにする
CAMERA | MEDIA	CAMERAかMEDIAにする

コラムのマーク

ご注意	必ず守っていただきたいこと
MEMO	知っておいていただきたいこと

次のページに続くことを示すマーク

対応する動画形式モード（□ 72）

RAW | MP4 | XF-AVC	RAWモードとMP4モード、XF-AVCモードで使用可能
RAW | MP4 | XF-AVC	RAWモードとMP4モードで使用可能
RAW | MP4 | XF-AVC	RAWモードとXF-AVCモードで使用可能
RAW | MP4 | XF-AVC	MP4モードとXF-AVCモードで使用可能
RAW | MP4 | XF-AVC	RAWモードのみで使用可能
RAW | MP4 | XF-AVC	MP4モードのみで使用可能
RAW | MP4 | XF-AVC	XF-AVCモードのみで使用可能

本文中の表記

□	参照ページを示す
参考 ▸▸	参考になるページなどを示す
C200、C200B	対象の機種を示す
画面	C200 ファインダー、またはLCDモニター LM-V1（C200は付属、C200Bは別売）の画面のこと
SDカード	SD / SDHC / SDXCメモリーカードのこと
メモリーカード	CFastカード、またはSDカードのこと
カメラモード	動画撮影モードのこと
メディアモード	再生モードのこと
アクセスランプ	CFastカードアクセスランプ、またはSDカードアクセスランプのこと
RAWデータ	Cinema RAW Light形式で記録したRAWデータのこと

- 本書で使用しているイラストはC200で、レンズはEF50mm F1.4 USMを取り付けています。また、作例写真はスチルカメラで撮影したものです。
- 本書では、見やすくするために加工した画面を一部使用しています。

1 はじめに

商品を確認する／使う前に
知っておいてください..... 10

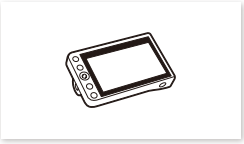
各部の名称 12

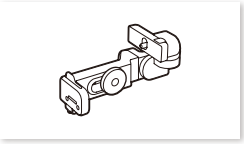
4Kワークフローの紹介..... 21

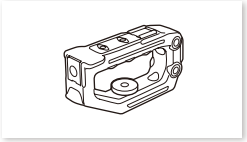
商品を確認する

C200 / C200Bには、次のものが付属しています。ご使用になる前に足りないものはないか確認してください。

カメラ本体

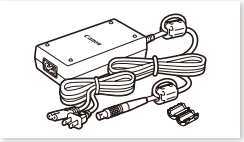

LCDモニター LM-V1*

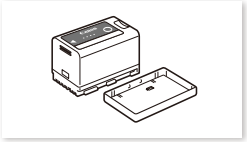

LCDアタッチメントユニット LA-V1*

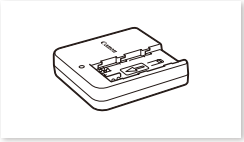

ハンドルユニット HDU-2*

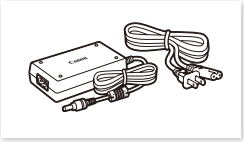
カメラグリップ GR-V1と グリップアタッチメントリング （本体装着）*

マイクホルダーと 取り付けネジ（M4 ／ 2個）


ACアダプター CA-A10と フェライトコア

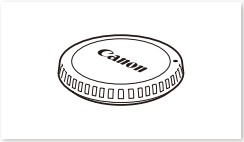

バッテリーパック BP-A30


バッテリーチャージャー CG-A20


コンパクトパワーアダプター CA-CP200B（CG-A20用）

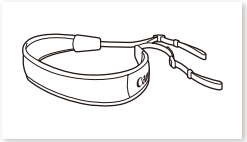
アイカップ*

ファインダーキャップ*

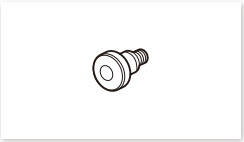

ボディキャップ （本体装着）

ユニットケーブル UN-5*

六角穴付きボルト*と六角レンチ* （1/4インチ／各1個）、 ボルト抜け止め*（4個）


ショルダーストラップ* SS-1200

サムレスト （C200Bは本体装着）


メジャーフック （本体装着）

* C200のみに付属しています。一部を除き、別売品で購入可能です（🕮 264）。

レンズキットについて

レンズキットをご購入時は、個装箱に表記した型名のレンズが付属しているか確認してください。レンズの使用説明書が必要なときは、キヤノンのホームページからダウンロードしてください。なお、レンズの使用説明書（PDF）は、レンズ単体販売用ですので、レンズキットをご購入いただいた場合、レンズに付属するアクセサリーが、レンズ使用説明書の記載と一部異なることがあります。ご了承ください。

使う前に知っておいてください

必ずためし撮りをしてください

実際の撮影条件で事前にためし撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。万一、カメラが正常に動作しないときは、「トラブルシューティング」(🕮 244)をご確認ください。

記録内容の補償はできません

カメラや記録メディアなどの不具合により、記録や再生ができなかった場合であっても、記録内容の補償はご容赦ください。

著作権にご注意ください

録画・録音したビデオは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

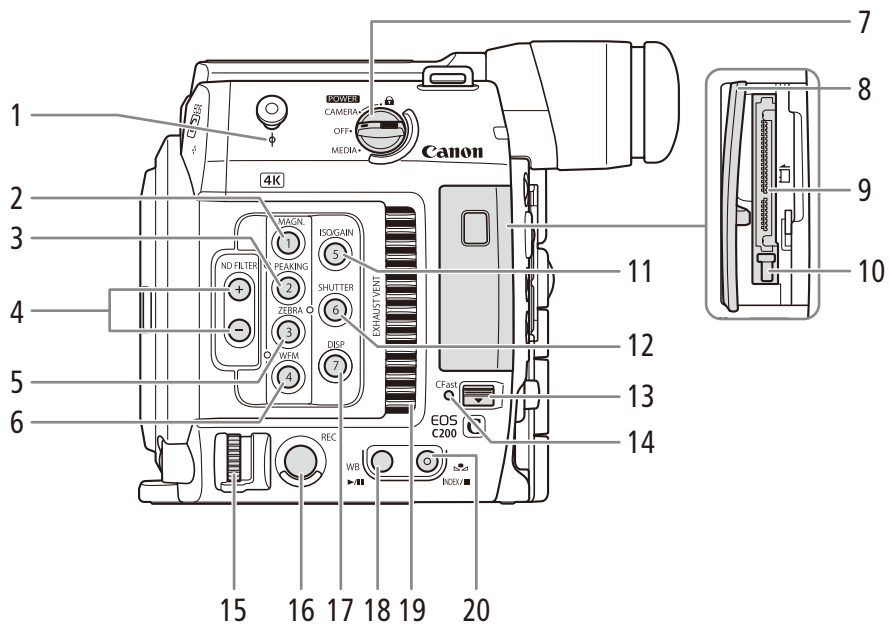
LCDモニターやファインダーの画面について

画面は精密度の高い技術で作られています。99.99%以上の有効画素がありますが、まれに点灯しない画素や常時点灯する画素が発生することがあります。

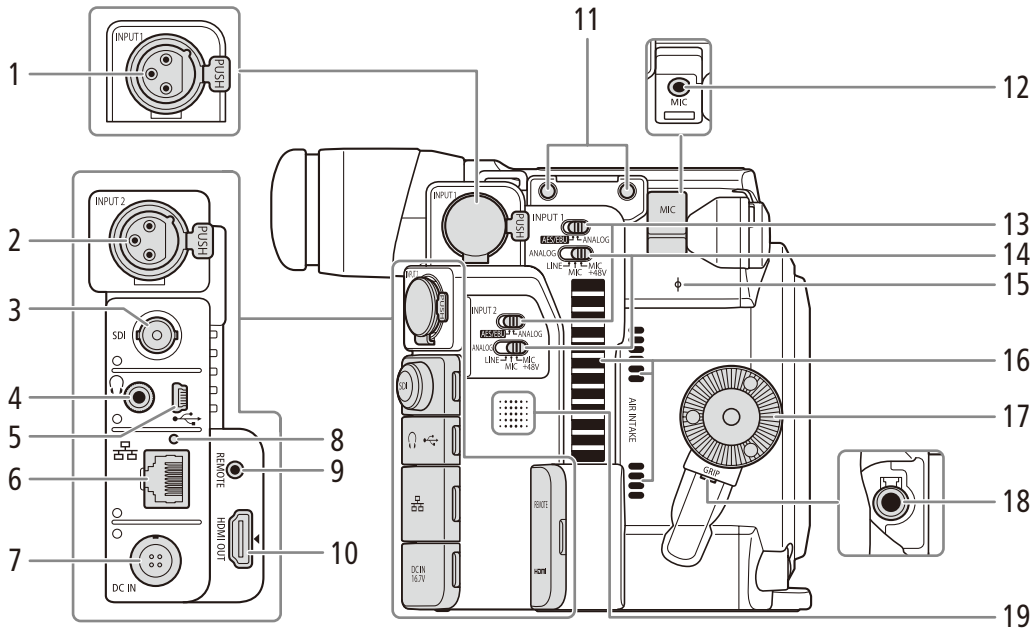
各部の名称

各部の機能と使いかたについては、▶▶🕮に記載されているページをご覧ください。

本体の名称



1 ⌽ 撮像面マーク
2 **MAGN.**(拡大) ／カメラアサイン**1**ボタン ▶▶ 🕮 95、142
3 **PEAKING**(ピーキング) ／カメラアサイン**2**ボタン ▶▶ 🕮 95、142
4 **ND FILTER**(NDフィルター)切り換え＋/－ボタン ▶▶ 🕮 81、142
5 **ZEBRA**(ゼブラ) ／カメラアサイン**3**ボタン ▶▶ 🕮 107、142
6 **WFM**(波形モニター) ／カメラアサイン**4**ボタン ▶▶ 🕮 121、142
7 **POWER**(電源)スイッチ ▶▶ 🕮 27
8 CFastカードカバー ▶▶ 🕮 53
9 CFastカードスロット (**CFast**) ▶▶ 🕮 53
10 CFastカード取り出しボタン ▶▶ 🕮 54
11 **ISO/GAIN**(ISO感度／ゲイン) ／カメラアサイン**5**ボタン ▶▶ 🕮 78、142
12 **SHUTTER**(シャッター)／カメラアサイン**6**ボタン ▶▶ 🕮 75、142
13 CFastカードカバー開くレバー ▶▶ 🕮 53
14 CFastカードアクセスランプ ▶▶ 🕮 53
15 カメラ電子ダイヤル ▶▶ 🕮 80、83
16 **REC**(記録開始／停止)ボタン ▶▶ 🕮 62
17 **DISP**(ディスプレイ)／カメラアサイン7ボタン ▶▶ 🕮 66、142
18 **WB**(ホワイトバランス) ／ **►/❚❚**(再生／一時停止)ボタン ▶▶ 🕮 87、160
19 **EXHAUST VENT**(排気口) ▶▶ 🕮 71
20 (ホワイトバランスセット) ／ **INDEX/■**(インデックス／停止)ボタン ▶▶ 🕮 87、159、160



1 **INPUT 1**端子 ▶▶ 📖 112

2 **INPUT 2**端子 ▶▶ 📖 112

3 **SDI**端子 ▶▶ 📖 173

4 🎧(ヘッドホン)端子 ▶▶ 📖 119

5 **USB**端子 ▶▶ 📖 127

6 品(イーサネット)端子 ▶▶ 📖 192

7 **DC IN**端子 ▶▶ 📖 26

8 イーサネットアクセスランプ ▶▶ 📖 192

9 **REMOTE**(リモート)端子 ▶▶ 📖 140
- 別売／市販のリモコンを接続する。

10 **HDMI OUT**端子 ▶▶ 📖 174

11 マイクホルダー取り付け用ネジ穴 ▶▶ 📖 49

12 **MIC**(マイク)端子 ▶▶ 📖 112

13 **INPUT 1** ／ **INPUT 2**端子切り換えスイッチ ▶▶ 📖 113

14 INPUT端子**ANALOG**(アナログ)入力切り換えスイッチ ▶▶ 📖 113

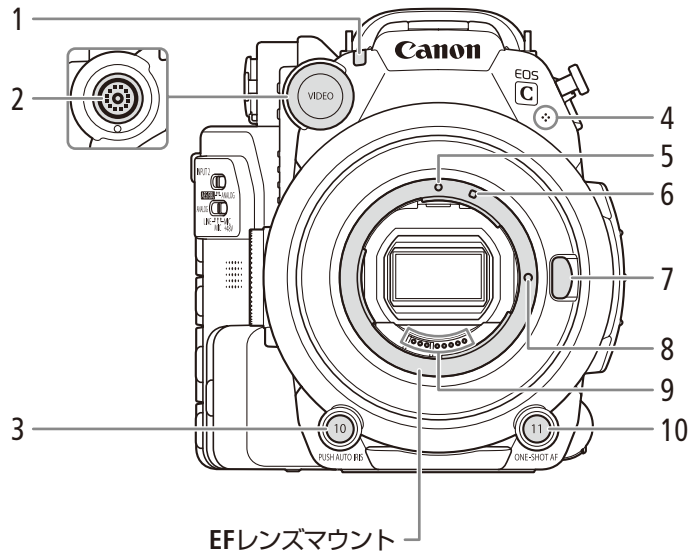
15 ⌀ 撮像面マーク

16 **AIR INTAKE**(吸気口) ▶▶ 📖 71

17 カメラグリップ取り付け部 (ロゼット) ▶▶ 📖 47
- ARRI社のロゼットに準拠。

18 カメラグリップ接続端子 ▶▶ 📖 47

19 スピーカー ▶▶ 📖 162



1 タリーランプ ▶▶ 🕮 62

2 **VIDEO**端子 ▶▶ 🕮 29

3 **PUSH AUTO IRIS**（プッシュオートアイリス）／カメラアサイン**10**ボタン ▶▶ 🕮 84、142

4 モノラルマイク ▶▶ 🕮 119

5 EFレンズ取り付け指標 ▶▶ 🕮 40

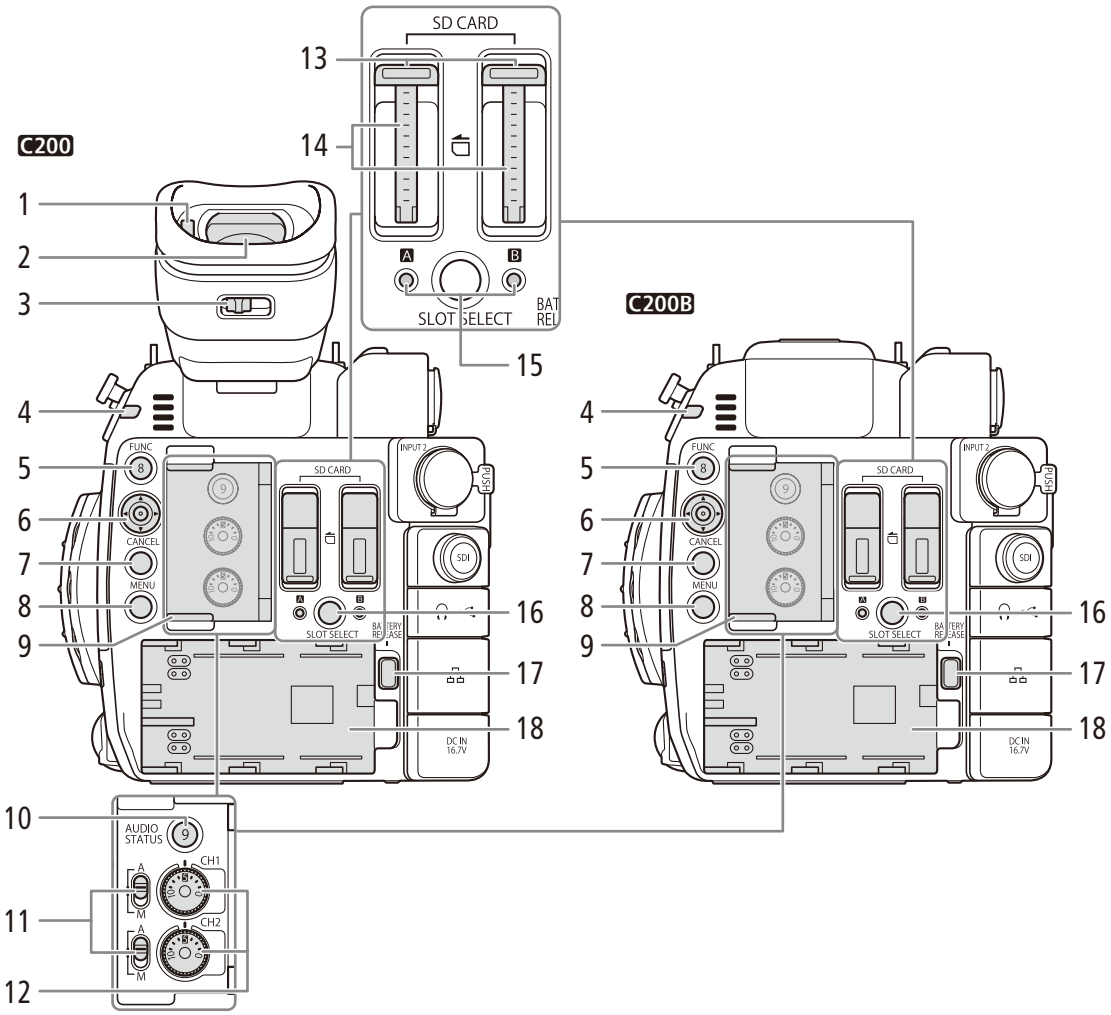
6 EF-Sレンズ取り付け指標 ▶▶ 🕮 40

7 レンズロック解除ボタン ▶▶ 🕮 41

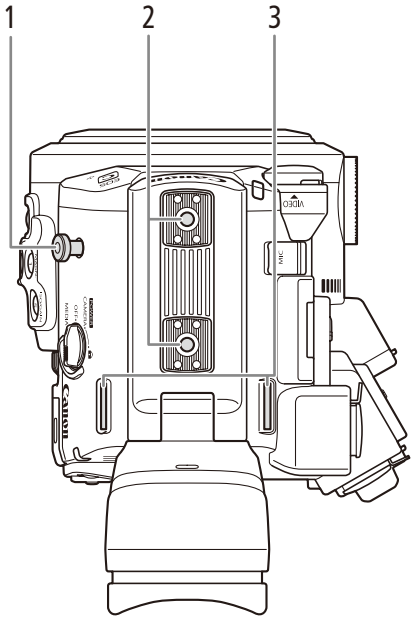
8 レンズロックピン

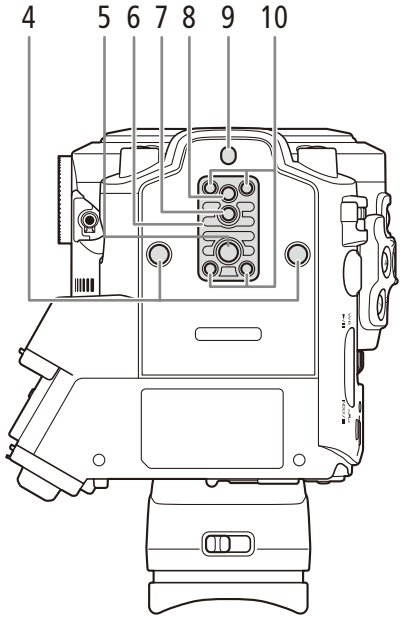
9 EFレンズ接点 ▶▶ 🕮 259

10 **ONE-SHOT AF**（ワンショットAF）／カメラアサイン**11**ボタン ▶▶ 🕮 96、142



1 アイセンサー ▶▶ 📖 44
2 ファインダー ▶▶ 📖 44
3 視度調整レバー ▶▶ 📖 44
4 タリーランプ ▶▶ 📖 62
5 **FUNC**（ファンクション）／カメラアサイン**8**ボタン ▶▶ 📖 74、142
6 ジョイスティック ▶▶ 📖 33
7 **CANCEL**（キャンセル）ボタン ▶▶ 📖 33
8 **MENU**（メニュー）ボタン ▶▶ 📖 33
9 オーディオ（録音レベル）カバー ▶▶ 📖 116
10 **AUDIO STATUS**（オーディオステータス）／カメラアサイン9ボタン ▶▶ 📖 238
11 録音レベル切り換えスイッチ（**CH1** ／ **CH2**）▶▶ 📖 116
12 録音レベル調整つまみ（**CH1** ／ **CH2**）▶▶ 📖 116
13 SDカードカバー ▶▶ 📖 54
14 SDカードスロット（**SD CARD A** ／ **SD CARD B**）▶▶ 📖 54
15 SDカードアクセスランプ（**SD CARD A** ／ **SD CARD B**）▶▶ 📖 55
16 **SLOT SELECT**（スロット選択）ボタン ▶▶ 📖 56
17 **BATTERY RELEASE**（バッテリー取り外し）ボタン ▶▶ 📖 25
18 バッテリー装着部 ▶▶ 📖 25





1 メジャーフック
- メジャーを使って撮像面からの距離を測るときに使う。

2 アクセサリー取り付け部 ▶▶ 29
- 固定補助金具と1/4インチネジ穴（1/4-20 ／深さ6.9 mm。2個）付き。

3 ストラップ取り付け部 ▶▶ 49

4 1/4インチネジ穴（1/4-20 ／深さ8.5 mm。2個）

5 3/8インチネジ穴（3/8-16 ／深さ10 mm。1個）

6 3/8インチネジ用三脚ベース TB-1 ▶▶ 47

7 3/8インチネジ径三脚回転止め穴（深さ5.5mm。1個）

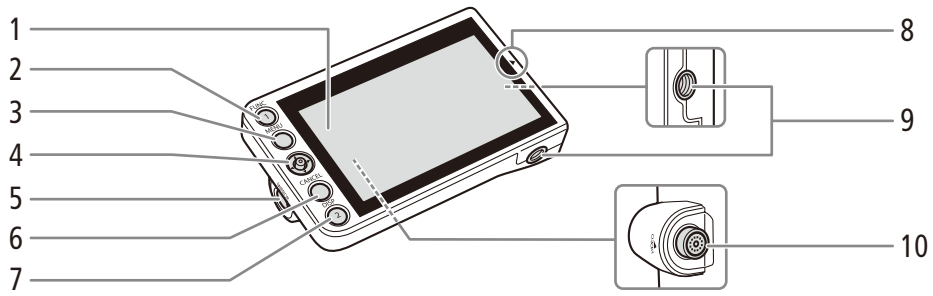
8 1/4インチネジ穴（1/4-20 ／深さ7 mm。1個）

9 1/4インチネジ径三脚回転止め穴（深さ5mm。1個）

10 三脚ベース取り付けネジ ▶▶ 47

LCDモニター LM-V1*の名称

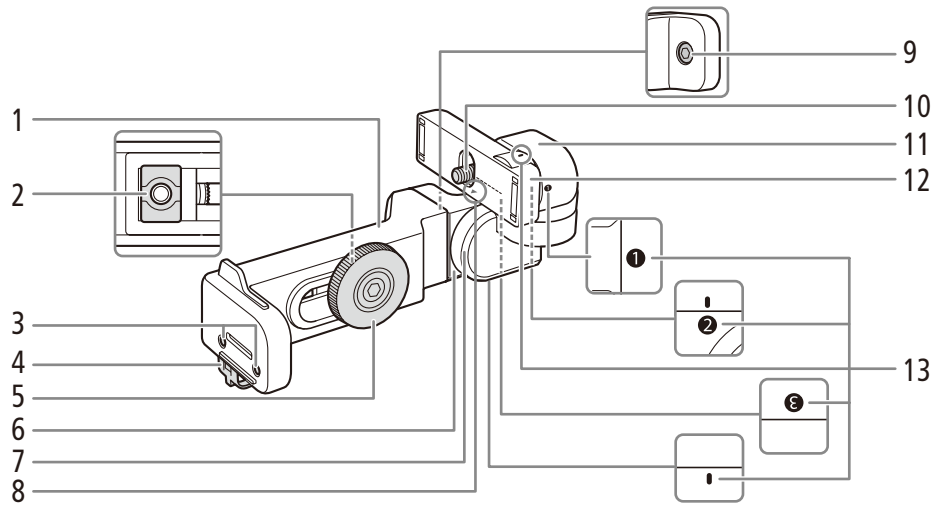
* C200は付属、C200Bは別売。



1 LCDパネル（タッチパネル）▶▶ 📖 44
2 **FUNC**（ファンクション）／ LCDモニターアサイン1ボタン ▶▶ 📖 74、142
3 **MENU**（メニュー）ボタン ▶▶ 📖 33
4 ジョイスティック ▶▶ 📖 33
5 **MIRROR**（反転表示）切り換えボタン ▶▶ 📖 44
6 **CANCEL**（キャンセル）ボタン ▶▶ 📖 33
7 **DISP**（ディスプレイ）／ LCDモニターアサイン2ボタン ▶▶ 📖 66、142
8 ▲（LCDモニター位置合わせ）マーク ▶▶ 📖 29
9 1/4インチネジ穴（1/4-20 ／深さ11.2 mm。2個）
10 **VIDEO**（ビデオ）端子 ▶▶ 📖 29

LCDアタッチメントユニット LA-V1*の名称

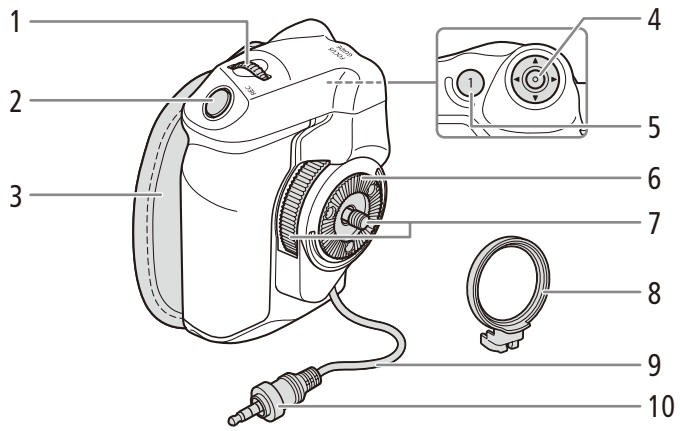
* C200は付属、C200Bは別売。



1 LCDアタッチメントユニット ベース部1
2 LCDアタッチメントユニット取り付け金具 ▶▶ 🕮 29
3 マイクホルダー取り付け用ネジ穴 ▶▶ 🕮 49
4 ケーブルクランプ ▶▶ 🕮 29
5 LCDアタッチメントユニット取り付けネジ ▶▶ 🕮 29
6 LCDアタッチメントユニット ベース部2 ▶▶ 🕮 30
7 LCDアタッチメントユニット ヒンジ部B ▶▶ 🕮 30
8 ▲（LCDモニター位置合わせ）マーク ▶▶ 🕮 29
9 LCDアタッチメントユニット ベース部接続ネジ
10 LCDモニター取り付けネジ ▶▶ 🕮 29
11 LCDアタッチメントユニット ヒンジ部A ▶▶ 🕮 30
12 LCDモニター取り付け部 ▶▶ 🕮 29
13 LCDアタッチメントユニット位置合わせマーク ▶▶ 🕮 44

■ カメラグリップ GR-V1*の名称

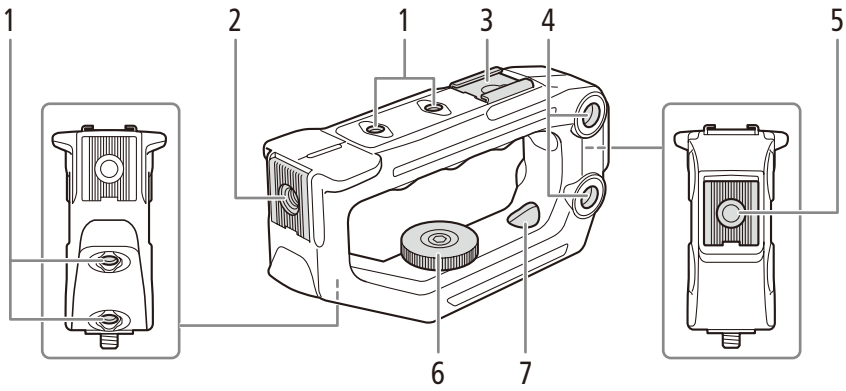
C200 ご購入時、カメラグリップは本体に取り付けられています。
* C200は付属、C200Bは別売。



1 グリップ電子ダイヤル ▶▶ 🕮 80、83
2 **REC**(記録開始／停止)ボタン ▶▶ 🕮 62
3 グリップベルト ▶▶ 🕮 48
4 ジョイスティック ▶▶ 🕮 33
5 **FOCUS GUIDE**(フォーカスガイド) ／グリップアサイン**1**ボタン ▶▶ 🕮 93、142
6 ロゼット
● ARRI社のロゼットに準拠。
7 取り付けネジ ▶▶ 🕮 47
8 グリップアタッチメントリング ▶▶ 🕮 47
9 接続ケーブル
10 接続プラグ ▶▶ 🕮 47

ハンドルユニット HDU-2*の名称

* C200は付属、C200Bは別売。



1 1/4インチネジ穴（1/4-20 ／深さ6 mm。4個）
- ハンドルに4箇所。

2 前部アクセサリー取り付け部 ▶▶ 29
- 固定補助金具と1/4インチネジ穴（1/4-20 ／深さ8.8 mm。1個）付き。

3 アクセサリーシュー

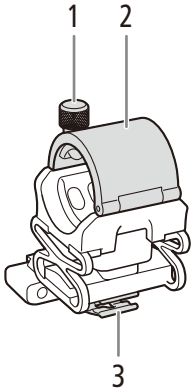
4 汎用取り付け穴（φ8.8 mm）

5 後部アクセサリー取り付け部
- 固定補助金具と1/4インチネジ穴（1/4-20 ／深さ8.8 mm。1個）付き。

6 取り付けネジ

7 カメラに取り付け用の穴

マイクホルダーの名称



1 外部マイク固定ネジ ▶▶ 112

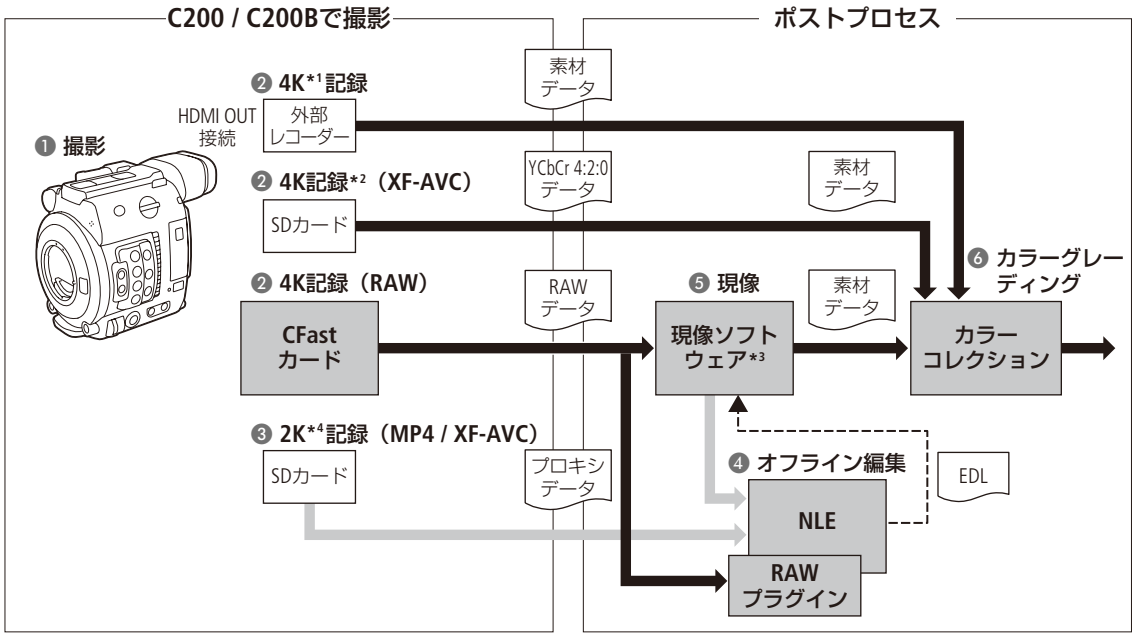
2 外部マイクホルダー ▶▶ 112

3 ケーブルクランプ ▶▶ 112

4Kワークフローの紹介

CAMERA | MEDIA | RAW | MP4 | XF-AVC

ここでは、本機を使って4K撮影を行う場合のワークフローの例を紹介します。



*1 MP4またはXF-AVC記録時は3840×2160。
*2 4K記録（XF-AVC）と同時に、SDカードに2Kプロキシデータは記録できない。
*3 Cinema RAW Developmentのこと（🕮 181）。
*4 プロキシ動画記録時は2048×1080。

1 4Kで撮影し（❶）、CFastカードに4K RAWデータやSDカードに4K YCbCr 4:2:0データを記録するか、またはHDMI OUT端子に接続した外部レコーダーで4Kデータを記録する（❷）
- 4K YCbCr 4:2:0データ、4Kデータで撮影したときは、手順5へ進む。

参考 ▸▸「外部のモニター／レコーダーを接続する」（🕮 173）

2 4K RAWデータの記録と同時に、SDカードに2Kプロキシデータを記録する（❸）
- 2Kプロキシデータを XF-AVC形式で記録すると、4K RAWデータと2K プロキシデータのクリップファイル名の一部が同じになる（🕮 68）

3 SDカードに記録された2K映像、または現像ソフトウェアで生成したプロキシデータをNLEソフトウェアに取り込み、オフライン編集を行う（❹）

参考 ▸▸「クリップを保存／現像する」（🕮 181）

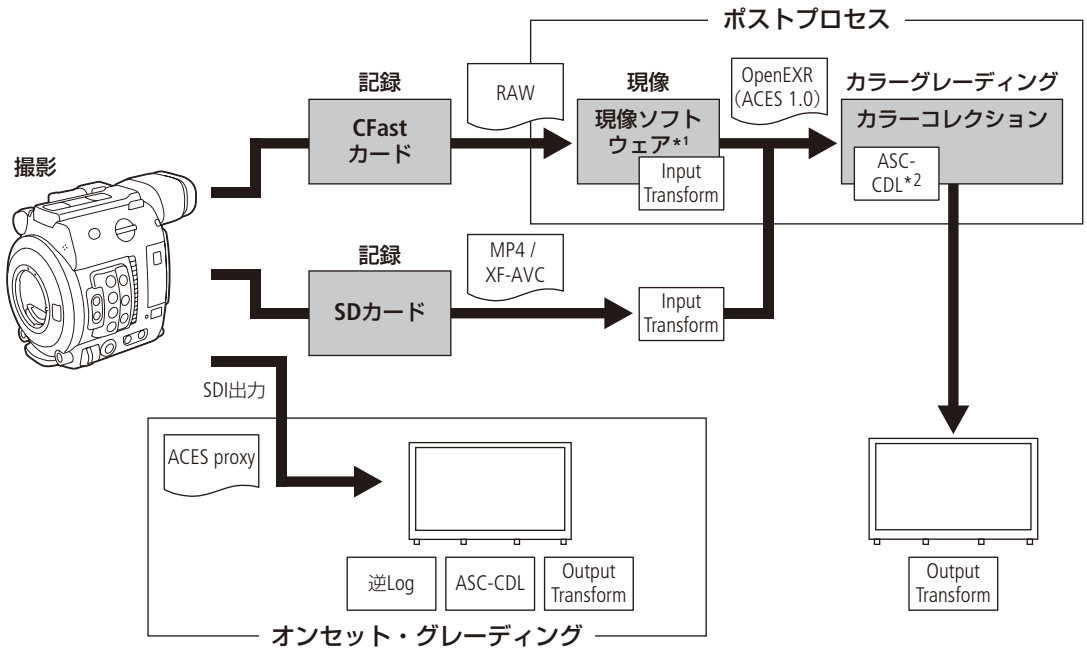
4 RAWデータを記録したとき 現像ソフトウェアCinema RAW Developmentで現像（🕮 182）して、素材データを生成する（❺）
- 現像時にプロキシデータを生成することもできる。

5 素材データのカラーグレーディング処理を行う（❻）

■ ACESワークフローによるカラーグレーディング

映画芸術科学アカデミー（AMPAS）が策定したACES2065-1（Academy Color Encoding System）色空間を使用してカラーグレーディングを行うことができます。また、撮影現場でカラーグレーディング後の映像を確認しながら撮影することもできます（オンセット・グレーディング）*。

* ASC-CDLと3D LUTによるカラー調整に対応するモニターが必要。



*1 Cinema RAW Developmentのこと（🕮 182）。

*2 ASC-CDLに対応するカラーグレーディング機材が必要。

ACESproxy： オンセット・グレーディング時にSDI端子から出力するACESproxyの映像データ。LUTを「LUT：ACESproxy」に設定すると出力できる（🕮 176）。

Input Transform： 入力機器の色情報をACES2065-1色空間に変換するテーブル。

Output Transform： ACES2065-1色空間を出力機器の色情報に変換するテーブル。

ASC-CDL： カラーグレーディングの調整情報を記述したリスト。

2 準　備

電源を準備する 24

ハンドルユニット HDU-2を
取り付ける 28

LCDモニター LM-V1を取り付ける .. 29

日時を設定する 32

メニューで設定を変える 33

カメラを準備する 39

記録メディアを準備する 52

ブラックバランスを調整する 59

電源を準備する

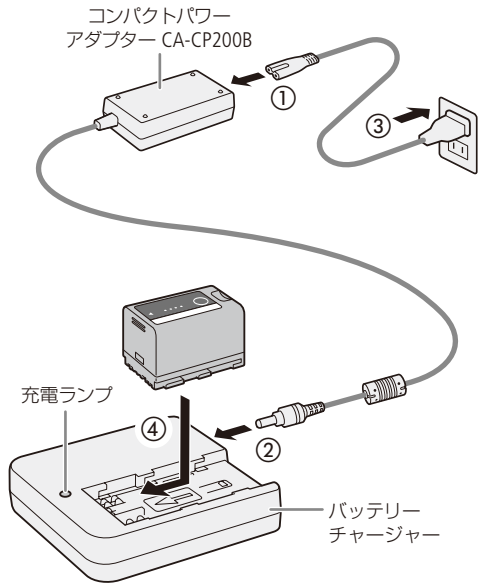
電源は、バッテリーまたはコンセントから使用します。バッテリーが取り付けられている状態で、コンセントに接続するとコンセントからの電源で動作します。

■ バッテリーを使う

本機は、バッテリーパック BP-A30(付属)またはBP-A60(別売)を使用できます。インテリジェントシステムに対応しているため、分単位 (目安)の残量を確認することができます。残量をより正しく表示するために、ご購入直後にバッテリーを初めて使うときは、一度充電完了まで充電してから使い切ってください。

充電する

付属のバッテリーチャージャー CG-A20を使って充電します。バッテリーパックを使うときは、ショート防止用端子カバーを取り外します。(🕮 261)



2秒間に1回点滅 → 0 ～ 49%

2秒間に2回点滅 → 50 ～ 74%

2秒間に3回点滅 → 75 ～ 99%

1 コンパクトパワーアダプター (ACアダプター) に電源コードを差し込む (①)

2 バッテリーチャージャーにコンパクトパワーアダプターのDCプラグを差し込む (②)

3 電源プラグをコンセントに差し込む (③)

4 バッテリーパックの先端を▼に合わせて、押し付けながらカチッと音がするまでスライドさせる (④)
- 充電ランプが点滅して、充電が始まる。
- 充電中は、充電ランプの点滅のしかたで充電量 (目安)を確認できる。点滅→点灯に変わったら充電終了。

5 バッテリーパックをスライドさせて、取り外す

6 電源プラグをコンセントから抜く

7 バッテリーチャージャーからコンパクトパワーアダプターのDCプラグを抜き、コンパクトパワーアダプターから電源コードを抜く

ご注意

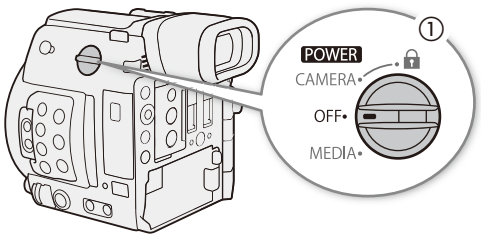
- バッテリーチャージャーに指定された製品以外を接続しないでください。
- 故障の原因となりますので、バッテリーチャージャーやコンパクトパワーアダプターを固定して使用しないでください。
- 10 ℃ ～ 30 ℃の場所で充電することをおすすめします。0 ℃未満、40 ℃を超える場所では充電できません。

MEMO

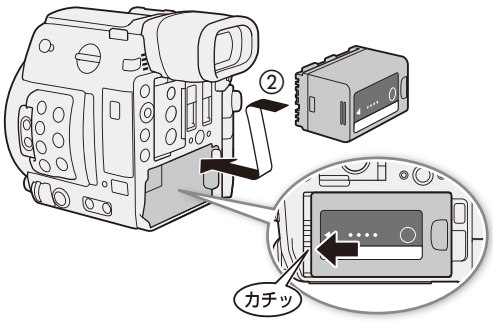
- バッテリーチャージャーやコンパクトパワーアダプター、バッテリーに異常があると、充電ランプが消灯し、充電を中止します。
- バッテリーの取り扱いについては、261ページをご覧ください。

- バッテリーの充電時間は273ページ、フルに充電したときの使用時間の目安は269ページを、それぞれをご覧ください。
- フル充電したバッテリーも少しずつ放電します。使用直前に充電することをおすすめします。
- バッテリーは、充放電を繰り返すと少しずつ劣化して容量が少なくなります。バッテリーパックを本機に取り付けると、バッテリー／アワーメーターステータス画面（🕮 241）でバッテリーの寿命を確認できます。寿命をより正確に確認するには、バッテリーを充電してから使い切ってください。

本体に取り付ける

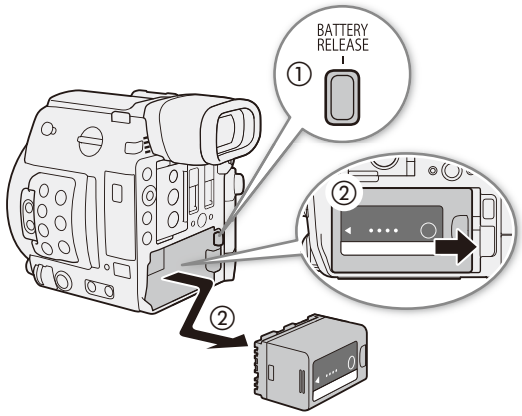


1 POWER（電源）スイッチをOFFにする（①）



2 バッテリーパックを図のように奥に押しつけながら左にスライドさせ、カチッと音がするまで入れる（②）

本体から取り外す

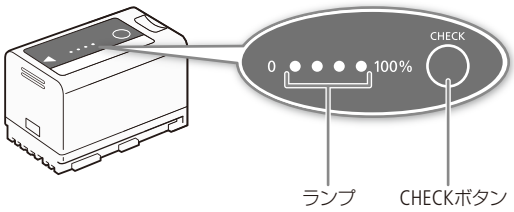


1 POWER（電源）スイッチをOFFにする

2 BATTERY RELEASE（バッテリー取り外し）ボタンを押しながら（①）、バッテリーパックを右にスライドさせて、バッテリーパックを取り出す（②）

残量を確認する

BP-A30（付属）またはBP-A60（別売）は、本機に装着しなくても、バッテリー上のボタンを押して残量（目安）を確認できます。また、本機に取り付けて電源を入れたあとは、カメラモード／メディアモードの各画面（🕮 64、158）や、バッテリー／アワーメーターステータス画面（🕮 241）で、分単位の残量（目安）を確認することもできます。



1 バッテリーパック上のCHECKボタンを押す
- 約3秒間ランプが点灯してバッテリーの残量（目安）を確認できる。

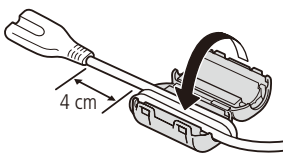
☀ ○ ○ ○	0 ～ 25%
☀ ☀ ○ ○	26 ～ 50%
☀ ☀ ☀ ○	51 ～ 75%
☀ ☀ ☀ ☀	76 ～ 100%

■ コンセントにつないで使う

ACアダプター CA-A10（付属）を使って、本機をコンセントにつないで使用できます。コンセントにつなぐと、電源を入れたままバッテリーを交換することができます。

電源コードにフェライトコアを取り付ける

ACアダプター CA-A10は、電源コードにフェライトコア（付属）を取り付けて使用します。これによって、発生するノイズを低減できます。

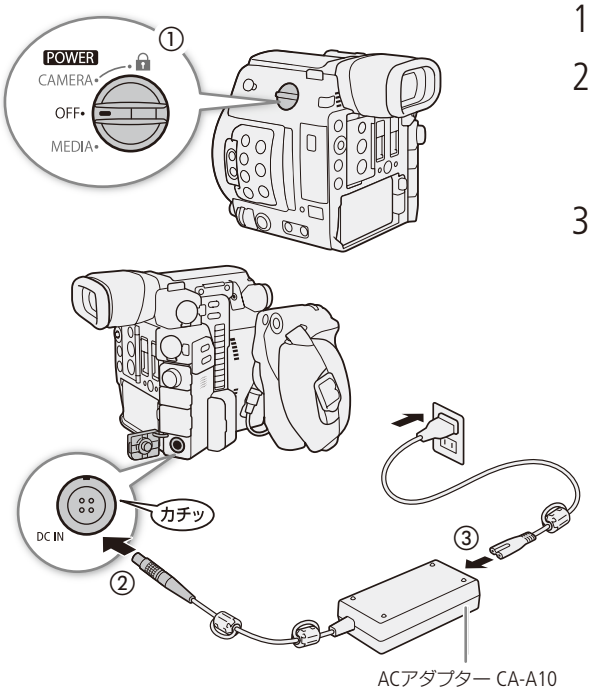


1 電源コードのACアダプター側のプラグの端から約4 cmの位置にフェライトコアを当てる

2 コードのコンセント側を持って、図のようにフェライトコアに2回巻き付ける

3 フェライトコアを閉じる

コンセントにつなぐ



1 POWER(電源)スイッチをOFFにする (①)

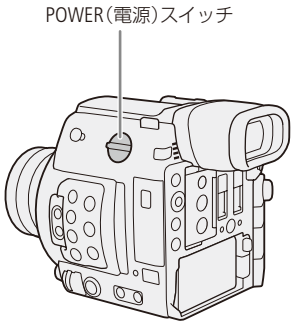
2 DC IN端子にDCプラグを差し込む (②)
- DCプラグの赤い指標を上にして差し込む。
- DCケーブルを抜くときは、DCプラグ部分を引きながら抜く。

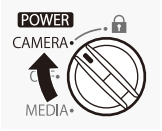
3 ACアダプターに電源コードを差し込み、電源プラグをコンセントに差し込む (③)

ご注意
- ACアダプターを抜き差しするときは、必ず本機の電源を切ってください。
- 故障の原因となりますので、ACアダプターを固定して使用しないでください。

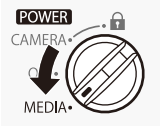
■ 電源を入れる／切る

本機には、撮影用のカメラモードと再生用のメディアモードとがあり、電源を入れるときに選択します。POWER(電源)スイッチを「CAMERA」にして電源を入れるとカメラモードに、「MEDIA」にして電源を入れるとメディアモードになります。

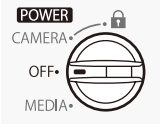




カメラモードで起動するとき
POWER(電源)スイッチをCAMERAにする。



メディアモードで起動するとき
POWER(電源)スイッチをMEDIAにする。

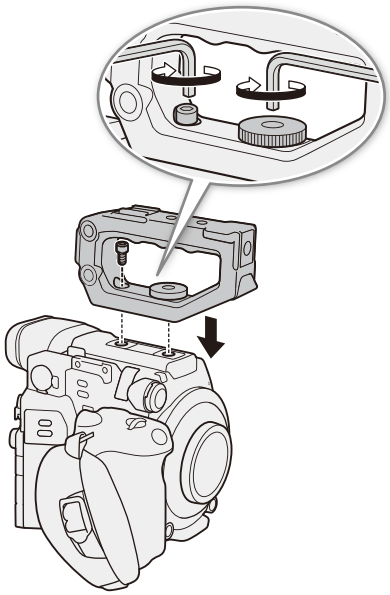


電源を切るとき
POWER(電源)スイッチをOFFにする。

ハンドルユニット HDU-2を取り付ける

ハンドルユニット HDU-2*は、カメラ本体に取り付けることができます。

* C200は付属、C200Bは別売。



1 HDU-2をカメラ本体に取り付ける

- 取り付けネジと六角穴付きボルト（HDU-2に付属）で固定する。
- 取り付けネジと六角穴付きボルトは、1/4インチボルト用六角レンチ（HDU-2に付属）を使用して固定する。

MEMO

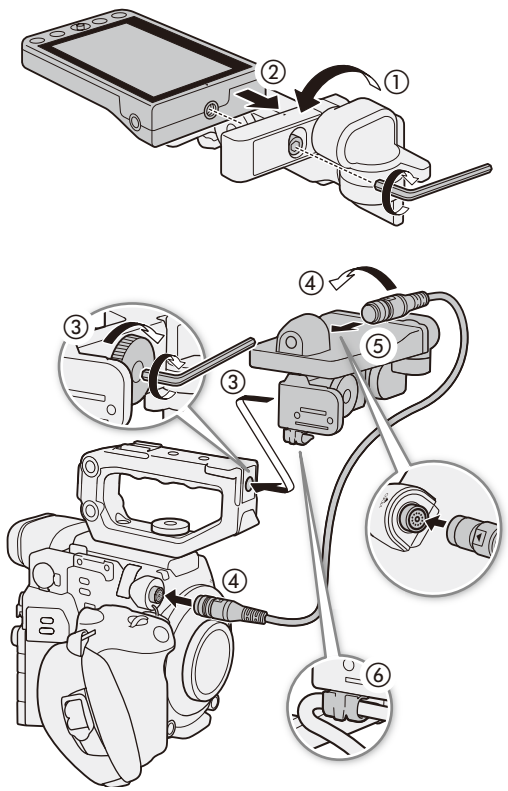
- HDU-2には1/4インチネジ穴があり、市販のアクセサリーを取り付けることができます。
- HDU-2には汎用取り付け穴（φ8.8 mm）が2つあります。2つの穴の中心間の距離は35.5 mmです。

LCDモニター LM-V1を取り付ける

LCDモニター LM-V1*は、LCDアタッチメントユニット LA-V1*と組み合わせて、ハンドルユニット HDU-2*、またはカメラ本体に取り付けることができます。カメラ本体に取り付けるときは、LCDアタッチメントユニット ベース部2を外して取り付けます。LM-V1の詳細については、「LCDモニター LM-V1を使う」(🕮 44)、「LCDモニター LM-V1 ／ C200 ファインダーの画面を調整する」(🕮 46)をご覧ください。

* C200は付属、C200Bは別売。

■ ハンドルユニット HDU-2に取り付ける



1 POWER(電源)スイッチをOFFにする

2 LCDモニター取り付け部をLCDアタッチメントユニット取り付けネジ側に180° 回転させて (①)、LCDモニターを取り付ける (②)
- LM-V1の▲ (LCDモニター位置合わせ)マークとLCDアタッチメントユニット位置合わせマークを合わせる。
- 1/4インチボルト用六角レンチ(HDU-2に付属) を使用してLCDモニター取り付けネジで固定する。
- LCDモニターは、上下逆にも取り付けられる。

3 LCDアタッチメントユニット取り付け金具をHDU-2の前部アクセサリー取り付け部に合わせて、LCDアタッチメントユニット取り付けネジで固定する(③)
- LCDアタッチメントユニット取り付けネジは、1/4インチボルト用六角レンチを使用して固定する。

4 LCDモニター取り付け部をハンドルユニット側に180° 回転させる (④)

5 ユニットケーブル*で、カメラ本体とLM-V1のVIDEO端子を接続する (⑤)

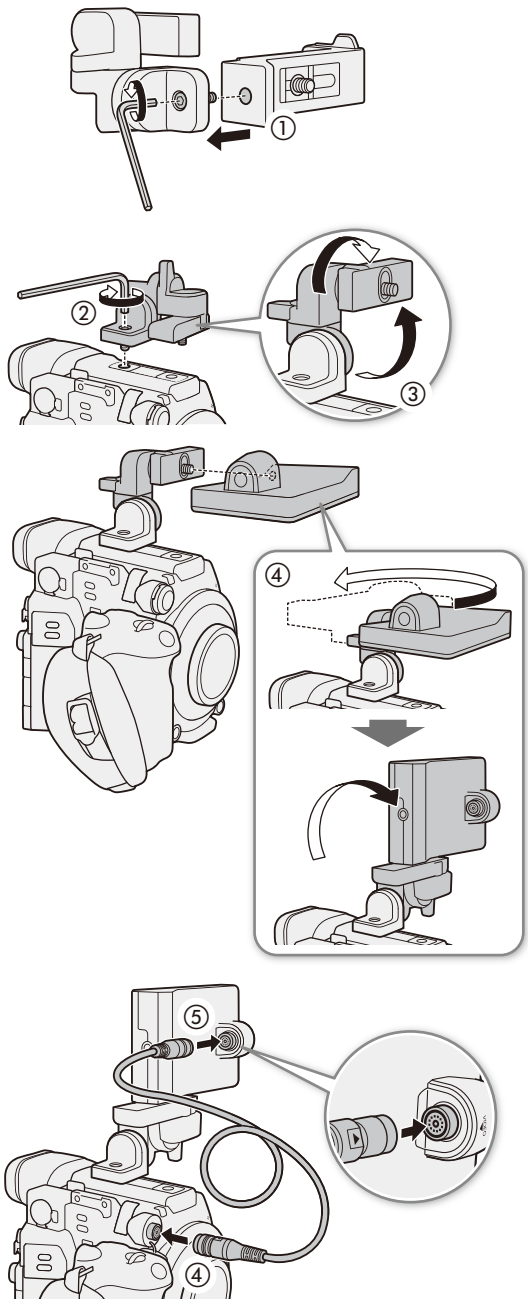
* C200は付属、C200Bは別売。
- プラグと端子の▼マークを合わせて接続する。

6 ケーブルをケーブルクランプにとめる (⑥)

MEMO

- 使用環境によっては、ネジがゆるむことがあります。必要に応じて、1/4インチボルト用六角レンチを使用して固定してください。

■ カメラ本体に取り付ける



1 POWER(電源)スイッチをOFFにする
- カメラ本体にHDU-2が取り付いているときは、取り外す。

2 LCDアタッチメントユニット ベース部2を取り外す (①)
- 1/4インチボルト用六角レンチ (HDU-2に付属)を使用する。

3 LCDアタッチメントユニット ベース部2をカメラ本体に取り付ける (②)
- 1/4インチボルト用六角レンチを使用して、六角穴付きボルトで固定する。

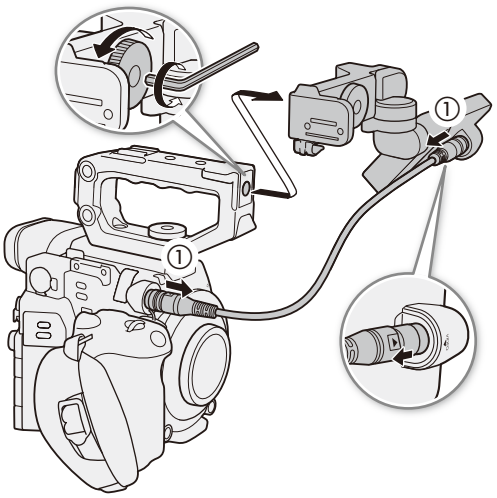
4 LCDアタッチメントユニット ヒンジ部BをSDカードスロット側に90°回転させ、LCDモニター取り付け部をメジャーフック側に180°回転させる (③)

5 LM-V1を取り付け、LCDアタッチメントユニット ヒンジ部AをSDカードスロット側に180°回転させ、LCDアタッチメントユニット ヒンジ部Bをレンズ側へ90°回転させる (④)
- LM-V1下部の1/4インチネジ穴を使用する。
- 1/4ボルト用六角レンチを使用して、六角穴付きボルトで固定する。

6 ユニットケーブル*で、カメラ本体とLM-V1のVIDEO端子を接続する (⑤)

* C200は付属、C200Bは別売。
- ユニットケーブルは、プラグと端子の▼マークを合わせて接続する。
- ユニットケーブルがレンズにかからないように、必要に応じてケーブルの位置を調整する。

LCDモニター LM-V1とLCDアタッチメントユニット LA-V1を取り外す



1 POWER(電源)スイッチをOFFにする

2 ユニットケーブルをカメラ本体とLM-V1から抜く(①)
- ケーブル先端の金具を手前に引きながら、ユニットケーブルを引き抜く。

3 LCDアタッチメントユニット取り付けネジをゆるめて、LA-V1とLM-V1を取り外す

ご注意
- 落下したりしないように、机などの安定した所で着脱してください。

日時を設定する

CAMERA | MEDIA | RAW | MP4 | XF-AVC

はじめてお使いになるときは、日付・時刻を設定する画面が表示されます*。操作に使用するボタンなどの位置を次ページの図で確認して、日時を設定してください。

* 内蔵の充電式リチウム電池が放電したときも同様です。

■ 日付と時刻を設定する

1 年月日時分の数字を選んで設定する

① ジョイスティックを上下に押して「タイムゾーン」を選び、ジョイスティックを垂直に押す。
- カーソルが「年」に移動する。
- ジョイスティックを垂直に押すたびに、タイムゾーン→年→月→日→時→分の順にカーソルが移動する。
- ジョイスティックを左右に押しても、カーソルを移動できる。

② ①の操作を繰り返して、日付／時刻を設定する。

③ カーソルが一番右の「セット」にある状態で、時報に合わせてジョイスティックを垂直に押す。
- 日時設定が完了する。

MEMO

撮影画面に日時を表示するには

➡ カメラモードのときは、5 モニタリング設定メニュー ➤「Custom Display 2」➤「日付/時刻」(📖 225)
メディアモードのときは、4 モニタリング設定メニュー ➤「Custom Display」➤「日付/時刻」(📖 224)

タイムゾーン、日時設定を変更するには

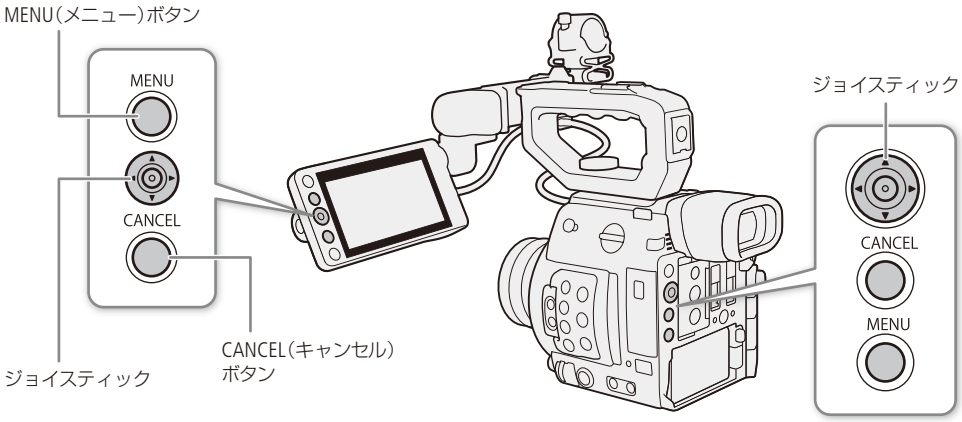
➡ 1 システム設定メニュー ➤「タイムゾーン」または「日付/時刻」(📖 230)

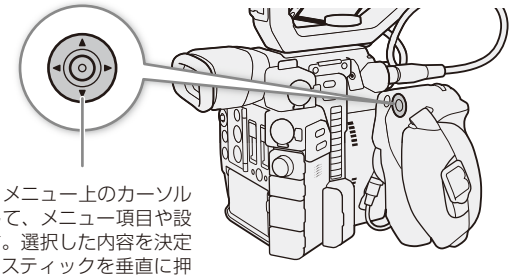
- 本機を3 ヶ月近く使わないと、内蔵の充電式リチウム電池が放電して日付／時刻の設定が解除されることがあります。そのときは、内蔵のリチウム電池を充電してから設定し直してください。
- GPSレシーバー GP-E2(別売)を使用すると、GPSから得られる時刻情報を本機に自動で設定できます (📖 127)。

メニューで設定を変える

CAMERA | MEDIA | RAW | MP4 | XF-AVC

本機のさまざまな機能をメニューによって設定することができます。また、よく使うメニュー項目をあらかじめマイメニューに登録して設定することもできます。ここではメニュー設定の基本操作や共通操作について説明しますので、本書の各項目で説明されているメニュー設定を操作するときの参考にしてください。メニューの種類については「メニュー一覧」(🕮 212)をご覧ください。





ジョイスティック
上下左右に押すと、メニュー上のカーソルが上下左右に移動して、メニュー項目や設定値を選択できます。選択した内容を決定するときは、ジョイスティックを垂直に押し込みます。

CANCEL(キャンセル)ボタン
メニューの1つ上の階層に戻ります。
実行前の操作はキャンセルされます。

MENU(メニュー)ボタン
メニュー操作を開始するときに押してメニューを表示し、設定が終わったら再度押してメニューを消します。

■ メニュー操作の基本

例をあげてメニューの基本操作を説明します。

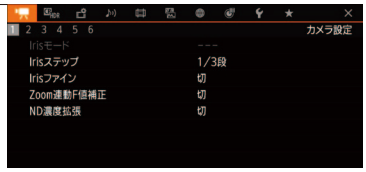
例：ピーキングに「ピーキング2」を選択する場合

MENU

1 メニューを表示させる

① MENUボタンを押す。

- メニュー操作モードになり、画面にメニューが表示される。
- メニューは、最後にメニューを消したときの状態が保持されたまま表示される（電源をOFF/ONすると初期状態に戻る）。

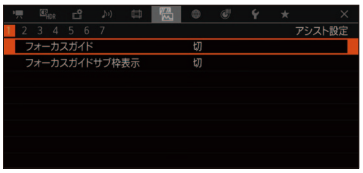


2 設定するメニューを選ぶ

① ジョイスティックを左右に押して、設定するメニューを選ぶ。
- 選んだメニューのサブメニューが表示される。

② ジョイスティックを垂直に押す*。
- カーソルがメニュー項目に移動する。
- ジョイスティックを下に押して、カーソルをメニュー項目に移動することもできる。
- メニューとメニュー項目の間に表示される数字は、メニュー項目が複数ページあることを示す。カーソルがメニュー項目に移動しているときにジョイスティックを左右に押すと、ページが切り換わる。

* 以降、この操作を「ジョイスティックを押す」と記載する。

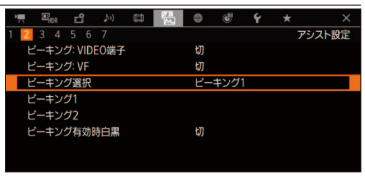


3 設定するメニュー項目を選ぶ

① ジョイスティックを上下に押して、設定するメニュー項目を選ぶ。

② ジョイスティックを押す。
- カーソルが設定内容に移動する。
- 表示しきれないメニュー項目があるときは、メニューの右端にスクロールバーが表示される。カーソルを上下に移動するとメニューがスクロールする。
- 「CANCELボタンを押す*」、「↩を選ぶ」、のいずれかを行うと、カーソルが1つ上の階層に戻る。

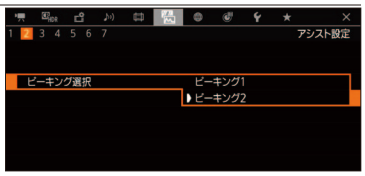
* 以降、この操作を「CANCELを押す」と記載する。



4 設定内容を選び、設定する

① ジョイスティックを上下に押して、設定内容を選ぶ。

② ジョイスティックを押す。
- 選んだ設定内容を決定し、上の階層のメニュー項目に戻る。



5 メニューを消す

① MENUボタンを押す。
- メニュー操作モードが終了し、メニューが消える。

操作説明におけるメニュー階層の表記のしかた

メニューアイコン　メニュー項目のページ数　メニュー名 ➤「階層1」➤「階層2」➤「階層3」

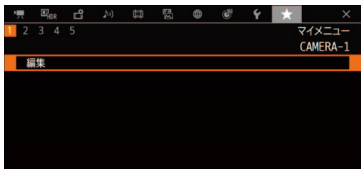
MEMO

- 他の機能の設定内容などによって設定できない項目は、灰色で表示されることがあります。
- MENUボタンを押すと、メニューはいつでも終了します。
- 操作ガイドとして画面に SET、CANCEL、MENU が表示されることがあります。 このときはガイドに応じて、それぞれ、ジョイスティック、CANCELボタン、MENUボタンを押してください。
- リモートコントローラー RC-V100（別売）を使用しているときは、RC-V100の上/下/左/右/SET（設定）ボタンがジョイスティックと同様に機能します。SET（設定）ボタンは、ジョイスティックを垂直に押す操作と同じで、選択した内容を決定するときに使用します。
- 現在の設定内容の一部を、ステータス画面で確認できます（🕮 234）。

マイメニューを使う

よく使うメニュー項目をあらかじめ登録しておき、必要なときに簡単に設定することができます。マイメニューにはメニュー項目を6個まで登録できます。また、マイメニューは5セット保存できるので、必要に応じて切り換えて使用できます。アサインボタン（🕮 142）にマイメニューを割り当てておけば、1ボタン操作でマイメニューを開くこともできます。

マイメニューを選択する



① ★マイメニューを選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
② ジョイスティックを左右に押して、「1」から「5」のいずれかを選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

マイメニューを登録する

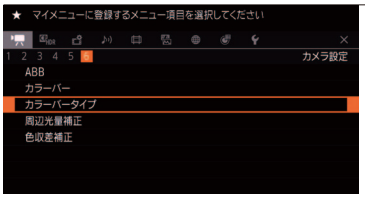
現在選択しているマイメニューにメニュー項目を登録することができます。

例：マイメニュー 1に6 カメラ設定メニュー ➤「カラーバータイプ」を追加する場合

1 マイメニューの「登録」を選ぶ

① ★1 マイメニュー ➤「編集」➤「登録」を順に選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- マイメニューに登録するメニュー項目を選ぶ画面になる。

登録を中止するとき　CANCELを押す。



2 マイメニューに登録するメニュー項目を選ぶ

① 6 カメラ設定メニュー ➤「カラーバータイプ」を順に選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
② 「OK」を選ぶ ➤ ジョイスティックを2回押す。
- 「カラーバータイプ」が現在選択しているマイメニューに登録される。

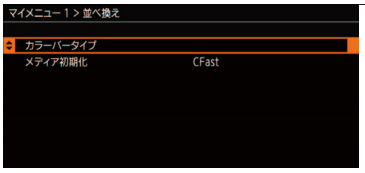
登録したメニュー項目を並べ換える

現在選択しているマイメニューに登録したメニュー項目を並べ換えることができます。

例：マイメニュー 1の場合

1 マイメニューの「並べ換え」を選ぶ

① ★1 マイメニュー ➤「編集」➤「並べ換え」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- 現在選択しているマイメニューに登録されているメニュー項目が一覧表示される。



2 メニュー項目を選んで並べ換える

① 並べ換えるメニュー項目を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- 選んだメニュー項目の左に⬍が表示される。

② ジョイスティックを上下にして、移動先を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- メニュー項目が移動する。

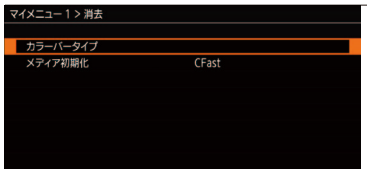
登録したメニュー項目を消去する

現在選択しているマイメニューに登録したメニュー項目を1項目ずつ、またはすべて消去することができます。

例：マイメニュー 1の場合

1 マイメニューの「消去」または「設定初期化」を選ぶ

① ★1 マイメニュー ➤「編集」➤「消去」または「設定初期化」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。



2 消去する

「消去」を選んだとき　消去するメニュー項目を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

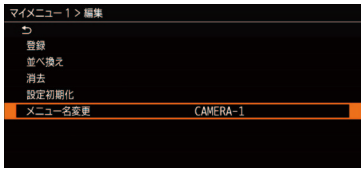
① 「OK」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- 「消去」を選んだときは選んだメニュー項目が、「設定初期化」を選んだときは、現在選択しているマイメニューに登録されているすべてのメニュー項目が、消去される。

② ジョイスティックを押す。

マイメニューの名前を変更する

5セットのマイメニューそれぞれに名前を設定できます。

例：マイメニュー 1の場合

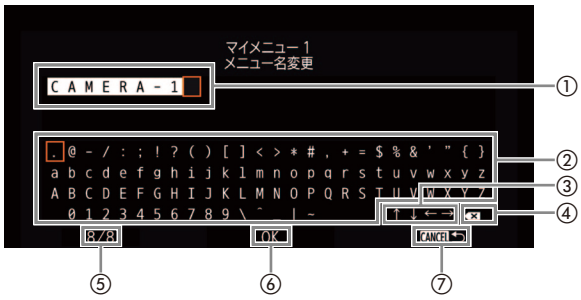


① ★1 マイメニュー ➤「編集」➤「メニュー名変更」を順に選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

② 8桁の任意の英数字記号を入力し、「OK」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

参考 ▶▶「文字入力のしかた」

文字入力のしかた



No.	意味
①	入力フィールド* * 入力できる文字数は、メニューによって異なる。
②	文字入力キー
③	カーソルの移動
④	1文字消去
⑤	現在の文字数／入力可能文字数
⑥	入力を決定 キーボードを終了
⑦	入力を中止

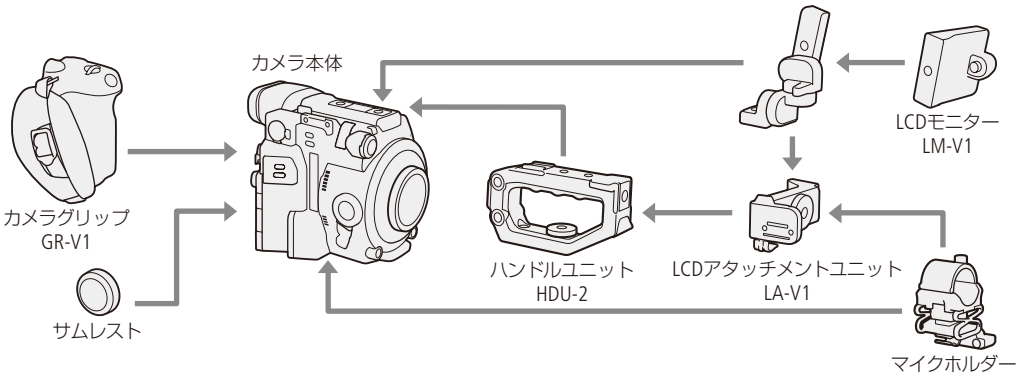
カメラを準備する

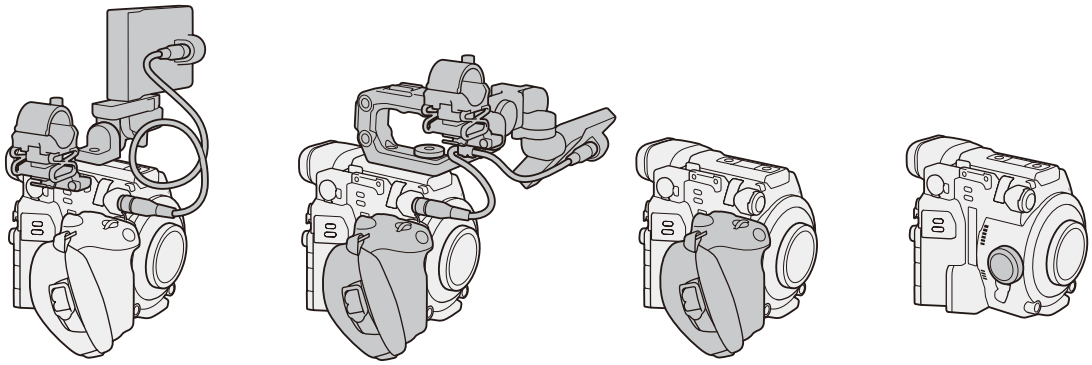
ここでは、本機の構成例を紹介した後、レンズの取り付け／取り外し、LCDモニター LM-V1* ／ C200 ファインダーの調整、カメラグリップ GR-V1*の取り外し／取り付け、マイクホルダーの取り付けなど、はじめに行うカメラの準備について説明します。

* C200は付属、C200Bは別売。

本機の構成例

本機は、ハンドルユニット HDU-2、LCDモニター LM-V1、LCDアタッチメントユニット LA-V1、カメラグリップ GR-V1を着脱できるので、撮影シーンに応じて必要なユニットを自由に組み合わせて撮影できます。





モニター構成　ハンドル＋モニター構成　手持ち撮影構成（グリップ使用）　最小構成（サムレスト使用）

ご注意

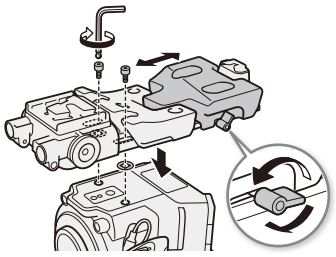
- 構成を変更するときは、本機やアクセサリーが落下したりしないように、机などの安定した所で装着・調節してください。

MEMO

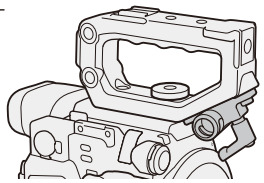
ショルダーサポートユニット SU-15(別売)を使用する

ショルダースタイルが可能になるSU-15を装着できます。SU-15を本機に取り付けるときは、SU-15の三脚用ベース側のカメラ取り付け穴を使用して取り付けます。

参考 ▸▸ ショルダーサポートユニット SU-15の使用説明書「カメラに取り付ける」



● ロッドクランプ RD-1（別売）を使用して、Φ15 mmのロッドを備える市販のファインダーなどを取り付けることができます。



■ レンズを準備する

レンズの取り付け／取り外しは、ほこりの少ない場所で素早く行ってください。取り付けるレンズの説明書もあわせてご覧ください。

ご注意

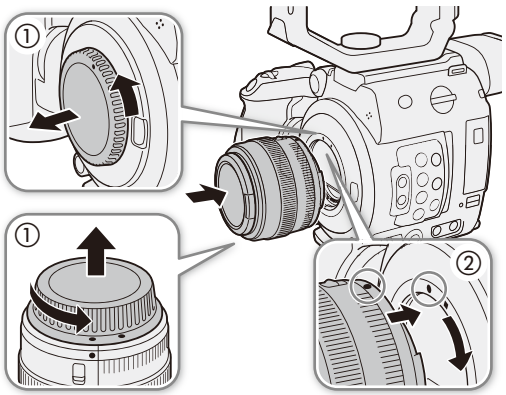
● レンズの取り付け／取り外しは、直射日光や強い照明を避けて行ってください。また、カメラやレンズを落とさないようにご注意ください。

MEMO

レンズを取り外したとき

- レンズ／本体のレンズマウント、レンズマウントの内部に手を触れないでください。
- 本体のレンズマウントにボディキャップを、レンズにダストキャップを取り付けてください。キャップはゴミやほこりを落としてから使用してください。

EFレンズを取り付ける



1 POWER（電源）スイッチをOFFにする

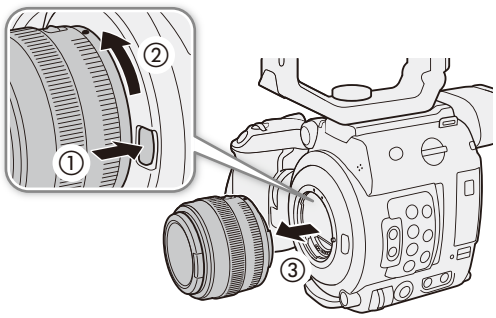
2 EFレンズマウントからボディキャップを、レンズからダストキャップを取り外す（①）

3 レンズを取り付ける（②）

● 本機とレンズの取り付け指標を合わせ、レンズを図のようにカチッと音がするまで回す。

● EFレンズの指標は赤い丸、EF-Sレンズの指標は白い四角。

EFレンズを取り外す



1 POWER(電源)スイッチをOFFにする

2 レンズロック解除ボタンを押しながら (①)、レンズを図のように回して (②)取り外す (③)
- 回転が止まるまで回してから取り外す。

3 EFレンズマウントにボディキャップを取り付ける

4 取り外したレンズにダストキャップを取り付ける

MEMO

- 手ブレ補正機能を搭載したEFレンズを使用する場合、手ブレ補正をONにするとバッテリーの持ちが悪くなることがあります。三脚使用時など補正の必要がないときは、手ブレ補正をOFFにすることをおすすめします。
- 取り付けたレンズによっては、次の動作になることがあります。
  - レンズ型名情報の一部が省略されて表示される。
  - フォーカスモードスイッチがAFのときに手動でフォーカス調整できない。
  - フォーカスプリセットが動作しない (超望遠レンズ)。
  - レンズに搭載されたパワーズーム機能が使用できない。
- 本機のセンサーサイズは、EF-Sレンズが対応するサイズ (APS-C)より大きいため、EF-Sレンズを装着すると、ケラレが発生することがあります。
- レンズのフォーカスモードスイッチをAFにして電源を切ると、自動的にレンズの全長を最短に収納できます (対応レンズのみ。🕮 232)。

EFレンズのファームウェアを更新する

CAMERA MEDIA | RAW MP4 XF-AVC

本機に装着したEFレンズのファームウェアを更新することができます。EFレンズの最新のファームウェアについては、キヤノンのホームページでご確認ください。

① レンズのファームウェアをキヤノンのサイトからダウンロードしてSDカードに保存し、SDカードをSD CARD B に入れる。

② レンズを取り付けたあと、6 システム設定 ➤「Firmware」➤「レンズ」を順に選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- 取り付けているレンズのバージョン情報が画面に表示される。

「レンズ」が灰色になっていて選べないとき

- 取り付けたレンズがファームウェアの更新に対応していないか、本機に入れたSDカードにファームウェアが保存されていない。
- SDカードをSD CARD A に入れている。
  レンズやSDカード、SDカードを入れているSDカードスロットを確認して①から操作する。

③「OK」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
④ ファームウェアの更新ファイル（XXX.LFU）を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
⑤「OK」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- レンズのファームウェアの更新が開始される。
- ファームウェアの更新は中止できない。

⑥ 更新が終了したらジョイスティックを押す。

ご注意

ファームウェアの更新中は次のことを必ず守ってください。
- 電源を切らない。バッテリーやレンズを取り外さない。
- 他のボタンを操作しない。
- SDカードカバーを開けて、SDカードを取り出さない。

MEMO

- プレ記録（🕮 132）中はファームウェアの更新を行うことができません。
- ACアダプター、または十分に充電したバッテリーを装着して操作してください。
- エクステンダー EFを装着しているときは、取り外してから操作してください。

EFレンズの周辺光量／倍率色収差を補正する

CAMERA | MEDIA | RAW | MP4 | XF-AVC

レンズの特性により、映像の四隅の明るさが中央部に比べて暗くなる（周辺光量の低下）、映像の周辺部に色ずれや色にじみが発生する（倍率色収差）などの現象が見られますが、レンズごとの補正データを用いて補正することができます。

① レンズを取り付けたあと、6 カメラ設定メニュー ➤「周辺光量補正」または「色収差補正」を順に選ぶ。

「周辺光量補正」／「色収差補正」が灰色になっていて選べないとき

- 取り付けているレンズの補正データが本機にない。

❶ 取り付けているレンズがこれらの補正に対応しているかどうか、キヤノンのホームページで確認する。
❷ これらの補正に対応している場合は、ファームウェアをダウンロードし、本機のファームウェアを更新する。
❸ ①から操作する。

② 「入」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- 以降の撮影時、取り付けているレンズの周辺光量／倍率色収差が補正される。

EF-Sレンズについて

EF-Sレンズを装着している場合、周辺光量の低下が大きくなることがあります。これを回避するために、映像の切り出し範囲を変更することができます。

① 5 カメラ設定メニュー ➤「EF-Sレンズ」を順に選ぶ。
② 「入」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- 画面に **EF-S** が表示される。

- 「EF-Sレンズ」を「入」にすると、約1.04倍の電子拡大が行われるため、画質が劣化します。通常は「切」にして使用することをおすすめします。

MEMO

レンズごとの補正データについて

本機発売時点で販売している周辺光量／倍率色収差補正対応レンズ（一部を除く）の補正データは、あらかじめ本機に格納しています。将来発売されるレンズの補正データについては、補正データを含むファームウェアで本機のファームウェアを更新することによって、本機に取り込むことができます。最新のファームウェアについては、キヤノンのホームページでご確認ください。

周辺光量／倍率色収差の補正ができないとき

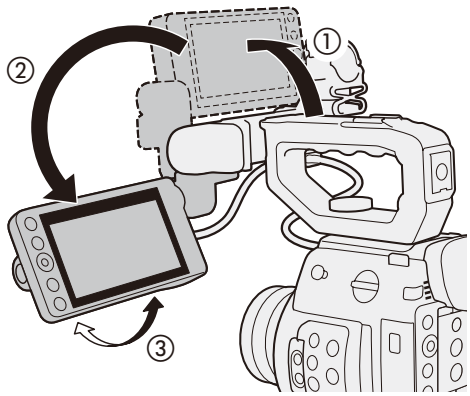
- レンズの補正データが本機に格納されていないとき。
- 他社製レンズを装着しているとき。他社製レンズを装着して各補正を「入」に設定できる場合でも、「切」にすることをおすすめします。

周辺光量補正を行うとき

- 撮影条件によっては、記録される映像の周辺部にノイズが発生することがあります。
- 距離情報を持たないレンズでは、補正量が少なくなります。
- ISO感度／ゲインが高くなるほど、補正量が少なくなります。
- EF-Sレンズのときは、周辺光量の低下が大きくなることがあります。

■ LCDモニター LM-V1を使う

LCDアタッチメントユニット LA-V1は回転可能なため、さまざまな撮影スタイルに対応できます。



1 LCDモニター取り付け部をレンズ側に90˚回転させる（①）
- LCDアタッチメントユニット位置合わせマークの❶（LCDアタッチメントユニット ヒンジ部A）と－（LCDモニター取り付け部）を合わせる。

2 LCDアタッチメントユニット ヒンジ部BをCFastカードスロット側に180˚回転させる（②）
- LCDアタッチメントユニット位置合わせマークの❸（LCDアタッチメントユニット ベース部2）と－（LCDアタッチメントユニット ヒンジ部B）を合わせる。

3 LM-V1を見やすい角度に調整する（③）

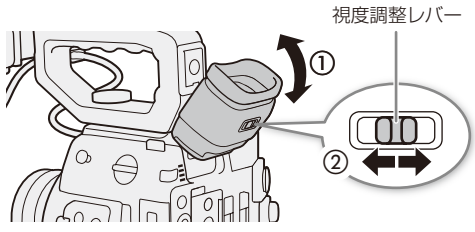
MEMO
- 撮影スタイルに合わせて、画面の反転のしかたを切り換えてください。LM-V1のMIRROR（反転表示）切り換えボタンを押すたびに、左右反転→上下反転→上下左右反転→反転なしの順に切り換わります。左右反転と上下反転のときは、画面表示が消去されます。
- LM-V1のタッチパネルの応答性は、5 システム設定メニュー ➤「タッチ操作レスポンス」（🕮 231）で変更できます。

■ C200 ファインダーを使う

本機のファインダーは有機ELパネルを採用しており、ファインダーをのぞくと自動的に点灯し、のぞくのをやめると自動的に消灯します。

ファインダーの角度と視度を調整する

ファインダーを見やすい角度に調整し、映像がはっきり見えるように、視力に合わせて視度を調整します。



1 ファインダーを見やすい角度に調整する（①）

2 本機の電源を入れる（🕮 27）

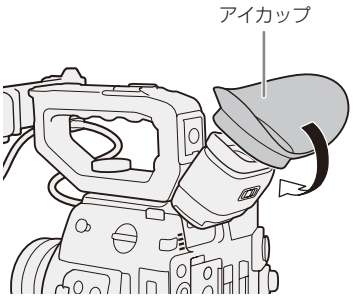
3 視度調整レバーを左右に動かして調整する（②）

MEMO

ファインダーを常に点灯させるには

➡ 2 モニタリング設定メニュー ➤「VFアイセンサー」（🕮 223）。

アイカップを取り付ける



ファインダーのゴム部分にアイカップをかぶせるようにして取り付けます。左目でファインダーを見るときはアイカップを逆向きに取り付けてください。取り外すときは、アイカップの側面を引っ張るようにして外します。

ご注意

ファインダーキャップを取り付けてファインダー内部を保護する

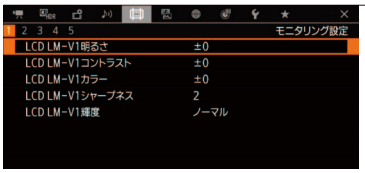
太陽光によってファインダー内部が破損するのを防ぐため、ファインダーを使用しないときはファインダーキャップを取り付けてください。ファインダー内のキズ／ゴミの防止にも有効です。取り付けるときは、ファインダーユニットのゴム部分の内側にはめ込んでください。

■ LCDモニター LM-V1 ／ C200 ファインダーの画面を調整する

CAMERA | MEDIA | RAW | MP4 | XF-AVC

画面を調整する

明るさ、コントラスト、カラー、シャープネス、輝度の各項目を、LM-V1とファインダーそれぞれ個別に調整できます。なお、この設定は記録される映像には影響しません。



1 調整する

① 1 モニタリング設定メニュー、または 2 モニタリング設定メニューを選ぶ。

② 調整する項目を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

- 「LCD LM-V1」または「VF」がつく「明るさ」、「コントラスト」、「カラー」、「シャープネス」、「輝度」から選ぶ。
- ファインダーが消灯していると、2 モニタリング設定メニューの調整する項目は灰色で表示される。

③ ジョイスティックを上下に押して調整する ➤ ジョイスティックを押す。

④ 調整する項目について、②、③を繰り返す。

MEMO

- 「LCD LM-V1設定」を割り当てたアサインボタンを押して、1 モニタリング設定メニューを表示することができます（142）。「VF設定」についても同様です。

LCDモニター LM-V1とファインダーを白黒にする

CAMERA | MEDIA | RAW | MP4 | XF-AVC

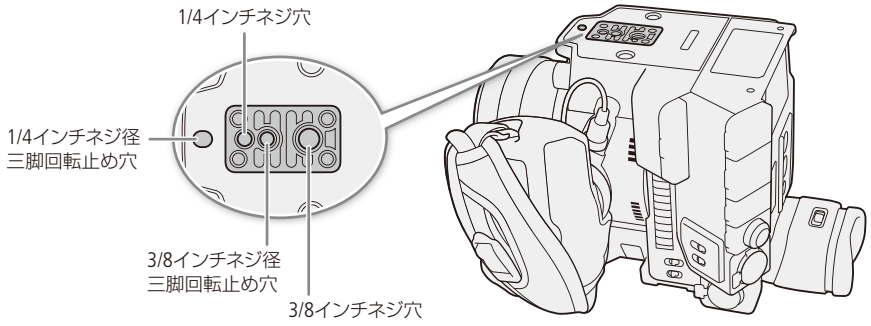
画面を白黒表示にします。白黒表示にしても、表示文字などはカラーで表示されます。

① 4 モニタリング設定メニュー ➤「白黒：VIDEO端子」または「白黒：VF」を順に選ぶ。

②「入」を選ぶ➤ ジョイスティックを押す。

■ カメラ本体を三脚に取り付ける

ご購入時、カメラ本体には三脚ベース TB-1が取り付けられています。取り付けネジ径が3/8インチ、または1/4インチの三脚を取り付けることができます。



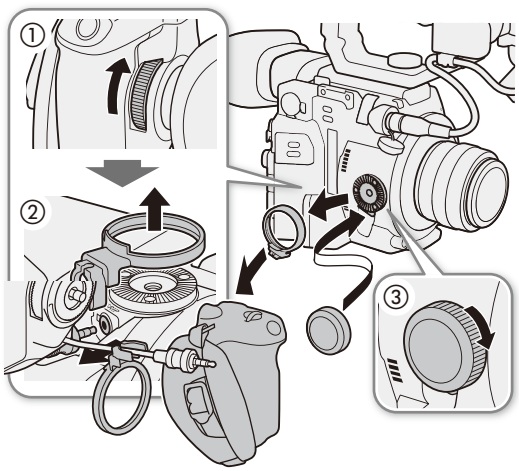
ご注意

- ネジの長さがネジ穴の深さを超える三脚を使用すると、本体を破損することがあります。

■ カメラグリップ GR-V1を取り外す／取り付ける

カメラグリップ GR-V1を取り外す

GR-V1を取り外してサムレストを取り付ければ、手持ち撮影用の最小幅構成にできます。



1 POWER(電源)スイッチをOFFにする

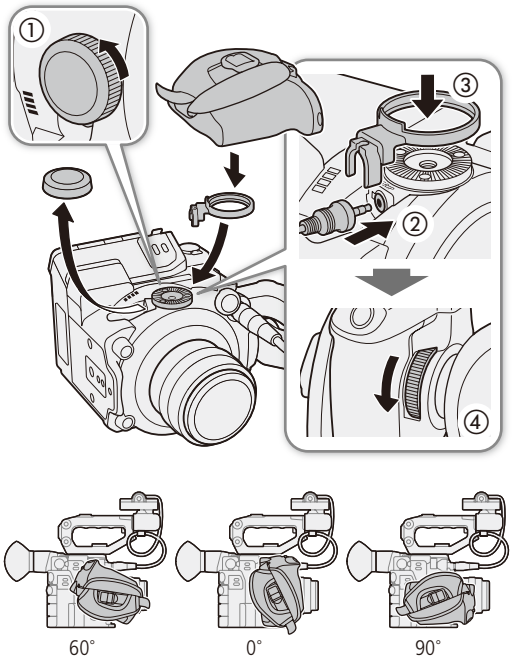
2 GR-V1の取り付けネジを回して、カメラグリップを取り外す（①）
- このとき接続プラグが接続されているので、無理に引っ張らない。

3 グリップアタッチメントリングを外して、GR-V1の接続プラグを抜く（②）
- グリップアタッチメントリングは、紛失しないようにGR-V1の接続ケーブルに取り付けておける。

4 サムレストを取り付ける（③）

カメラグリップ GR-V1を取り付ける

GR-V1は、150˚（レンズ側90˚、ファインダー側60˚）の範囲で角度を変えて取り付け可能です。角度は6˚刻みで調節できるため、撮影の状況に応じてお好みの角度で固定できます。



1 POWER（電源）スイッチをOFFにする

2 サムレストを取り外す（①）

3 ロゼットが上を向くように本機を横にして平らな場所に置き、グリップの接続プラグを奥までしっかり差し込んで接続する（②）

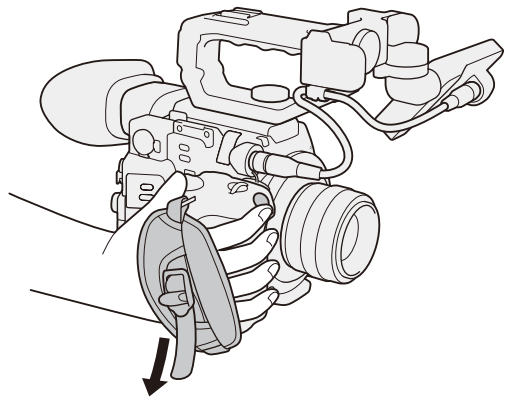
- 接続プラグの端子が見えなくなるまでしっかり差し込む。
- 接続が不十分だと、カメラ本体の操作が利かなくなることがある。

4 グリップアタッチメントリングを取り付ける（③）

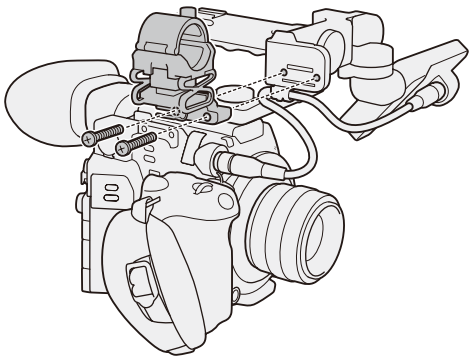
5 本機の底面を下にして平らな場所に置き、グリップをお好みの角度に合わせ、取り付けネジを回して固定する（④）

グリップベルトを調節する

人さし指をRECボタンに添え、グリップを軽く握った状態でベルトの長さを調節します。



■ マイクホルダーを取り付ける

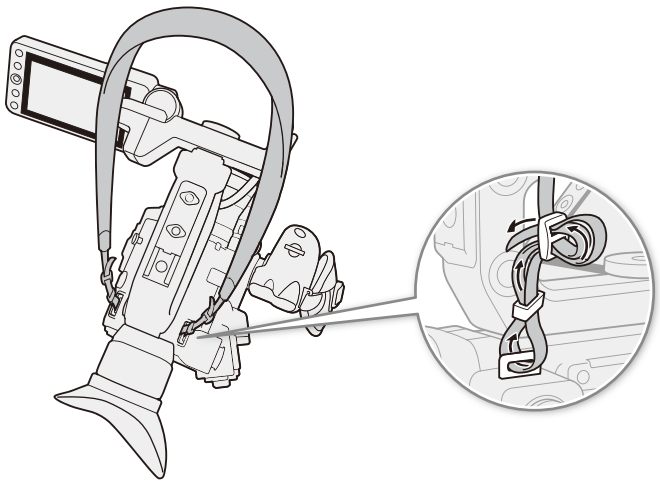


1 マイクホルダ ー をLCDアタ ッ チメントユニ ッ ト LA-V1に取り付ける

- ＋のドライバー（市販）を使用して、2本のM4ネジ（付属）で固定する。
- マイクホルダーはカメラ本体にも取り付けることができる（🕮 13）。

■ ショルダーストラップ*を取り付ける

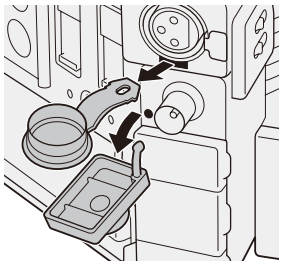
* C200は付属、C200Bは別売。



■ 端子カバーを取り外す／取り付ける

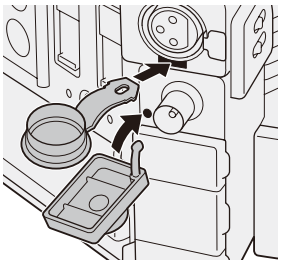
本機の端子カバーは、すべて取り外すことができます。

取り外す



端子カバーを開けて、まっすぐに引き出す。

取り付ける



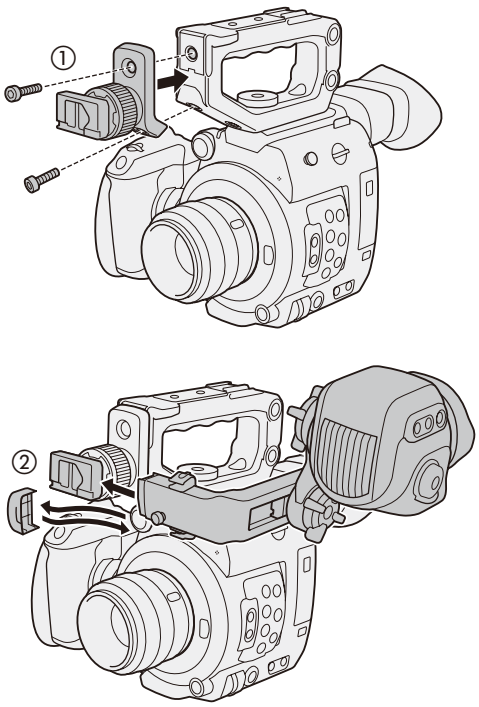
端子カバーの取り付け部を、取り付け口に差し込む。

MEMO

- 取り外し／取り付けの際、端子カバーの取り付け部がつかみにくいときは、ピンセットなど先の細いものを使用してください。

■ 有機EL電子ビューファインダー EVF-V70(別売)を使用する

LCDモニター LM-V1の替わりに1920×1080画素のEVF-V70を装着できます。EVF-V70には、LM-V1と同様にVIDEO端子に出力可能なアシスト設定を表示できます。EVF-V70を装着すると、EVF-V70のボタンやダイヤルなどで本機を操作することができます。EVF-V70の装着には、ハンドルユニット HDU-2とクランプベース CL-V2(別売)が必要です。



1 HDU-2を取り付ける (🕮 28)

2 POWER(電源)スイッチをOFFにする

3 EVF-V70の取り付け準備をする

参考 ▸▸ 有機EL電子ビューファインダー EVF-V70の使用説明書「カメラに取り付ける」

- クランプベースをカメラ本体に取り付ける前までの操作を行う。

4 CL-V2をハンドルユニットに取り付ける (①)

- 六角レンチ (CL-V2に付属) で2本の六角穴付きボルト (CL-V2に付属)で固定する。

5 EVF-V70を取り付ける (②)

参考 ▸▸ 有機EL電子ビューファインダー EVF-V70の使用説明書「カメラに取り付ける」

- クランプベースをカメラ本体に取り付けた後の操作を行う。

記録メディアを準備する

本機では、動画*1をCFastカード、またはSDカード*2に、静止画をSDカード*2に記録します。SDカードスロットは2つあり、2つのSDカード*3に同時に記録したり、自動的に切り換えて記録したりできます。記録メディアを使用するときは、はじめに本機で初期化してください（🕮 55）。

*1 メインの動画（以降、「メイン動画」と記載）はCFastカードやSDカードに、オフライン編集用の動画（以降、「プロキシ動画」と記載）はSDカードに記録します。

*2 SDカードは、カスタムピクチャーファイルや設定データの保存にも使用します。

*3 以降、SD CARD **A** に入れるSDカードを「SDカードA」、SD CARD **B** に入れるSDカードを「SDカードB」と記載します。

■ 使用可能な記録メディア

本機で使用可能な記録メディアです。動作確認済みのメモリーカードなどの詳細情報は、キヤノンのホームページなどでご確認ください。

CFastカード

CFast 2.0規格に準拠したCFastカード。

SDカード

メモリーカードのタイプ	SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカード
SDスピードクラス*1 *2	CLASS 6 CLASS 10
UHSスピードクラス*1 *2 *3	U1 U3
メーカー *4	Panasonic、TOSHIBA、SanDisk

*1 SDカードのデータ記録時の最低速度を保証する規格です。

*2 XF-AVC形式で記録するときは、SDスピードクラス10やUHSスピードクラス1、UHSスピードクラス3のSDカードの使用をおすすめします。

*3 スローモーション記録や4K（3840×2160）記録をするときは、UHSスピードクラス3のSDカードの使用をおすすめします。

*4 これらのメーカー製のSDカードについて、動画記録時の動作を確認しています（2018年2月現在）。

ご注意

CFastカードを使用するとき

カメラ内部の発熱により、カードが熱くなっていることがあります。撮影直後にカードを取り出すと、やけどの原因になる恐れや、カードを落下させてカードが破損する恐れがあります。

CFastカード、またはSDXCメモリーカードを使用するとき

これらのメモリーカードは、exFAT形式で初期化されます。

- exFAT形式に対応した機器でのみ使用できます。exFAT形式に対応する、レコーダー、パソコン、またはカードリーダー／ライターなどでご使用ください。対応状況については、パソコン、OS、またはカードのメーカーにお問い合わせください。
- exFAT形式に対応していないOSで使用すると、カードの初期化を促すメッセージが表示されることがあります。**初期化するとデータが失われますので、キャンセルしてください。**

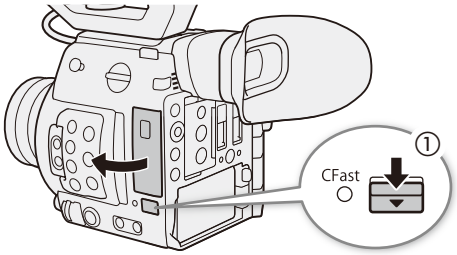
● 撮影や編集を繰り返しているカードの場合、データの書き込み速度が低下し、記録が停止することがあります。あらかじめカードの動画や静止画をバックアップしてから、本機でカードを初期化してください。特に、重要なシーンを記録する前には、本機でカードを初期化してください。

MEMO

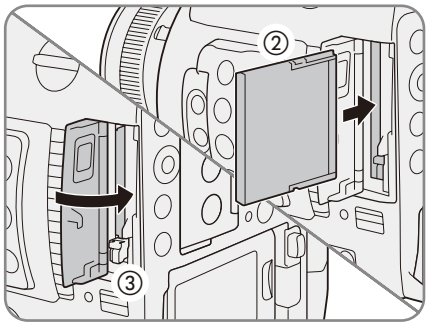
● すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。

CFastカードを入れる

CAMERA | MEDIA | RAW | MP4 | XF-AVC



1 CFastカードカバー開くレバーを下にスライドさせる（①）
- CFastカードカバーが左に開く。



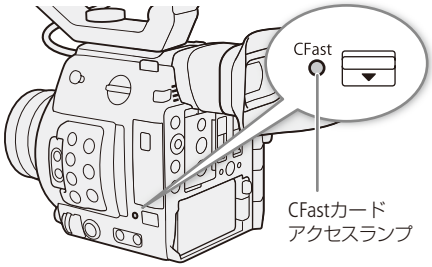
2 カードのおもて面をSDカードスロット側にして、奥までしっかり入れる。（②）

3 CFastカードカバーを閉じる（③）
- カードが正しく入っていない状態で、カバーを無理に閉めない。

CFastカードアクセスランプの光りかた

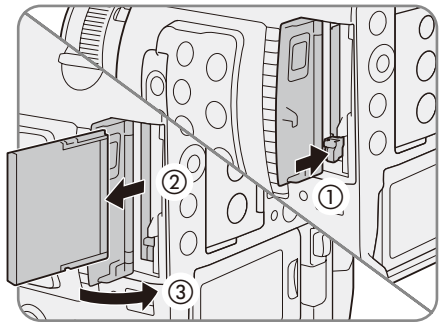
	スロットの状態
点灯（赤）	カードにアクセス中
点灯（緑）	記録／再生可能
消灯	カードが入っていない

CFastカードアクセスランプは点灯しないようにすることもできます（231）。



CFastカードを取り出す

CAMERA | MEDIA | RAW | MP4 | XF-AVC



1 CFastカードを取り出すとき　CFastカードアクセスランプが消灯または緑色に点灯していることを確認する

2 CFastカードカバー開くレバーを下にスライドさせる
- CFastカードカバーが左に開く。

3 CFastカードアクセスランプが消灯していることを確認して、CFastカード取り出しボタンを押す（①）
- CFastカードが出てくる。

4 CFastカードを取り出す（②）

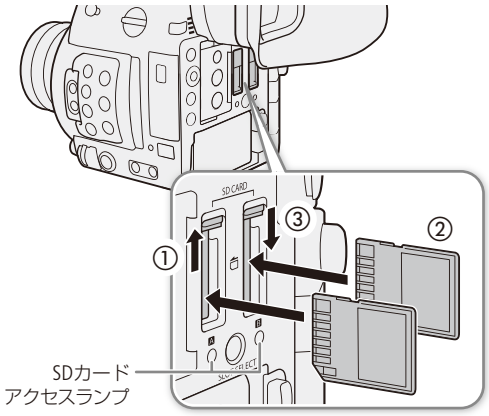
5 CFastカードカバーを閉じる（③）

ご注意

- CFastカードアクセスランプが赤色に点灯中は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。
  - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
  - CFastカードを取り出さない。

SDカードを入れる／出す

CAMERA | MEDIA | RAW | MP4 | XF-AVC



1 SDカードカバーを開ける（①）

2 カードのラベル面をAIR INTAKE（吸気口）側にして、カチッと音がするまでしっかり入れる（②）

SDカードを出すとき

❶ SDカードアクセスランプが消灯していることを確認する。

❷ カードの端を押して、カードが出てきたら抜く。

3 SDカードカバーを閉じる（③）
- カードが正しく入っていない状態で、カバーを無理に閉めない。

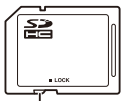
ご注意

- SDカードアクセスランプが赤色に点灯中は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。
  - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
  - SDカードを取り出さない。
- カードには表裏の区別があります。カードを裏返しに入れると、本機に不具合が発生することがあります。操作2のような正しい向きで入れてください。

MEMO

誤ってデータを消さないために

カードの誤消去防止ツマミを「LOCK」側にすると、データを保護できます。



誤消去防止ツマミ

SDカードアクセスランプの光りかた

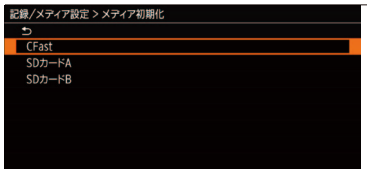
	SDカードスロットの状態
点灯（赤）	カードにアクセス中
点灯（緑色）	メイン動画（MP4形式またはXF-AVC形式）やプロキシ動画、静止画*が記録／再生可能かつ、スロットが記録／再生先として選択されている * SDカードBのみ。
消灯	● カードが入っていない、またはカードにアクセスしていない。 ● カードの誤消去防止ツマミがLOCK側になっている。 ● 別のスロットが選択されている。

SDカードアクセスランプは点灯しないようにすることもできます（231）。

初期化する

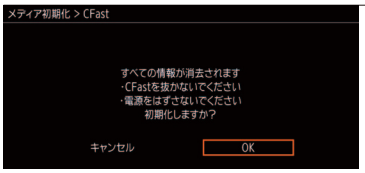
CAMERA | MEDIA | RAW | MP4 | XF-AVC

記録メディアをはじめて使用するときや、記録メディアに記録した動画／静止画などすべての情報を消去するときは初期化します。



1 初期化する記録メディアを選ぶ

① 1 記録/メディア設定メニュー ➤「メディア初期化」を順に選ぶ。
② 「CFast」、「SDカードA」、「SDカードB」のいずれかを選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。



2 初期化を実行する

① 「OK」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- 選んだカードが初期化され、すべての情報が消去される。

② ジョイスティックを押す。

ご注意

- 初期化すると、動画、静止画、プロテクトしたカスタムピクチャーファイルなど、メモリーカード内のすべての情報が消え、元に戻せません。残しておきたいデータがあるときは、バックアップしてから初期化してください。
- SDカードの初期化は、カードによっては数分かかることがあります。

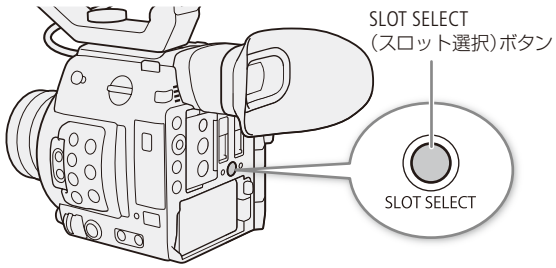
MEMO

- 動画記録中に、もう一方のSDカードを初期化することができます。
- 「メディア初期化」を割り当てたアサインボタンを押して、「メディア初期化」サブメニューを表示することができます（🕮 142）。

■ 記録／再生に使用するSDカードスロットを切り換える

CAMERA | MEDIA | RAW | MP4 | XF-AVC

本機は、2つのSDカードスロットを備えています（SD CARD **A** / SD CARD **B**）。両方のスロットにSDカードを入れているときは、必要に応じてスロットを切り換えることができます。



1 SLOT SELECT（スロット選択）ボタンを押す

- 選択されたスロットのSDカードアクセスランプが緑色に点灯する。

MEMO

- 両方のスロットにSDカードを入れていて、選択しているスロットのカードカバーを開けると、スロットが切り換わります。
- 記録中にSLOT SELECTボタンを押しても、スロットは切り換わりません。
- ブラウザーリモートを使って撮影するときは、ブラウザーリモート画面の「SLOT SELECT」を押して切り換えることもできます。

2つのSDカードに記録する方式を選ぶ

CAMERA | MEDIA | RAW | MP4 | XF-AVC

2つのSDカードに、連続して映像を記録するリレー記録と、同時に映像を記録するダブルスロット記録があります。

リレー記録

撮影中にカードの空き容量がなくなると、自動的にもう一方のスロットに切り換わります。映像が途切れることなく連続して記録することができます。SD CARD A ⇔SD CARD B 両方向で連続記録が可能です。

3 記録/メディア設定メニュー ➤「リレー記録」で「入」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

ダブルスロット記録

同じ映像をA/B両方のSDカードに同時に記録します。撮影中に撮影映像のバックアップを取ることができます。

3 記録/メディア設定メニュー ➤「ダブルスロット記録」で「入」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

MEMO

- スローモーション撮影時はリレー記録されません。
- ダブルスロット記録中、記録容量の少ないSDカードの空き容量がなくなると、両カードへの記録を停止します。なお、一方のSDカードに書き込みエラーが発生しても、他方のSDカードへの記録は継続します。
- ダブルスロット記録は、リレー記録、スローモーション記録、常時記録との併用はできません。

CFastカード／ SDカードの記録可能時間を確認する

CAMERA | MEDIA | RAW | MP4 | XF-AVC

カメラモードのときは、各スロットに入っている記録メディアの記録可能時間（分単位）*1と、選択されているスロットを画面で確認できます（📖 64）。メディアステータス画面（📖 239）を表示すると、各カードの総容量、使用量、記録可能時間*1、静止画記録可能枚数*2、スピードクラス*2を確認できます。

*1 記録可能時間は、現在設定しているビットレート（📖 72）を元に算出します。

*2 SDカードのみ。静止画はSDカードBのみ。

クリップを修復する

CAMERA | MEDIA | RAW | MP4 | XF-AVC

記録中に停電する、記録中にメモリーカードを取り出すなどの原因によって、メモリーカードに記録したクリップに異常が発生することがあります。異常が発生したクリップは、修復することによって正常な状態に戻すことができます。

1 RAWクリップやMP4クリップ、XF-AVCクリップのインデックス画面を表示する（📖 159）

- エラーメッセージが表示されたカードのインデックス画面を表示する。

2 クリップを修復する

① ? が表示されているサムネイルを選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
② 「クリップ修復」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
③ 「OK」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- 選んだクリップが修復される。
- 「データの修復を終了しました。クリップを確認してください」が表示されたら終了。

④ ジョイスティックを押す。

MEMO

修復したクリップについて

- RAW形式またはMP4形式のインデックス画面では、サムネイルに▶が表示される。
- 0.5秒未満のクリップは消去されることがある。

- 修復を行っても正常な状態に戻らないことがあります。特に、ファイルシステムが壊れているとき、またはカードが物理的に壊れているときは修復できません。
- 修復は、本機で撮影したクリップのみ行えます。また、静止画は修復できません。

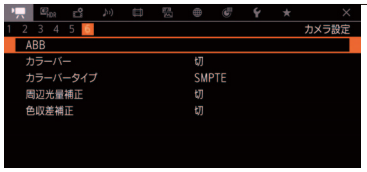
ブラックバランスを調整する

CAMERA | MEDIA | RAW | MP4 | XF-AVC

使用環境の温度が変わったときなど映像信号の黒がずれたときに、ブラックバランスを自動的に調整することができます。

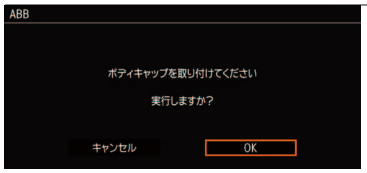
1 本体にボディキャップを取り付ける

- レンズを取り付けているときは、本機の電源を切ってレンズを取り外し、ボディキャップを取り付ける（41）。



2 オートブラックバランス（ABB）を選ぶ

① 本機の電源を入れる。
② 6 カメラ設定メニュー ➤「ABB」を順に選ぶ。
- 画面に「ボディキャップを取り付けてください　実行しますか？」が表示される。



3 ABBを実行する

①「OK」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- 画面に「実行中」が表示され、ブラックバランス調整が行われる。
- 調整には約40秒かかる（23.98P / 24.00Pの場合）。

4 終了する

- 画面に「処理が完了しました」が表示されたら調整完了。ジョイスティックを押して終了する。

画面に「エラー」が出たとき

- センサーの遮光が正しく行われていない。

ジョイスティックを押し、再度操作1から操作する。

MEMO

ブラックバランス調整が必要な場合

- 本機を初めて使用するとき、または長時間使用しなかった後に使用するとき。
- 周囲の温度が大幅に変化したとき。
- ISO感度／ゲインの設定を変更したとき。
- スローモーション記録モードを有効または無効（別の記録モードに切り換える）にしたとき。
- 1 システム設定メニュー ➤「リセット」➤「全設定」または「カメラ設定」で、本機の設定をリセットしたとき。

- ブラックバランス調整中、画面の表示が乱れますが、故障ではありません。

MEMO

撮　影

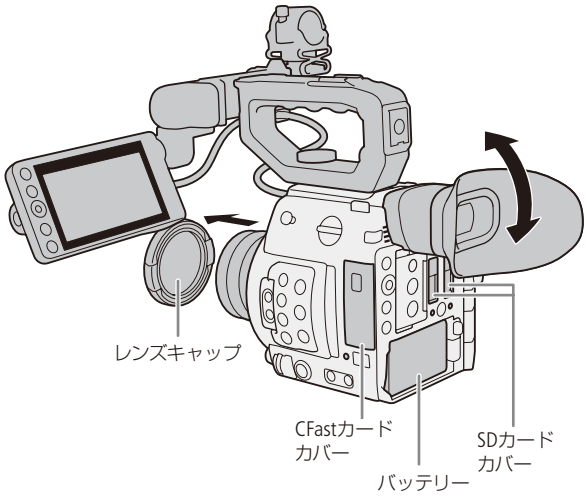
動画を撮影する.....62
映像の信号形式を選ぶ.....72
カメラダイレクト設定を使う.....74
シャッタースピードを調整する...75
ISO感度／ゲインを調整する 78
NDフィルターを切り換える 81
アイリスを調整する.....82
ホワイトバランスを調整する.....87
フォーカスを調整する.....91
ズームを操作する 103
マーカー／
ゼブラパターンを表示する 105
タイムコードを設定する.....108
ユーザービットを設定する 110
音声を記録する.....111
カラーバー／
テストトーンを出力する.....120
波形モニターを表示する 121
GPS情報を記録する.....127
レックレビューで確認する.....128
プロキシ動画を同時に記録する...129
特殊記録を行う.....130
静止画を記録する 137
静止画を再生する 138
RC-V100(別売)で
リモート撮影する 140

動画を撮影する

CAMERA | MEDIA | RAW | MP4 | XF-AVC

ここでは、動画の基本的な撮影について説明します。音声の記録については、111ページをご覧ください。

■ 準備する



1 撮影状況に応じて、ハンドルユニット HDU-2*、LCDモニター LM-V1*などの構成を準備する（📖 39）

* C200は付属、C200Bは別売。

2 充電したバッテリーパックを取り付ける（📖 25）

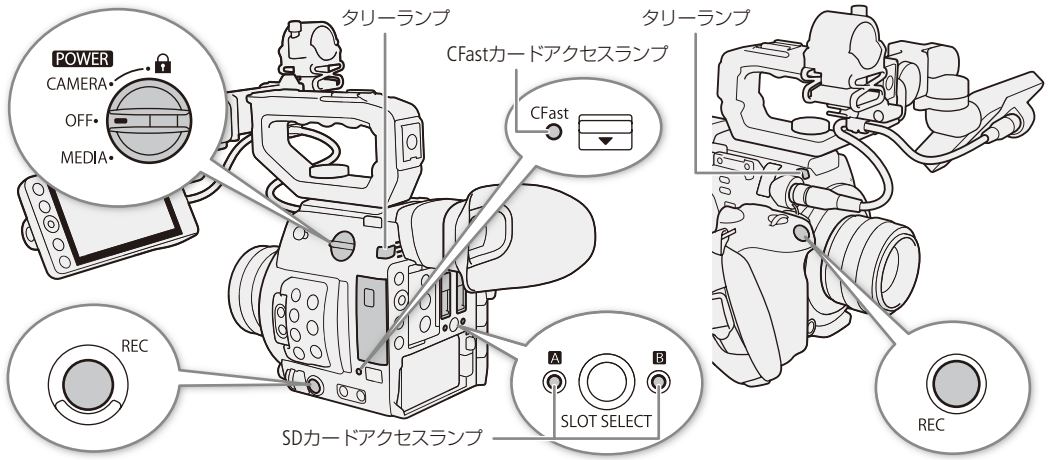
3 記録メディア（CFastカード、SDカード）を入れる（📖 53、54）

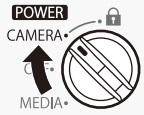
- リレー記録（📖 57）、ダブルスロット記録（📖 57）、常時記録（📖 135）を行うときは、SDカードを2枚入れる。
- 静止画を記録するときは、SDカードをSD CARD **B** に入れる。
- 外部レコーダーに記録するときは、外部レコーダーに接続して必要な設定を行う（📖 174）。

4 レンズを取り付ける（📖 40）

5 LM-V1や **C200** ファインダーを調整する（📖 44、44）

■ 撮影する





1 POWER(電源)スイッチを「CAMERA」にする (📖 27)

- 本機がカメラモードで起動し、撮影一時停止状態 (STBY)になる。
- メモリーカードが入っているCFast ／ SDカードスロットのアクセスランプが赤く点灯したあと、記録先として選択されているCFastカード、またはSDカードのアクセスランプが緑色に点灯する。

2 REC(記録開始／停止)ボタンを押す

- 撮影が始まる。タリーランプが点灯し、画面に「●REC」が表示される。
- カメラグリップのRECボタンで操作して撮影開始することもできる。
- プロキシ動画の同時記録について (📖 129)。

3 撮影を停止するとき もう一度REC(記録開始／停止)ボタンを押す

- 撮影が終了してクリップ*がCFastカード、またはSDカードに記録され、撮影一時停止状態 (STBY)になる。タリーランプは消灯する。

* 本書では、1回の撮影操作で記録される動画を「クリップ」と呼びます。クリップには、映像・音声のほかに、メタデータが含まれることがあります。

ご注意

- アクセスランプが赤色に点灯中は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。
  - アクセスしているカードスロットのカードカバーを開けて、カードを取り出さない。
  - 電源を切らない。バッテリーなどを取り外さない。
- 万一のデータ破損に備えて、撮影したデータは必ずバックアップしてください。データ破損の場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。

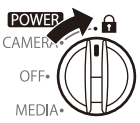
MEMO

- レックレビュー機能 (📖 128)を使うと、カメラモードのまま、最後に撮影したクリップを再生して確認できます。
- メタデータを設定して撮影すると、それらのデータが動画と一緒にクリップ内に記録されます。データの詳細については、「RAWクリップのクリップファイル名を設定する」(📖 67)をご覧ください。
- 撮影中にリレー記録が発生すると、撮影された映像はそれぞれ別々のクリップとして記録されます。
- 1つのクリップには、MP4形式またはXF-AVC形式で6時間まで記録できます。それを超えると、自動的に別のクリップを生成して記録します。

撮影設定をロックする

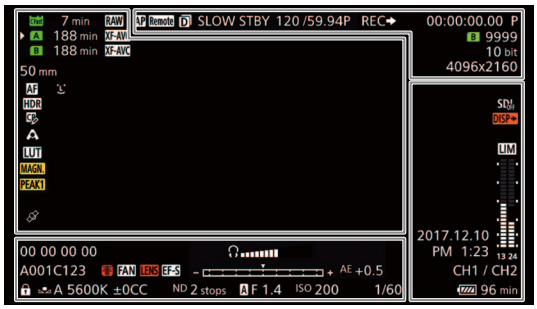
POWER(電源)スイッチを🔒(キーロック)にすると、カメラモードのまま、RECボタン以外の操作が無効になり、誤操作を防止できます*。POWER(電源)スイッチをCAMERAに戻すとキーロックは解除されます。

* RECボタンを無効にすることもできます (📖 231)。ブラウザーリモートからは操作できます。



■ 撮影時の画面表示

ここでは、カメラモードのときの画面表示について説明します。各項目の表示の入／切はカスタムディスプレイ（「Custom Display 1」／「Custom Display 2」。🕮 224）で指定できます。以下の表内では「CD1」、「CD2」と省略表記します。



画面の左側と中央

アイコン／表示	説明
記録メディア状態／記録可能時間（分）／動画形式 CD2 ➤ 記録可能時間	
CFast 0000 min	**CFastカードの状態** 緑色：記録可能（メイン動画：RAW形式）／白色：認識中／黄色：記録可能時間5分以下／赤色：記録可能時間1分未満。
CFast（赤色） END	**CFastカードの空き容量なし**
CFast（赤色）	**CFastカードなし／記録不可能**
A B 0000 min	**SDカードの状態** 緑色：記録可能（メイン動画：MP4形式またはXF-AVC形式、プロキシ動画：MP4形式またはXF-AVC形式）／白色：認識中／黄色：記録可能時間5分以下／赤色：記録可能時間1分未満。選択中のSDカードに▶が付く。
A B（赤色） END	**SDカードの空き容量なし**
A B（赤色）	**SDカードなし／記録不可能**
RAW MP4 XF-AVC	**動画形式**（🕮 72） CD2 ➤ 記録可能時間
0000 mm	**焦点距離**（目安） CD1 ➤ 焦点距離
AF MF	**フォーカスモード**（🕮 91） CD1 ➤ フォーカスモード

アイコン／表示	説明
	顔検出AF（🕮 100） CD1 ➤ フォーカスモード
HDR C.LOG3、C.LOG、Wide DR、NORM1、NORM2、NORM3、NORM4	**HDR**（🕮 175） **カスタムピクチャーのガンマ**（🕮 151） CD1 ➤ Custom Picture/HDR
CP	**カスタムピクチャー**（🕮 152）： Activate Other SettingsがOn CD1 ➤ Custom Picture/HDR
A	**測光方式**（🕮 86） CD1 ➤ 測光方式
LUT	**LUT**（🕮 176） CD1 ➤ LUT
MAGN（黄色）	**拡大表示**（🕮 95） CD1 ➤ Magnification
PEAK1（黄色） PEAK2（黄色）	**ピーキング**（🕮 95） CD1 ➤ ピーキング
MEMO	**ユーザーメモ**（🕮 125） CD2 ➤ User Memo
	GPS信号の受信状態*（🕮 127） 衛星未捕捉時は点滅し、衛星を捕捉すると点灯する。 * GPSレシーバー GP-E2接続時のみ。 CD2 ➤ GPS
	ワンショットAF枠（🕮 96） CD1 ➤ フォーカスモード

アイコン／表示	説明
（黄色／白色）	**AFブーストMF枠**（🕮 97） CD1 ➤ フォーカスモード
（白色）	**コンティニュアスAF枠**（🕮 97） CD1 ➤ フォーカスモード
	顔検出枠（🕮 100） CD1 ➤ フォーカスモード
、	**追尾**（🕮 102）

画面の上側

アイコン／表示	説明
AP Remote	**ネットワークの接続状態／機能**（🕮 194） 白色：接続完了 黄色：接続／切断処理中 赤色：エラー状態 CD2 ➤ ネットワーク機能
D	**ダブルスロット記録**（🕮 57）
撮影状態（記録モード） CD2 ➤ 記録モード	
STBY、●REC	**動画記録**：撮影一時停止中／撮影中
INT STBY*、 ●INT、 ●INT REC	**インターバル記録**：撮影一時停止中（撮影開始前／開始後）、撮影中 * INTが点滅する。
FRM STBY*、 ●FRM STBY、 ●FRM REC	**フレーム記録**：撮影一時停止中（撮影開始前／開始後）／撮影中 * FRMが点滅する。
SLOW STBY、 ●SLOW REC	**スローモーション記録**：撮影一時停止中／撮影中
PRE REC STBY、 ●PRE REC	**プレ記録**：撮影一時停止中／撮影中
STBY➡ A、 CONT STBY➡ B、 ●REC➡ A、 ●CONT REC➡ B	**常時記録**：撮影一時停止中／撮影中
1s ～ 10m00s	**インターバルカウンター**（🕮 133） CD2 ➤ インターバルカウンター
00.00P、 000/00.00P	**撮影フレームレート***（🕮 130）／**フレームレート**（🕮 72） * スローモーション記録時のみ。 CD2 ➤ フレームレート
REC➡、STBY➡	**記録コマンド状態**（🕮 174） CD2 ➤ 記録コマンド

アイコン／表示	説明
00:00:00.00 00:00:00:00 R / P / F / H	**タイムコード**（🕮 108） CD2 ➤ Time Code
静止画の記録可能枚数 CD2 ➤ 静止画記録可能枚数	
B 0000	**静止画記録可能**
B（赤色）	**SDカードなし／静止画記録不可能**
00 bit、 YCC420 8 bit	**色深度、カラーサンプリング**（🕮 72） CD2 ➤ 解像度/カラーサンプリング
0000x0000	**解像度**（🕮 72） CD2 ➤ 解像度/カラーサンプリング

画面の右側

アイコン／表示	説明
SDI OFF	**映像出力**（🕮 174） CD2 ➤ 映像出力
DISP（赤色）	**画面表示出力**（🕮 178） CD2 ➤ オンスクリーン表示
LIM	**オーディオリミッター**（🕮 117） CD2 ➤ オーディオレベル
13 24	**オーディオレベルメーター**（🕮 116） CD2 ➤ オーディオレベル
yyyy.mm.dd HH:MM	**日時表示** CD2 ➤ 日付/時刻
CH0/CH0	**音声出力チャンネル**（🕮 179） CD2 ➤ モニターチャンネル
/ / /（赤色） 000 min	**バッテリー残量と撮影／再生可能時間（分単位）の目安。**は残量なし。充電したバッテリーと交換する。本機／バッテリーの状態により、実残量と表示が異なることがある。 CD2 ➤ バッテリー残量

画面の下側

アイコン／表示	説明
00 00 00 00	**ユーザービット**（🕮 110） CD2 ➤ User Bit

アイコン／表示	説明
A000C000	**カメラインデックス、リール番号、クリップ番号**（🕮 67、68） CD2 ➤ リール番号/クリップ番号
🔒	**キーロック**（🕮 63） CD1 ➤ キーロック
🌡（緑色／黄色／赤色）	**高温警告**（🕮 71）内部温度が上昇すると🌡（黄色）が、本機を使い続けてさらに上昇すると🌡（赤色）が表示される。 CD2 ➤ 温度/ファン
FAN FAN（赤色）	**冷却ファン**（🕮 71） **冷却ファン警告**（🕮 246） CD2 ➤ 温度/ファン
LENS（赤色）	**レンズ警告** CD1 ➤ レンズ
1.5 x 、3.0 x 、6.0 x 、EF-S	**デジタルテレコン**（🕮 218）、 CD1 ➤ デジタルテレコン **EF-Sレンズ**（🕮 218） CD1 ➤ EF-Sレンズ

アイコン／表示	説明
A/B 0000 K ±0CC、☀、☀、K 0000 K ±0CC、AWB 0000 K ±0CC	**ホワイトバランス**（🕮 87） CD1 ➤ White Balance
🎧	**ヘッドホン音量**（🕮 119）
- +	**露出バー**（🕮 86） CD1 ➤ 露出バー
ND 00 stops	**NDフィルター**（🕮 81） CD1 ➤ ND Filter
A F0.0 / T0.0 / closed	**アイリス／ F値（T値）**（🕮 82） CD1 ➤ Iris
ISO 000000 00.0dB	**ISO感度／ゲイン**（🕮 78） CD1 ➤ ISO/Gain
AE ±0.00	**AEシフト**（🕮 85） CD1 ➤ AEシフト
1/0000、000.00°、000.00Hz	**シャッタースピード**（🕮 75） CD1 ➤ Shutter

MEMO

- DISP（ディスプレイ）ボタン、または「Display」を割り当てたアサインボタンを押すと、画面表示を次のように切り換えることができます。
  全表示 → マーカー *1 → 全消去*2

*1 マーカーの表示（🕮 105）を「入」にしているときのみ。AF枠などフォーカス用の枠も表示される。
*2 撮影状態を除くほとんどの画面表示が消去される。

RAWクリップのクリップファイル名を設定する

CAMERA | MEDIA | RAW | MP4 | XF-AVC

本機内のCFastカードに記録されるRAWクリップのクリップファイル名を設定します。カメラやCFastカードごとに割り振る文字や、任意の文字列（5文字）を設定することができます。

RAWクリップファイル名の構成

A 0 0 1 C 0 0 1 _ y y m m d d X X _ C A N O N
① ② ③ ④ ⑤ ⑥

	項目	内容
①	カメラインデックス	A ～ Zの1文字。カメラごとに異なる文字を設定する。
②	リール番号	001 ～ 999の3桁の数字。記録メディアごとに異なる番号が自動的に振られ、初期値を指定できる。新しい記録メディア*に交換すると、初回の記録時に番号が1つ繰り上がる。 * 購入または初期化直後のメディア。
③	クリップ番号	001 ～ 999の3桁の数字で、先頭に「C」が付いてC001 ～ C999となる。999を超えると「C」が「D」に変わり、D001 ～ D999となる。クリップ番号はクリップごとに自動的に振られる。任意の初期値を設定したり、初期値（C001）にリセットしたりすることもできる。 クリップ番号の付けかたは、記録メディアを交換しても連番を振る「通し番号」と、記録メディアの交換後、初回の記録時に「001」にリセットする「オートリセット」の2方式がある。
④	年月日	撮影した年月日が自動的に設定される。
⑤	ランダムID	クリップごとにランダムに付加される、A ～ Z、0 ～ 9からなる2文字。
⑥	ユーザー定義	A ～ Z、0 ～ 9からなる5文字。

● 同時に記録したメイン動画（RAW形式）とプロキシ動画（MP4形式）のクリップは、クリップファイル名が異なる。

XF-AVCクリップのクリップファイル名を設定する

CAMERA | MEDIA | RAW | MP4 | XF-AVC

本機内のSDカードに記録されるXF-AVCクリップのクリップファイル名を設定します。カメラやSDカードごとに割り振る文字や、任意の文字列（5文字）を設定することができます。

XF-AVCクリップファイル名の構成

A 0 0 1 C 0 0 1 _ y y m m d d X X _ C A N O N _ 0 1 P
① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦

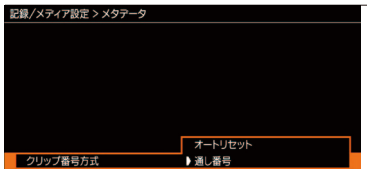
	項目	内容
①	カメラインデックス	A ～ Zの1文字。カメラごとに異なる文字を設定する。
②	リール番号	001 ～ 999の3桁の数字。記録メディアごとに異なる番号が自動的に振られ、初期値を指定できる。新しい記録メディア*に交換すると、初回の記録時に番号が1つ繰り上がる。 * 購入または初期化直後のメディア。
③	クリップ番号	001 ～ 999の3桁の数字で、先頭に「C」が付いてC001 ～ C999となる。999を超えると「C」が「D」に変わり、D001 ～ D999となる。クリップ番号はクリップごとに自動的に振られる。任意の初期値を設定したり、初期値（C001）にリセットしたりすることもできる。 クリップ番号の付けかたは、記録メディアを交換しても連番を振る「通し番号」と、記録メディアの交換後、初回の記録時に「001」にリセットする「オートリセット」の2方式がある
④	年月日	撮影した年月日が自動的に設定される。
⑤	ランダムID	クリップごとにランダムに付加される、A ～ Z、0 ～ 9からなる2文字。
⑥	ユーザー定義	A ～ Z、0 ～ 9からなる5文字。
⑦	プロキシ、ストリーム番号	プロキシクリップのときに「_P」が自動的に付加される。記録先がSD / SDHCメモリーカードのときは、「P」の前にストリーム番号（01 ～ 99の数字）が付与される。ストリーム番号は、クリップ内の映像ファイル（ストリーム）が分割されると1つ繰り上がる。

● 同時に記録したメイン動画（RAW形式）とプロキシ動画（XF-AVC形式）のクリップは、クリップファイル名の①～⑥が同じになる。

設定する

1 カメラインデックスを設定する

① 4 記録/メディア設定メニュー ➤「メタデータ」➤「カメラインデックス」を順に選ぶ。
② ジョイスティックを上下に押して、A ～ Zのいずれかの文字を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
③「セット」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。



2 クリップ番号方式を選ぶ

① 4 記録/メディア設定メニュー ➤「メタデータ」➤「クリップ番号方式」を順に選ぶ。

② 「オートリセット」または「通し番号」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

- 「通し番号」を選んだときは操作3でクリップ番号を設定する。

3 リール番号／クリップ番号を設定する

① 4 記録/メディア設定メニュー ➤「メタデータ」➤「リール番号」または「クリップ番号」を順に選ぶ。

- 「リセット」を選びジョイスティックを押すと、番号が「001」にリセットされる。

② 「変更」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

- 設定画面が表示され、一番左の桁が選択される。

③ ジョイスティックを上下に押して、数字を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

- 設定を途中で中止するときはCANCELを押す。

④ ③の操作を繰り返して、残りの桁の数字を選ぶ ➤「セット」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

4 ユーザー定義を設定する

① 4 記録/メディア設定メニュー ➤「メタデータ」➤「ユーザー定義」を順に選ぶ。

- 「リセット」を選びジョイスティックを押すと、「CANON」にリセットされる。

② 「変更」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

- 設定画面が表示され、一番左の桁が選択される。

③ 操作3の③～④と同じ要領で、5文字の英数字を入力する ➤「セット」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

メイン動画（MP4形式）やプロキシ動画（MP4形式）（📖 129）のクリップファイル名について

メイン動画（MP4形式）やメイン動画（RAW形式）と同時に記録するプロキシ動画（MP4形式）のクリップファイル名は、自動的に付けられます（📖 70）。そのため、メイン動画（RAW形式）とプロキシ動画のクリップファイル名は異なります。

■ MP4クリップ／静止画番号の付けかたを選ぶ

CAMERA | MEDIA | RAW | MP4 | XF-AVC

本機で記録するMP4クリップ／静止画には、連続した番号（MP4クリップ／静止画番号）が自動的に付けられます。MP4クリップ／静止画番号の付けかたはメニューで設定できます。

フォルダー名

フォルダー名の上3桁は100 ～ 999の番号、「_」以下の下4桁は記録した月日を表します。

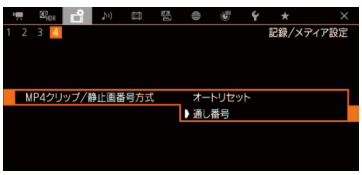
ファイル名

ファイル名の上4文字はMP4クリップのときは「MVI_」、静止画のときは「IMG_」の固定文字列、下4桁は固有の番号（0001 ～ 9999）です。

MP4クリップ／静止画番号

- MP4クリップ／静止画番号の上3桁はファイルが格納されているフォルダー名の上3桁（100 ～ 999）、下4桁はMP4クリップ／静止画固有の番号（0001 ～ 9999）に対応します。
- MP4クリップ／静止画番号は、パソコンで見るときのSDカード内のファイルの場所も表します。12月10日に記録したMP4クリップ／静止画番号が「100-0006」のMP4クリップ／静止画は、「DCIM ￥100_1210」というフォルダーの中に「MVI_0006.MP4」「IMG_0006.JPG」というファイル名で表示されます。

オートリセット	初期化されたSDカードに記録する場合、常に100-0001から始まる。SDカード内にすでにMP4クリップ／静止画が記録されているときは、その続きの番号になる。
通し番号	最後に記録したMP4クリップ／静止画の続き番号から始まる。ただし、SDカード内に記録されているMP4クリップ／静止画番号のほうが大きいときは、その続き番号になる。パソコンで管理するときなどに便利。通常はこの設定をおすすめします。



① 4 記録/メディア設定メニュー ➤「MP4クリップ／静止画番号方式」を順に選ぶ。
② 「オートリセット」または「通し番号」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

MEMO

- 1つのフォルダーには500ファイルまで保存でき、それを超えると自動的にフォルダーが作成されます。

■ 冷却ファンの動作方法を選ぶ

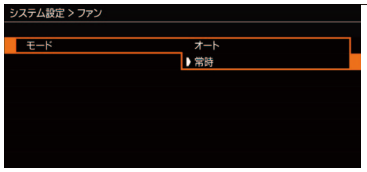
CAMERA | MEDIA | RAW | MP4 | XF-AVC

本機内部の熱を排出する冷却ファンは、カメラモードではファンのモード設定に応じた方式で回転し、メディアモードでは常時回転します。ファンの回転速度は、カメラモードとメディアモードで個別に設定できます。

カメラモードのとき

オート： 撮影一時停止中は回転し、撮影中（画面に●RECが表示中）は自動的に停止する。ただし、撮影中でも、本機の内部温度が上昇（■（赤色）が出る）すると、冷却ファンが自動的に回転する（画面に FAN が出る）。内部温度が十分下がると、再び冷却ファンは停止する。この設定は、冷却ファンの動作音を記録したくないときに使用する。

常時： 常に回転する（初期設定）。「ファン速度(常時)」で回転速度を選択できる。



1 ファンのモードを選ぶ

① 5 システム設定メニュー ➤「ファン」➤「モード」を順に選ぶ。
②「オート」または「常時」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

2 ファンの回転速度を選ぶ

① 5 システム設定メニュー ➤「ファン」➤「ファン速度（常時）」を順に選ぶ。
②「ハイ」または「ロー」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

メディアモードのとき

1 ファンの回転速度を選ぶ

① 4 システム設定メニュー ➤「ファン速度」を順に選ぶ。
②「ハイ」または「ロー」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

ご注意

- 冷却ファンの回転中は、EXHAUST VENT（排気口）から暖かい空気が排出されます。
- 冷却ファンの吸排気口（12、13）をテープなどで塞がないでください。

MEMO

- 高温下など撮影環境によっては「オート」にしてもファンが停止しないことがあります。

映像の信号形式を選ぶ

CAMERA | MEDIA[*1] | RAW | MP4 | XF-AVC[*2]

*1 メディアモードはシステム周波数のみ。
*2 RAW形式の「解像度/カラーサンプリング」は除く。

映像（メイン動画）を記録するときの信号形式を切り換えることができます。信号形式は、解像度とカラーサンプリング、ビットレート、フレームレートの組み合わせからなります。RAW（Cinema RAW Light）形式は、HDRの素材データに適したキヤノン独自のフォーマットです。MP4形式は、データ容量も軽く、汎用性の高いフォーマットです。XF-AVC形式は、高画質な動画を効率よく記録できるフォーマットです。RAW形式の動画はCFastカードに、MP4形式とXF-AVC形式の動画はSDカードに記録されます。フレームレートは、システム周波数によって選択できる値が異なります。メディアモードでは、システム周波数のみ設定できます。プロキシ動画については、「プロキシ動画を同時に記録する」（🕮 129）をご覧ください。

RAW（Cinema RAW Light*）形式

解像度	色深度	ビットレート	システム周波数／フレームレート					
			59.94 Hz			50.00 Hz		24.00 Hz
			59.94P	29.97P	23.98P	50.00P	25.00P	24.00P
4096×2160	10 bit	1 Gbps	●	–	–	●	–	–
	12 bit		–	●	●	–	●	●

* Cinema RAWとは異なる記録形式。

MP4形式

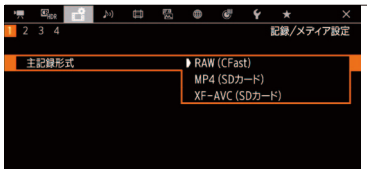
解像度	カラーサンプリング	ビットレート*	システム周波数／フレームレート					
			59.94 Hz			50.00 Hz		24.00 Hz
			59.94P	29.97P	23.98P	50.00P	25.00P	24.00P
3840×2160	YCC420 8 bit	150 Mbps Long GOP	●	●	●	●	●	●
1920×1080	YCC420 8 bit	35 Mbps Long GOP	●	●	●	●	●	●

* ビットレートの方式はVBR（可変）。「Long GOP」は前後のフレームの差分を圧縮し、高圧縮で長時間の録画が可能。

XF-AVC形式

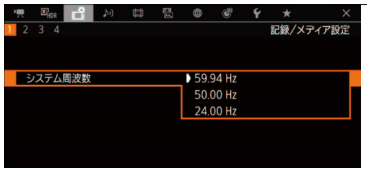
解像度	カラーサンプリング	ビットレート*	システム周波数／フレームレート							
			59.94 Hz				50.00 Hz			24.00 Hz
			59.94i	59.94P	29.97P	23.98P	50.00i	50.00P	25.00P	24.00P
3840×2160	YCC420 8 bit	160 Mbps Long GOP	–	●	●	●	–	●	●	●
1920×1080	YCC420 8 bit	45 Mbps Long GOP	●	●	●	●	●	●	●	●

* ビットレートの方式はVBR（可変）。「Long GOP」は前後のフレームの差分を圧縮し、高圧縮で長時間の録画が可能。



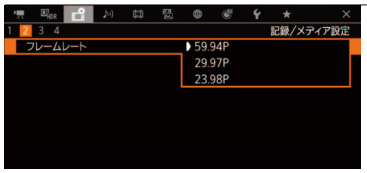
1 メイン動画の形式を選ぶ

① 1 記録/メディア設定メニュー ➤「主記録形式」を順に選ぶ。
② 1「RAW(CFast)」、「MP4(SDカード)」、「XF-AVC(SDカード)」のいずれかを選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。



2 システム周波数を選ぶ

① 1 記録/メディア設定メニュー ➤「システム周波数」を順に選ぶ。
② いずれかを選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- 選んだシステム周波数に設定され、本機が再起動する。



3 フレームレートを選ぶ

- 24.00 Hzを選んだ場合、この操作は不要。

① 2 記録/メディア設定メニュー ➤「フレームレート」を順に選ぶ。
② いずれかを選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- 選んだフレームレートが画面に表示される。

4 解像度とカラーサンプリングを選ぶ

① 2 記録/メディア設定メニュー ➤「解像度/カラーサンプリング」を順に選ぶ。
- 「主記録形式」が「RAW (CFast)」のときは、選んだフレームレートによって「解像度/カラーサンプリング」が自動で設定される。

② いずれかを選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- 5 モニタリング設定メニュー ➤「Custom Display 2」➤「解像度/カラーサンプリング」が「入」のときは、選んだ解像度とカラーサンプリングが画面に表示される。

MEMO

- 各種出力端子からの信号については、「出力信号形式」(170)をご覧ください。

カメラダイレクト設定を使う

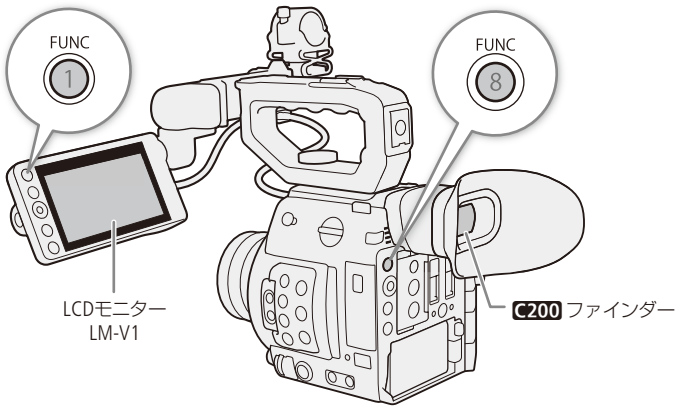
CAMERA | MEDIA | RAW | MP4 | XF-AVC

画面*やC200ファインダーを見ながら、以下の項目を設定できます（カメラダイレクト設定）。ここでは基本的な操作を説明します。各機能の詳細については、それぞれのページをご覧ください。

* LCDモニター LM-V1装着時（C200は付属、C200Bは別売）。

設定できる項目

- ホワイトバランス
- ホワイトバランスのプリセット調整／色温度
- ISO感度／ゲイン
- シャッタースピード

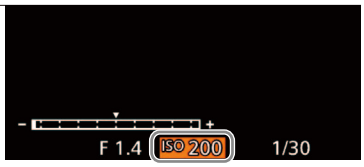


■ カメラダイレクト設定の基本操作

1 カメラダイレクト設定に入る

① FUNCボタンを押す。
- いずれかの背景がオレンジ色になる。

② FUNCボタンを押すか、ジョイスティックを左右に押して、設定したい項目に切り換える。
- 操作するたびに設定対象が順に切り換わる。



2 値を調整する

① ジョイスティックを上下に押して調整方法や数値を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- 設定が決定され、カメラダイレクト設定を終了する。
- 画面のオレンジ色の表示は解除される。

MEMO

カメラダイレクト設定が終了する場合

- 約6秒間操作しなかったとき。
- メニューやステータス画面を開いたとき。

シャッタースピードを調整する

CAMERA | MEDIA | RAW | MP4 | XF-AVC

シャッタースピードを調整すると、動きの速い被写体（スポーツや乗り物など）を鮮明に撮影する、低照度のシーンを明るく撮影するなど被写体や撮影環境に合わせて撮影できます。シャッタースピードの調整には、次の5種類のモードがあります。ブラウザーリモート（🕮 195）を使って調整することもできます。

スピード：　秒数でシャッタースピードを設定する。設定時の刻み幅は、メニューで1/3段と1/4段から選べる。

アングル：　開角度でシャッタースピードを設定する。

クリアスキャン：　周波数でシャッタースピードを設定する。モニター画面に黒い帯が出ないようにするときなど。

スロー：　フレームレートより低速のシャッタースピードを秒数で設定する。低照度の場所で撮影するときなど。スローモーション記録のときは選択できない。

切：　各フレームレートの基準シャッタースピードを使用する。

設定可能なシャッタースピード

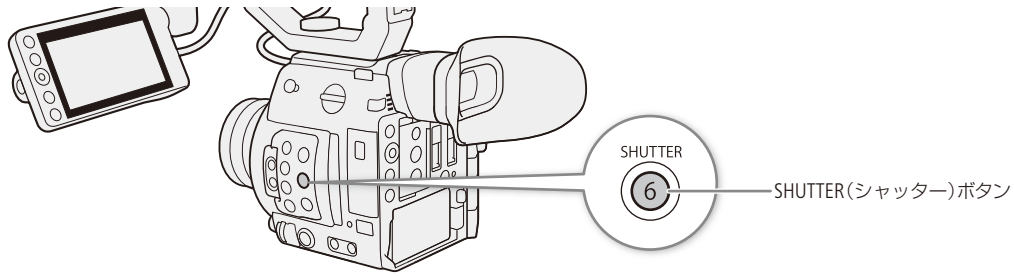
選択できるシャッタースピードはフレームレートによって異なります。

シャッタースピードのモード		フレームレート					
		59.94P / 59.94i*1	29.97P	23.98P	24.00P	50.00P / 50.00i*1	25.00P
スピード*2	1/3段刻み	1/24 ～ 1/2000秒*3					
	1/4段刻み						
アングル*2*4		360°、240°、180°、120°、90°、60°、45°、30°、22.5°、15°、11.25°					
クリアスキャン*2		23.98 Hz ～ 250.38 Hz			24.00 Hz ～ 250.40 Hz		
スロー *5		1/4、1/8、1/15、1/30秒	1/4、1/8、1/15秒	1/3、1/6、1/12秒		1/3、1/6、1/12、1/25秒	1/3、1/6、1/12秒
切*2		1/60秒	1/30秒	1/24秒	1/24秒	1/50秒	1/25秒

*1 1 記録/メディア設定メニュー ➤「主記録形式」で「XF-AVC（SDカード）」を選択時のみ。
*2 スローモーション記録の場合、設定できる値は撮影フレームレートによって変わる。
*3 設定可能なスピードは、フレームレートや刻み幅の設定によって異なる。
*4 1/100秒、1/60秒、1/50秒、1/40秒、3/100秒、1/30秒、1/25秒相当のアングルも設定可能。設定可能なアングルはフレームレートによって異なる。
*5 スローモーション記録のときは使用できない。

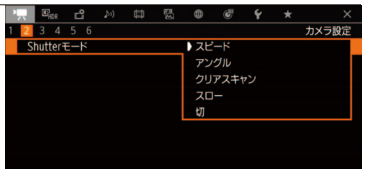
調整する

カメラダイレクト設定の詳細については、74ページをご覧ください。



1 シャッタースピードのモードを選ぶ

① 2 カメラ設定メニュー ➤「Shutterモード」を順に選ぶ。
② いずれかを選ぶ ➤ ジョイスティックを押す



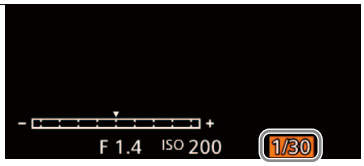
2 「スピード」を選んだとき　設定時の刻み幅を選ぶ

① 2 カメラ設定メニュー ➤「Shutterステップ」を順に選ぶ。
② 「1/3段」または「1/4段」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

3 値を調整する

① SHUTTER（シャッター）ボタンを押す。
- カメラダイレクト設定に入り、設定対象がシャッタースピードに切り換わる。
- FUNCボタンで操作することもできる。

② ジョイスティックを上下に押して数値を選ぶ。
③ ジョイスティックを押す。
- 設定値が決定され、カメラダイレクト設定を終了する。
- 画面のオレンジ色の表示は解除される。



スローによる撮影について

スローを使うと、明るさが不足している場所で被写体を明るく撮影できます。また、動いている被写体をパンするときに背景を流す、ズームに残像効果を加えるなどの特殊効果として使用することもできます。

- 通常の撮影に比べて画質が多少劣化することがあります。

MEMO

人工光源の照明下でフリッカーが気になるとき

- 蛍光灯、水銀灯、ハロゲンライトなどの人工光源の照明下で撮影する場合、設定したシャッタースピードによっては、原理上フリッカーが出ることがあります。フリッカーは、電源の周波数に応じたシャッタースピードを設定すると抑制できることがあります。電源周波数が50Hzのときは1/50秒*、または1/100秒を、60Hzのときは1/60秒、または1/120秒を選んでください。

  * フレームレートによっては選択できません。

小絞りによるボケを防ぐには

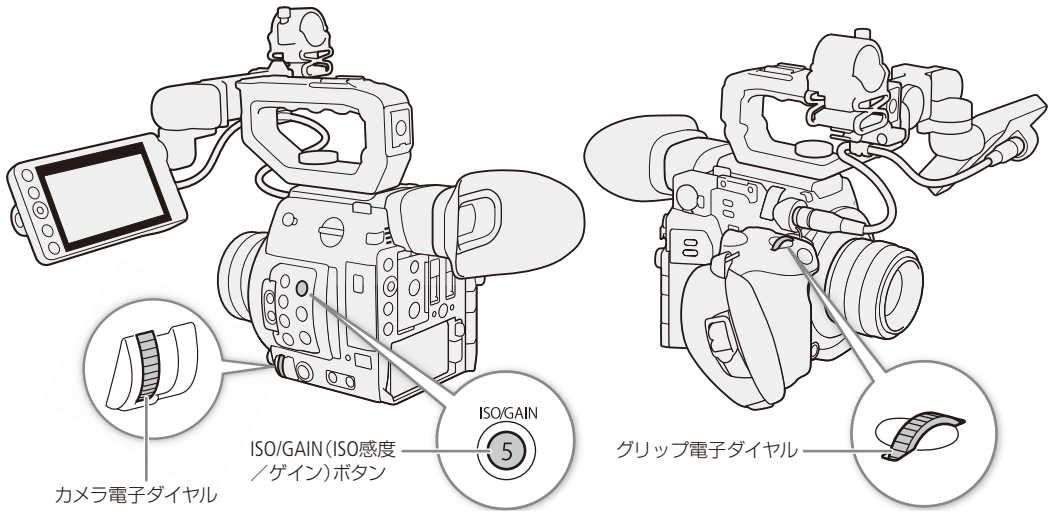
- 晴天下などの明るい場所で撮影するときに絞りを絞り込むと、小絞りによるボケが発生することがあります。この現象は、NDフィルターの濃度を濃くするか、シャッタースピードを高速にして、絞りを開くことによって防止できます。

- シャッタースピードのモードをスローにすると、画面に赤、緑、青の輝点が出ることがあります。このときはシャッタースピードを上げるか、ISO感度／ゲインを下げてください。
- リモートコントローラー RC-V100（別売）のSHUTTER SELECTボタン、SHUTTER上／下ボタンで、シャッタースピードのモード／設定値をそれぞれ切り換えることもできます。

ISO感度／ゲインを調整する

CAMERA | MEDIA | RAW | MP4 | XF-AVC

映像アンプの増幅量をISO感度、またはゲインで設定できます。設定時の刻み幅は、ISO感度／ゲインそれぞれ個別に設定できます。ブラウザーリモート（195）を使って調整することもできます。



設定可能な値

	刻み幅	設定可能な値*1	
			感度拡張時のみ*2
ISO感度	1段	160*3、200、400、800、1600、3200、6400、12800、25600	100、51200、102400
	1/3段	160、200、250、320、400、500、640、800、1000、1250、1600、2000、2500、3200、4000、5000、6400、8000、10000、12800、16000、20000、25600	100、125、32000、40000、51200、64000、80000、102400
ゲイン	ノーマル（3 dB）	−2 dB*3、0 dB ～ 42 dB	−6 dB、 −3 dB、45 dB ～ 54 dB
	ファイン（0.5 dB）	−2 dB ～ 42 dB	42.5 dB ～ 54 dB

*1 推奨のダイナミックレンジを実現するために必要な感度は、Canon Logガンマ／ Wide DRガンマ使用時はISO400（ゲイン6 dB）以上、Canon Log 3ガンマ使用時は、ISO800（ゲイン12 dB）以上。

*2 2 カメラ設定メニュー ➤「ISO/Gain感度拡張」を「入」にすると、推奨以外の感度を選択できる（216）。

*3「ISO/Gain感度拡張」が「切」のときのみ設定可能。

調整する

カメラダイレクト設定の詳細については、74ページをご覧ください。

1 設定方法を選ぶ

① 2 カメラ設定メニュー ➤「ISO/Gain」を順に選ぶ。
② 「ISO」または「Gain」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

2 設定時の刻み幅を選ぶ

「ISO」を選んだとき

① 2 カメラ設定メニュー ➤「ISOステップ」を順に選ぶ。
② 「1段」または「1/3段」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

「Gain」を選んだとき

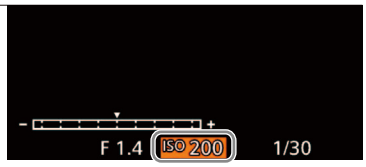
① 2 カメラ設定メニュー ➤「Gainステップ」を順に選ぶ。
② 「ノーマル」または「ファイン」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

3 値を調整する

ISO/GAIN

① ISO/GAIN（ISO感度／ゲイン）ボタンを押す。
- カメラダイレクト設定に入り、設定対象がISO感度／ゲインに切り換わる。
- FUNCボタンで操作することもできる。

② ジョイスティックを上下に押して数値を選ぶ。
③ ジョイスティックを押す。
- 設定値が決定され、カメラダイレクト設定を終了する。
- 画面はオレンジ色の表示が解除される。



■ 電子ダイヤルで調整する

電子ダイヤルにISO感度／ゲインを割り当てると、カメラ本体、またはカメラグリップ GR-V1の電子ダイヤルでISO感度／ゲインを調整できます。なお、カメラ本体とGR-V1の電子ダイヤルに割り当てる機能は、それぞれ個別に設定できます。

1 電子ダイヤルにISO感度／ゲインを割り当てる

① 4 システム設定メニュー ➤「電子ダイヤル（カメラ）」または「電子ダイヤル（本体グリップ）」を順に選ぶ。
② 「ISO/Gain」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

2 電子ダイヤルを回してISO感度／ゲインを調整する

MEMO

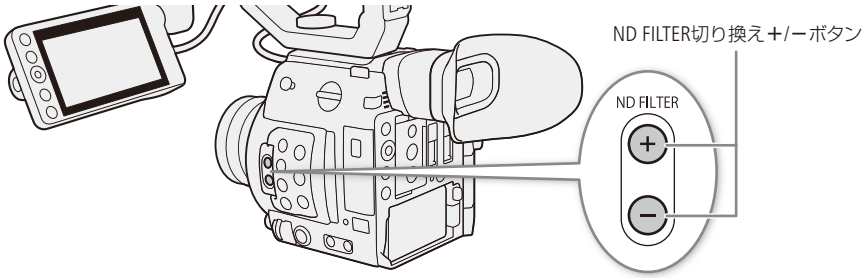
- ISO感度／ゲインを上げると画面が多少ざらつくことがあります。
- ISO感度／ゲインを上げると、画面に赤、緑、青の輝点が出ることがあります。このときはシャッタースピードを上げるか、ISO感度／ゲインを下げてください。
- ISO感度／ゲインの切り換え時、画面にノイズが現れることがあります。撮影中は、ISO感度／ゲインを切り換えないでください。
- 4 システム設定メニュー ➤「電子ダイヤル方向（カメラ）」または「電子ダイヤル方向（本体グリップ）」で、カメラ本体、またはGR-V1の電子ダイヤルの操作方向を個別に変更することができます（231）。
- ISO感度／ゲインの値を、リモートコントローラー RC-V100（別売）のISO/GAIN上／下ボタンを押して調整することもできます。

NDフィルターを切り換える

CAMERA | MEDIA | RAW | MP4 | XF-AVC

NDフィルターを使用することにより、明るい屋外の撮影でもアイリスを開けて被写界深度の浅い映像表現が可能となります*。NDフィルターは標準では3段階から選択でき、拡張設定をすると5段階から選択できます。切り換えは、本機のほかブラウザーリモート（195）を使って操作することもできます。

* アイリスを絞り込んだときに発生する「小絞りによるボケ」の回避にも使用できます。



1 NDフィルターを切り換える

① ND FILTER（NDフィルター）切り換え＋ボタンを押す。

- ＋ボタンを押すたびに、次の順にNDフィルターが切り換わる（－ボタンは逆順）。

  OFF → 2 stops → 4 stops → 6 stops → 8 stops* → 10 stops* → OFF

  * 1 カメラ設定メニュー > 「ND濃度拡張」が「入」のときのみ選択可能。

② 希望のNDフィルターに切り換わるまで①の操作を繰り返す。

- 切り換えたNDフィルターが画面に表示される。

MEMO

- 「ND+」または「ND－」を割り当てたアサインボタンを押して操作することもできます。
- シーンによっては、NDフィルターを入／切すると、わずかに発色が変化することがあります。このときはホワイトバランスをセットして撮影すると効果的です（88）。
- 8 stops ／ 10 stopsと他の濃度を切り換えると、次のようになることがあります。
  - ピントがずれる。レンズの距離目盛りもずれる。
  - レンズによっては無限遠にピントが合わない。

リモートコントローラー RC-V100（別売）を使う

- RC-V100のND切り換えボタンを押して、NDフィルターを切り換え可能（本機のND FILTER切り換え＋ボタンと同じ動作）。
- RC-V100のNDフィルターランプは、2 stops ～ 8 stops選択時はランプの1 ～ 4が点灯し、10 stops選択時はランプの1と4が同時に点灯する。

アイリスを調整する

CAMERA | MEDIA | RAW | MP4 | XF-AVC

被写体の明るさに応じてアイリス（絞り）を調整します。本機では次の3種類の方法でアイリスを調整できます*。設定可能な値（F値）は取り付けたレンズによって異なり、設定時の刻み幅は、「1/2段」、「1/3段」、「ファイン」をメニューで設定できます。

* レンズによって使用できる調整方法が異なる（🕮 271）。

マニュアルアイリス：　カメラ本体／カメラグリップ GR-V1の電子ダイヤルやブラウザーリモート（🕮 195）で手動調整する。

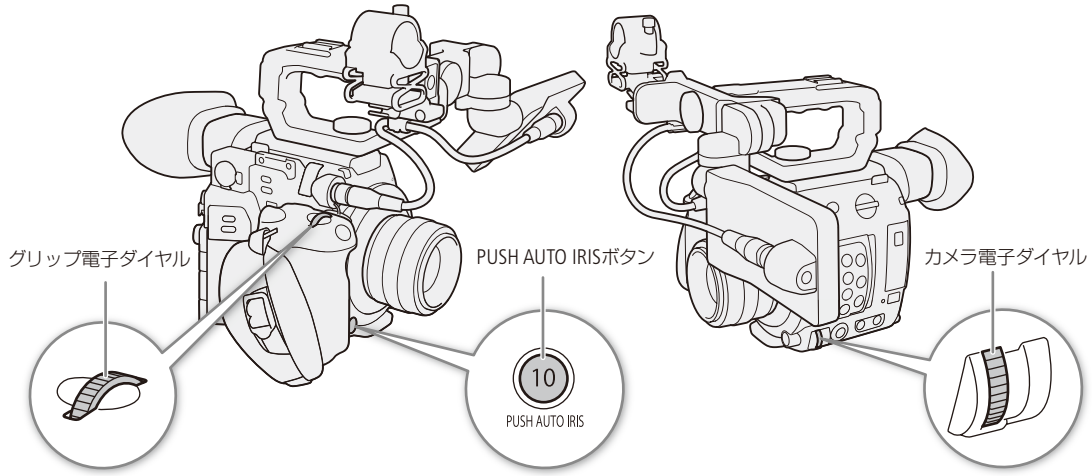
プッシュオートアイリス：PUSH AUTO IRISボタンやブラウザーリモート（🕮 195）で一時的に自動調整する。

オートアイリス：　適正露出になるように常に自動調整する。

カメラからのアイリス調整に対応するEFシネマレンズを使うとき

レンズ側の操作部がレンズによって異なります。詳細はレンズの説明書をご覧ください。

レンズ	レンズの操作部名称	オート
CN7×17 KAS S/E1 CN20×50 IAS H/E1	アイリス動作モード切替えスイッチ	A
CN-E18-80mm T4.4 L IS KAS S CN-E70-200mm T4.4 L IS KAS S	アイリスオート／マニュアル切替えスイッチ	A



■ マニュアルで調整する

EFレンズを装着している場合、電子ダイヤルにアイリスを割り当てると、カメラ本体、またはカメラグリップ GR-V1の電子ダイヤルでアイリスを調整できます。なお、カメラ本体とGR-V1の電子ダイヤルに割り当てる機能は、それぞれ個別に設定できます。

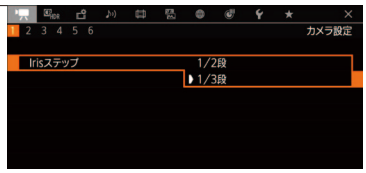
1 アイリスモードをマニュアルに設定する

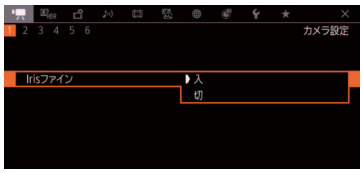
- オートアイリス対応レンズ装着時のみ設定可能。非対応レンズ装着時は「マニュアル」固定となる。

① 1 カメラ設定メニュー ➤「Irisモード」を順に選ぶ。
② 「マニュアル」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

- アイリス調整に対応するEFシネマレンズ装着時は、レンズのアイリス設定をオートにする（82）。

2 設定時の刻み幅を選ぶ





① 1 カメラ設定メニュー ➤「Irisステップ」または「Irisファイン」を順に選ぶ。

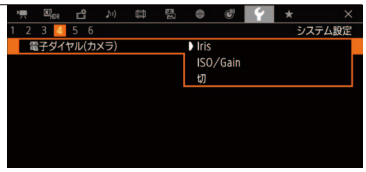
「Irisステップ」を選んだとき

② 「1/2段」または「1/3段」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

「Irisファイン」を選んだとき

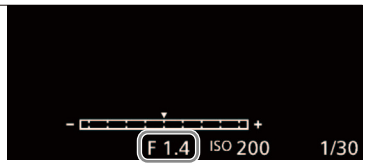
② 「入」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

3 電子ダイヤルにアイリスを割り当てる



① 4 システム設定メニュー ➤「電子ダイヤル（カメラ）」または「電子ダイヤル（本体グリップ）」を順に選ぶ。
② 「Iris」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

4 電子ダイヤルを回してF値を調整する



- 調整したF値が画面に表示される。

MEMO

- 4 システム設定メニュー ➤「電子ダイヤル方向（カメラ）」または「電子ダイヤル方向（本体グリップ）」で、カメラ本体、またはカメラグリップ GR-V1の電子ダイヤルの操作方向を個別に変更することができます（231）。
- 「Iris +」または「Iris −」を割り当てたアサインボタンで操作することもできます（142）。
- 接点のないEFレンズやEFシネマレンズ*を装着しているときは、本機でアイリスを調整できません。レンズ側で調整してください。

* アイリス調整に対応するEFシネマレンズ（271）を除く。

- ズーム操作によりF値が変化するEFレンズを使うときは、1 カメラ設定メニュー ➤「Zoom連動F値補正」で、ズームに連動してF値を補正するかどうかを指定できます（🕮 216）。
- リモートコントローラー RC-V100（別売）でアイリスを調整するときは、RC-V100のIRIS（アイリス）ダイヤルを右に回すとF値が小さくなり、左に回すとF値が大きくなります（初期状態）。
- EFシネマレンズを装着したときは、T値が表示されます。その際、画面に表示されるT値が、レンズの指標と異なることがあります。
- アイリス調整に対応するEFシネマレンズを装着時、アイリスがクローズに近づくとT値が灰色で表示されます。
- アイリス調整に対応するEFシネマレンズを装着して、アイリスがオープン、またはクローズの状態からT値を変更するとき、アイリスが動作するまでに複数回の操作が必要なことがあります。

■ 一時的にオートで調整する（プッシュオートアイリス）

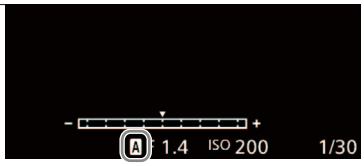
PUSH AUTO IRIS（プッシュオートアイリス）ボタンを押している間、絞りを自動的に調整して適正な露出にします。

1 アイリスモードを設定可能なときはマニュアルに設定する（🕮 83）

- アイリス調整に対応するEFシネマレンズ装着時は、レンズのアイリス設定をオートにする（🕮 82）。

2 PUSH AUTO IRISボタンを押し続ける

- 適正露出になるように絞りが自動的に調整される。
- 画面のF値の左にAが表示され、調整にともなって画面のF値が更新される。



3 PUSH AUTO IRISボタンを離す

- 絞りの自動調整が終了し、ボタンを離したときのF値が固定される。F値の左のAは消える。

MEMO

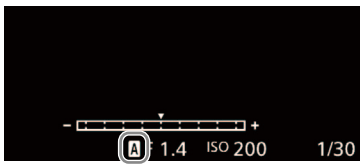
- アイリスを自動で調整するときの応答性を、3 カメラ設定メニュー ➤「AEレスポンス」で設定できます（🕮 217）。
- スローモーション記録のときは、プッシュオートアイリスを使用できません。

オートで調整する（オートアイリス）

対応するEFレンズ（271）を装着しているときは、アイリスを常に自動調整できます。

1 アイリスモードをオートに設定する

① 1 カメラ設定メニュー ➤「Irisモード」を順に選ぶ。
② 「オート」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- アイリス調整に対応するEFシネマレンズ装着時は、レンズのアイリス設定をオートにする（82）。
- 適正露出になるように絞りが自動的に調整される。
- 画面のF値の左にAが表示され、調整にともなって画面のF値が更新される。

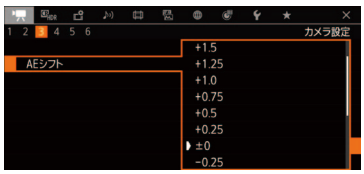


MEMO

- オートアイリス対応レンズ装着時、「Irisモード」を割り当てたアサインボタンで操作することもできます（142）。
- スローモーション記録のときは、オートアイリスを使用できません。
- 次の場合、F値が変わることがあります。
  - EFシネマレンズの内蔵エクステンダーとアイリス補正機能を使用にしていて、オートアイリスからマニュアルアイリスに切り換えたとき。
  - レンズのアイリス設定のオート／マニュアルを切り換えたとき。
- アイリスのゲインを調整できるEFシネマレンズの装着時、レンズのアイリスゲインが高いと撮影シーンによってはハンチング（絞りが不安定になること）が発生することがあります。このときは、レンズのアイリスゲインを初期設定に戻してください。

露出を調整する（AEシフト）

プッシュオートアイリスやオートアイリスで絞りを自動調整するとき、露出を意図的に補正して明るめや暗めに撮影することができます。補正量は−2段〜+2段まで17段階で設定できます。



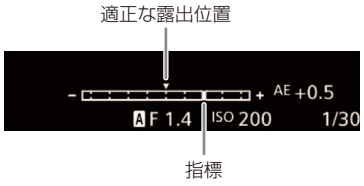
① 3 カメラ設定メニュー ➤「AEシフト」を順に選ぶ。
② いずれかの値を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

−2.0、−1.75、−1.5、−1.25、−1.0、−0.75、−0.5、−0.25、±0、+0.25、+0.5、+0.75、+1.0、+1.25、+1.5、+1.75、+2.0

MEMO

- 「AEシフト+」と「AEシフト−」を割り当てたアサインボタンで操作することもできます（142）。

露出バー

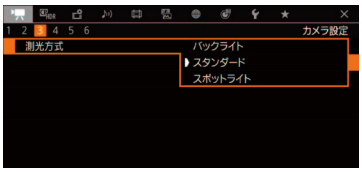


現在の露出位置を露出バー *の指標の位置で確認できます。図の「適正な露出位置」は補正量が±0の時の明るさの目標値を示します。測光方式（🕮 86）を変更すると、適正露出は変化します。

* 1/2段の刻み幅で−2段〜 +2段まで表示でき、この範囲を超えると指標が点滅します。

■ 測光方式を設定する

プッシュオートアイリスやオートアイリスで絞りを自動調整する場合、撮影シーンに合わせて測光方式を設定すると、より適正な明るさで撮影することができます。



① 3 カメラ設定メニュー ➤「測光方式」を順に選ぶ。
② いずれかを選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

バックライト： 逆光のシーンを撮影するとき、画面中の暗部をより明るく制御する。

スタンダード： 画面中央の被写体に重点を置きながら、画面全体を測光する。

スポットライト： スポットライトが当たった被写体を撮影するとき、スポット的に明るくなった部分が最適な明るさになるように制御する。

- バックライトを選ぶと画面に が、スポットライトを選ぶと画面に が表示される。

MEMO

- 「バックライト」または「スポットライト」を割り当てたアサインボタンで操作することもできます（🕮 142）。

ホワイトバランスを調整する

CAMERA | MEDIA | RAW | MP4 | XF-AVC

照明や太陽光などの光源の色温度に応じて、ホワイトバランスを設定することができます。調整のしかたには次の4種類があります。蛍光灯下で撮影するときは、ホワイトバランスセットで調整してください。ブラウザーリモート（195）を使って調整することもできます。

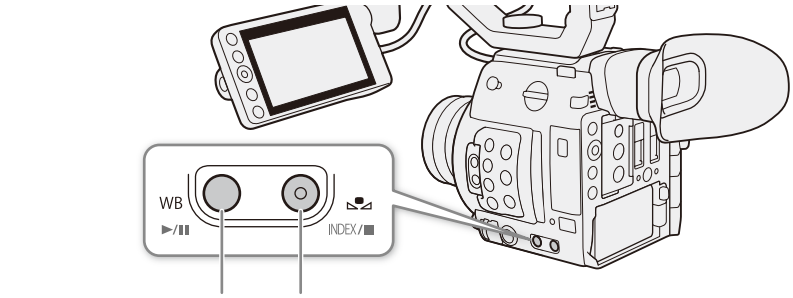
ホワイトバランスセット：　グレーカードや白い無地の被写体を写して基準白色を取り込む。セットAとセットBの2種類の設定を登録できる。

プリセット設定：　「☀（太陽光）」または「☀（電球）」のいずれかを選ぶ。色温度（K）と色補正値（CC）*の微調整が可能。

色温度設定：　2000K ～ 15000Kの範囲で色温度を設定する。色補正値（CC）*の微調整が可能。

オートホワイトバランス（AWB）：　常に適切なホワイトバランスになるように自動調整する。

* マゼンタ／グリーン方向の補正。Color Compensation。



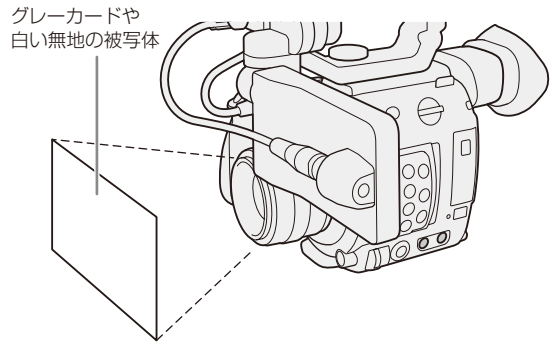
WB（ホワイトバランス）ボタン　（ホワイトバランスセット）ボタン

MEMO

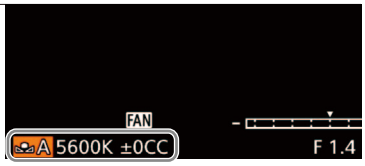
- カスタムピクチャーの「Color Matrix Tuning」または「White Balance」を設定しているときは、それらの設定がホワイトバランス設定より優先されます。
- 3 カメラ設定メニュー ➤「ショックレスWB」を「入」にすると、ホワイトバランスを切り換えたときに値がなめらかに変化します（217）。
- リモートコントローラー RC-V100（別売）のA ／ Bボタン、PRESETボタン、ボタン、AWBボタンを使って、調整することもできます。
- 本機で表示、または設定する色温度は目安です。

ホワイトバランスセットで調整する

実際に撮影する環境下で基準白色を取り込みます。「A」と「B」の2種類の設定を登録できます。



1 調整方法を選ぶ



① WB(ホワイトバランス)ボタンを押す。
- カメラダイレクト設定に入り、設定対象がホワイトバランスに切り換わる。
- FUNCボタンで操作することもできる。

② ジョイスティックを上下に押して、「A」または「B」を選ぶ。

登録済みのホワイトバランスセットを選ぶとき

ジョイスティックを押す。以降の操作は不要。

2 実撮影と同じ照明条件下にグレーカードや白い無地の被写体を置き、画面いっぱいに写す

3 基準白色を取り込んで、登録する

① (ホワイトバランスセット)ボタンを押す。
- カメラダイレクト設定から抜け、「A」または「B」が速く点滅する。
- 調整中は、グレーカードや白い無地の被写体を画面いっぱいに写し続ける。
- 点滅→点灯に変わったら調整完了。調整されたホワイトバランスは電源を切っても記憶されている。

MEMO

ホワイトバランスセットで調整するとき

- 場所や明るさが変わったとき、NDフィルターを切り換えたときは、セットし直してください。
- 光源によっては、ごくまれに が速い点滅→点灯に変わらない(速い点滅から遅い点滅に変わる)ことがありますが、その場合でもオートホワイトバランスより適切に調整されていますので、そのまま撮影できます。
- 調整後に色温度値と色補正値が灰色で表示されることがあります。これは、表示可能な範囲を超えたためで、調整自体は適切に行われています。

プリセット設定／色温度設定で調整する

屋外（太陽光）用／屋内（電球）用にプリセットされた設定を選ぶ、または色温度を指定してホワイトバランスを調整します。色温度は、2000K ～ 15000Kの範囲で設定できます。

1 調整方法を選ぶ

① WB（ホワイトバランス）ボタンを押す。
- カメラダイレクト設定に入り、設定対象がホワイトバランスに切り換わる。
- FUNCボタンで操作することもできる。

② ジョイスティックを上下に押して、「☀（太陽光）」、「☀（電球）」、「K（色温度）」のいずれかを選ぶ。

2 必要に応じて微調整する（📖 89）

ホワイトバランスの設定を微調整する

ホワイトバランスセットとオートホワイトバランス以外の調整方法で行ったホワイトバランス設定は、色温度（K）と色補正値（CC）*の2つの方法で微調整することができます。

* マゼンダ／グリーン方向の補正。Color Compensation。

調整可能な範囲

ホワイトバランスの調整方法	調整可能範囲	
	色温度（K）	色補正値（CC）
☀太陽光	4300K ～ 8000K	−5 CC ～ +5 CC
☀電球	2700K ～ 3700K	
K（色温度）	2000K ～ 15000K	−20 CC ～ +20 CC

1 微調整するホワイトバランスの調整方法を選ぶ（📖 89）

2 微調整する

① (ホワイトバランスセット)ボタンを押す。
- 画面上の調整用入力エリアがオレンジ色で表示される。
- FUNCボタンを押すか、ジョイスティックを右に押して切り換えることもできる。

② ジョイスティックを右に押して、カーソルを微調整値に移動する。

③ ジョイスティックを上下に押して調整する。

④ ジョイスティックを押す。
- 微調整値が決定され、カメラダイレクト設定を終了する。
- 画面のオレンジ色の表示は解除される。

プリセット設定の微調整時

色温度の微調整時

オートホワイトバランス(AWB)で調整する

常に適切なホワイトバランスになるように自動で調整します。光源の色温度が変化すると、ホワイトバランスも自動的に調整し直されます。

1 オートに切り換える

① WB(ホワイトバランス)ボタンを押す。
- カメラダイレクト設定に入り、設定対象がホワイトバランスに切り換わる。
- FUNCボタンで操作することもできる。

② ジョイスティックを上下に押して、AWBを選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- AWBの右に現在の色温度と色補正値が表示される。

MEMO

オートホワイトバランスでうまくいかないとき

次のような条件で撮影する場合、画面の色が不自然なときは(ホワイトバランスセット)で調整してください。
- 照明条件が急に変わる場所での撮影。
- クローズアップ撮影。
- 空や海、森など単一色しか持たない被写体の撮影。
- 水銀灯や一部の蛍光灯／ LED照明下での撮影。

- オートホワイトバランスの応答性を、3 カメラ設定メニュー ➤「AWBレスポンス」で設定できます(217)。
- 「AWBホールド」を割り当てたアサインボタンを押して、オートホワイトバランスの動作を一時停止させることができます。もう一度押すか、他の調整方法に切り換えると解除されます。
- スローモーション記録のときは、オートホワイトバランスを使用できません。

フォーカスを調整する

CAMERA | MEDIA | RAW | MP4 | XF-AVC

フォーカス調整のしかた*1には、次の6種類があり、AFの方式にはデュアルピクセルCMOS AFを使用します。マニュアルフォーカスで調整中は、デュアルピクセルフォーカスガイドやピーキング（輪郭強調）表示、拡大表示などのフォーカスアシスト機能を使うとピントを合わせやすくなります。ブラウザーリモート（195）を使って調整することもできます。

マニュアルフォーカス：　レンズのフォーカスリングを回すか、ブラウザーリモートのフォーカス操作ボタンを押して手動でフォーカスを調整する。

ワンショットAF*2：　ONE-SHOT AFボタンやブラウザーリモートで一時的に自動調整する。

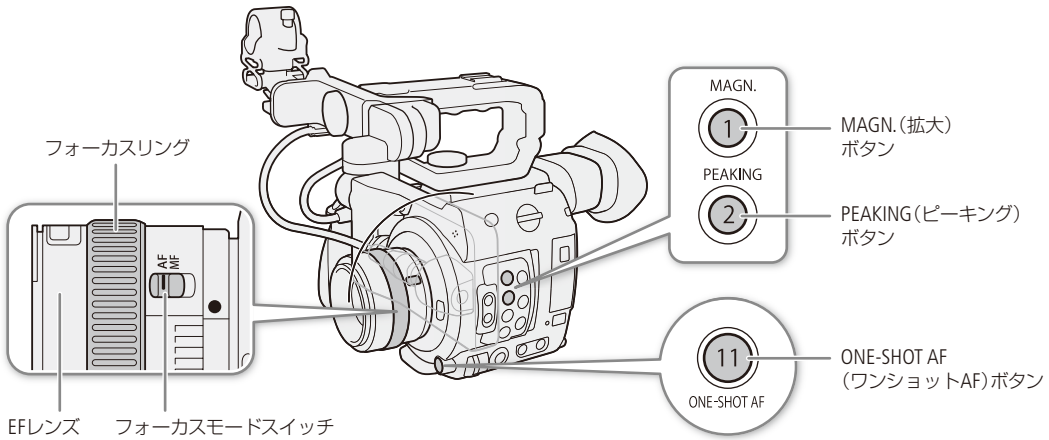
AFブーストMF*2：　大まかな調整はマニュアルで行い、合焦位置に近づくとAFで自動調整する。AFロックでフォーカス位置を固定することも可能。

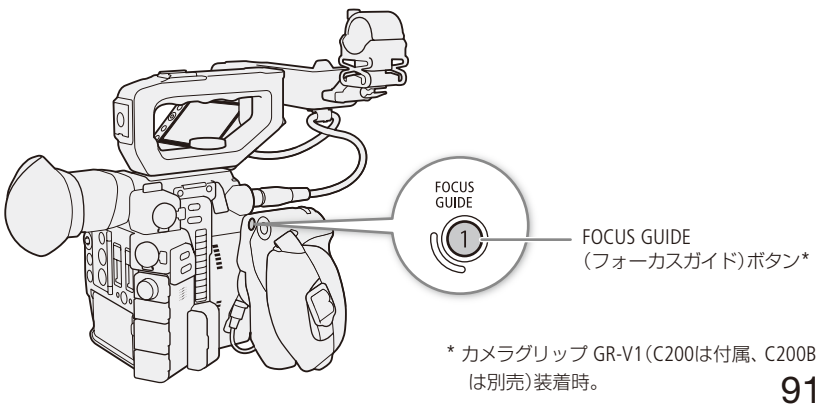
コンティニュアスAF*2：　フォーカスを常に自動調整する。AFロックでフォーカス位置を固定することも可能。

顔検出AF*2：　人物の顔を検出して自動的にピントを合わせ、被写体が動いても追尾する。

追尾*2：　選んだ被写体を認識し、被写体が動いても追尾する。

*1 レンズによって使用できる調整方法が異なる（271）
*2 マニュアルフォーカスレンズ装着時を除く。





* カメラグリップ GR-V1（C200は付属、C200Bは別売）装着時。

調整方法と必要な設定

調整方法		EFレンズのフォーカスモードスイッチ*1	AFモード*2
マニュアルフォーカス	フォーカスリング	MF	—
		AF*3	ワンショット
	ブラウザーリモート	AF	
ワンショットAF	ONE-SHOT AFボタン	AF	ワンショット
	ブラウザーリモート		
AFブーストMF	フォーカスリング＋自動	AF	AFブーストMF
	ブラウザーリモート＋自動	AF	
コンティニュアスAF	自動（カメラ本体）	AF	連続
	自動（ブラウザーリモート）		
顔検出AF*4 ／追尾*5	カメラ本体	AF	ワンショット／AFブーストMF ／連続
	ブラウザーリモート		

*1 フォーカス調整に対応するEFシネマレンズ（🕮 271）の操作については、下表を参照のこと。
*2 4 カメラ設定メニュー ➤「AFモード」の設定。
*3 レンズによってはフォーカスリングによる調整ができないことがある。
*4 5 カメラ設定メニュー ➤「顔検出」を有効にする。
*5 アサインボタンに「追尾」を割り当てて、「追尾」を有効にする。

カメラからのフォーカス調整に対応するEFシネマレンズを使うとき

レンズ側の操作部がレンズによって異なります。詳細はレンズの説明書をご覧ください。

レンズ	レンズの操作部名称	オート	マニュアル
EFレンズ	フォーカスモードスイッチ	AF	MF
CN7×17 KAS S/E1 CN20×50 IAS H/E1	フォーカスサーボ／マニュアル切替えノブ	SERVO	MANU.
CN-E18-80mm T4.4 L IS KAS S CN-E70-200mm T4.4 L IS KAS S	オートフォーカス／マニュアルフォーカス切替えスイッチ	AF	MF

■ マニュアルで調整する

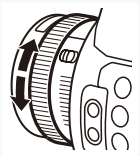
マニュアルでフォーカスを調整します。

1 AFモードを「ワンショット」に設定する

① 4 カメラ設定メニュー ➤「AFモード」を順に選ぶ。
②「ワンショット」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- EFレンズの場合は、レンズのフォーカスモードスイッチをMFにしても良い。フォーカス調整に対応するEFシネマレンズの場合は、レンズのフォーカス設定をマニュアルにしても良い（🕮 92）。

2 フォーカスを合わせたい被写体を決める

① FOCUS GUIDE（フォーカスガイド）ボタンを押す
② 画面中のフォーカスガイド枠をジョイスティックで上下左右に移動するか、フォーカスを合わせたい被写体にタッチ*する
* LCDモニター LM-V1（C200は付属、C200Bは別売）装着時のみ。
- ガイド枠（🕮 93）がタッチした位置に移動する。
- ガイド枠（🕮 93）が表示されていないときは、タッチできない。



3 フォーカスリングを回して、ピントを合わせる

MEMO

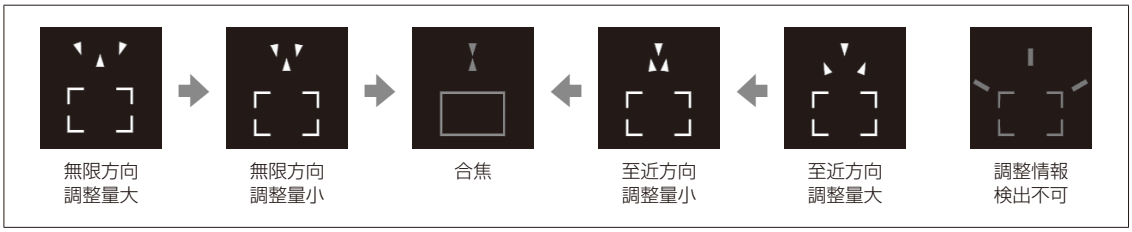
- EFレンズによっては、フォーカスモードスイッチをAFにしたまま、フォーカスリングで調整できるものがあります。
- ピントを合わせたあとでズーム操作を行うと、ピントがズレることがあります。
- 電源を入れたままで放置するとピントがボケることがあります。これはレンズとカメラ内部の温度上昇によってピント面がわずかに移動するためです。撮影を開始する前に再度ピントを確認してください。
- フォーカス調整時にレンズの先端部分やフォーカスリングが動くときは、動いている部分に触れないでください。
- 「フォーカスガイド」を割り当てたアサインボタンで操作することもできます（🕮 142）。
- リモートコントローラー RC-V100（別売）を使うとき、初期設定では、RC-V100のFOCUS（フォーカス）ダイヤルを右に回すと無限方向に、左に回すと至近方向に調整できます。

フォーカスアシスト機能を使う

フォーカスを調整するとき、デュアルピクセルフォーカスガイド、ピーキング（輪郭強調）表示や拡大表示を使うと、ピントが合わせやすくなります。デュアルピクセルフォーカスガイドとピーキング、ピーキングと拡大表示を同時に使うこともできます。

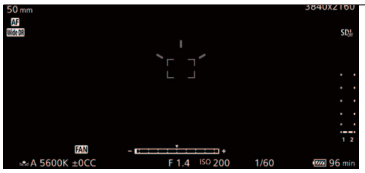
デュアルピクセルフォーカスガイド

FOCUS GUIDE（フォーカスガイド）ボタンを押すと、現在のフォーカス位置から合焦位置への調整方向と調整量を、ガイド枠で視覚的に表示します。ガイド枠の意味（調整方向、調整量）は次のとおりです。「顔検出」と併用すると、ガイド枠は主な被写体と判断した顔の目の付近に表示されます。📷1 アシスト設定メニュー ➤「フォーカスガイド」で入／切することもできます。



フォーカスガイド枠を移動する

フォーカスを合わせたい部分にフォーカスガイド枠（🕮 93）を移動します。フォーカスガイド枠と同時にフォーカスガイドサブ枠を表示することもできます。



1 フォーカスガイド枠を移動する

① ジョイスティックを上下左右に押すか、画面をタッチ*する。

* LCDモニター LM-V1（C200は付属、C200Bは別売）装着時のみ。

● ガイド枠が移動する。

2 必要に応じて、フォーカスガイドサブ枠を表示する

① 1 アシスト設定メニュー ➤「フォーカスガイドサブ枠表示」を順に選ぶ。

②「入」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

● 画面にガイド枠とサブ枠が表示されているときにジョイスティックを押すと、ガイド枠とサブ枠が入れ換わる。

MEMO

● オートフォーカスでピントが合いにくい撮影条件／設定（🕮 99）では、ガイドが正しく表示されないことがあります。

デュアルピクセルフォーカスガイドが使えないとき

- ワンショットAF、AFブーストMF、またはコンティニュアスAFの調整中。
- 現在のF値がF11以上のとき。
- 一部のEFシネマレンズ（🕮 271）を除く、マニュアルフォーカスレンズ装着時。
- デジタルテレコンを「切」以外に設定しているとき。

● デュアルピクセルフォーカスガイドを「顔検出」、「追尾」と併用する場合、顔の向きによっては、ガイドが目の位置からずれることがあります。

ピーキング

ピーキングには、ピーキング1とピーキング2があり、メニューで切り換えて使用します。

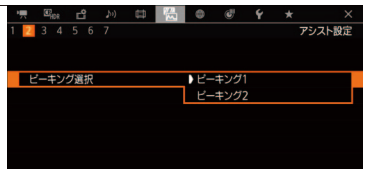
PEAKING

1 PEAKING(ピーキング)ボタンを押す

- 画面に PEAK1 または PEAK2 が表示され、画面の映像の輪郭が合焦状態に応じて強調される。
- もう一度、PEAKINGボタンを押すと、ピーキング表示が解除される。
- 2 アシスト設定メニュー ➤「ピーキング：VIDEO端子」または C200「ピーキング：VF」でピーキング表示を入／切することもできる。

2 ピーキング1、またはピーキング2を選ぶ

① 2 アシスト設定メニュー ➤「ピーキング選択」を順に選ぶ。
②「ピーキング1」または「ピーキング2」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

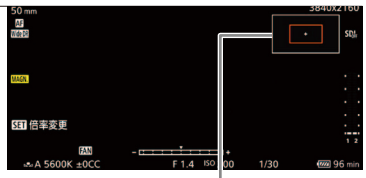


拡大表示

MAGN.

1 MAGN.(拡大)ボタンを押す

- 画面に MAGN. が表示され、画面の中心部*を中心に約2倍に拡大される。
  * 各種AF枠や顔検出枠、フォーカスガイド枠が表示されているときは、枠の中心部となる。
- 拡大領域の位置を示す表示が画面に出る。



2 必要に応じてさらに拡大や拡大位置を移動させる

① ジョイスティックを押すと、拡大倍率が変更されて、約4倍に拡大される。
- もう一度ジョイスティックを押すと、拡大倍率が約2倍に変更される。

② ジョイスティックを上下左右に押すか、画面をドラッグ*して拡大位置を移動させる。
* LCDモニター LM-V1(C200は付属、C200Bは別売)装着時のみ。
- 拡大位置を中央に戻すときはCANCELを押す。
- もう一度MAGN.ボタンを押すと拡大表示が解除される。

MEMO

ピーキング／拡大表示を使うとき

- ピーキングの色、ゲイン、周波数は、 2 アシスト設定メニュー ➤「ピーキング1」または「ピーキング2」でそれぞれ設定できます。
- ピーキングはVIDEO端子または C200 ファインダーに出力できます。各出力はメニューで個別に入／切できます(📖 226)。拡大表示はVIDEO端子、C200 ファインダー、出力端子(SD端子またはHDMI OUT端子*)に出力できます(📖 226)。
  * 4K(3840×2160)出力時は除く。
- 2 アシスト設定メニュー >「ピーキング有効時白黒」または 3 アシスト設定メニュー ➤「Magnification有効時白黒」(📖 226)を「入」にすると、画面を自動的に白黒表示にできます。
- 記録される動画／静止画には影響しません。

■ 拡大表示中に 1 記録/メディア設定メニュー ➤「主記録形式」、または 2 記録/メディア設定メニュー ➤「解像度/カラーサンプリング」を設定したときは、拡大表示が解除されます。

● カラーバーの表示中は、ピーキングや拡大表示、波形モニターが使用できません。

■ ワンショットAFで調整する

AF枠内の被写体に自動でピントを合わせます。操作を行ったときに1度だけ合焦動作を行います。AF枠の位置・サイズは変更できます。

1 EFレンズのフォーカスモードスイッチをAFにする

● フォーカス調整に対応するEFシネマレンズの装着時は、レンズのフォーカス設定をオートにする（🕮 92）。

● 画面にAFが表示される。

2 AFモードを「ワンショット」に設定する

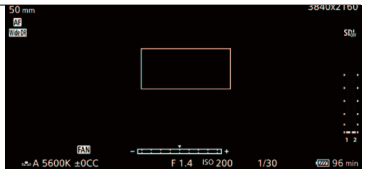
① 4 カメラ設定メニュー ➤「AFモード」を順に選ぶ。

② 「ワンショット」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

③ 必要に応じてAF枠の位置／サイズを変更する（🕮 100）。

3 ONE-SHOT AFボタンを押し続ける

● 画面に白い枠（ワンショットAF枠）が表示され、自動的にフォーカスの調整を行う。顔検出AF（🕮 100）使用中は、主な被写体と判断した顔の枠が白いAF枠に変わる。



● ピントが合うと、枠が緑色に変わる。ピントが合わないときは、枠が赤色に変わる。

● ONE-SHOT AFボタンを離すと枠が消える。

MEMO

ワンショットAFが動作しないとき

■ スローモーション記録のとき。

■ シャッタースピードのモードがスローで、設定値が1/4秒または1/3秒のとき。

■ 顔検出AFが「顔限定」で、顔が検出されていないとき。

■ デジタルテレコンを「切」以外に設定しているとき。

● 現在のF値がF11以上のときは、従来方式（コントラストAF）で調整します。

AFブーストMFで調整する

ねらった被写体に対して、大まかなフォーカス調整をマニュアルで行い、合焦位置に近づくとAFで自動調整します。4K撮影でピントが甘くなるのを防ぎたいときなどに使用します。また、調整情報が検出できないときに不確実な調整動作を行わないため、コンティニュアスAFよりも安定して調整できます。

1 EFレンズのフォーカスモードスイッチをAFにする

- フォーカス調整に対応するEFシネマレンズの装着時は、レンズのフォーカス設定をオートにする（92）。
- 画面にAFが表示される。

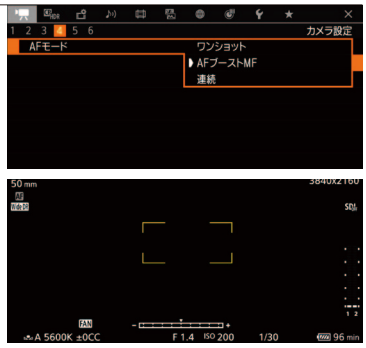
2 AFモードを「AFブーストMF」に設定する

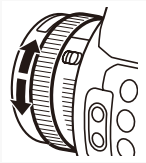
① 4 カメラ設定メニュー ➤「AFモード」を順に選ぶ。

② 「AFブーストMF」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

- フォーカス位置が手動調整領域内のときは、画面に黄色の枠（AFブーストMF枠）が表示される。

③ 必要に応じてAF枠の位置／サイズを変更する（100）。





3 フォーカスリングを回して、調整する

- フォーカス位置が合焦位置に近づき自動調整領域に入ると、画面の枠が白色に変わり、自動的にピント合わせを行う。
- フォーカス位置が自動調整領域内にある間は、常に自動調整する。

コンティニュアスAFで調整する

画面中央の縦横それぞれ80%のエリア内の被写体を対象にして、フォーカスを常に自動調整します。

1 EFレンズのフォーカスモードスイッチをAFにする

- フォーカス調整に対応するEFシネマレンズの装着時は、レンズのフォーカス設定をオートにする（92）。
- 画面にAFが表示される。

2 AFモードを「連続」に設定する

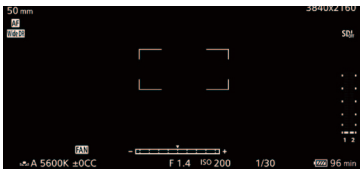
① 4 カメラ設定メニュー ➤「AFモード」を順に選ぶ。

② 「連続」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

- 画面に白い枠（コンティニュアスAF枠）が表示され、継続したピント合わせを行う。

③ 必要に応じてAF枠の位置／サイズを変更する（📖 100）。

- 顔検出AF（📖 100）使用中は、主な被写体と判断した顔に白い枠が表示される。



MEMO

- オートフォーカスで調整するときにピントが合う位置は、被写体条件や明るさ、ズーム位置などの撮影条件によってわずかに変動します。撮影を開始する前に再度ピントを確認してください。

ピント合わせに時間がかかるとき

- フレームレートが29.97P、25.00P、24.00P、23.98Pのいずれかのとき。
- 一部のEFレンズでは、ピントが合うまでの時間がかかったり、適切なピント合わせができないことがあります。詳細情報については、キヤノンのホームページでご確認ください。

オートフォーカスの調整速度や応答性を変更するとき

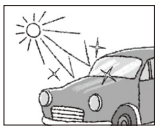
対応するEFレンズ装着時はオートフォーカスの調整速度や応答性を変更できます。対応レンズの詳細については、キヤノンのホームページをご覧ください。

- 4 カメラ設定メニュー ➤「AFスピード適用条件」で、AFスピードの設定が常に有効か、記録中のみ有効かを選択できます（📖 217）。
- 4 カメラ設定メニュー ➤「AFスピード」で、AFスピード*を10段階で選択できます（📖 217）。
  * ピントが合うまでの速度。
- 4 カメラ設定メニュー ➤「AFレスポンス」で、AFの応答性を7段階で選択できます（📖 217）。
- コンティニュアスAFで調整中にONE-SHOT AFボタンを押し続けると、一時的に最大のAFスピード／応答性で調整します。ピントが大きく外れた状態から素早く合焦させたいときや、合焦状態を維持して被写体に追従したいときなどに使用します。

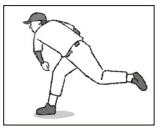
コンティニュアスAF が動作しないとき

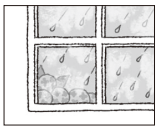
- フォーカスモードスイッチがないEFレンズを装着時。
- アイリスの調整中。オートアイリスに対応したEFレンズ（📖 271）装着時を除く。
- REMOTE端子に接続したリモコンでフォーカス操作中。
- スローモーション記録のとき。
- デジタルテレコンを「切」以外に設定しているとき。

オートフォーカスでピントが合いにくい撮影条件


強い光が反射

明暗差がない


動きが速い


水滴が付いた
ガラス越しの撮影

夜景

繰り返し模様

- ISO感度／ゲインの感度を拡張して（🕮 78）、拡張領域のISO/Gain値を設定しているとき
- カスタムピクチャーのガンマ（🕮 146）をCanon LogなどのLogガンマ、またはWide DRに設定したとき
- 絞りを小絞りに設定したとき
- 遠近の被写体が同時に含まれるとき

フォーカス位置を固定する（AFロック）

コンティニュアスAF、またはAFブーストMF中にフォーカス位置を固定することができます。「AFロック」を割り当てたアサインボタン（🕮 142）を押して操作します。

例：　カメラアサイン8ボタンに「AFロック」を割り当てる場合

1　カメラアサイン8ボタンに「AFロック」を割り当てる（🕮 142）

FUNC

2　オートフォーカスの動作中　カメラアサイン8ボタンを押す

- フォーカスが固定され、画面の白い枠（AF枠）とAFが灰色に変わる。顔を検出中は、主な被写体の顔に灰色の枠が表示される。
- もう一度押すと解除される。

MEMO

AFロックが自動的に解除されるとき

- 電源の切／入、システム周波数の変更を行ったとき。
- レンズを着脱したとき。
- AFモードを「ワンショット」に変更したとき。
- スローモーション記録のとき。
- デジタルテレコンを「切」以外に設定しているとき。

■ AF枠の位置／サイズを変更する

オートフォーカスで調整するときに、画面に表示されるAF枠の位置・サイズを変更することができます。

1 AF枠の位置を変更する

① 4 カメラ設定メニュー ➤「AF枠位置」を順に選ぶ。

② いずれかを選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

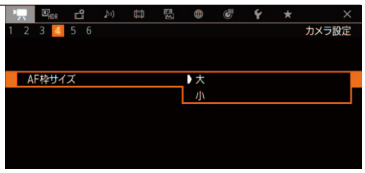
可動： AF枠の位置を変更可能。

中央固定： AF枠は中央に固定。

③ 「可動」を選んだとき ジョイスティックを上下左右に押すか、画面をタッチ*してAF枠の位置を変更する。CANCELを押すと、中央に戻る。

* LCDモニター LM-V1（C200は付属、C200Bは別売）装着時のみ。

2 AF枠のサイズを変更する



① 4 カメラ設定メニュー ➤「AF枠サイズ」を順に選ぶ。

② いずれかを選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

大： 標準的なAF枠のサイズ。

小： 「大」の横幅を1/3にしたサイズ。

MEMO

● デジタルテレコンを「切」以外に設定する、またはEF-Sレンズを「入」に設定すると、AF枠の位置が中央に戻ります。

■ 顔を検出してフォーカスを合わせる（顔検出AF）

人物の顔を検出して、検出した複数の人物の中からメインの被写体を自動的に決定し、メインの被写体が動いても自動的に追尾します。オートフォーカス機能を併用すれば、メインの被写体に自動的にピントを合わせることができます（顔検出AF）。また、デュアルピクセルフォーカスガイドを使用すれば、メインの被写体に手動でフォーカス調整することもできます。さらに、メインの被写体を変更することもできます。

1 顔検出を有効にする

① 5 カメラ設定メニュー ➤「顔検出」を順に選ぶ。

② 「入」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

● 「切」を選ぶと顔の検出を行わない。

③ 5 カメラ設定メニュー ➤「顔検出AF」を順に選ぶ。

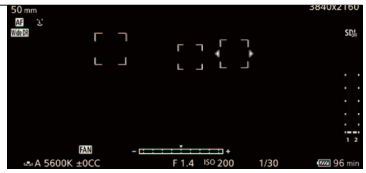
④ 顔が検出されないときの動作を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

顔優先：AFモードの設定に応じた調整方法になる。

顔限定：ピントが固定される。

● 画面に（顔優先）または（顔限定）が表示される。

2 カメラを人物に向ける



- 検出したすべての顔に枠が表示される。複数の顔が検出されたときはメインの被写体を自動的に決定し、メインの被写体の顔の枠に◀と▶が付く。
- コンティニュアスAFのときは、メインの被写体と判断した顔に継続してピントを合わせる。
- ワンショットAFのときは、ONE-SHOT AFボタンを押すと、メインの被写体と判断した顔にピントを合わせる。
- 追尾（🕮 102）と併用すると、メインの被写体を確実に追尾することができる。

フォーカス対象の人物を選ぶとき

ジョイスティックを左右に押すか、フォーカス対象の人物をタッチすると、メインの被写体が切り換わる。

AFモード／フォーカス操作と顔検出AFの動作

AFモード	フォーカス操作	顔検出AF			
		顔優先		顔限定	
		顔の検出あり	顔の検出なし	顔の検出あり	顔の検出なし
ワンショットAF	ボタン押下なし（マニュアルフォーカス）	マニュアルフォーカス			
	ボタン押下あり（ワンショットAF動作中）	検出した顔に合焦	AF枠内の被写体に合焦	検出した顔に合焦	マニュアルフォーカス
コンティニュアスAF	自動調整				
AFブーストMF	自動調整中				
	自動調整していないとき（黄色の枠が表示中）	マニュアルフォーカス			

MEMO

顔が検出されない主な例

- 顔が画面全体に対して極端に小さい、大きい、暗い、または明るいとき。
- 顔が横や斜めを向いていたり、顔の一部が隠れたりしているとき。顔が上下逆さまのとき。

顔検出AFが使用できない場合

- シャッタースピードが1/30秒未満（システム周波数が59.94 Hz時）、1/25秒未満（同50.00 Hz時）、1/24秒未満（同24.00 Hz時）のとき。
- スローモーション記録モードのとき。
- マニュアルフォーカスレンズ装着時。
- デジタルテレコンを「切」以外に設定しているとき。

- 人物以外の被写体を、誤って顔として検出することがあります。そのときは「顔検出」を「切」にしてください。
- 「顔検出」や「顔検出AF」を割り当てたアサインボタンを押して、それぞれの操作をすることもできます（🕮 142）。

■ 選んだ被写体を追尾する

ねらった被写体を追尾し、AFモードの設定に応じて、追尾対象の被写体にピントを合わせることができます。

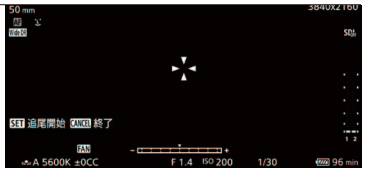
例：カメラアサイン8ボタンに「追尾」を割り当てる場合

1 カメラアサイン8ボタンに「追尾」を割り当てる（142）

2 カメラアサイン8ボタンを押す

- 追尾待機モードになり、画面に[ ]が表示される。
- カメラアサイン8ボタン、またはCANCELを押すと追尾待機モードを終了する。

3 追尾する被写体を選ぶ



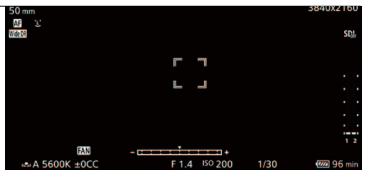
① ジョイスティックを上下左右に押して、[ ]の中央を被写体に合わせる ➤ ジョイスティックを押す。

- 画面内の被写体をタッチ*しても、追尾を開始できる。

* LCDモニター LM-V1（C200は付属、C200Bは別売）装着時のみ。

- 追尾に失敗（[ ]が約1秒間赤色になる）したときは、もう一度被写体を選ぶ。
- コンティニュアスAFのときは、被写体にピントを合わせ続ける。
- ワンショットAFのときは、ONE-SHOT AFボタンを押すと、被写体にピントを合わせる。
- ジョイスティック、またはカメラアサイン8ボタンを押すと、追尾を終了して追尾待機モードに戻る。
- CANCELを押すと追尾を終了し、AFモードに応じたAF枠が表示される。

4 [ ]が追尾枠に変わり、選んだ被写体の追尾が開始される



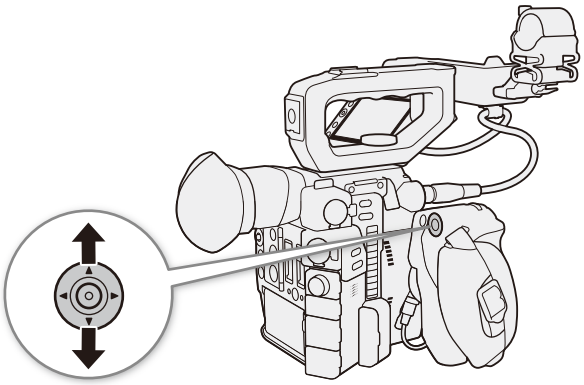
MEMO

- 特徴が似た別の被写体を誤って追尾することがあります。そのときは、被写体を選択しなおしてください。

ズームを操作する

CAMERA | MEDIA | RAW | MP4 | XF-AVC

ズーム調整に対応するEFシネマレンズ、またはパワーズームアダプター PZ-E1（別売）を装着したEFレンズ（271）を取り付けると、本機からズームを操作することができます。また、ブラウザーリモート（195）から操作することもできます。



カメラからのズーム調整に対応するEFシネマレンズを使うとき

レンズ側の操作部がレンズによって異なります。詳細はレンズの説明書をご覧ください。

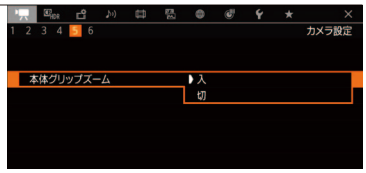
レンズ	レンズの操作部名称	オート
CN7×17 KAS S/E1 ／ CN20×50 IAS H/E1	ズームサーボ／マニュアル切替えノブ	SERVO
CN-E18-80mm T4.4 L IS KAS S CN-E70-200mm T4.4 L IS KAS S	ズーム切替えノブ	SERVO
EF-S 18-135mm F3.5-5.6 IS USM*1	ズームモードスイッチ*2	PZ（パワーズーム）*3

*1 PZ-E1装着時　*2 PZ-E1の操作部名称　*3 PZ-E1の設定値

1 レンズのズーム設定をSERVOにする

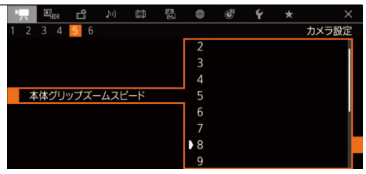
2 ズーム操作を有効にする

① 5 カメラ設定メニュー ➤「本体グリップズーム」を順に選ぶ。
② 「入」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。



3 ズームスピードを選ぶ

① 5 カメラ設定メニュー ➤「本体グリップズームスピード」を順に選ぶ。
② 「1」から「16」のいずれかを選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
● ズームスピードは固定速で、値が大きいほど高速になる。



4 カメラ本体のグリップのジョイスティックを上下に操作して、ズームを調整する

● 上に操作すると望遠（テレ）方向に、下に操作すると広角（ワイド）方向に調整できる。

MEMO

- リモートコントローラー RC-V100(別売)のZOOMダイヤルを使って、調整することもできます。
- ズームスピードを低速に設定していると、レンズの動き出しまでに時間がかかることがあります。
- 5 カメラ設定メニュー ➤「デジタルテレコン」でデジタルズームの倍率 (約1.5倍、3倍、6倍)を選ぶことができます*。
  * 映像をデジタル処理するため、ズームの全域で映像が粗くなります。
- アサインボタンに「デジタルテレコン」を割り当てると、アサインボタンを押して「デジタルテレコン」で設定した倍率に切り換えられます (142)。

マーカー／ゼブラパターンを表示する

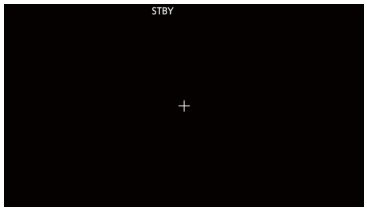
CAMERA | MEDIA | RAW | MP4 | XF-AVC

撮影時、画面に各種マーカーやゼブラパターンを表示することができます。これらの表示はC200ファインダーとVIDEO端子、出力端子*（SDI端子またはHDMI OUT端子）に出力でき、個別に入/切できます（📖 227）。記録される映像には影響しません。

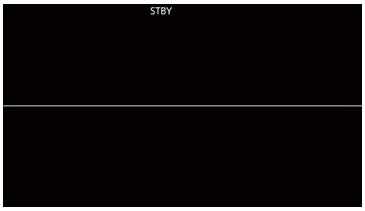
* ゼブラパターンは除く。

マーカーを表示する

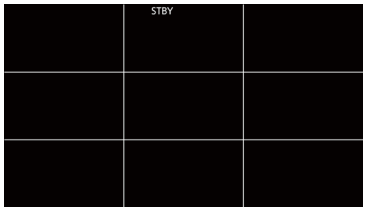
構図を決める際のガイドとして、次の5種類のマーカーを表示することができます。



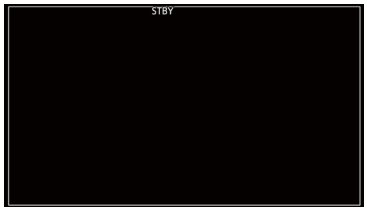
センターマーカー



水平マーカー



グリッド



セーフティーゾーンマーカー *1

アスペクトマーカー *2

*1 セーフティーゾーンの領域は基準となる領域と、それに対する面積で設定できます。

*2 アスペクト 比 は「4:3」、「13:9」、「14:9」、「16:9」、「1.375:1」、「1.66:1」、「1.75:1」、「1.85:1」、「1.90:1」、「2.35:1」、「2.39:1」の11個、または任意のカスタム比から選択できます。

マーカー表示を有効にする

マーカー表示を有効にします。ここで有効にしないと、マーカーを選んだだけでは表示されません。

① 6 アシスト設定メニュー ➤「マーカー：VF+VIDEO端子」*または「マーカー：SDI/HDMI」を順に選ぶ。

* C200B「マーカー：VIDEO端子」

② 「入」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

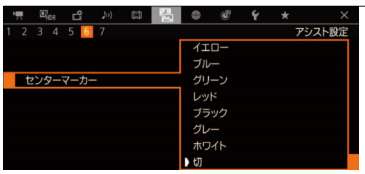
- マーカーが表示可能*になる。
- マーカー表示をしないときは、ここで「切」を選ぶ。

* HDMI OUT端子は4K（3840×2160）59.94P ／ 50.00P出力時を除く。

表示したいマーカーを選ぶ

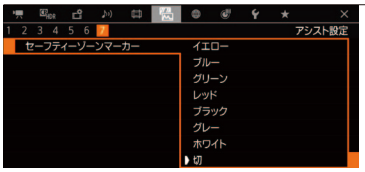
異なるマーカーを同時に表示することができます。ここでまず、表示したいマーカーを選択し、必要に応じて個別の設定をします。

例：センターマーカーとセーフティーゾーンマーカーを選択する場合



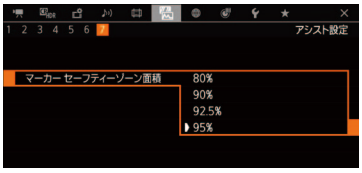
1 表示するマーカー（センターマーカー）を選ぶ

① 6 アシスト設定メニュー ➤「センターマーカー」を順に選ぶ。
②「切」以外を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- 指定した色のセンターマーカー表示が選択される。
- センターマーカー表示を解除するときは、ここで「切」を選ぶ。



2 表示するマーカー（セーフティーゾーンマーカー）を選ぶ

① 7 アシスト設定メニュー ➤「セーフティーゾーンマーカー」を順に選ぶ。
②「切」以外を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- 指定した色のセーフティーゾーンマーカー表示が選択される。
- セーフティーゾーンマーカーを表示しないときは、ここで「切」を選ぶ。



3 マーカー（セーフティーゾーンマーカー）の個別設定（セーフティーゾーン基準、セーフティーゾーン面積）を行う

① 6 アシスト設定メニュー ➤「アスペクトマーカー」を順に選ぶ。
②「切」以外を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- アスペクトマーカーの表示が有効になる。

③ 7 アシスト設定メニュー ➤「マーカー セーフティーゾーン基準」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
④「映像全体」または「アスペクトマーカー領域」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
⑤ 7 アシスト設定メニュー ➤「マーカー セーフティーゾーン面積」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
⑥「80%」、「90%」、「92.5%」、「95%」のいずれかを選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- 選択した基準と面積を元にセーフティーゾーンの領域が変更される。

MEMO

アスペクトマーカーのアスペクト比をカスタマイズするには

① 6 アシスト設定メニュー ➤「マーカー アスペクト比」で「カスタム」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
② 6 アシスト設定メニュー ➤「マーカー カスタムアスペクト比」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
③ ジョイスティックを上下に押して値を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
④ ③を繰り返して任意のアスペクト比を入力し、「セット」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

- 他の画面表示を消して、マーカーだけを表示することもできます（66）。
- 「マーカー：すべて」を割り当てたアサインボタンを押して、マーカー表示を入／切することもできます（142）。

ゼブラパターンを表示する

露出オーバーで白とびするおそれがある領域に、縞状のパターンを表示することができます。ゼブラパターンには「ゼブラ1」と「ゼブラ2」の2種類があり、2つを同時に表示することもできます。

ゼブラ1
　設定した輝度レベル±5%の領域にゼブラパターン1を表示する。輝度レベルは5±5% ～ 95±5%の範囲（5%刻み）で設定可能。

ゼブラ2
　設定した輝度レベル以上の領域にゼブラパターン2を表示する。輝度レベルは0% ～ 100%の範囲（5%刻み）で設定可能。

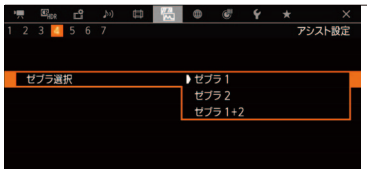
ゼブラ1+ゼブラ2
　ゼブラ1とゼブラ2を同時に表示する。

ゼブラパターン表示を入／切する

ZEBRA（ゼブラ）ボタンを押す。4 アシスト設定メニュー ➤「ゼブラ：VIDEO端子」または C200「ゼブラ：VF」で入／切することもできます。

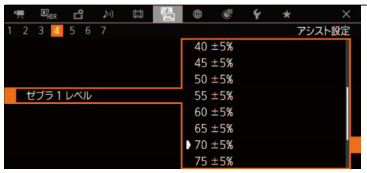
ゼブラパターンを選ぶ

表示するゼブラパターンを選び、輝度レベルを設定します。



1 ゼブラパターンを選ぶ

① 4 アシスト設定メニュー ➤「ゼブラ選択」を順に選ぶ。
②「ゼブラ1」、「ゼブラ2」、「ゼブラ1+2」のいずれかを選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。



2 ゼブラパターンの輝度レベルを設定する

① 4 アシスト設定メニュー ➤「ゼブラ1レベル」または「ゼブラ2レベル」を順に選ぶ。
② 輝度レベルを選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

MEMO

- ゼブラパターンはVIDEO端子または C200 ファインダーに出力できます。各出力はメニューで個別に入／切できます（📖 226）。

タイムコードを設定する

撮影時に内蔵のタイムコードジェネレーターでタイムコードを生成できます。生成したタイムコードは、映像とともに記録メディアに記録されるほか、SDI端子、またはHDMI OUT端子に出力できます。再生時は、記録メディアから読み出したタイムコードをSDI端子に出力できます。また、「システム周波数」が「59.94 Hz」のときは、ドロップフレームとノンドロップフレームを選択できます。

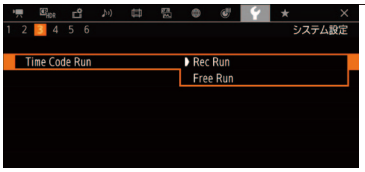
■ カウントアップ方式を選ぶ

CAMERA | MEDIA | RAW | MP4 | XF-AVC

歩進モード	歩進方法	内容
Preset（プリセット）	Rec Run（レックラン）	タイムコードは記録時に歩進する。タイムコードの初期値は任意に設定可能。同一のメディアに記録している間、タイムコードは記録したクリップの順で連続する。
	Free Run（フリーラン）	タイムコードは、記録状態に関係なく常に歩進する。初期値は任意に設定可能。
Regen.（リジェネ）	–	タイムコードは記録時に歩進する。記録メディアに記録されている最後のタイムコードを読み出し、その続きから歩進する。同一のメディアに記録している間、タイムコードは記録したクリップの順で連続する。

1 歩進モードを選ぶ

① 3 システム設定メニュー ➤「Time Codeモード」を順に選ぶ。
② 「Preset」または「Regen.」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- 「Regen.」を選んだときは、以降の操作は不要。



2 「Preset」を選んだ場合　歩進方法を選ぶ

① 3 システム設定メニュー ➤「Time Code Run」を順に選ぶ。
② 「Rec Run」または「Free Run」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

3 「Preset」を選んだ場合　任意の初期値を設定する

① 3 システム設定メニュー ➤「Time Code設定」を順に選ぶ。
- 「リセット」を選びジョイスティックを押すと、タイムコードが「00:00:00.00」（NDF時は「00:00:00:00」）にリセットされる。「Free Run」を選んでいるときは、リセット後のタイムコードから歩進を続ける。

② 「変更」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- タイムコードの設定画面が表示され、「時」の桁が選択される。
- 設定を途中で中止するときはCANCELを押す。

③ ジョイスティックを上下に押して数値を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
④ ③の操作を繰り返して、「分」、「秒」、「フレーム」の数値を選ぶ ➤「セット」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- 「Free Run」を選んでいるときは、この時点で設定値のタイムコードから歩進する。

ドロップフレーム／ノンドロップフレームを切り換える

CAMERA | MEDIA | RAW | MP4 | XF-AVC

ドロップフレーム（DF）、またはノンドロップフレーム（NDF）を切り換えることができます。なお、フレームレートが29.97P、59.94i、59.94P以外のときはNDFに固定されます。

① 3 システム設定メニュー ➤「Time Code DF/NDF」を順に選ぶ。
② 「DF」または「NDF」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- DFとNDFで画面上のタイムコード表示が次のように異なる。
  DFのとき　00：00：00．00
  NDFのとき　00：00：00：00

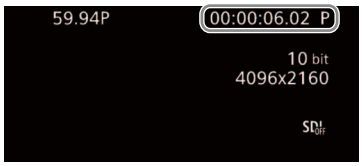
タイムコードを保持する（タイムコードホールド）

CAMERA | MEDIA | RAW | MP4 | XF-AVC

「Time Codeホールド」を割り当てたアサインボタン（142）を押すと画面に表示されるタイムコードを保持できます*。タイムコード保持中は、画面に「**H**」が表示されます。なお、保持中でもタイムコードは歩進し、保持を解除すると歩進していたタイムコードが表示されます。

* SDI端子、またはHDMI OUT端子に重畳されるタイムコードはホールドされません。HDMI OUT端子の出力映像に表示されるタイムコードはホールドされます。

タイムコードの表示について



R：　Regen.（リジェネ）設定時
P：　Rec Run（レックラン）設定時
F：　Free Run（フリーラン）設定時
H：　タイムコードホールド時
表示なし：再生時

MEMO

- タイムコードのフレームカウントは、フレームレートが23.98P / 24.00Pのときは0 ～ 23、25.00P / 50.00i / 50.00Pのときは0～24、それ以外は0～29となります。ただし、フレームレートが23.98P / 24.00Pで「SDI/HDMIスキャンモード」（175）を「PsF」に設定しているときは、0 ～ 29となります。
- インターバル記録、フレーム記録、スローモーション記録のときは、「Free Run」は使用できません。また、プレ記録のときは「Free Run」固定となり、カウントアップ方式は設定できません。
- インターバル記録、フレーム記録、スローモーション記録のときは、SDI端子、またはHDMI OUT端子にタイムコードを出力できません。
- ドロップフレーム、ノンドロップフレームを混在させて録画すると、撮影開始時のタイムコードが不連続になることがあります。
- 内蔵のリチウム電池の残量があれば、バッテリーなどの電源がなくても、フリーランタイムコードは歩進します。
- 「Time Code」を割り当てたアサインボタンを押して、3 システム設定メニューを表示することができます（142）。

ユーザービットを設定する

CAMERA | MEDIA | RAW | MP4 | XF-AVC

8桁の16進数（0 ～ 9、A ～ Fの英数字）、時刻、または日付（年月日）をユーザービットとして設定し、RAW形式やXF-AVC形式の映像と一緒に記録できます。ユーザービットには、撮影情報や記録した映像の管理情報など、映像に付加したい情報を自由に設定することができます。また、ユーザービットは、SDI端子やHDMI OUT端子に出力できます。

■ 任意の16進数を設定する

1 「設定」を選ぶ

① 3 システム設定メニュー ➤「User Bit タイプ」➤「設定」を順に選ぶ。
- 「リセット」を選びジョイスティックを押すと、ユーザービットが「00 00 00 00」にリセットされる。

② 「変更」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- ユーザービットの設定画面が表示され、一番左の桁が選択される。
- 設定を途中で中止するときはCANCELを押す。

2 8桁の任意の16進数を入力する

① ジョイスティックを上下に押して英数字を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

② ①の操作を繰り返して、残りの桁の英数字を選ぶ ➤「セット」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

■ 時刻、または日付を設定する

① 3 システム設定メニュー ➤「User Bit タイプ」を順に選ぶ。

② 「時刻」または「日付」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

音声を記録する

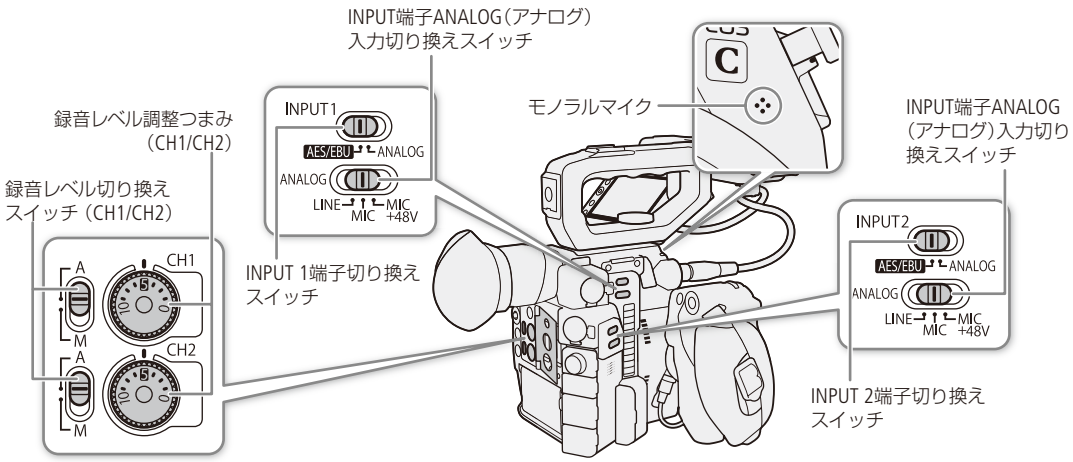
CAMERA | MEDIA | RAW | MP4 | XF-AVC

本機では、4チャンネルのリニアPCM記録方式の音声、または2チャンネルのMPEG-2 AAC-LC記録方式の音声*1を記録／再生できます。サンプリング周波数は48kHz、量子化ビット数は設定した主記録形式によって異なります*2。収録する音声は、INPUT端子（外部マイク、外部ライン、デジタル（AES/EBU））、MIC（マイク）端子、モノラルマイク*3（内蔵）から選びます。また、SDI端子、またはHDMI OUT端子から出力される映像信号には音声信号が重畳されます。この音声信号を外部レコーダーで記録することもできます。

*1 MP4記録時のみ。

*2 設定した主記録形式によって選択または固定。

*3 ボイスメモの用途に使用します。



■ 記録音声と必要な設定

CH1 ～ CH4の各チャンネルに記録される入力音声は、INPUT 1 ／ INPUT 2端子切り換えスイッチとメニュー設定から決まります。

記録音声				必要な設定				
CH1	CH2	CH3*1	CH4*1	CH1 / CH2 Input選択*2	CH3 / CH4 Input選択*2	INPUT 1 ／ INPUT 2 端子切替スイッチ		「CH2 Input」*3
						INPUT 1	INPUT 2	
INPUT1端子（AES/EBU）		MIC端子（L）	MIC端子（R）	INPUT端子	MIC端子	AES/EBU	–	–
INPUT1端子（AES/EBU）		INPUT2端子（AES/EBU）		INPUT端子	INPUT端子	AES/EBU	AES/EBU	–
INPUT1端子（AES/EBU）		–	INPUT2端子	INPUT端子	INPUT端子	AES/EBU	ANALOG	–
INPUT1端子（AES/EBU）		モノラルマイク	モノラルマイク	INPUT端子	モノラルマイク	AES/EBU	–	–
INPUT1端子	INPUT2端子	MIC端子（L）	MIC端子（R）	INPUT端子	MIC端子	ANALOG	–	INPUT2
INPUT1端子	INPUT1端子	MIC端子（L）	MIC端子（R）	INPUT端子	MIC端子	ANALOG	–	INPUT1
INPUT1端子	INPUT1端子	INPUT2端子（AES/EBU）		INPUT端子	INPUT端子	ANALOG	AES/EBU	INPUT1
INPUT1端子	–	INPUT2端子（AES/EBU）		INPUT端子	INPUT端子	ANALOG	AES/EBU	INPUT2
INPUT1端子	INPUT2端子	INPUT1端子	INPUT2端子	INPUT端子	INPUT端子	ANALOG	ANALOG	INPUT2
INPUT1端子	INPUT1端子	INPUT1端子	INPUT2端子	INPUT端子	INPUT端子	ANALOG	ANALOG	INPUT1
INPUT1端子	INPUT2端子	モノラルマイク	モノラルマイク	INPUT端子	モノラルマイク	ANALOG	–	INPUT2

記録音声				必要な設定				
CH1	CH2	CH3*1	CH4*1	CH1 / CH2 Input選択*2	CH3 / CH4 Input選択*2	INPUT 1 ／ INPUT 2 端子切替スイッチ		「CH2 Input」*3
						INPUT 1	INPUT 2	
INPUT1端子	INPUT1端子	モノラルマイク	モノラルマイク	INPUT端子	モノラルマイク	ANALOG	–	INPUT1
MIC端子（L）	MIC端子（R）	INPUT1端子	INPUT2端子	MIC端子	INPUT端子	–	ANALOG	–
MIC端子（L）	MIC端子（R）	INPUT2端子（AES/EBU）		MIC端子	INPUT端子	–	AES/EBU	–
MIC端子（L）	MIC端子（R）	MIC端子（L）	MIC端子（R）	MIC端子	MIC端子	–	–	–
MIC端子（L）	MIC端子（R）	モノラルマイク	モノラルマイク	MIC端子	モノラルマイク	–	–	–
モノラルマイク	モノラルマイク	INPUT1端子	INPUT2端子	モノラルマイク	INPUT端子	–	ANALOG	–
モノラルマイク	モノラルマイク	INPUT2端子（AES/EBU）		モノラルマイク	INPUT端子	–	AES/EBU	–
モノラルマイク	モノラルマイク	MIC端子（L）	MIC端子（R）	モノラルマイク	MIC端子	–	–	–
モノラルマイク	モノラルマイク	モノラルマイク	モノラルマイク	モノラルマイク	モノラルマイク	–	–	–

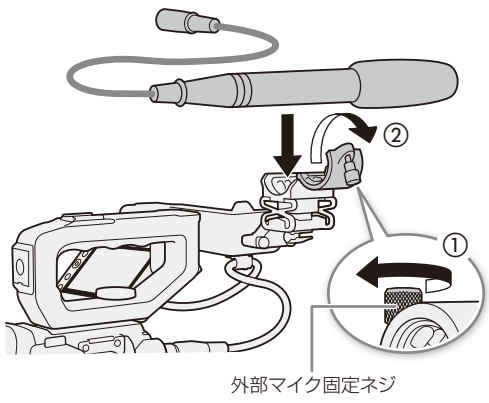
*1「主記録形式」が「MP4（SDカード）」の場合は、記録時の「MP4オーディオ形式」が「LPCM 16 bit 4CH」のときのみ。
*2 ♪))1 オーディオ設定メニュー ➤「CH1 / CH2 Input選択」または「CH3 / CH4 Input選択」の設定（🕮 115）。
*3 ♪))1 オーディオ設定メニュー ➤「CH2 Input」の設定（🕮 115）。

MEMO

- 各記録チャンネルの設定状態は、「AUDIO STATUS」ボタンやステータス画面で確認できます（🕮 234）。
- 「AUDIO STATUS」ボタンでオーディオステータス画面を表示したときは、ジョイスティックを押して♪))1 オーディオ設定メニューを表示することができます（🕮 111）。

■ 外部マイク／外部ライン入力機器を本機に接続する

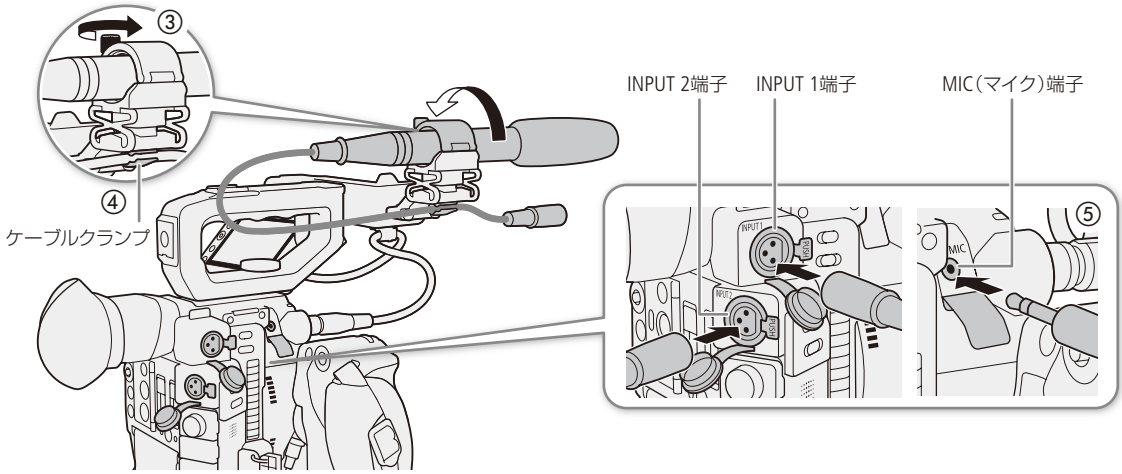
INPUT端子にはXLRコネクターの外部マイク／外部ライン入力機器（アナログ）、または外部デジタルオーディオ機器（AES/EBU）を、MIC（マイク）端子にはΦ3.5mmステレオミニプラグの外部マイクをそれぞれ接続できます。なお、マイクホルダーには、Φ19 ～ 20 mmのマイクを固定できます。



1 マイクのとき 外部マイク固定ネジをゆるめ（①）、外部マイクホルダーを開く（②）

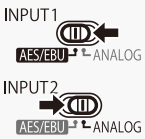
2 マイクのとき 外部マイクを取り付けて固定し（③）、ケーブルをケーブルクランプにとめる（④）

3 外部マイク／外部ライン入力機器のケーブルを本機に接続する（⑤）

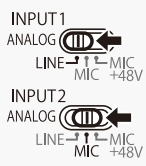


INPUT端子の音声を設定する

INPUT 1端子とINPUT 2端子の音声入力は、それぞれ個別に設定できます。



1 INPUT 1 ／ INPUT 2端子切り換えスイッチをAES/EBUまたはANALOGにする



2 ANALOGを選んだとき INPUT端子ANALOG（アナログ）入力切り換えスイッチをLINE（ライン）、またはMIC（マイク）にする

- ファンタム電源が必要なマイクを使うときはMIC＋48Vに切り換える。ファンタム電源をONにするときはマイクを接続してから行い、OFFにするときは接続したまま行う。
- INPUT端子を1チャンネルのみ使用するときは、INPUT 1端子を使用する。

ご注意

- アナログ入力の場合、＋48V対応のマイク以外の機器を接続するときは、必ずLINEまたはMICを使用してください。「MIC+48V」のままで使用すると、接続したマイクなどの機器が故障することがあります。

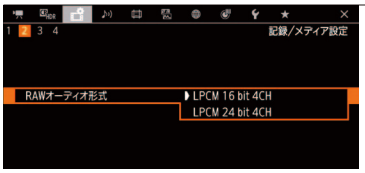
■ 音声のオーディオ形式を選ぶ

CAMERA | MEDIA | RAW | MP4 | XF-AVC

メイン動画をRAW形式、またはメイン動画やプロキシ動画をMP4形式で記録するときは、オーディオ形式が選べます。

メイン動画をRAW形式で記録するときのオーディオ形式を選ぶ

メイン動画をRAW形式で記録するときのオーディオ形式は、4チャンネルのリニアPCMで量子化ビット数を16ビットまたは24ビットから選びます。



1 オーディオ形式を選ぶ

① 2 記録/メディア設定メニュー ➤「RAWオーディオ形式」を順に選ぶ。

②「LPCM 16 bit 4CH」または「LPCM 24 bit 4CH」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

メイン動画やプロキシ動画をMP4形式で記録するときのオーディオ形式を選ぶ

メイン動画やプロキシ動画をMP4形式で記録するときのオーディオ形式は、2チャンネルのMPEG-2 AAC-LC（量子化ビット数は16ビット）、または4チャンネルのリニアPCM（量子化ビット数は16ビット）から選びます。

1 オーディオ形式を選ぶ

① 2 記録/メディア設定メニュー ➤「MP4オーディオ形式」を順に選ぶ。

②「AAC 16 bit 2CH」または「LPCM 16 bit 4CH」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

MEMO

- メイン動画やプロキシ動画をXF-AVC形式で記録するとき、オーディオ形式はリニアPCM（4チャンネル、24ビット）です。
- メイン動画をMP4形式で記録する場合、汎用性を優先するときは「AAC 16 bit 2CH」を、音質を優先するときは「LPCM 16 bit 4CH」を使用してください。

録音する入力音声を選ぶ

録音する音声はCH1/CH2とCH3/CH4の2チャンネルごとに選択します。「記録音声と必要な設定」(111)を参考にして設定してください。

1 録音する音声を選択する

① ♪))1 オーディオ設定メニュー ➤「CH1/CH2 Input選択」または「CH3/CH4 Input選択」を順に選ぶ。
② 「INPUT端子」、「MIC端子」または「モノラルマイク」のいずれかを選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

MEMO

モノラルマイクを使う

モノラルマイクを使ってボイスメモ(モノラル音声)を記録すると、編集時、映像と音声を同期しやすくなります。

CH2に記録する入力音声を選ぶ

CH1/CH2の入力がINPUT端子(アナログ入力)のときは、CH2に録音する入力音声をINPUT 1端子とINPUT 2端子から選択できます。CH1にINPUT 1端子の音声を記録し、CH2にINPUT 1端子の音声のバックアップを記録するときなどに使用します。その場合、CH1 / CH2の録音レベルを独立して設定することもできます。

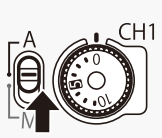
① ♪))1 オーディオ設定メニュー ➤「CH2 Input」を順に選ぶ。
② 「INPUT2」または「INPUT1」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
INPUT 2 : INPUT 1 ／ INPUT 2端子の入力をそれぞれCH1 / CH2として録音する。
INPUT 1 : INPUT 1端子の入力をCH1 / CH2の両方に録音する。INPUT 2端子の音声は録音されない。

■ 録音レベルを調整する

INPUT端子（アナログ）、またはMIC端子の録音レベルを調整します。INPUT端子（アナログ）の録音レベルとMIC端子の録音レベルは、CH1 ～ CH4のチャンネルごと、またはCH1 / CH2*、CH3 / CH4*にオート／マニュアルを設定できます。オートにすると自動調整され、マニュアルにするとCH1とCH2、CH1 / CH2は－∞～ +18の範囲で、CH3とCH4、CH3 / CH4は0 ～ 100の範囲で手動調整できます。INPUT端子（AES/EBU）のときは、録音レベルを調整しません。また、モノラルマイクの録音レベルは常にオートで調整されます。

* 「CH1/CH2（CH3/CH4）ALCリンク」を「連動」にする必要があります（🕮 221）。

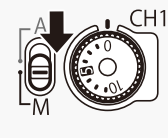
CH1、CH2、またはCH1 / CH2をオートで調整する



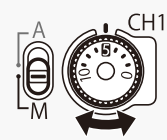
録音レベル切り換えスイッチをA（オート）にすると、そのチャンネルの録音レベルがオートになり、自動調整されます。

CH1、CH2、またはCH1 / CH2をマニュアルで調整する

INPUT 1 ／ INPUT 2端子の録音レベルをCH1、CH2のチャンネルごと、またはCH1 / CH2の2チャンネルをまとめて手動調整できます。調整は－∞～ +18 dBの範囲で行うことができます。調整後、オーディオ（録音レベル）カバーを閉じることによって、誤操作を防止できます。

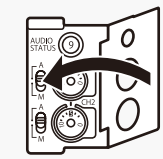


1 録音レベル切り換えスイッチをM（マニュアル）にする



2 録音レベル調整つまみを回して、調整する

- つまみの0（－∞） ～ 5（0 dB） ～ 10（+18 dB）の範囲でレベルを調整できる。
- 画面に表示されるオーディオレベルメーターの－18 dB（－20 dBのひとつ右隣り）より右が時々点灯するように調整する。



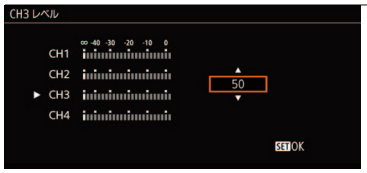
3 オーディオカバーを閉じる

CH3、CH4、またはCH3 / CH4を調整する

CH3、CH4、またはCH3 / CH4を調整するには、「主記録形式」(🕮 72)で「CFast(RAW)」や「XF-AVC(SDカード)」を選ぶか「MP4(SDカード)」を選び、「MP4オーディオ形式」(🕮 114)を「LPCM 16 bit 4CH」に設定してください。

1 調整方法を選ぶ

① ♪))2 オーディオ設定メニュー ➤「録音レベルCH3」、「録音レベルCH4」または「録音レベルCH3 / CH4」を順に選ぶ。
② 「オート」または「マニュアル」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。



2 「マニュアル」を選んだとき 録音レベルを調整する

① 「CH3レベル」、「CH4レベル」または「CH3 / CH4レベル」を順に選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
② ジョイスティックを上下に押して、0(−∞)〜 50(0dB)〜 100(+18dB)の範囲で録音レベルを調節する。
- 画面に表示されるオーディオレベルメーターの−18dB (−20dBのひとつ右隣り)より右が時々点灯するように調節する。

③ ジョイスティックを押す。

INPUT端子 (アナログ)、またはMIC(マイク)端子のCH1とCH2、CH3とCH4の録音レベル調整を連動させる

INPUT 1 ／ INPUT 2端子、またはMIC(マイク)端子が同じ音声入力 (外部ライン、または外部マイク)に設定されている場合、CH1とCH2、またはCH3とCH4のレベル調整を連動させることができます。設定は、♪))1 オーディオ設定メニュー ➤「CH1/CH2 ALCリンク」または「CH3/CH4 ALCリンク」(🕮 222)で設定します。「CH1/CH2 ALCリンク」を「連動」に設定すると、CH1の録音レベル切り換えスイッチと録音レベル調整つまみでCH1 / CH2の2チャンネルをまとめて調整できます。
「CH3/CH4 ALCリンク」を「連動」に設定すると、「録音レベルCH3 / CH4」と「CH3/CH4 レベル」でCH3 / CH4の2チャンネルをまとめて調整できます。

INPUT端子 (アナログ)の音声信号レベルを制限する

過大な音声入力によるひずみを防止するために、音声信号レベルを制限することができます。録音レベルをマニュアルで調整するときに、入力信号が歪みはじめるレベルになると自動的に信号レベルを制限して歪みを低減します。INPUT 1端子／ INPUT 2端子のいずれかがアナログでかつマニュアルレベル調整のときに設定できます。設定は、♪))3 オーディオ設定メニュー ➤「INPUT 1/2 リミッター」(🕮 222)で行います。

MEMO

- 録音レベルを調整するときは、ヘッドホンでモニターしながら行うことをおすすめします。オーディオレベルメーター上で適切に表示されていても、入力レベルが過大な場合、音声がひずむことがあります。
- 「オーディオレベル」を割り当てたアサインボタンを押して、オーディオレベルメーターの表示を入／切することができます。(🕮 142)

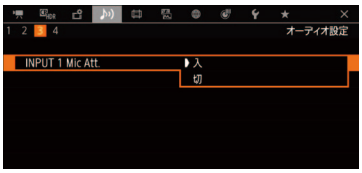
外部マイク（INPUT端子）の入力感度を調整する

INPUT 1 ／ INPUT 2端子切換スイッチがANALOGで、INPUT端子ANALOG（アナログ）入力切り換えスイッチがMIC、またはMIC+48Vのときに機能します。

① ♪))3 オーディオ設定メニュー ➤「INPUT 1 Micトリミング」または「INPUT 2 Micトリミング」を順に選ぶ。
② 下記のいずれかを選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
+12 dB、+6 dB、0 dB、 −6 dB、 −12 dB

外部マイク（INPUT端子）のアッテネーターを使う

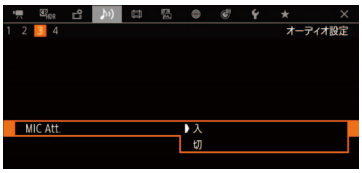
INPUT 1 ／ INPUT 2端子切換スイッチがANALOGで、INPUT端子ANALOG（アナログ）入力切り換えスイッチがMIC、またはMIC+48Vのときに機能します（Att. : Attenuator）。



① ♪))3 オーディオ設定メニュー ➤「INPUT 1 Mic Att.」または「INPUT 2 Mic Att.」を順に選ぶ。
②「入」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
● マイク信号にアッテネーター（20 dB）がかかる。

外部マイク（MIC端子）のアッテネーターを使う

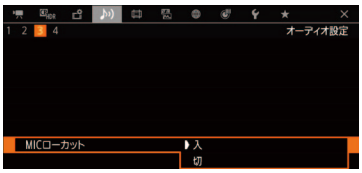
録音する入力音声（🕮 115）に「MIC端子」を選んだときは、必要に応じてアッテネーターを使用できます。



① ♪))3 オーディオ設定メニュー ➤「MIC Att.」を順に選ぶ。
②「入」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
● マイク信号にアッテネーター（20 dB）がかかる。

外部マイク（MIC端子）のローカットを使う

録音する入力音声（🕮 115）に「MIC端子」を選んだときは、収録する音に合わせて最適な特性で録音できます。



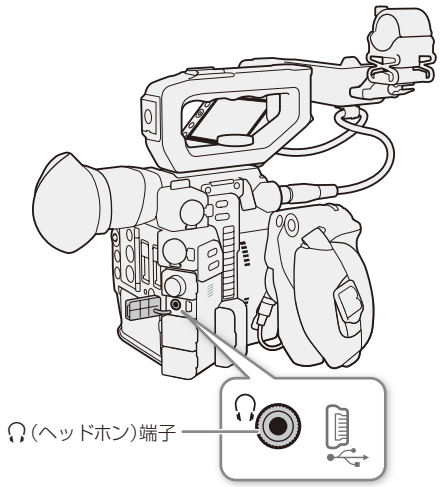
① ♪))3 オーディオ設定メニュー ➤「MICローカット」を順に選ぶ。
② 次のいずれかを選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
入：海辺やビルの近くなど風の影響を受ける屋外で撮影する場合に、風の「ボコボコ」という音の影響を低減する。収録する低い音の一部も風の音と一緒に低減される。
切：一般的な音を録音するとき。

■ モノラルマイクを使う

モノラルマイクを使ってボイスメモ（モノラル音声）を記録すると、編集時、映像と音声を同期しやすくなります。モノラルマイクを使用するときはメニューで有効にします。また、モノラルマイクの録音レベルは常にオートで調整されます。

① ♪))1 オーディオ設定メニュー ➤「CH1/CH2 Input選択」または「CH3/CH4 Input選択」➤「モノラルマイク」を順に選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

■ ヘッドホンでモニターする



Φ3.5 mmステレオミニプラグのヘッドホンを🎧（ヘッドホン）端子に接続して、収録される音声をモニターできます。

MEMO

音量を調整するには

- ♪))4 オーディオ設定メニュー * ➤「ヘッドホン音量」で調整する。
  * メディアモードのときは、♪))1 オーディオ設定メニュー。
- 「ヘッドホン+」または「ヘッドホン−」を割り当てたアサインボタンで操作する（🕮 142）。

カラーバー／テストトーンを出力する

CAMERA | MEDIA | RAW | MP4 | XF-AVC

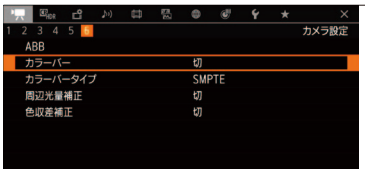
測定器の調整やモニターの輝度・色相・彩度の調整を行うために、カラーバーを表示／出力できます。また、同時に1 kHzのテストトーンを出力することもできます。

出力先

	VIDEO端子／ C200 ファインダー	SDI端子	HDMI OUT端子	∩（ヘッドホン端子）
カラーバー	●	●	●	—
テストトーン	—	●	●	●

■ カラーバーを表示／出力する

表示／出力するカラーバーは、SMPTE準拠、EBU準拠、ARIB準拠のいずれかをメニューで選べます。



1 カラーバーを表示する

① 6 カメラ設定メニュー ➤「カラーバー」を順に選ぶ。
② 「入」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- 画面にカラーバーが表示される。

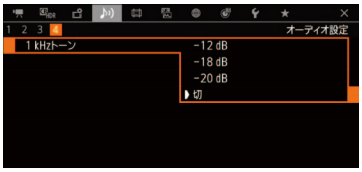
③ 6 カメラ設定メニュー ➤「カラーバータイプ」を順に選ぶ。
④ 「SMPTE」、「EBU」、「ARIB」のいずれかを選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- 電源を切る、メディアモードに切り換える、のいずれかを行うと、自動的に「切」になる。

MEMO

- 「カラーバー」を割り当てたアサインボタンを押して、入／切することもできます（📖 142）。
- カラーバータイプは、プレ記録中や記録中に切り換えられません。
- カラーバーの表示中は、ピーキングや拡大表示、波形モニターの表示ができません。

■ テストトーンを出力する

テストトーンのレベルは、接続する機器に合わせて－12 dB、－18 dB、－20 dBから選ぶことができます。



① 4 オーディオ設定メニュー ➤「1 kHzトーン」を順に選ぶ。
② 「－12 dB」、「－18 dB」、「－20 dB」、「切」のいずれかを選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- 選択したレベルのテストトーンが出力される。

波形モニターを表示する

CAMERA | MEDIA | RAW | MP4 | XF-AVC

画面に波形モニター（Waveform Monitor）を表示することができます。波形モニターのタイプは6種類から選択できます。また、波形の倍率を1倍と2倍から選択できます。

1 モニター表示を有効にする

① WFM（波形モニター）ボタンを押す。
- WFM（波形モニター）ボタンを押すたびにモニター表示が入/切される。
- 5 アシスト設定メニュー *1 ➤「WFM:VF+VIDEO端子」*2や「WFM：SDI」で入／切することもできる。

*1 メディアモードのときは、1 アシスト設定メニュー。以下、同様。
*2 C200B「WFM：VIDEO端子」

2 波形モニターのタイプを選ぶ

① 5 アシスト設定メニュー *1 ➤「WFMタイプ」を順に選ぶ。
② 次のいずれかを選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

ライン：	ライン表示する。
ライン+スポット：	ライン表示に重ねて、赤枠内の波形を赤色で表示する。
ラインセレクト：	赤い横線における波形を表示する。
フィールド：	フィールド表示する。
RGB：	R、G、B信号をパレード表示する。
YPbPr：	Y、Pb、Pr信号をパレード表示する。

3 ラインセレクトを選んだとき 波形を表示するラインのY座標を設定する

① 「WFMラインセレクト」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
② ジョイスティックを上下に押して、ラインのY座標値を選ぶ。
③ 「セット」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- 垂直解像度が1080のときは0 ～ 1079の範囲（1ライン刻み）で、垂直解像度が2160のときは0から2158の範囲（2ライン刻み）で設定する。

4 波形の倍率を選ぶ

① 5 アシスト設定メニュー *1 ➤「WFM Gain」を順に選ぶ。
② 「1x」（1倍）または「2x」（2倍）を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

「2x」を選んだとき

❶ 「WFM Yポジション」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- 波形モニターの縦軸（輝度）の表示範囲が50%になり、表示開始輝度（%）を選択できる。

❷ 「0%」、「15%」、「30%」、「45%」、「50%」のいずれかを選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

MEMO

- 波形モニターは、VIDEO端子とC200ファインダー、SDI端子に出力できます（📖 227）。
- VIDEO端子やC200ファインダー、SDI端子の映像にLUTを適用していても、波形モニターの波形には影響しません。
- 拡大表示を使用中、波形モニターは表示されません。
- カスタムピクチャーの「Knee」（ニー）を設定しているとき、ニーポイントに相当する輝度値に横線を表示します。

波形モニター右上の表示について

- CP$_{HDR}$1 Custom Picture/HDR設定メニュー ➤「HDR/LUT」を「HDR：切」に、出力端子やSDカードのLUTを「切」以外に設定して、「Preset」または「Gamma」を「Canon Log 3」や「Canon Log」に設定すると、「Canon Log 3」または「Canon Log」が表示される。
- CP$_{HDR}$1 Custom Picture/HDR設定メニュー ➤「HDR/LUT」を「HDR：HLG」または「HDR：PQ」に設定すると、「HDR-HLG」または「HDR-PQ」が表示される。

ショットマークを付加する

CAMERA | MEDIA | RAW | MP4 | XF-AVC

撮影中、XF-AVC形式で記録したクリップの重要なフレームにショットマークを付加できます。メディアモードで、ショットマークを付加／消去することもできます（🕮 167）。

■ 撮影中にショットマークを付加する

撮影中にショットマークを付加するには、あらかじめ、いずれかのアサインボタンにショットマークを割り当てる必要があります。

例：カメラアサイン 8ボタンに「Shot Mark追加」を割り当てて、ショットマークを付加する場合

1 カメラアサイン8ボタンに「Shot Mark追加」を割り当てる（🕮 142）

2 撮影中 ショットマークを付加する

① ショットマークを付加したいシーンで、カメラアサイン8ボタンを押す。
- 画面に「Shot Mark」が表示され、ショットマークが付加される。

MEMO

- 1つのクリップに付加できるショットマークは、100個までです。
- ボタンを押した時点のフレームとショットマークを付加するフレームは、最大0.5秒程度ずれることがあります。
- ショットマークを付加すると、メディアモードのインデックス画面で、クリップサムネイルの横に S が表示されます。

ショットマークを付加できないとき

- プレ記録モードでREC（記録開始／停止）ボタンを押す前。
- インターバル記録モードまたはフレーム記録モードの撮影中。

OKマーク／チェックマークを付加する

CAMERA | MEDIA | RAW | MP4 | XF-AVC

カメラモードで最後にXF-AVC形式で記録したクリップに、OKマークまたはチェックマークを付加することができます。OKマークが付加されたクリップは、本機での消去が禁止されるため、重要なクリップを保護することができます。OKマーク／チェックマークは、メディアモードで再生中またはインデックス画面で付加することもできます（🕮 165）。

■ 撮影が終了したあとにOKマーク／チェックマークを付加する

例：カメラアサイン8ボタンに「OK Mark追加」または「✓ Mark追加」を割り当てて、マークを付加する場合

1 カメラアサイン8ボタンに「OK Mark追加」または「✓ Mark追加」を割り当てる（🕮 142）

2 撮影が終了したあと　OKマークまたはチェックマークを付加する

① カメラアサイン8ボタンを押す。

- 画面に「OK Mark」が表示され、直前に撮影したクリップにOKマークが付加される。
- チェックマークのときは、画面に「✓ Mark」が表示される。

MEMO

- OKマークとチェックマークは、同じクリップに同時に付加することはできません。

メタデータを操作する

CAMERA | MEDIA | RAW | MP4 | XF-AVC

本機で記録したXF-AVCクリップにはメタデータが付加されます。付加されたメタデータは、ソフトウェアCanon XF Utility(以下、XF Utility)で表示して確認したり、検索に使用したりすることができます。
設定されるメタデータは、以下のとおりです。設定のしかたは項目によって異なります。

		メタデータ				
		ユーザーメモ	GPS情報	撮影情報	カメラ設定情報	UMID所有権情報(📖221)
		クリップタイトル、撮影場所、撮影内容		シーン、テイク	シャッター、ISO感度／ゲインなどの撮影時設定	
設定	カメラ	–	●*1	●	–*2	●
設定	XF Utility	●	●*3	–	–	–
設定	ブラウザーリモート	●	●	–	–	–
参照	XF Utility	●	●	●	●	–

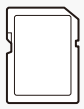
*1 GPSレシーバー GP-E2(別売)装着時のみ、撮影時に自動的に記録される(📖127)。
*2 撮影時に自動的に記録される。
*3 記録されたクリップに対してのみ設定可能。

XF Utilityを使ってユーザーメモを設定する

はじめにXF Utilityでユーザーメモの情報を入力してSDカードに保存します。次に、本機でSDカード内のユーザーメモを選んで撮影すると、記録されるクリップにユーザーメモの情報が付加されます。XF Utilityについては「クリップを保存／現像する」(📖181)をご覧ください。

1 XF Utilityでユーザーメモを設定し、SDカードに保存する

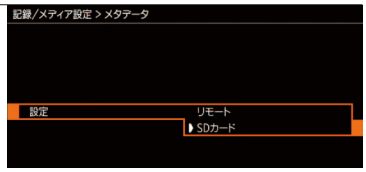
参考 ▸▸ XF Utilityの使用説明書



2 ユーザーメモが保存されているSDカードを本機のSD CARD B に入れる

3 メタデータの設定方法を選ぶ

① 4 記録/メディア設定メニュー ➤「メタデータ」➤「設定」を順に選ぶ。
② 「SDカード」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。



4 ユーザーメモファイルを選ぶ

① 4 記録/メディア設定メニュー ➤「メタデータ」➤「User Memo」を順に選ぶ。
② ジョイスティックを上下に押して、SDカードに保存されているユーザーメモのファイル名のいずれかを選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- 画面に MEMO が表示される。
- 「切」を選ぶと、ユーザーメモはクリップに記録されない。

MEMO

- ユーザーメモを設定して撮影するときは、SDカードを抜かないでください。SDカードを抜くとユーザーメモはクリップに付加されません。
- XF Utilityを使ってユーザーメモを設定するとき、設定は撮影前に行ってください。SDカードに記録されたクリップのユーザーメモを本機で変更することはできません*。
  * XF Utilityを使用して変更することができます。
- GPSレシーバー GP-E2(別売)を装着してGPSを有効にしているときは、SDカードからユーザーメモを指定しても、ユーザーメモは付加されません。

■ 撮影情報(シーン、テイク)を設定する

1 「シーン」または「テイク」を選ぶ

① 4 記録/メディア設定メニュー ➤「メタデータ」➤「シーン」または「テイク」を順に選ぶ。

2 任意の文字列を入力する

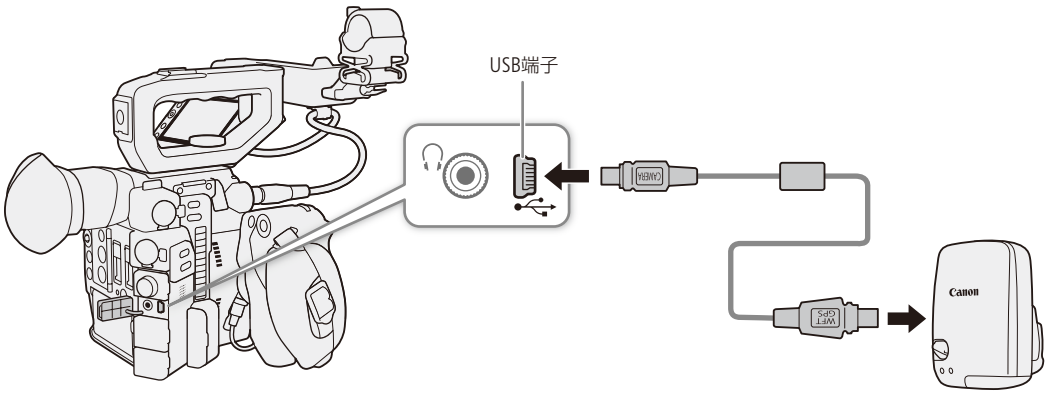
① 「変更」を選ぶ ➤ジョイスティックを押す。
② 文字列を入力し、「OK」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
参考 ▶▶「文字入力のしかた」(🕮 38)。

GPS情報を記録する

CAMERA | MEDIA | RAW | MP4 | XF-AVC

本機のUSB端子（🕮 13）にGPSレシーバー GP-E2（別売）を接続して撮影すると、クリップや静止画のメタデータにGPSから取得した位置情報（経度、緯度、標高。以下「GPS情報」）を記録できます。GPS情報の記録の有無は、クリップ情報画面で確認できます（🕮 164）。また、Canon XF Utility（🕮 181）では、GPS情報を使ってクリップを検索することができます。GP-E2の取り付け方や詳細についてはGP-E2の説明書をご覧ください。

GPSレシーバーを取り付ける



日時を自動的に設定する

GPSから取得した時刻情報を使って本機の日時を自動的に設定できます。

① 5 システム設定メニュー ➤「GPS自動時刻設定」を順に選ぶ。
② 「入」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- 以降、本機を起動後、最初に時刻設定可能な衛星捕捉状態になったときに日時を自動設定する。
- GPS自動時刻設定が有効のときは 1 システム設定メニュー ➤「タイムゾーン」や「日付/時刻」を変更できません。

ご注意

- GPSレシーバーは、使用する国／地域の法令等の規制に従って使用してください。国／地域によってはGPSの使用などが規制されていることがあります。国外で使用するときは特にご注意ください。
- 電子機器の使用が制限されている場所での使用には十分ご注意ください。
- 動画や静止画に記録されるGPS情報には、個人を特定する情報が含まれていることがあります。そのためGPS情報が記録された動画や静止画を他人に渡したり、インターネットなどの不特定多数の人々が閲覧可能な環境に掲載したりするときは、十分ご注意ください。
- GPSレシーバーは、磁石やモーターの近くなど強い磁気を発生する場所には絶対に置かないでください。

MEMO

- GPSから取得した位置情報や衛星捕捉状態、信号強度などをステータス画面で確認することもできます（🕮 243）。
- 5 モニタリング設定メニュー ➤「表示単位系」で、長さの単位を選べます（🕮 225）。
- バッテリーなどの電源を交換したときや本機の電源を切ったときは、GPS衛星からの信号の受信に時間がかかることがあります。
- SDI端子、またはHDMI OUT端子に接続したケーブルやユニットケーブルを、GPSレシーバーの近くに配置しないでください。GPS情報に影響することがあります。
- 動画に記録されるGPS情報は、撮影開始時点の位置情報です。

レックレビューで確認する

CAMERA | MEDIA | RAW | MP4 | XF-AVC

カメラモードのままで、最後に撮影したクリップの映像を再生して確認できます。再生のしかたは、映像をすべて再生するか、最後の4秒のみを再生するかを選択できます。

例：カメラアサイン8ボタンに「レックレビュー」を割り当てる場合

1 カメラアサイン8ボタンに「レックレビュー」を割り当てる（142）

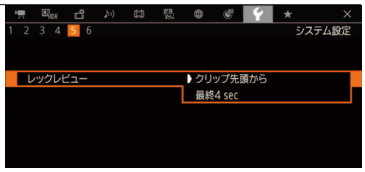
2 レックレビューの再生範囲を設定する

① 5 システム設定メニュー ➤「レックレビュー」を順に選ぶ。

② いずれかを選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

クリップ先頭から：クリップの先頭からすべて再生する。

最終4 sec：クリップの最後の4秒間のみを再生する。



FUNC

3 撮影が終了したあと 映像を再生して確認する

① カメラアサイン8ボタンを押す。

- 画面に「▶ REVIEW」が表示される。
- 操作2で設定した再生範囲に応じて、直前に撮影した映像が再生される。
- ジョイスティックを左右に押すと、10秒前／ 10秒後にスキップできる。なお、前の秒数が10秒未満のときは先頭にスキップし、後ろの秒数が4秒未満のときはスキップしない。
- 音声は、🎧（ヘッドホン）端子、HDMI OUT端子、またはSDI端子から出力されます。

レックレビューを中止するとき

カメラアサイン8ボタン、またはCANCELを押す。

- レックレビューが終了すると、自動的に撮影一時停止状態（STBY）に戻る。

MEMO

- 撮影中に記録先のメディアが自動的に切り換わった場合、直後にレックレビューを行うと、新たに記録先となったメディア内のクリップが再生されます。

プロキシ動画を同時に記録する

CAMERA | MEDIA | RAW | MP4 | XF-AVC

CFastカードにメイン動画（RAW形式）を記録しながら、SDカードにプロキシ動画（MP4形式またはXF-AVC形式）を記録できます。プロキシ動画の記録信号形式*1は、2K（2048×1080）YCbCr 4:2:0 8 bitで、ビットレート*2は35 Mbps（MP4形式時）または45 Mbps（XF-AVC形式時）と比較的低いため、オフライン編集に向いています。オーディオ形式は、プロキシ動画の記録形式によって異なります（🕮 114）。

*1 フレームレートは、メイン動画と同一です。

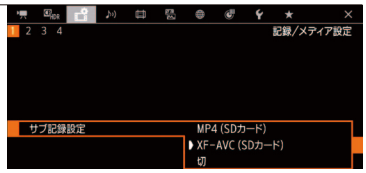
*2 メイン動画の記録信号形式に応じて自動的に決まります。ビットレートの方式は、VBR（可変）固定です。

1 メイン動画の形式を「RAW（CFast）」に設定する（🕮 73）

2 プロキシ動画の同時記録を有効にする

① 1 記録/メディア設定メニュー ➤「サブ記録設定」を順に選ぶ。

② 「MP4（SDカード）」または「XF-AVC（SDカード）」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。



3 オーディオ形式を選ぶ（🕮 114）

4 REC（記録開始／停止）ボタンを押して、記録開始／一時停止する

- メイン動画の記録開始と同時に、プロキシ動画の記録が開始される。
- もう一度RECボタンを押すと、メイン動画とともにプロキシ動画の記録が一時停止され、プロキシクリップがSDカードに記録される。

ご注意

- アクセスランプが赤色に点灯中は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。
  - アクセスしているカードスロットのカードカバーを開けて、カードを取り出さない。
  - 電源を切らない。バッテリーなどを取り外さない。

MEMO

- 同時記録中にメイン動画の記録が停止すると、プロキシ動画の記録も停止します。
- SDHCメモリーカードに記録するとき、クリップ内の映像ファイル（ストリーム）は約4 GB毎に分割されます。本機では連続して再生されます。
- HDR出力時（🕮 175）は、プロキシ動画に「LUT：BT.709」のLUT（🕮 176）が自動で適用されます。また、ダイナミックレンジは、CP$_{HDR}$ 1 Custom Picture/HDR設定メニュー ➤「HDR/LUT」を「HDR：PQ」に設定したときは最大800%、「HDR：HLG」に設定したときは最大425%で出力されます。
- CFastカードスロットにカードが入っていないときは、プロキシ動画は記録できません。

特殊記録を行う

CAMERA | MEDIA　RAW | MP4 | XF-AVC[*1]

*1 常時記録は「MP4」のときのみ。

次の5種類の特殊記録を行うことができます。

スローモーション記録：　再生時と異なるフレームレートで記録することにより、再生時にスローモーションの効果を得る。

プレ記録：　撮影開始時点の一定時間前から記録することで、撮影開始操作が遅れたときの撮り逃がしを防ぐ。

フレーム記録：　1フレーム固定の映像を記録する。クレイアニメを撮影するときなどに有効。

インターバル記録：　あらかじめ設定した記録間隔で、間欠的に記録を行う。フレーム数は1フレーム固定。自然や植物など動きの少ない被写体を撮影するときに有効。

常時記録：　メニューで終了操作を行うまで記録し続けることで、撮り逃しを防ぐ。（MP4モードのみ）

■ スローモーション記録を行う

再生時のフレームレート*と異なるフレームレート（撮影フレームレート）で、プログレッシブ方式で記録できます。
再生時のフレームレートより高いフレームレートで撮影し、再生するとスローモーション効果（最低1/5倍速）が得られます。音声は記録されません（ミュート）。ひとつのクリップに、再生時間で約6時間分以上の記録はできません。

* 記録信号形式で設定しているフレームレート。

設定可能な撮影フレームレートと撮影可能な時間（目安）

記録信号形式			撮影フレームレート	ひとつのクリップに撮影可能な時間（再生約6時間分）
フレームレート	解像度	カラーサンプリング		
59.94P	1920×1080	YCbCr 4:2:0 8 bit	119.88P	約3時間
29.97P				約1時間30分
23.98P				約1時間12分
24.00P			120P	約1時間12分
50.00P			100P	約3時間
25.00P				約1時間30分

設定する

1 スローモーション記録を有効にする

① 1 記録/メディア設定メニュー ➤「記録モード」を順に選ぶ。
② 「スローモーション記録」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- 画面に「SLOW STBY」が表示され、スローモーション記録モードになる。
- 画面に、設定されているフレームレート（撮影フレームレート／再生フレームレート）が表示される。
- 撮影フレームレートが119.88Pのときも、画面には「120」と表示される。

スローモーション記録モードで撮影する

1 RECボタンを押す

- 設定した撮影フレームレートで記録される。
- 画面に「●SLOW REC」が表示され、タリーランプが点灯する。

2 撮影を停止するとき もう一度RECボタンを押す

- 撮影が終了し、クリップとして記録される。
- 画面に「SLOW STBY」が表示され、タリーランプは消灯する。
- 1 記録/メディア設定メニュー ➤「記録モード」で、他の特殊記録を選ぶか「通常記録」を選ぶとスローモーション記録モードが終了する。

MEMO

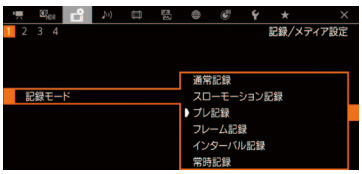
- プレ記録、フレーム記録、インターバル記録、常時記録と同時に使用することはできません。
- スローモーション記録モードで撮影中に、撮影フレームレートを変更することはできません。
- タイムコードはSDI端子、またはHDMI OUT端子のいずれからも出力されません。
- 主記録形式またはシステム周波数を変更すると、スローモーション記録モードは解除され、設定値はリセットされます。

スローモーション記録中のタイムコード

- Rec Run（レックラン）またはRegen.（リジェネ）で記録される。
- Free Run（フリーラン）に設定しているときにスローモーション記録モードにすると、強制的にRec Runに設定される。
- スローモーション記録モードを解除すると、元のカウントアップ方式に戻る。

プレ記録を行う

プレ記録モードでは、REC（記録開始／停止）ボタンを押して撮影を開始する一定時間（3秒）前からの映像と音声を記録することができます。



① 1 記録/メディア設定メニュー ➤「記録モード」を順に選ぶ。
② 「プレ記録」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- 画面に「PRE REC STBY」が表示され、プレ記録モードになる。

③ REC（記録開始／停止）ボタンを押す。
- 撮影が開始される。
- 画面に「●PRE REC」が表示されて、タリーランプが点灯する。

④ 撮影を停止するとき　もう一度REC（記録開始／停止）ボタンを押す。
- 撮影開始から、プレ記録時間分さかのぼった時点からの映像が記録される。
- 画面に「PRE REC STBY」が表示され、タリーランプは消灯する。

MEMO

- スローモーション記録、フレーム記録、インターバル記録、常時記録と同時に使用することはできません。
- プレ記録モードのときは、「MP4オーディオ形式」の設定を変更できません。
- 主記録形式またはシステム周波数を変更すると、プレ記録モードは解除されます。

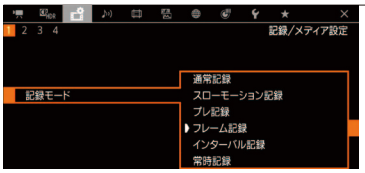
プレ記録中のタイムコード

- タイムコードの記録は、撮影開始操作からプレ記録時間分さかのぼった時点から行われる。
- Free Run（フリーラン）で記録される。
- Rec Run（レックラン）またはRegen.（リジェネ）に設定しているときにプレ記録モードにすると、強制的にFree Runに設定される。
- プレ記録モードを解除すると、元のカウントアップ方式に戻る。

フレーム記録を行う

1フレーム固定の映像を記録します。記録中、音声は記録されません（ミュート）。撮影時は、カメラ本体を三脚などに固定してリモートで操作することをおすすめします。

設定する



1 フレーム記録を有効にする

① 1 記録/メディア設定メニュー ➤「記録モード」を順に選ぶ。
② 「フレーム記録」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- 画面に「FRM STBY」（FRMが点滅）が表示され、フレーム記録モードになる。

撮影する

1 フレーム記録モードで撮影する

① REC(記録開始／停止)ボタンを押す。
- フレーム記録モードになり、画面に「●FRM REC」が表示されてタリーランプが点灯する。
- 1フレームが記録され、画面の表示が「●FRM STBY」に変わる。

② 撮影したいシーンで①の操作を繰り返し行う。

2 撮影を停止するとき フレーム記録を無効にする

① 1 記録/メディア設定メニュー ➤「記録モード」を順に選ぶ。
② 「通常記録」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- フレーム記録モードが終了する。この間に撮影したフレームは、すべて結合して1つのクリップとして記録される。
- 画面に「STBY」が表示され、タリーランプは消灯する。

MEMO

- スローモーション記録、プレ記録、インターバル記録、常時記録と同時に使用することはできません。
- クリップの末尾に、フレーム記録モードを終了したときの映像が記録されることがあります。
- 主記録形式またはシステム周波数を変更すると、フレーム記録モードは解除されます。

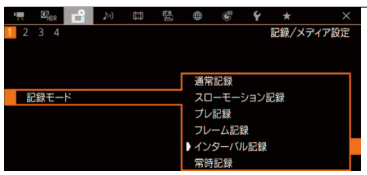
フレーム記録中のタイムコード

- Rec Run(レックラン)、またはRegen.(リジェネ)で記録される。
- Free Run(フリーラン)の状態でフレーム記録モードにすると、強制的にRec Runに設定される。
- フレーム記録モードを解除すると、元のカウントアップ方式に戻る。
- タイムコードは、SDI端子またはHDMI OUT端子のいずれからも出力されない。

インターバル記録を行う

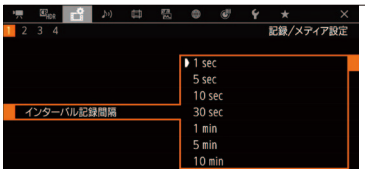
記録間隔をあらかじめ設定して撮影を行うと、間欠的に映像を自動記録できます。記録フレームは1フレーム固定です。記録中、音声は記録されません (ミュート)。

設定する



1 インターバル記録を有効にする

① 1 記録/メディア設定メニュー ➤「記録モード」を順に選ぶ。
② 「インターバル記録」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- 画面に「INT STBY」(INTが点滅) が表示され、インターバル記録モードになる。



2 記録間隔を設定する

① 1 記録/メディア設定メニュー ➤「インターバル記録間隔」を順に選ぶ。
② 次のいずれかの時間を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

1秒*、5秒、10秒、30秒、1分*、5分、10分

* メニュー上、秒は「sec」、分は「min」と表示される。

インターバル記録モードで撮影する

1 REC(記録開始/停止)ボタンを押す

- 設定した記録間隔おきに、1フレームずつ自動的に記録される。
- タリーランプが点灯し、画面に「●INT REC」が表示される。

2 撮影を停止するとき もう一度REC(記録開始/停止)ボタンを押す

- 撮影が終了する。この間に撮影したフレームは、すべて結合して1つのクリップとして記録される。
- 画面に「INT STBY」(INTが点滅)が表示され、タリーランプは消灯する。
- 1 記録/メディア設定メニュー ➤「記録モード」で、他の特殊記録を選ぶか「通常記録」を選ぶとインターバル記録モードが終了する。

MEMO

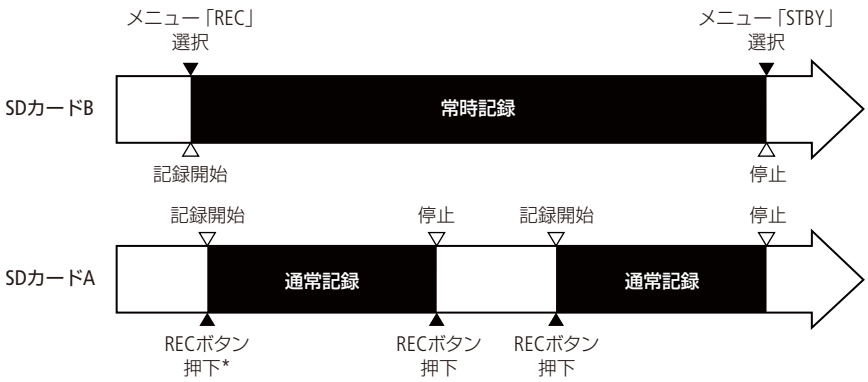
- スローモーション記録、プレ記録、フレーム記録、常時記録と同時に使用することはできません。
- インターバル記録モードで撮影中に、記録間隔を変更することはできません。
- クリップの末尾に、インターバル記録モードを終了したときの映像が記録されることがあります。
- 主記録形式またはシステム周波数を変更すると、インターバル記録モードは解除されます。

インターバル記録中のタイムコード

- Rec Run(レックラン)またはRegen.(リジェネ)で記録される。
- Free Run(フリーラン)の状態でインターバル記録モードにすると、強制的にRec Runに設定される。
- インターバル記録モードを解除すると、元のカウントアップ方式に戻る。
- タイムコードは、SDI端子またはHDMI OUT端子のいずれからも出力されない。

常時記録を行う

常時記録は、一度開始するとメニューで終了操作を行うまで映像を記録し続けるので、大切な撮影の撮り逃しを防ぐことができます。音声も記録されます。
通常記録の映像は、SDカードAに記録されます。常時記録の映像は、SDカードBに記録されます。常時記録の記録開始／停止は、メニューで操作します。
* MP4モードのみ。

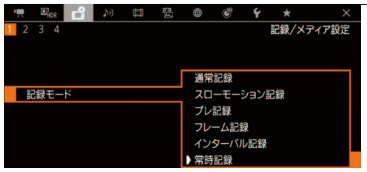


* 撮影一時停止中にREC(記録開始／停止)ボタンを押すと、常時記録と通常記録を同時に開始できます。

常時記録の記録方式

記録メディア	SDカード (SD CARD B)
主記録形式	MP4
解像度	1920×1080
オーディオ形式	LPCM 16 bit 4CH

設定する

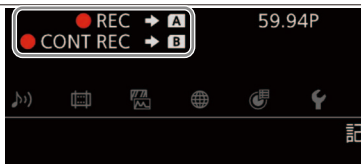


1 常時記録を有効にする

① 1 記録/メディア設定メニュー ➤「主記録形式」を順に選ぶ。
②「MP4(SDカード)」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
③ 1 記録/メディア設定メニュー ➤「記録モード」を順に選ぶ。
④「常時記録」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- 画面に「CONT STBY ➔ B」が表示され、常時記録モードになる。通常記録の表示は、「STBY ➔ A」となる。

撮影する

1 常時記録モードで撮影する



① 1 記録/メディア設定メニュー ➤「常時記録」を順に選ぶ。

② 「REC」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

- 撮影が始まり、タリーランプが点灯する。
- 常時記録：SDカードBへの記録が始まり、画面の表示が「●CONT REC ➔ B」に変わる。
- 通常記録：RECボタンを押すと、SDカードAへの記録が始まり、画面の表示が「●REC ➔ A」に変わる。常時記録中にREC（記録開始／停止）ボタンを押すと、SDカードAへの記録停止／開始の操作ができる。
- 撮影一時停止中にREC（記録開始／停止）ボタンを押すと、常時記録と通常記録を同時に開始できる。

2 撮影を停止する

① 1 記録/メディア設定メニュー ➤「常時記録」を順に選ぶ。

② 「STBY」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

- 撮影が終了し、タリーランプが消灯する。
- 常時記録：SDカードBへの記録が停止し、画面の表示が「CONT STBY ➔ B」に変わる。
- 通常記録：記録中は、同時にSDカードAへの記録が停止し、画面の表示が「STBY ➔ A」に変わる。
- 1 記録/メディア設定メニュー ➤「記録モード」で、他の特殊記録を選ぶか「通常記録」を選ぶと常時記録モードが終了する。

MEMO

- 常時記録は、次の機能と同時に使用することはできません。
  スローモーション記録、プレ記録、フレーム記録、インターバル記録、リレー記録、ダブルスロット記録、レックレビュー、記録コマンド
- SDカードBへの常時記録を実行できない場合、SDカードAへの通常記録も実行できません。
- 常時記録モードでは、次の場合、SDカードBへの記録は継続します。
  - SDカードAの空き容量がなくなったとき
  - SDカードAをスロットから出し入れしたとき
- 常時記録モードのときは、「MP4オーディオ形式」と「解像度/カラーサンプリング」の設定を変更できません。
- 主記録形式またはシステム周波数を変更すると、常時記録モードは解除されます。

常時記録中のタイムコード

- 「Regen.（リジェネ）」を設定時に読み出すタイムコードは、SDカードBからのみとなる。

静止画を記録する

カメラモードで撮影一時停止中に、静止画をSDカードに記録することができます。静止画はSDカードB（SD CARD B）のみ記録できます。記録される静止画のサイズは次のとおりです。

動画の解像度	静止画サイズ	1枚あたりのファイルサイズ（目安）
4096×2160	2048×1080	約930 KB
3840×2160	3840×2160	約3080 KB
1920×1080	1920×1080	約880 KB

カメラモードで静止画を記録する

CAMERA | MEDIA | RAW | MP4 | XF-AVC

カメラモードで、「Photo」を割り当てたアサインボタンを押して、静止画を記録できます。

例：カメラアサイン8ボタンに「Photo」を割り当てて、静止画を記録する場合

1 カメラアサイン8ボタンに「Photo」を割り当てる（142）

2 動画撮影一時停止中 静止画を記録する

① カメラアサイン8ボタンを押す。
- 「B」と記録可能枚数が表示され、静止画がSDカードに記録される。
- 記録中はSDカードBのSDカードアクセスランプが点灯する。

ご注意

SDカードBのSDカードアクセスランプが点灯している間は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。
- 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
- SDカードを取り出さない。

MEMO

- プレ記録モードのときは静止画を記録できません。
- ブラウザーリモートの動作中は、静止画を記録できません。
- 静止画を記録するときは、SDカードの誤消去防止ツマミの「LOCK」を解除してください。

静止画を再生する

CAMERA | MEDIA | RAW | MP4 | XF-AVC

SDカードに記録した静止画を再生することができます。静止画はSDカードB（SD CARD B）のみ再生できます。

■ 静止画インデックス画面を表示する

静止画を再生するときは、メディアモードで静止画インデックス画面に切り換えます。

1 POWER（電源）スイッチをMEDIAにする

2 静止画インデックス画面に切り換える（📖 159）

■ 静止画を再生する

静止画インデックス画面で選んだ静止画を再生します。再生にはカメラ本体の各種再生操作ボタンを使用します。カメラ本体のボタン操作では、►/❚❚（再生／一時停止）、■（停止）が行えるほか、ジョイスティックで操作することもできます。

1 ジョイスティックを上下左右に押して、再生する静止画を選ぶ

- ジョイスティックを操作すると、インデックス画面上のカーソル（オレンジ色の枠）が移動するので、再生したい静止画に合わせる。

2 ►/❚❚（再生／一時停止）ボタンを押す

- 静止画が再生される（1枚表示される）。

前の静止画／次の静止画に移動するとき

ジョイスティックを押すと次の静止画に移動する。

撮影日付などの撮影情報の表示をON/OFFするとき

DISP（ディスプレイ）ボタン、または「Display」を割り当てたアサインボタンを押す。

再生を終える（インデックス画面に戻る）とき

■（停止）ボタンを押す。

ご注意

- SDカードアクセスランプが点灯している間は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。
  - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
  - SDカードを取り出さない。

MEMO

- 次の静止画は正しく再生されないことがあります。
  - 本機以外の製品で記録したとき。
  - パソコンで作成や加工、ファイル名の変更をしたとき。

静止画を消去する

CAMERA | MEDIA | RAW | MP4 | XF-AVC

不要な静止画を1枚ずつ消去できます。

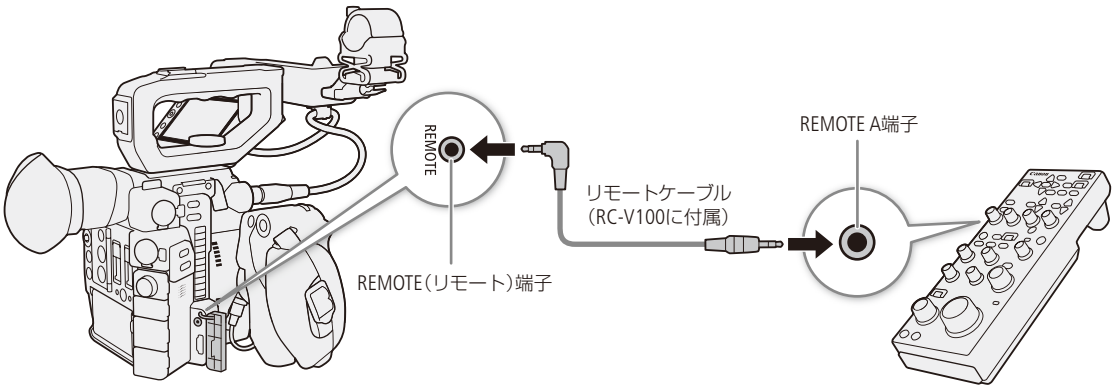
① 消去する静止画を静止画インデックス画面で選ぶ。
② ジョイスティックを押す ➤「消去」を選ぶ。
③「OK」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- 選択した静止画が消去される。

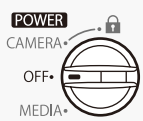
④ ジョイスティックを押す。

RC-V100(別売)でリモート撮影する

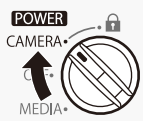
CAMERA | MEDIA　RAW | MP4 | XF-AVC

本機のREMOTE端子 (🕮 13)にリモートコントローラー RC-V100(別売)を接続すると、リモートで操作できます。電源の入／切やメニュー操作に加えて、撮影時は、アイリス、シャッターなどのカメラ設定や、ニー、シャープネスなどの画質調整ができます。接続のしかたやRC-V100の詳細については、RC-V100の説明書をご覧ください。





1 POWER(電源)スイッチをOFFにして、RC-V100を本機につなぐ



2 POWER(電源)スイッチをCAMERAにする

3 RC-V100を有効にする

① 1 システム設定メニュー ➤「REMOTE端子」を順に選ぶ。
② 「RC-V100(REMOTE A)」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

MEMO

本機で動作しないボタン／ダイヤル

■ AGCボタン　■ AUTO KNEEボタン　■ AFボタン

- AUTO IRISボタンは、対応するEFレンズ (🕮 271)を装着しているときのみ使用可能です。
- ZOOMダイヤルは、ズーム調整に対応するEFシネマレンズ (🕮 271)を装着しているときのみ使用可能です。
- RC-V100の画質調整(🕮155)は、CP HDR 1 Custom Picture/HDR設定メニュー ➤「Activate Other Settings」が「On」のときのみ使用できます (🕮148)。

4 カスタマイズ

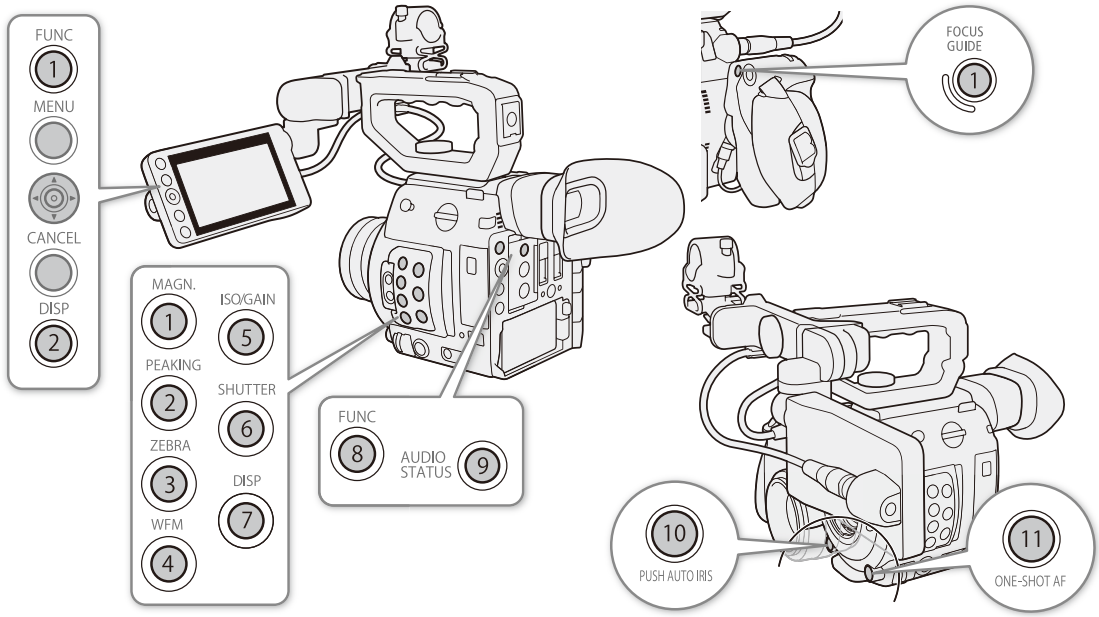
アサインボタンの機能を変更する... 142
カスタムピクチャーを使用する ... 146
設定データの保存と読み出し..... 156

アサインボタンの機能を変更する

CAMERA | MEDIA | RAW | MP4 | XF-AVC

カメラ本体に11個、LCDモニター LM-V1*に2個、カメラグリップGR-V1*に1個のアサインボタンがあり、リモートコントローラー RC-V100（別売）や有機EL電子ビューファインダー EVF-V70（別売）を取り付ければ、さらにそれぞれ4個のアサインボタンを使用できます。使用頻度の高い機能を割り当てて、より使いやすくカスタマイズすることができます。なお、LM-V1やGR-V1などの装着状況によって、使用できるアサインボタンが異なります。

* C200は付属、C200Bは別売。



カメラアサインボタンとLCDモニターアサインボタン、カメラグリップアサイン1ボタンには、初期設定でそれぞれのボタン名の機能が割り当てられています。

アサインボタンには次の機能を割り当てることができ、カメラモードとメディアモードでそれぞれ個別に設定できます。使用可能な機能は、下表のようにモードによって異なります。

機能名	内容	CAMERA	MEDIA
One-Shot AF	ワンショットAFを実行する。	●	
AFロック*1	コンティニュアスAF中にフォーカス位置を固定する。	●	
顔検出AF	顔検出AFの顔優先／顔限定を切り換える。	●	
顔検出	顔検出の入／切を切り換える。	●	
追尾	追尾の入／切を切り換える。	●	
フォーカスガイド	デュアルピクセルフォーカスガイドの入／切を切り換える。	●	
ピーキング：すべて	VIDEO端子とファインダー *2のピーキングの入／切を切り換える。	●	
ピーキング：VIDEO端子	VIDEO端子のピーキングの入／切を切り換える。	●	
C200 ピーキング：VF	ファインダーのピーキングの入／切を切り換える。	●	

機能名	内容	CAMERA	MEDIA
Magnification：すべて	ファインダー *2と拡大表示が可能な端子の拡大表示の入／切を切り換える。	●	
C200 Magnification：VF+VIDEO端子 C200B Magnification：VIDEO端子	ファインダー *2とVIDEO端子の拡大表示の入／切を切り換える。	●	
Magnification：SDI/HDMI	SDI端子またはHDMI OUT端子の拡大表示の入／切を切り換える。	●	
デジタルテレコン	メニューで設定したデジタルズームの倍率の入／切を切り換える。	●	
Push Auto Iris	プッシュオートアイリスを実行する。	●	
Irisモード	アイリスのモードを切り換える。	●	
Iris +	F値を調整する。押すたびに、絞りを開く。	●	
Iris −	F値を調整する。押すたびに、絞りを絞る。	●	
ND +	NDフィルターを正順（濃くなる方向）に切り換える。	●	
ND −	NDフィルターを逆順（薄くなる方向）に切り換える。	●	
AEシフト +	露出を明るめに調整する。	●	
AEシフト −	露出を暗めに調整する。	●	
バックライト	測光方式のバックライトの入／切を切り換える。	●	
スポットライト	測光方式のスポットライトの入／切を切り換える。	●	
ゼブラ：すべて	VIDEO端子とファインダー *2のゼブラパターン表示の入／切を切り換える。	●	
ゼブラ：VIDEO端子	VIDEO端子のゼブラパターン表示の入／切を切り換える。	●	
C200 ゼブラ：VF	ファインダーのゼブラパターン表示の入／切を切り換える。	●	
WFM：すべて	ファインダー *2と波形モニター表示が可能な端子の波形モニター表示の入／切を切り換える。	●	●
C200 WFM：VF+VIDEO端子 C200B WFM：VIDEO端子	ファインダー *2とVIDEO端子の波形モニター表示の入／切を切り換える。	●	●
WFM：SDI	SDI端子の波形モニター表示の入／切を切り換える。	●	●
LUT：すべて	ファインダー *2とLUTの適用が可能な端子の適用するLUTを切り換える。	●	
LUT：VIDEO端子	VIDEO端子に適用するLUTを切り換える。	●	
C200 LUT：VF	ファインダーに適用するLUTを切り換える。	●	
LUT：SDI	SDI端子に適用するLUTを切り換える。	●	
White Balanceセット	ホワイトバランスセットの白取り込みを実行する。	●	
AWBホールド	オートホワイトバランスのホールドの入／切を切り換える。	●	
AWB AWB	ホワイトバランスの調整方法をオートホワイトバランスに変更する。	●	
セットA ／ セットB	ホワイトバランスの調整方法をセットAまたはセットBに変更する。	●	
太陽光	ホワイトバランスの調整方法を太陽光に変更する。	●	

機能名	内容	CAMERA	MEDIA
電球	ホワイトバランスの調整方法を電球に変更する。	●	
K Kelvin	ホワイトバランスの調整方法を色温度に変更する。	●	
LCD LM-V1設定	1 モニタリング設定メニューを表示する。	●	●
C200 VF設定	2 モニタリング設定メニューを表示する。	●	●
EVF-V70設定	3 *3モニタリング設定メニューを表示する。有機EL電子ビューファインダー EVF-V70(別売)装着時のみ。	●	●
オンスクリーン表示	端子からの出力映像に画面表示を重畳する／しないを切り換える。	●	●
Display	画面の表示レベルを切り換える。	●	●
マーカー：すべて	ファインダー *2とマーカーの表示が可能な端子のマーカーの入／切を切り換える。	●	
C200 マーカー：VF+VIDEO端子 C200B マーカー：VIDEO端子	ファインダー *2とVIDEO端子のマーカーの入／切を切り換える。	●	
マーカー：SDI/HDMI	SDI端子またはHDMI OUT端子のマーカーの入／切を切り換える。	●	
カラーバー	カラーバーの入／切を切り換える。	●	
Photo *1	静止画を記録する。	●	
レックレビュー *1	カメラモードのままで、最後に撮影したクリップを再生する。	●	
Time Code	3 システム設定メニューを表示する。	●	
Time Codeホールド *1	画面に表示されるタイムコード値を保持／保持解除を切り換える。	●	●
Shot Mark追加*1	ショットマークを付加する。	●	●
OK Mark追加	OKマークを付加する。	●	●
☑ Mark追加	チェックマークを付加する。	●	●
ヘッドホン+	ヘッドホンの音量を大きくする。	●	●
ヘッドホン−	ヘッドホンの音量を小さくする。	●	●
モニターチャンネル	(ヘッドホン)端子から出力される音声のチャンネルを切り換える。押すたびに出力チャンネルが切り換わる。	●	●
オーディオレベル	オーディオレベルメーター表示の入／切を切り換える。	●	●
FUNC	FUNCボタンの機能を割り当てる。	●	
スローモーション記録	スローモーション記録モードに切り換える。	●	
Shutter	カメラダイレクト設定のシャッタースピード設定に切り換える。	●	
ISO/Gain	カメラダイレクト設定のISO感度／ゲイン設定に切り換える。	●	
White Balance	カメラダイレクト設定のホワイトバランス設定に切り換える。	●	
ステータス*1	ステータス画面を表示する。	●	●
オーディオステータス	オーディオ専用のステータス画面を表示する	●	●
Custom Picture/HDR	CP HDR 1 Custom Picture/HDR設定メニューを表示する	●	
マイメニュー	マイメニューを表示する。	●	

機能名	内容	CAMERA	MEDIA
メディア初期化	メディア初期化メニューを表示する。	●	●
ユーザー設定*1	任意のメニュー項目を表示する。	●	●

*1 アサインボタンのみの機能。
*2 C200 のみ。
*3 C200B は 2。

機能を変更する

例：カメラアサイン8ボタンに「マーカー：すべて」を割り当てる場合

MENU

FUNC 8

1 機能を割り当てる

① MENUボタンを押しながらカメラアサイン8ボタンを押す
- カメラアサイン8ボタンに割り当てる機能選択画面が表示される。
- 2 アサインボタンメニュー ➤「8」を選んでも表示できる。

② 「マーカー：すべて」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

「ユーザー設定」を選んだとき

- 割り当てるメニュー項目を選ぶ画面になる。

ジョイスティックで任意のメニュー項目を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- 「ユーザー設定」が選んだメニュー項目の名称（先頭にMENUが付く）に変わる。

アサインボタンに割り当てた機能を使う

FUNC 8

必要なときに、機能を割り当てたアサインボタンを押して使用します。アサインボタンを押すと、画面に機能の詳細項目を選ぶメニューが表示されることがあります。そのときは、ジョイスティックを上下に押して項目を選び、ジョイスティックを押します。

MEMO
- アサインボタンに割り当てられた機能は、ステータス画面で確認できます（237）。
- 1 システム設定メニュー ➤「リセット」➤「アサインボタン」で、アサインボタンの割り当てを初期状態に戻すことができます（230）。

カスタムピクチャーを使用する

CAMERA | MEDIA | RAW | MP4 | XF-AVC

撮影条件に合わせる、意図的に効果をつけるなど画質を調整するためのさまざまな設定を行うことができます。調整した設定値はカスタムピクチャーファイルとして本機やSDカードに保存し、必要に応じて再利用できます。カスタムピクチャーファイルは本機とSDカードに20セット保存でき、本機とSDカードとの間で相互にコピーすることもできます。カスタムピクチャーファイルの保存やコピーは、SDカードB（SD CARD B）のみ行えます。

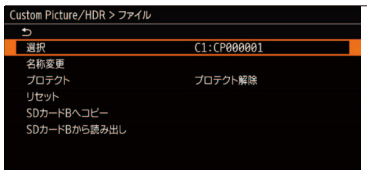
機能分類	機能	設定項目	🕮
光の階調に関わるグループ	ガンマ	Gamma	151
	ブラックガンマ	Black Gamma	152
	マスターペデスタル	Black – Master Pedestal	152
	マスターブラック	Black – Master Black	152
	ニー	Knee	153
	セットアップ	Other Functions – Setup Level	154
	100%オーバー	Other Functions – Over 100%	154
輪郭やノイズに関わるグループ	シャープネスレベル	Sharpness – Level	153
	シャープネス水平帯域	Sharpness – H Detail Freq.	153
	シャープネスHVバランス	Sharpness – HV Detail Bal.	153
	シャープネスリミット	Sharpness – Limit	153
	シャープネスセレクト	Sharpness – Select	153
	ニーアパーチャー	Sharpness – Knee Aperture	153
	輝度適応シャープネス	Sharpness – Level Depend	154
	コアリングレベル	Sharpness – Coring Level	153
	輝度適応コアリング	Sharpness – Coring D-Ofst / Coring D-Curve	153
	ノイズリダクション	Noise Reduction	154
色の方向性、強さ、変換に関するグループ	カラーマトリックス	Color Matrix	152
	ローキーサチュレーション	Low Key Satur.	152
	ニーサチュレーション	Knee – Saturation	153
	カラーゲイン	Color Matrix Tuning－Gain	154
	色相	Color Matrix Tuning－ Phase	154
	色調	Color Matrix Tuning – R-G / R-B / G-R / G-B / B-R / B-G	154
	ホワイトバランス	White Balance	154

MEMO

- SDカードに保存したカスタムピクチャーファイルは、C200 / C200Bのみで使用可能です。

■ カスタムピクチャーファイルを選ぶ

撮影に使用するカスタムピクチャーファイルを選択します。あらかじめ、画質設定をカスタムピクチャーファイルとして登録しておくと、リストから選ぶだけで希望の画質に調整することができます。カスタムピクチャーファイルの編集／登録、名称変更、プロテクト、コピーを行うときも、その対象となるカスタムピクチャーファイルを選びます。



1 カスタムピクチャーファイルを選ぶ

① CP$_{HDR}$1 Custom Picture/HDR設定メニュー ➤「ファイル」➤「選択」を順に選ぶ。
- カスタムピクチャーの選択画面が表示される。
- 本機に保存されているカスタムピクチャーファイル（C1 ～ C20）が選択可能になる。
- SDカードに入っているカスタムピクチャーファイルを使うときは、あらかじめ本機にコピーする（📖 150）。

② ジョイスティックを上下に押して、いずれかのカスタムピクチャーファイルを選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- 選んだカスタムピクチャーファイルに登録されている設定に調整される。
- 選択しているガンマと、「Other Settings」で調整（「Activate Other Settings」が「On」）時は CP が画面に表示される。

ガンマ、カラーマトリックスのプリセットについて

あらかじめ次の組み合わせのプリセットが用意されています。プリセットを使わないときは、CP$_{HDR}$1 Custom Picture/HDR設定メニューでガンマ、カラーマトリックスを個別に選択できます。プリセット、またはガンマとカラーマトリックスを選んだ後、「Activate Other Settings」を「On」にすると「Other Settings」で詳細な設定を調整することができます。プリセットの色空間はBT.709設定です。

プリセット（Preset）	ガンマ（Gamma）	カラーマトリックス（Color Matrix）	特徴
Canon Log 3	Canon Log 3	Neutral	ポストプロダクション処理を前提としたCanon Log 3ガンマを使用。Canon Logの特徴を残したままダイナミックレンジを拡大した。
Canon Log	Canon Log	Cinema EOS Original	ポストプロダクション処理を前提としたCanon Log ガンマを使用。ダイナミックレンジが広く、ポストプロダクションに適した色調。
BT.709	Wide DR	Neutral	広いダイナミックレンジを実現。

MEMO

Canon LogなどのLogガンマを使用する

- ポストプロダクション処理を前提とするガンマで、撮像素子の特性を最大限に引き出す広いダイナミックレンジを実現できます。
- 撮影中、VIDEO端子、C200 ファインダー、SDI端子の出力にLUTを適用し、モニタリングに適したガンマに変換できます。
- 撮影したクリップをポストプロダクション処理する際、LUT(ルックアップテーブル)*を適用できます。
  * 最新のLUTデータについては、キヤノンのホームページでご確認ください。

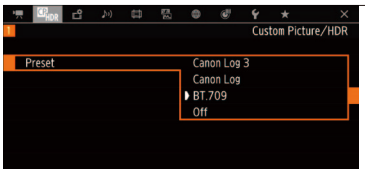
RC-V100リモートコントローラー(別売)を使うとき

- リモートコントローラー RC-V100(別売)のCUSTOM PICT.ボタンを押して、CP$_{HDR}$ Custom Picture/HDR設定メニューを表示することもできます。
- プロテクトしたカスタムピクチャーファイルを選んでいると、カスタムピクチャーの設定をRC-V100から調整できません(🕮 154)。
- RC-V100で画質の調整を行うと、選択中のカスタムピクチャーファイルの設定が変更/登録されます。大切なカスタムピクチャーファイルはSDカードにコピーし、変更しても良いカスタムピクチャーファイルを選んでから、RC-V100で調整してください。

■ 画質を調整してカスタムピクチャーファイルとして登録する

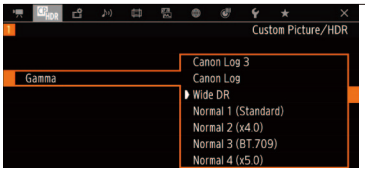
撮影時に良く使う画質調整設定をカスタムピクチャーファイルとして登録しておくと、次に使用するときに、リストから選ぶだけで同じ設定を簡単に再現できます。

1 カスタムピクチャーファイルを選ぶ(🕮 147)



2 プリセットを使用するとき プリセットを選ぶ

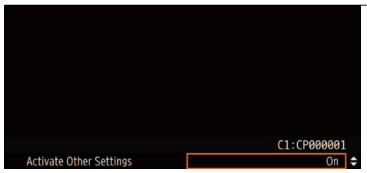
① CP$_{HDR}$1 Custom Picture/HDR設定メニュー ➤「Preset」を順に選ぶ。
② いずれかを選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- プリセットを使用しないときは「Off」を選ぶ。



3 「Off」を選んだとき ガンマとカラーマトリックスを選ぶ

参考 ▸▸ CP$_{HDR}$1 Custom Picture/HDR設定メニュー ➤「Gamma」、「Color Matrix」(🕮 151)

① CP$_{HDR}$1 Custom Picture/HDR設定メニュー ➤「Gamma」を順に選ぶ。
② いずれかを選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
③ 同様にCP$_{HDR}$1 Custom Picture/HDR設定メニュー ➤「Color Matrix」を順に選んで、カラーマトリックスを選択する。



4 画質調整の設定を行う

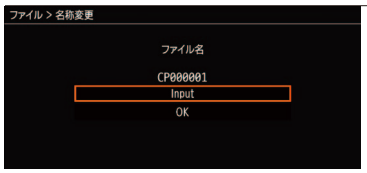
参考 ▸▸ CP HDR 1 Custom Picture/HDR設定メニュー ➤「Activate Other Settings」(🕮 152)

例： Master Pedestal(マスターペデスタル)を調整する場合

① CP HDR 1 Custom Picture/HDR設定メニュー ➤「Activate Other Settings」を順に選ぶ。
② 「On」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
③ CP HDR 1 Custom Picture/HDR設定メニュー ➤「Other Settings」➤「Black」➤「Master Pedestal」を順に選ぶ。
④ ジョイスティックを上下に押して値を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

設定を初期設定に戻すとき

❶ CP HDR 1 Custom Picture/HDR設定メニュー ➤「ファイル」➤「リセット」を順に選ぶ。
❷ 「OK」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。



5 カスタムピクチャーファイルの名前を設定する

① CP HDR 1 Custom Picture/HDR設定メニュー ➤「ファイル」➤「名称変更」を順に選ぶ。
② 「Input」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
③ 8文字の英数字・記号で名前を入力し「OK」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
参考 ▸▸「文字入力のしかた」(🕮 38)
● カスタムピクチャーファイルの名前が決定される。

カスタムピクチャーファイルをプロテクトする

必要に応じて、カスタムピクチャーファイルをプロテクトすることができます。

① プロテクトするカスタムピクチャーファイルを選ぶ(🕮 147)。
② CP HDR 1 Custom Picture/HDR設定メニュー ➤「ファイル」➤「プロテクト」を順に選ぶ。
③ 「プロテクト」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
● カスタムピクチャー選択画面で表示されるカスタムピクチャーファイル名に ⚿ が表示されるようになる。

■ カスタムピクチャーファイルをコピーする

カスタムピクチャーファイルを本機とSDカードBとの間で相互にコピーすることができます。

SDカードBへコピー：　選択中のカスタムピクチャーファイル（本機）をSDカードBにコピーする。新規に追加するか、既存のカスタムピクチャーファイルを上書きするかを選ぶことができる。

SDカードBから読み出し：選択中のカスタムピクチャーファイル（本機）をSDカードBのカスタムピクチャーファイルで上書きする。

選択中のカスタムピクチャーファイル（本機）をSDカードにコピーする

① カスタムピクチャーファイルを選ぶ（📖 147）。
② 「SDカードBへコピー」を選ぶ。
③ SDカードB内のコピー先となるカスタムピクチャーファイル、または「新規ファイル」*を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
* SDカードB内のカスタムピクチャーファイルが20セット未満のときは、「新規ファイル」が表示される。
④ 「OK」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- 選択中のカスタムピクチャーファイル（本機）がSDカードBにコピーされる。
- 「新規ファイル」を選んだときは、自動的に最後に追加される。

⑤ ジョイスティックを押す。

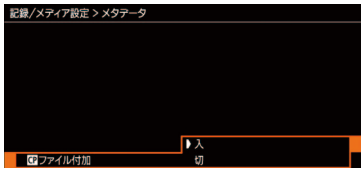
選択中のカスタムピクチャーファイル（本機）をSDカードのカスタムピクチャーファイルで置き換える

① カスタムピクチャーファイルを選ぶ（📖 147）。
② 「SDカードBから読み出し」を選ぶ。
③ SDカードB内のコピー元となるカスタムピクチャーファイルを選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
④ 「OK」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- 選択中のカスタムピクチャーファイルが置き換わる。

⑤ ジョイスティックを押す。

■ カスタムピクチャーファイルをクリップと一緒に保存する

調整を行った画質設定で撮影すると、カスタムピクチャーファイルがクリップと一緒に保存されます。クリップと一緒に保存したカスタムピクチャーファイルは、本機にコピーして再利用することができます（150）。

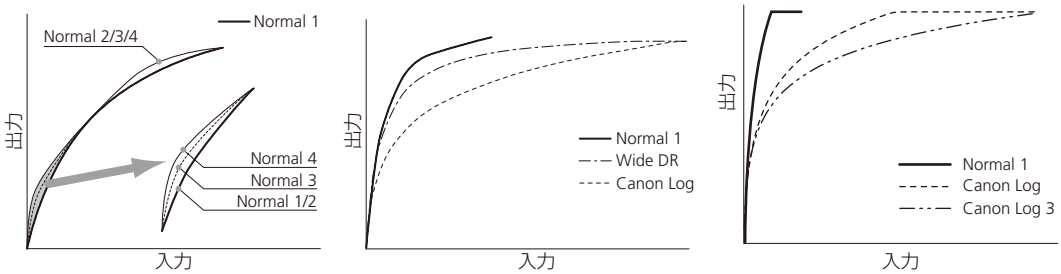


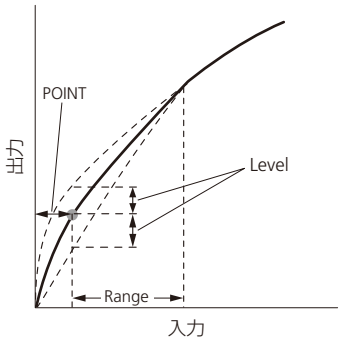
① 4 記録/メディア設定メニュー ➤「メタデータ」➤「CP ファイル付加」を順に選ぶ。
②「入」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- 「切」にすると、カスタムピクチャーファイルはクリップと一緒に保存されない。

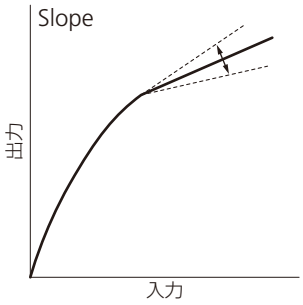
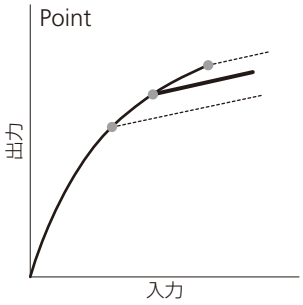
■ カスタムピクチャーの設定項目

カスタムピクチャーで設定できる項目について説明します。初期設定は太字で記載しています。

設定項目／内容・設定値
Preset
あらかじめ用意された標準的な設定。Canon LogなどのLogガンマを使用する設定は、ポストプロダクション処理が前提となる。ガンマ、色空間、カラーマトリックスの組み合わせは次のとおり。 Canon Log 3　：Canon Log 3 ／ BT.709 Gamut ／ Neutral Canon Log　：Canon Log ／ BT.709 Gamut ／ Cinema EOS Original **BT.709**　：Wide DR ／ BT.709 Gamut ／ Neutral Off
Gamma
Preset（プリセット）が「Off」のときに、映像全体のテイストを決めるガンマカーブを選択する。 Canon Log 3：　Canon Logの特徴を残したまま、ダイナミックレンジを広くしたガンマ。ポストプロダクション処理が前提。 Canon Log：　ダイナミックレンジを広くとる。ポストプロダクション処理が前提。 **Wide DR**：　広いダイナミックレンジを確保。TVモニターに出力するとき。 Normal 1 (Standard)：　TVモニターで見るとき。 Normal 2 (x4.0)：　TVモニターで見るとき。Normal 1に対して高輝度部をより明るく撮影。 Normal 3 (BT.709)：　TVモニターで見るとき。Normal 2に対して低輝度部の黒の階調をより表現できる。 Normal 4 (x5.0)：　TVモニターで見るとき。Normal 3に対して低輝度部の黒の階調をより表現できる。



設定項目／内容・設定値
Color Matrix
Preset(プリセット)が「Off」のときに、映像の色調を選択する。 **Neutral**：　忠実な色再現。 Production Camera：　映画制作用の色再現。 Cinema EOS Original：　EOS C500の4K出力 (BT.709)と同等の色再現。 Video：　EOS C300 / C500でカスタムピクチャーをOFFにしたときと同等の色再現。 Off：　色調を調整しない。
Activate Other Settings
設定値：　On、**Off** ／ 内容：Other Settings(その他の設定)の調整の有効／無効を設定する。
Other Settings ➤ Black ➤ Master Pedestal*
設定値：　±50（**±0**） 黒のレベルを調整する。値を高くするほど暗部が明るくなり、コントラストが弱くなる。マイナスの値にすると、黒が沈む。 *「Gamma」に「Canon Log 3」、「Canon Log」を選択時は、無効。
Other Settings ➤ Black ➤ Master Black Red*、Master Black Green*、Master Black Blue*
設定値：　±50（**±0**） 黒の色かぶりをRGB個別に補正する。 *「Gamma」に「Canon Log 3」、「Canon Log」を選択時は、無効。
Other Settings ➤ Black Gamma ➤ Level、Range、Point
低輝度部のガンマを補正する。各値を変えることで、図の範囲内で黒側のガンマカーブを調整する。「Gamma」に「Canon Log 3」、「Canon Log」、「Wide DR」を選択時は、無効。 Level [±50（**±0**）]：　基準ガンマからの高さ Range [−20 〜 50（**±0**）]：Pointからの幅 Point [−20 〜 50（**±0**）]：　頂点の位置 
Other Settings ➤ Low Key Satur. ➤ Activate、Level
低輝度領域の色の濃い／薄いを調整する。 Activate [On、**Off**]：　Onにすると、ローキーサチュレーションによる調整を有効する。 Level [±50（**±0**）]：　低輝度領域の色の濃さ、薄さを設定する。

設定項目／内容・設定値
Other Settings ➤ Knee ➤ Activate、Slope、Point、Saturation
高輝度部分に圧縮をかけて、とびの発生を抑える。「Gamma」に「Canon Log 3」、「Canon Log」、「Wide DR」を選択時は、無効。 Activate [**On**、Off]：　Onにすると、ニーの調整を有効にする。 Slope [−35 〜 50（**±0**）]：　ニーの傾き。 Point [50 〜 109（**95**）]：　ニーポイント。 Saturation [±10（**±0**）]：　高輝度部における色の濃さ・薄さ。    
Other Settings ➤ Sharpness ➤ Level
設定値：　−10 〜 50（**±0**）／ 内容：輪郭強調のレベルを調整する。
Other Settings ➤ Sharpness ➤ H Detail Freq.
設定値：　±8（**±0**） 水平の輪郭強調の中心周波数を設定する。値を大きくするほど周波数が高くなり、輪郭強調は細くなる。
Other Settings ➤ Sharpness ➤ Conring Level、Coring D-Ofst、Coring D-Curve
輪郭強調によって発生するノイズ成分を低減する（コアリング）。輝度に応じてコアリングのレベルを変えることもできる（輝度適応コアリング）。 Coring Level [−30 〜 50（**±0**）]：コアリングのレベル。大きくすると、微小な輪郭が強調されなくなり、ノイズを低減できる。 Coring D-Ofst [**0** 〜 50]：　最低輝度のコアリングレベル（レベルディペンド・オフセット）。 Coring D-Curve [**0** 〜 8]：　Coring LevelからCoring D-Ofstまでの変化のしかた（レベルディペンド・カーブ）。
Other Settings ➤ Sharpness ➤ HV Detail Bal.
設定値：　±8（**±0**） 輪郭強調の水平成分と垂直成分の比率を調整する。値を大きくすると垂直成分が大きくなり、値を小さくすると水平成分が大きくなる。
Other Settings ➤ Sharpness ➤ Limit
設定値：　±50（**±0**）／ 内容：輪郭強調の大きさを制限するレベルを調整する。
Other Settings ➤ Sharpness ➤ Select
設定値：　**0** 〜 15 Levelで設定した通常の輪郭強調に加えて、より高い周波数成分を含む輪郭強調をかけるときに設定する。数値が大きくなるほど高い周波数成分を含む輪郭強調のレベルが強くなる。通常の輪郭強調では鮮明になりにくい被写体に使用する。
Other Settings ➤ Sharpness ➤ Knee Aperture Gain、Knee Aperture Slope
ニーポイントより輝度が高い領域だけに輪郭強調をかける。「Gamma」に「Canon Log 3」、「Canon Log」、「Wide DR」、「EOS Std.」を選択時は、無効。 Knee Aperture Gain [**0** 〜 9]：　輪郭強調の強さ。 Knee Aperture Slope [0 〜 3（**1**）]：　輪郭強調の傾きを0（なし）、1（急）〜 3（なだらか）の4段階で設定する。

設定項目／内容・設定値
Other Settings ➤ Sharpness ➤ Level Depend Level、Level Depend Slope、Level Depend Offset
低輝度部分の輪郭強調を弱める。 Level Depend Level [**0** ～ 50]： 処理対象の低輝度部分の輝度。 Level Depend Slope [**0** ～ 3]： 低輝度と高輝度部との間の傾きを0（なし）、1（急） ～ 3（なだらか）の4段階で設定する。 Level Depend Offset [**0** ～ 50]： 低輝度部の輪郭強調のレベルを設定し、値を大きくするほど低輝度部の輪郭強調が弱められる。
Other Settings ➤ Noise Reduction ➤ Level
設定値： **Off**、1 ～ 12 ノイズを低減するノイズフィルターを選択する。数値が大きくなるほど、ノイズ低減効果が大きくなる。
Other Settings ➤ White Balance ➤ R Gain、B Gain
ホワイトバランスのシフト量を調整する。 R Gain [±50（**±0**）]：赤色の濃淡を調整する。 B Gain [±50（**±0**）]：青色の濃淡を調整する。
Other Settings ➤ Color Matrix Tuning ➤ Gain、Phase、R-G、R-B、G-R、G-B、B-R、B-G
映像の色調を微調整する。 Gain [±50（**±0**）]： 色の濃さを調整する。 Phase [±18（**±0**）]： 色相を調整する。 R-G [±50（**±0**）]： シアンからグリーン、レッドからマゼンタの色調を調整する。 R-B [±50（**±0**）]： シアンからブルー、レッドからイエローの色調を調整する。 G-R [±50（**±0**）]： マゼンタからレッド、グリーンからシアンの色調を調整する。 G-B [±50（**±0**）]： マゼンタからブルー、グリーンからイエローの色調を調整する。 B-R [±50（**±0**）]： イエローからレッド、ブルーからシアンの色調を調整する。 B-G [±50（**±0**）]： イエローからグリーン、ブルーからマゼンタの色調を調整する。
Other Settings ➤ Other Functions ➤ Setup Level
設定値： ±50（**±0**） Black ➤ Master Pedestalで設定した黒レベルに付加するセットアップの調整量を設定する。「Gamma」に「Canon Log 3」、「Canon Log」を選択時は、無効。
Other Settings ➤ Other Functions ➤ Over 100%
100%を超える信号の出力のしかたを設定する。 **Through**： 信号をそのまま出力する。 Press： 108%までの信号全体を100%に圧縮する。 Clip： 白レベルを100%でクリップする。
ファイル ➤ 選択
設定値： **C1** ～ C20 ／ 内容：カスタムピクチャーファイルを選択する。
ファイル ➤ 名称変更
設定値： 8文字の英数字・記号（**CP000001**）／ 内容：カスタムピクチャーファイルの名前を変更する。
ファイル ➤ プロテクト
設定値： **プロテクト解除**、プロテクト ／ 内容：カスタムピクチャーファイルをプロテクトする。
ファイル ➤ リセット
設定値：**キャンセル**、OK ／ 内容：選択しているカスタムピクチャーファイルの設定を初期状態に戻す。

設定項目／内容・設定値
ファイル ➤ SDカードBへコピー、SDカードBから読み出し
現在選択しているカスタムピクチャーファイルをSDカード、または本機にコピーする。 SDカードBへコピー：　選択している本機内のカスタムピクチャーファイルをSDカードBにコピーする。 SDカードBから読み出し：SDカードB内のカスタムピクチャーファイルを本機にコピーし、選択しているカスタムピクチャーファイル（本機）を置き換える。

MEMO

- リモートコントローラー RC-V100（別売）を接続して、「CP HDR 1 Custom Picture/HDR設定メニュー ➤「Activate Other Settings」を「On」にすると、次の項目をRC-V100から調整できます。
  - BlackのMaster Pedestal、Master Black Red / Blue
  - Black GammaのLevel
  - KneeのSlope*、Point*
  - SharpnessのLevel
  - White BalanceのR Gain / B Gain

  * KneeのActivateがOnのときのみ。

設定データの保存と読み出し

CAMERA | MEDIA | RAW | MP4 | XF-AVC

メニューで行った各種の設定情報（設定データ）をカメラ本体、またはSDカードに保存できます。設定データは、必要に応じて読み出して再利用できます。複数のカメラC200 / C200Bを同じ設定にするときに便利です。設定データの保存や読み出しは、SDカードB（SD CARD B）のみ行えます。

設定データを保存する

メニュー設定やカスタムピクチャーを設定データとしてカメラ本体、またはSDカードに保存します。

① 1 システム設定メニュー ➤「メニュー / CP 設定保存」➤「保存」を順に選ぶ。
② 「カメラ本体へ」または「SDカードBへ」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
③ 「OK」を選び、ジョイスティックを押す。
- 現在のメニュー設定やカスタムピクチャーが、②で選んだ保存先に保存される。保存されている設定データは、現在の設定で上書きされる。

④ ジョイスティックを押す。

設定データを読み込む

カメラ本体、またはSDカードに保存されている設定データを読み込んで本機に設定します。

① 1 システム設定メニュー ➤「メニュー / CP 設定保存」➤「読み出し」を順に選ぶ。
② 「カメラ本体から」または「SDカードBから」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
③ 「OK」を選び、ジョイスティックを押す。
- メニュー設定やカスタムピクチャーが、②で選んだ読み込み先から読み込んだ設定データの内容に設定される。
- 設定データが本機に読み込まれたあと、画面が一度消え、本機が再起動する（メニューは消える）。

MEMO

保存されない設定

- 1 ネットワーク設定メニュー ➤「接続設定」の「暗号化キー」
- 1 ネットワーク設定メニュー ➤「ブラウザーリモート設定」の「Full：パスワード」*、「Camera：パスワード」*、「Meta：パスワード」*
- 1 ネットワーク設定メニュー ➤「FTP転送設定」➤「FTP：パスワード」

* 初期設定値は除く。

- 設定データを読み込むとき、本機にプロテクトされたカスタムピクチャーファイルがあっても、上書きされます。
- C200 / C200Bの設定データのみ使用可能です。

5

再　生

クリップを再生する..... 158
クリップを操作する..... 163

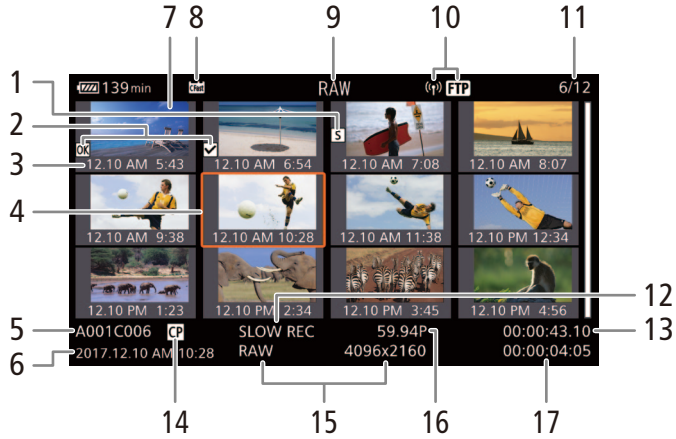
クリップを再生する

CAMERA | MEDIA | RAW | MP4 | XF-AVC

ここでは、撮影した映像（クリップ）の再生について説明します。外部のモニターに接続して再生するときは、「接続」（169）をご覧ください。

インデックス画面

POWER（電源）スイッチをMEDIAにする（27）と本機がメディアモードで起動します。本機の主記録形式がRAW形式のときはCFastカードに、MP4形式またはXF-AVC形式のときはSDカードに記録されているクリップのサムネイル（縮小画）がインデックス画面に表示されます。なお、クリップ撮影時のシステム周波数の設定が、本機の設定と異なると再生できません。本機のシステム周波数を再生するクリップと同じ設定にしてください（72）。



5 ～ 6、10 ～ 14には、選択しているクリップの情報が表示されます。

1 ショットマーク
- ショットマークが付加されているときに表示される。

2 OKマーク／チェックマーク
- OKマークまたはチェックマークが付加されているときに表示される。

3 収録日（月日）と記録開始時間

4 カーソル（オレンジ色の枠）

5 カメラインデックス、リール番号、クリップ番号
- MP4形式のときは、ファイル名が表示される（例：100-0006）。

6 収録日（年月日）と記録開始時間

7 クリップのサムネイル

8 記録メディア
- SDカードの場合、現在選択しているカードをハイライト表示する。

9 表示中の記録形式
- 静止画のときは、「静止画」と表示される。

10 ネットワーク機能
- クリップをFTP転送するときに表示される。

11 クリップ番号／クリップ総数

12 特殊撮影情報
- 特殊撮影（インターバル記録、フレーム記録、スローモーション記録）で撮影されたクリップのときに、そのモード名が表示される。

13 記録開始フレームのタイムコード

14 カスタムピクチャー
- カスタムピクチャーファイルが一緒に記録されているときのみ表示される。

15 カラーサンプリングと解像度
- RAW形式で撮影されたクリップのときは、カラーサンプリングではなく、「RAW」と表示される。

16 フレームレート

17 記録時間

SDカードを切り換える

SLOT SELECT

両方のSDカードスロットにSDカードを入れているときは、SLOT SELECT（スロット選択）ボタンを押して、再生するSDカードを切り換えることができます（🕮 56）。

インデックス画面を切り換える

インデックス画面に表示する内容を選んで、インデックス画面を切り換えることができます。次の3種類のインデックス画面に切り換えることができます。

RAW Index（RAW形式クリップインデックス画面）：
CFastカードに記録されているクリップのみを表示する。

MP4 Index（MP4形式クリップインデックス画面）：
選択中のSDカードに記録されているクリップのみを表示する。

XF-AVC Index（XF-AVC形式クリップインデックス画面）：
選択中のSDカードに記録されているクリップのみを表示する。

Photo Index（静止画インデックス画面）：
SDカードB（SD CARD B）に記録されている静止画のみを表示する。

INDEX/■

1 カメラ本体のINDEX（インデックス）ボタンを押す

- インデックス画面を表示中は、インデックスメニューが表示される。

2 ジョイスティックを上下に押して、いずれか選ぶ ➤ ジョイスティックを押す

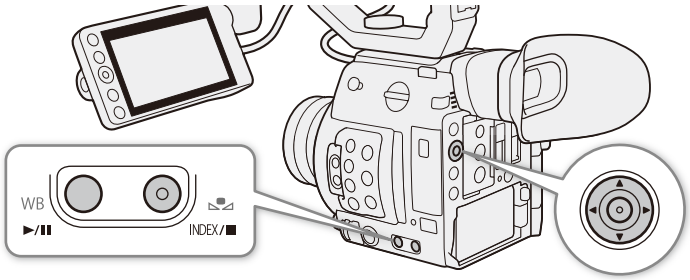
- 選んだインデックス画面に切り換わる。

切り換えを中止するとき

「キャンセル」を押す。

■ 再生する

インデックス画面で選んだクリップを再生します。再生にはカメラ本体の各種再生操作ボタンを使用します。カメラ本体のボタン操作では、►/❚❚(再生／一時停止)、■(停止)が行えるほか、ジョイスティックガイドに従ってジョイスティックで操作することもできます。



1 ジョイスティックを上下左右に押して、クリップを選ぶ

- ジョイスティックを操作すると、インデックス画面上のカーソル（オレンジ色の枠）が移動するので、再生したいクリップに合わせる。

2 カメラ本体の►/❚❚(再生／一時停止)ボタンを押す

- 再生が始まる。
- 再度、►/❚❚(再生／一時停止)ボタンを押すと再生一時停止となる。

再生を終えるとき

カメラ本体の■(停止)ボタンを押す。

RAWクリップの再生時の画質について

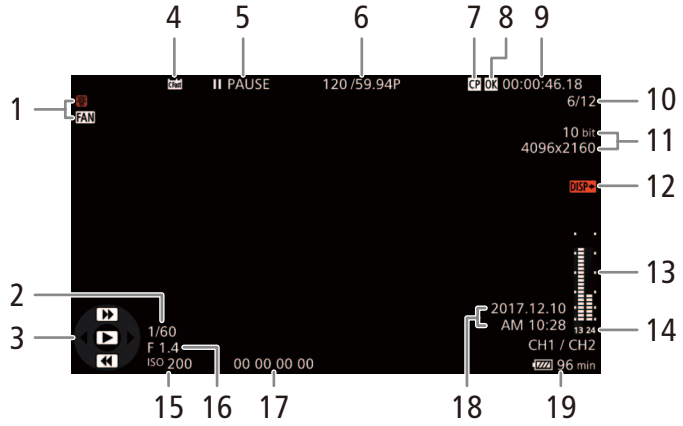
- ガンマ、色空間、カラーマトリックスは、それぞれWide DR、BT.709、Neutralとなる。
- カスタムピクチャーのActivate Other SettingsがOffのときと同様。

ご注意

アクセスランプが点灯している間は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。

- 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
- アクセスしているカードスロットのカードカバーを開けない。

再生時の画面表示



1 内部温度、ファン ▶▶ 📖 71

2 シャッタースピード*1 ▶▶ 📖 75

3 ジョイスティックガイド ▶▶ 📖 162

4 記録メディア ▶▶ 📖 52

5 再生状況

▶ PLAY	再生中
❚❚ PAUSE	再生一時停止中
❚❚▶	コマ送り
◀❚❚	コマ戻し
F FWD x5 ▶▶	早送り（5倍速）
F FWD x15 ▶▶	早送り（15倍速）
F FWD x60 ▶▶	早送り（60倍速）
◀◀ F REV x5	早戻し（5倍速）
◀◀ F REV x15	早戻し（15倍速）
◀◀ F REV x60	早戻し（60倍速）

6 撮影フレームレート* ／フレームレート ▶▶ 📖 72

* スローモーション記録で記録されたクリップのみ。

7 カスタムピクチャー ▶▶ 📖 146

- カスタムピクチャーファイルが一緒に記録されているときのみ表示される。

8 OKマーク／チェックマーク ▶▶ 📖 124

9 タイムコード ▶▶ 📖 108

10 クリップ番号／クリップ総数

11 色深度と解像度 ▶▶ 📖 72

- MP4形式またはXF-AVC形式で撮影されたクリップのときは、カラーサンプリングと解像度が表示される。

12 画面表示出力 ▶▶ 📖 178

13 オーディオレベルメーター *2

14 音声出力チャンネル ▶▶ 📖 179

15 ISO感度／ゲイン*1 ▶▶ 📖 78

16 F値*1 ▶▶ 📖 82

17 ユーザービット ▶▶ 📖 110

18 収録日*3と記録開始時間*3

19 バッテリー残量の目安 ▶▶ 📖 65

*1 4 モニタリング設定メニュー ▶ 「Custom Display」 ▶ 「カメラデータ」が「入」のときに表示される。
*2 4 モニタリング設定メニュー ▶ 「Custom Display」 ▶ 「オーディオレベル」が「入」のときに表示される。
*3 4 モニタリング設定メニュー ▶ 「Custom Display」 ▶ 「日付/時刻」が「入」のときに表示される。

MEMO

- DISP(ディスプレイ)ボタン、または「Display」を割り当てたアサインボタン(📖 142)を押すと、画面表示を次のように切り換えることができます。
  全表示 → ジョイスティックガイド非表示 → 全消去*
  * 再生直後の再生状況とタイムコードや、クリップ番号／クリップ総数を除くほとんどの画面表示が消去される。

さまざまな再生

早送りや早戻し、コマ送りなどの再生方法があります。操作は、カメラ本体の再生操作ボタンを使うか、ジョイスティックガイドに従ってジョイスティックで行います。ジョイスティックガイドは、DISP(ディスプレイ)ボタンまたは「Display」を割り当てたアサインボタンを押して表示を入／切できます。

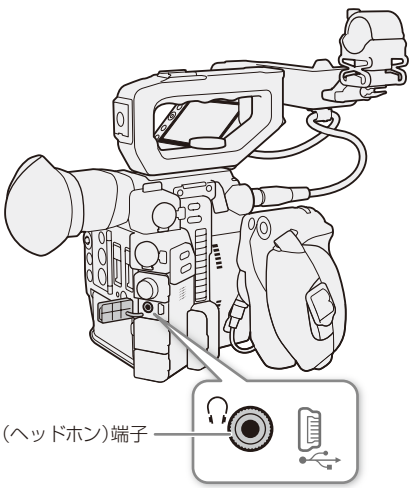
機　能	操　作	ジョイスティック	説　明
早送り*1	再生中に	▶▶	押すたびに再生速度が約5倍→約15倍→約60倍に切り換わる。*2
早戻し*1	再生中に	◀◀	
コマ送り	一時停止中に	▮▮▶	押すたびに1コマ進む。押し続けると連続してコマごとに進む。
コマ戻し*3	一時停止中に	◀▮▮	押すたびに1コマ戻る。押し続けると連続してコマごとに戻る。

*1 操作中、画面が乱れることがあります。
*2 画面に出る倍速表示は目安です。
*3 「ビットレート」の圧縮方式がLong GOPの場合、コマの間隔はコマ送りのときより長くなり、約0.5秒です。

MEMO

- 特殊再生中は音声が聞こえません。
- 早送りや早戻し中に▶/▮▮ボタンを押すと、通常の再生に戻ります。

音声を聞く



通常の再生中は、音声をヘッドホンやスピーカーで聞くことができます。音量は、♪))1 オーディオ設定メニュー ➤「ヘッドホン音量」、「スピーカー音量」で調整できます。アサインボタン(📖 142)で調整することもできます。音声は、SDI端子とHDMI OUT端子にも出力されます(📖 173)。

MEMO

- モニターするチャンネルの選択については、「音声出力チャンネルを選ぶ」(📖 179)をご覧ください。

クリップを操作する

クリップ単位の操作や情報表示を行うときは、クリップメニューを使用します。クリップメニューはクリップの各種インデックス画面で表示することができ、それぞれの画面に応じた機能を選ぶことができます。

クリップメニュー一覧

CAMERA | MEDIA　RAW | MP4 | XF-AVC

メニュー項目	内容	インデックス画面			🕮
		RAWクリップ	MP4クリップ	XF-AVCクリップ	
キャンセル	クリップメニューを消す。	●	●	●	—
クリップ情報表示	クリップ情報画面を表示する。	●	●	●	164
OK Mark追加	OKマークを付加する。	—	—	●*1	124
OK Mark消去	OKマークを消去する。	—	—	●*1	166
☑ Mark追加	チェックマークを付加する。	—	—	●*1	124
☑ Mark消去	チェックマークを消去する。	—	—	●*1	166
Shot Mark 全消去	ショットマークをすべて消去する。	—	—	●	167
クリップ修復*2	クリップを修復する。	●	●	●	57
クリップ消去	クリップを消去する。	●	●	●	168
User Memo消去	クリップに付加されているユーザーメモ／GPS情報を消去する。	—	—	●	168
FTP転送	クリップをFTP転送する。	—	●	●	208

*1 クリップにOKマーク／チェックマークが既に付加されているときは、「消去」になる。
*2 修復が必要なときのみ表示される。修復が必要なとき、クリップメニューは「キャンセル」と「クリップ修復」、「クリップ消去」のみ表示される。

クリップメニューで操作する

CAMERA | MEDIA　RAW | MP4 | XF-AVC

例：XF-AVCクリップインデックス画面でクリップにOKマークを付加する場合

1 操作するクリップを選ぶ

2 ジョイスティックを押す

- クリップメニューが表示される。選択できる機能は、表示している画面や選択しているクリップによって変わる。

3 OKマークを付加する

① 「OK Mark追加」を選ぶ➤ジョイスティックを押す。
② 「OK」を選ぶ➤ジョイスティックを押す。

- 選択したクリップにOKマークが付加され、サムネイルの左に OK が表示される。

ご注意

- アクセスランプが赤色に点灯中は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。
  - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
  - アクセスしているカードスロットのカードカバーを開けない。

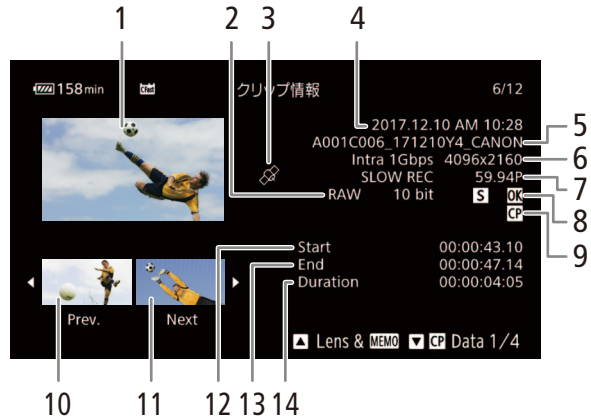
MEMO

- MP4クリップまたはXF-AVCクリップを操作するときは、SDカードの誤消去防止ツマミの「LOCK」を解除してください。

クリップ情報を表示する

CAMERA | MEDIA | RAW | MP4 | XF-AVC

クリップメニューで「クリップ情報表示」を選択すると、選択しているクリップの情報を確認できます。クリップ情報画面でジョイスティックを左右に押すと、前／次のクリップに移動します。CANCELを押すと元の画面に戻ります。



1 選択しているクリップのサムネイル（縮小画）
2 カラーサンプリング ▶▶ 📖 72
- RAW形式で撮影されたクリップのときは、「RAW」と色深度が表示される。

3 GPS情報マーク ▶▶ 📖 127
4 撮影開始日時
5 クリップファイル名 ▶▶ 📖 67、70
6 ビットレート／解像度
7 特殊記録情報／フレームレート
- 特殊記録されたクリップのときは、「INT REC」、「FRM REC」、「SLOW REC」のいずれかが表示される。

8 OKマーク／チェックマーク／ショットマーク
9 カスタムピクチャー
10 前のクリップのサムネイル
11 次のクリップのサムネイル
12 記録開始フレームのタイムコード
13 記録終了フレームのタイムコード
14 収録時間

クリップに付加されているレンズ型名情報／ユーザーメモを表示する

CAMERA | MEDIA | RAW | MP4 | XF-AVC

クリップ情報画面でジョイスティックを上に押すと、クリップに付加されているレンズ型名情報とユーザーメモを表示できます。ジョイスティックを下に押すと、クリップ情報画面に戻ります。

クリップと一緒に記録されているカスタムピクチャーファイルを表示する

CAMERA | MEDIA | RAW | MP4 | XF-AVC

カスタムピクチャーファイルが一緒に記録されているクリップのときは、クリップ情報画面でジョイスティックを下に押すと、カスタムピクチャーの設定内容を表示することができます。設定内容は4つの画面に分かれており、操作するたびに「CP Data 1/4」→「CP Data 2/4」→「CP Data 3/4」→「CP Data 4/4」→「Lens & MEMO」→「クリップ情報画面」のように切り換わります。

OKマーク／チェックマークを付加する

CAMERA | MEDIA | RAW | MP4 | XF-AVC

XF-AVC形式で記録したメイン動画やプロキシ動画のクリップにOKマーク／チェックマークを付加することができます。OKマークが付加されたクリップは、本機での消去が禁止されるため、重要なクリップを保護することができます。

再生中にOKマーク／チェックマークを付加する

再生中のメイン動画のクリップにOKマーク／チェックマークを付けることができます。

1 カメラアサイン8ボタンに「OK Mark追加」または「✓ Mark追加」を割り当てる（142）

2 XF-AVC形式クリップインデックス画面でクリップを選び、再生または再生一時停止にする

FUNC

3 カメラアサイン8ボタンを押す

- 「OK Mark」が表示され、OKマークが付加される。
- チェックマークのときは、「✔ Mark」が表示される。
- 再生中にOKマーク／チェックマークを付加すると再生一時停止になる。
- OKマークを付加したクリップには、画面にOKが、チェックマークを付加したクリップには、画面に✔が表示される。

XF-AVC形式クリップインデックス画面でOKマーク／チェックマークを付ける

XF-AVC形式クリップインデックス画面で選択したクリップにOKマークまたはチェックマークを付けることができます。

① XF-AVC形式クリップインデックス画面で、マークを付けるクリップを選ぶ。
② クリップメニュー ➤「OK Mark追加」または「✔ Mark追加」を順に選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
③「OK」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- 選択したクリップにOKマークが付加され、サムネイルの左にOKが表示される。
- 「✔ Mark追加」を選んだときは、チェックマークが付加され、サムネイルの左に✔が表示される。

MEMO

- OKマークとチェックマークは同じクリップに同時に付加することができないため、OKマークが付加されたクリップにチェックマークを付加すると、OKマークは解除されます。チェックマークが付加されたクリップにOKマークを付加したときも同様に、チェックマークが解除されます。

■ OKマーク／チェックマークを消去する

CAMERA | MEDIA | RAW | MP4 | XF-AVC

1つのクリップのOKマーク／チェックマークを消去する

① マークを消去するクリップを選ぶ。
② クリップメニュー ➤「OK Mark消去」または「✔ Mark消去」を順に選ぶ。
③「OK」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- 選択したクリップのOKマークまたはチェックマークが消去される。

■ ショットマークを付加／消去する

CAMERA | MEDIA | RAW | MP4 | XF-AVC

メディアモードで、XF-AVC形式で記録したクリップの重要なフレームにショットマークを付けることができます。
ショットマークは、再生中や再生一時停止中に、「Shot Mark追加」を割り当てたアサインボタンを押すと付加できます。

再生中にショットマークを付加する

例：カメラアサイン8ボタンに「Shot Mark追加」を割り当てて、ショットマークを付加する場合

1 カメラアサイン8ボタンに「Shot Mark追加」を割り当てる（142）

FUNC

2 再生中 または 再生一時停止中
ショットマークを付加したいフレームでカメラアサイン8ボタンを押す

- 「Shot Mark」が表示され、ショットマークが付加される。
- 再生中にショットマークを付加すると再生一時停止になる。
- ショットマークを付加したクリップには、インデックス画面で S が表示される。

インデックス画面でショットマークをすべて消去する

① XF-AVC形式クリップインデックス画面でフレーム（サムネイル）を選ぶ。
② クリップメニュー ➤「Shot Mark 全消去」を順に選ぶ。
③「OK」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- 選んだフレームに付加されているショットマークがすべて消去される。

■ クリップを消去する

CAMERA | MEDIA | RAW | MP4 | XF-AVC

CFastカード、またはSDカードに記録されたクリップを消去することができます。OKマークが付加されたクリップは消去できません。消去するときは、先にOKマークを消去する必要があります。

1つのクリップを消去する

① 消去するクリップを選ぶ。
② クリップメニュー ➤「クリップ消去」を順に選ぶ。
③「OK」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- 選択したクリップが消去される。
- クリップの消去は中止できない。

④ ジョイスティックを押す。

■ クリップに付加されているユーザーメモ／ GPS情報を消去する

CAMERA | MEDIA | RAW | MP4 | XF-AVC

選択したXF-AVCクリップに付加されているユーザーメモ／ GPS情報を消去することができます。

① ユーザーメモ／ GPS情報を消去するクリップを選ぶ。
② クリップメニュー ➤「User Memo消去」を順に選ぶ。
③「OK」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- 選択したクリップに付加されているユーザーメモ／ GPS情報が消去される。

6 接　続

出力信号形式 170

外部のモニター／レコーダーを
接続する 173

音声出力を選択する 179

クリップを保存／現像する 181

出力信号形式

CAMERA | MEDIA | RAW | MP4 | XF-AVC

SDI端子やHDMI™ OUT端子からの出力は、記録・再生の映像信号形式とメニューの設定によって切り換わります。また、SDI端子とHDMI OUT端子は、どちらか一方のみ出力されます。出力の切り換えは自動で行います。表内のビット数は、映像信号の有効ビット数です。

撮影時の記録信号形式と出力信号形式

<table>
<tr><th colspan="3">記録信号形式</th><th colspan="6">出力信号形式</th></tr>
<tr><th rowspan="6">記録形式*1</th><th rowspan="6">フレームレート*2</th><th rowspan="6">解像度</th><th colspan="3">SDI端子*3</th><th colspan="3">HDMI OUT端子*3</th></tr>
<tr><th colspan="3">SDI出力*4</th><th colspan="3">HDMI最大解像度*4</th></tr>
<tr><th colspan="3">SDI/HDMIスキャンモード*4</th><th colspan="3">SDI/HDMIスキャンモード*4</th></tr>
<tr><th colspan="2">P*4</th><th>PsF*4</th><th colspan="2">P*4</th><th>PsF*4</th></tr>
<tr><th>2048×1080 / 1920×1080*4</th><th>1920×1080*4</th><th>–</th><th>3840×2160*4</th><th>1920×1080*4</th><th>–</th></tr>
<tr><td rowspan="3">RAW</td><td>59.94P
29.97P
23.98P</td><td rowspan="3">4096×2160</td><td rowspan="3">2048×1080
YCbCr 4:2:2 10 bit</td><td rowspan="3">1920×1080*5
YCbCr 4:2:2 10 bit</td><td>59.94i / 29.97PsF*6
1920×1080*5
YCbCr 4:2:2 10 bit</td><td colspan="2" rowspan="3">1920×1080*5
YCbCr 4:2:2 10 bit</td><td>59.94i
1920×1080*5
YCbCr 4:2:2 10 bit</td></tr>
<tr><td>50.00P
25.00P</td><td>50.00i / 25.00PsF*7
1920×1080*5
YCbCr 4:2:2 10 bit</td><td>50.00i
1920×1080*5
YCbCr 4:2:2 10 bit</td></tr>
<tr><td>24.00P</td><td>60.00i
1920×1080*5
YCbCr 4:2:2 10 bit</td><td>60.00i
1920×1080*5
YCbCr 4:2:2 10 bit</td></tr>
<tr><td rowspan="8">MP4 / XF-AVC</td><td rowspan="2">59.94P
29.97P
23.98P</td><td>3840×2160</td><td colspan="2" rowspan="2">1920×1080
YCbCr 4:2:2 10 bit</td><td rowspan="2">59.94i / 29.97PsF*6
1920×1080
YCbCr 4:2:2 10 bit</td><td>3840×2160
YCbCr 4:2:2
8 bit*8</td><td>1920×1080
YCbCr 4:2:2 10 bit</td><td rowspan="2">59.94i
1920×1080
YCbCr 4:2:2 10 bit</td></tr>
<tr><td>1920×1080</td><td>1920×1080
YCbCr 4:2:2 10 bit</td><td>720×480(59.94Pのみ)</td></tr>
<tr><td>59.94i
(XF-AVCのみ)</td><td rowspan="2">1920×1080</td><td colspan="6">1920×1080
YCbCr 4:2:2 10 bit</td></tr>
<tr><td>119.88P*9</td><td colspan="2">59.94P
1920×1080
YCbCr 4:2:2 8 bit</td><td>59.94i
1920×1080
YCbCr 4:2:2 8 bit</td><td colspan="2">59.94P
1920×1080
YCbCr 4:2:2 8 bit</td><td>59.94i
1920×1080
YCbCr 4:2:2 8 bit</td></tr>
<tr><td rowspan="2">50.00P
25.00P</td><td>3840×2160</td><td colspan="2" rowspan="2">1920×1080
YCbCr 4:2:2 10 bit</td><td rowspan="2">50.00i / 25.00PsF*7
1920×1080
YCbCr 4:2:2 10 bit</td><td>3840×2160
YCbCr 4:2:2
8 bit*8</td><td>1920×1080
YCbCr 4:2:2 10 bit</td><td rowspan="2">50.00i
1920×1080
YCbCr 4:2:2 10 bit</td></tr>
<tr><td>1920×1080</td><td>1920×1080
YCbCr 4:2:2 10 bit</td><td>720×576(50.00Pのみ)</td></tr>
<tr><td>100.00P*9</td><td rowspan="2">1920×1080</td><td colspan="2">50.00P
1920×1080
YCbCr 4:2:2 8 bit</td><td>50.00i
1920×1080
YCbCr 4:2:2 8 bit</td><td colspan="2">50.00P
1920×1080
YCbCr 4:2:2 8 bit</td><td>50.00i
1920×1080
YCbCr 4:2:2 8 bit</td></tr>
<tr><td>50.00i
(XF-AVCのみ)</td><td colspan="6">1920×1080
YCbCr 4:2:2 10 bit</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="3">記録信号形式</th><th colspan="5">出力信号形式</th></tr>
<tr><th rowspan="6">記録形式*1</th><th rowspan="6">フレームレート*2</th><th rowspan="6">解像度</th><th colspan="3">SDI端子*3</th><th colspan="2">HDMI OUT端子*3</th></tr>
<tr><th colspan="3">SDI出力*4</th><th colspan="2">HDMI最大解像度*4</th></tr>
<tr><th colspan="3">SDI/HDMIスキャンモード*4</th><th colspan="2">SDI/HDMIスキャンモード*4</th></tr>
<tr><th colspan="2">P*4</th><th>PsF*4</th><th colspan="2">P*4</th><th>PsF*4</th></tr>
<tr><th>2048×1080 / 1920×1080*4</th><th>1920×1080*4</th><th>–</th><th>3840×2160*4</th><th>1920×1080*4</th><th>–</th></tr>
<tr><td rowspan="3">MP4 / XF-AVC</td><td rowspan="2">24.00P</td><td>3840×2160</td><td colspan="2" rowspan="2">1920×1080
YCbCr 4:2:2 10 bit</td><td rowspan="2">60.00i
1920×1080
YCbCr 4:2:2 10 bit</td><td>3840×2160
YCbCr 4:2:2 8 bit</td><td rowspan="2">1920×1080
YCbCr 4:2:2 10 bit</td><td rowspan="2">60.00i
1920×1080
YCbCr 4:2:2 10 bit</td></tr>
<tr><td>1920×1080</td><td>1920×1080
YCbCr 4:2:2 10 bit</td></tr>
<tr><td>120.00P*9</td><td>1920×1080</td><td colspan="2">60.00P
1920×1080
YCbCr 4:2:2 8 bit</td><td>60.00i
1920×1080
YCbCr 4:2:2 8 bit</td><td colspan="2">60.00P
1920×1080
YCbCr 4:2:2 8 bit</td><td>60.00i
1920×1080
YCbCr 4:2:2 8 bit</td></tr>
</table>

再生時の出力信号形式

<table>
<tr><th colspan="3">記録信号形式</th><th colspan="5">出力信号形式</th></tr>
<tr><th rowspan="6">記録形式*1</th><th rowspan="6">フレームレート*2</th><th rowspan="6">解像度</th><th colspan="3">SDI端子*3</th><th colspan="2">HDMI OUT端子*3</th></tr>
<tr><th colspan="3">SDI出力*4</th><th colspan="2">HDMI最大解像度*4</th></tr>
<tr><th colspan="3">SDI/HDMIスキャンモード*4</th><th colspan="2">SDI/HDMIスキャンモード*4</th></tr>
<tr><th colspan="2">P*4</th><th>PsF*4</th><th colspan="2">P*4</th><th>PsF*4</th></tr>
<tr><th>2048×1080 / 1920×1080*4</th><th>1920×1080*4</th><th>–</th><th>3840×2160*4</th><th>1920×1080*4</th><th>–</th></tr>
<tr><td rowspan="3">RAW</td><td>59.94P
29.97P
23.98P</td><td rowspan="3">4096×2160</td><td rowspan="3">2048×1080
YCbCr 4:2:2 10 bit</td><td rowspan="3">1920×1080*5
YCbCr 4:2:2 10 bit</td><td>59.94i / 29.97PsF*6
1920×1080*5
YCbCr 4:2:2 10 bit</td><td colspan="2" rowspan="3">1920×1080*5
YCbCr 4:2:2 10 bit</td><td>59.94i
1920×1080*5
YCbCr 4:2:2 10 bit</td></tr>
<tr><td>50.00P
25.00P</td><td>50.00i / 25.00PsF*7
1920×1080*5
YCbCr 4:2:2 10 bit</td><td>50.00i
1920×1080*5
YCbCr 4:2:2 10 bit</td></tr>
<tr><td>24.00P</td><td>60.00i
1920×1080*5
YCbCr 4:2:2 10 bit</td><td>60.00i
1920×1080*5
YCbCr 4:2:2 10 bit</td></tr>
<tr><td rowspan="3">MP4 / XF-AVC</td><td rowspan="3">59.94P
29.97P
23.98P</td><td>3840×2160</td><td colspan="2" rowspan="2">1920×1080
YCbCr 4:2:2 8 bit</td><td rowspan="3">59.94i / 29.97PsF*6
1920×1080*5
YCbCr 4:2:2 8 bit</td><td>3840×2160
YCbCr 4:2:2 8 bit*8</td><td>1920×1080
YCbCr 4:2:2 8 bit</td><td rowspan="3">59.94i
1920×1080*5
YCbCr 4:2:2 8 bit</td></tr>
<tr><td>1920×1080</td><td colspan="2" rowspan="2">1920×1080*5
YCbCr 4:2:2 8 bit

720×480(59.94Pのみ)</td></tr>
<tr><td>2048×1080*10</td><td>2048×1080
YCbCr 4:2:2 8 bit</td><td>1920×1080*5
YCbCr 4:2:2 8 bit</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="3">記録信号形式</th><th colspan="6">出力信号形式</th></tr>
<tr><th rowspan="6">記録形式*1</th><th rowspan="6">フレームレート*2</th><th rowspan="6">解像度</th><th colspan="3">SDI端子*3</th><th colspan="3">HDMI OUT端子*3</th></tr>
<tr><th colspan="3">SDI出力*4</th><th colspan="3">HDMI最大解像度*4</th></tr>
<tr><th colspan="3">SDI/HDMIスキャンモード*4</th><th colspan="3">SDI/HDMIスキャンモード*4</th></tr>
<tr><th colspan="2">P*4</th><th>PsF*4</th><th colspan="2">P*4</th><th>PsF*4</th></tr>
<tr><th>2048×1080 / 1920×1080*4</th><th>1920×1080*4</th><th>–</th><th>3840×2160*4</th><th>1920×1080*4</th><th>–</th></tr>
<tr><td rowspan="9">MP4 / XF-AVC</td><td>59.94i (XF-AVCのみ)</td><td>1920×1080</td><td colspan="6">1920×1080
YCbCr 4:2:2 8 bit</td></tr>
<tr><td rowspan="3">50.00P
25.00P</td><td>3840×2160</td><td colspan="2" rowspan="2">1920×1080
YCbCr 4:2:2 8 bit</td><td rowspan="3">50.00i / 25.00PsF*7
1920×1080*5
YCbCr 4:2:2 8 bit</td><td>3840×2160
YCbCr 4:2:2 8 bit*8</td><td>1920×1080
YCbCr 4:2:2 8 bit</td><td rowspan="3">50.00i
1920×1080*5
YCbCr 4:2:2 8 bit</td></tr>
<tr><td>1920×1080</td><td colspan="2" rowspan="2">1920×1080*5
YCbCr 4:2:2 8 bit

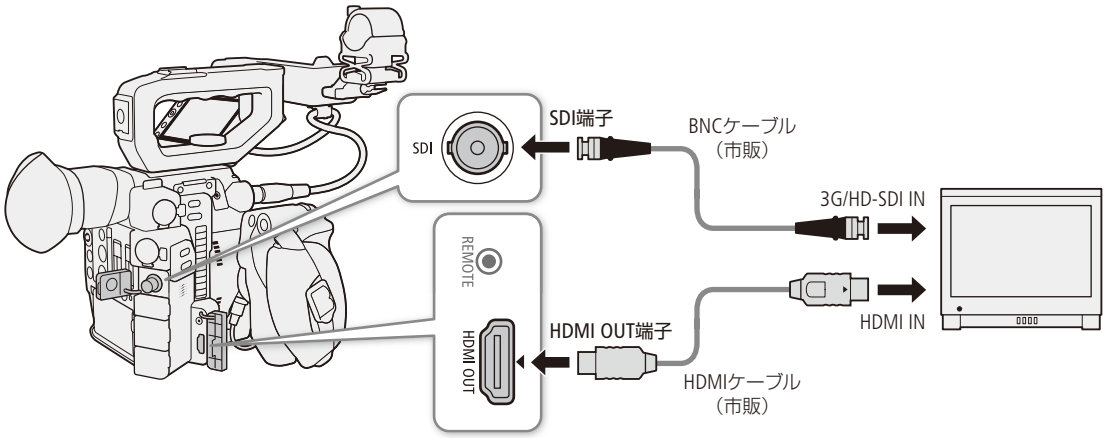
720×576(50.00Pのみ)</td></tr>
<tr><td>2048×1080*10</td><td>2048×1080
YCbCr 4:2:2 8 bit</td><td>1920×1080*5
YCbCr 4:2:2 8 bit</td></tr>
<tr><td>50.00i (XF-AVCのみ)</td><td>1920×1080</td><td colspan="6">1920×1080
YCbCr 4:2:2 8 bit</td></tr>
<tr><td rowspan="3">24.00P</td><td>3840×2160</td><td colspan="2" rowspan="2">1920×1080
YCbCr 4:2:2 8 bit</td><td rowspan="3">60.00i
1920×1080*5
YCbCr 4:2:2 8 bit</td><td>3840×2160
YCbCr 4:2:2 8 bit</td><td>1920×1080
YCbCr 4:2:2 8 bit</td><td rowspan="3">60.00i
1920×1080*5
YCbCr 4:2:2 8 bit</td></tr>
<tr><td>1920×1080</td><td colspan="2" rowspan="2">1920×1080*5
YCbCr 4:2:2 8 bit</td></tr>
<tr><td>2048×1080*10</td><td>2048×1080
YCbCr 4:2:2 8 bit</td><td>1920×1080*5
YCbCr 4:2:2 8 bit</td></tr>
</table>

*1 1 記録/メディア設定メニュー ➤「 主記録形式」の設定 (🕮 72)。
*2 出力信号形式のフレームレートは、記録信号形式と同じ (スローモーション記録時とSDI/HDMIスキャンモードをPsFに設定時を除く)。
*3 画面表示の重畳 (🕮 178)が可能。ただし、HDMI OUT端子から4K(3840×2160)59.94P ／ 50.00P出力時は除く。SDI端子はピーキングなどアシスト表示が出力可能 (🕮 95)。
*4 2 システム設定メニュー ➤「 HDMI最大解像度」(🕮 174)、「SDI出力」(🕮 173)、「SDI/HDMIスキャンモード」(🕮 175)の設定。
*5 4096×2160または2048×1080の映像信号は、上下に黒い帯が追加される。
*6 フレームレートが29.97P時のみ。
*7 フレームレートが25.00P時のみ。
*8 フレームレートが59.94Pまたは50.00P時は、YCbCr 4:2:0 8 bit。
*9 スローモーション記録時のみ。
*10 1 記録/メディア設定メニュー ➤「 サブ記録設定」で「MP4(SDカード)」または「XF-AVC(SDカード)」を選択時のみ。

外部のモニター／レコーダーを接続する

撮影・再生映像を外部モニターに表示するときは、外部モニターに応じて使用する端子を決めて本機と外部モニターを接続したあと、使用する端子の出力信号形式をメニューで設定します（参考 ▸▸「出力信号形式」（🕮 170））。

■ 接続のしかた



MEMO

● ACアダプターを使って、コンセントにつないで使うことをおすすめします。

■ SDI端子を使用する

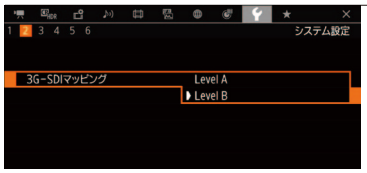
CAMERA | MEDIA | RAW | MP4 | XF-AVC

SDI端子から出力される映像信号には、オーディオ信号（最大4チャンネル）とタイムコード信号、記録コマンドが重畳されます。SDI端子の映像信号には、マーカー、画面表示が重畳できるほか、拡大表示（🕮 226）を行うこともできます。

1 SDI端子の出力モードを選ぶ

① 2 システム設定メニュー ➤「SDI出力」を順に選ぶ。
② 「2048×1080 / 1920×1080」または「1920×1080」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

2048×1080 /
1920×1080： 2048×1080、または1920×1080の映像を出力する。
1920×1080： 常に1920×1080の映像を出力する。記録信号形式の水平解像度が4096、または2048のときは上下に黒い帯が追加される。



2 SDI端子の出力信号のマッピング方式を選ぶ

① 2 システム設定メニュー ➤「3G-SDIマッピング」を順に選ぶ。
② 「Level A」または「Level B」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
● SMPTE ST 425-1規格のLevel A、またはLevel Bに準拠した信号が出力される。

外部レコーダーを接続して2K映像を記録する

CAMERA | MEDIA | RAW | MP4 | XF-AVC

本機のSDI端子に接続した外部レコーダーに2K映像を記録できます。レコーダーの機能・操作については、レコーダーの説明書などをご覧ください。音声については「音声出力を選択する」(179)をご覧ください。

MEMO

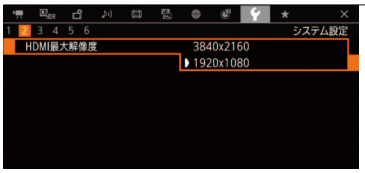
- SDI端子とHDMI OUT端子は同時に出力できません。SDI端子で出力するときは、HDMI OUT端子からHDMIケーブルを外してください。
- 接続するレコーダーによっては、設定した記録信号形式で記録できないことがあります。
- 本機と外部レコーダーを接続後、必ずためし撮りをして正常に録画・録音されていることを確認してください。
- 4 記録/メディア設定メニュー ➤「記録コマンド」を「入」にして、本機と他機をSDI端子でつなぐと、本機の撮影／撮影一時停止操作(RECボタンの操作)と連動して、他機の記録／記録一時停止を行うことができます。ただし、特殊記録モード(プレ記録を除く)を選択中、この機能は使用できません。

HDMI OUT端子を使用する

CAMERA | MEDIA | RAW | MP4 | XF-AVC

HDMI OUT端子を使用すると、映像と音声をデジタル信号で出力することができます。出力にタイムコード(221)や画面表示(178)、マーカー(105)を重畳*できます。音声は2チャンネル、リニアPCM(16ビット、48kHz)で出力されます。出力チャンネルはメニューで選択できます(179)。

* 4K(3840×2160) 59.94P ／ 50.00P時を除く。



1 HDMI OUT端子の出力モードを選ぶ

① 2 システム設定メニュー ➤「HDMI最大解像度」を順に選ぶ。
② 「3840×2160」または「1920×1080」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

2 カメラモードのとき 必要に応じて、タイムコードの重畳を有効にする

① 4 記録/メディア設定メニュー ➤「HDMI Time Code」を順に選ぶ。
② 「入」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

MEMO

- HDMI OUT端子は出力専用です。他の出力端子と接続しないでください。故障の原因となります。
- DVI対応モニターとの接続は保証していません。
- モニターによっては正しく表示されないことがあります。そのときは、他の端子を使って接続してください。
- 4 記録/メディア設定メニューの「記録コマンド」と「HDMI Time Code」を「入」にして、本機と他機をHDMI OUT端子でつなぐと、本機の撮影／撮影一時停止操作(RECボタンの操作)と連動して、他機の記録／記録一時停止を行うことができます。タイムコードも重畳されます。

● 次の場合、HDMI OUT端子にタイムコードは重畳されません。
- メディアモードのとき。
- SD出力時。
- スローモーション記録時。
- インターバル記録
- フレーム記録

出力信号の走査方式を設定する

CAMERA | MEDIA | RAW | MP4 | XF-AVC

SDI端子またはHDMI OUT端子から出力する映像信号の走査方式を設定します。

1 走査方式を選ぶ

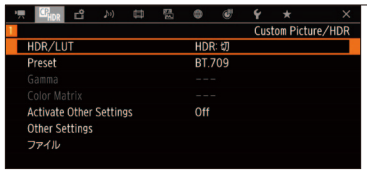
① 2 システム設定メニュー ➤「SDI/HDMIスキャンモード」を順に選ぶ。
② 「P」または「PsF」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

HDRで出力する

CAMERA | MEDIA | RAW | MP4 | XF-AVC

RAW形式で撮影する場合、SDI端子またはHDMI OUT端子からHDR規格*に準拠したHDR映像をナローレンジ（ビデオレンジ）で出力できます。

* ITU-R BT.2100（HLG）またはITU-R BT.2100（PQ）



1 HDR出力を有効にする

① 1 Custom Picture/HDR設定メニュー ➤「HDR/LUT」➤「HDR：切」を順に選ぶ。
② ジョイスティックを押す。
③ ジョイスティックを左右に押して、「HDR：HLG」または「HDR：PQ」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
● HDRで出力しないときは、「HDR：切」を選ぶ。

HDR出力とLUTの設定画面

1 HDMI OUT端子／ SDI端子／ VIDEO端子／ C200 ファインダー／ SDカードへの出力映像のガンマカーブ*、またはHDR出力の設定値

2 SDI端子／ VIDEO端子／ C200 ファインダー／ SDカードに適用しているLUTの設定値

* カスタムピクチャーの「Preset」または「Gamma」で設定しているガンマカーブ

■ 出力映像にLUTを適用する

CAMERA | MEDIA | RAW | MP4 | XF-AVC

カスタムピクチャーで特定のガンマを選択している場合、SDI端子、またはVIDEO端子／ C200 ファインダーの出力映像にLUTを適用して、標準的なガンマ／色空間に変換できます。映像出力端子に接続した外部モニターや本機の画面で映像を確認する際に使用します。端子からの出力映像の確認には、各色空間に準拠した表示装置が必要です。

選択できるLUT

「LUT」	ガンマ	色空間	内容
LUT：BT.709	Wide DR	BT.709	BT.709規格に準拠した外部モニターや本機の画面で確認するためのLUT。
LUT：HDRアシスト(1600%)*1	独自ガンマ	BT.709	BT.2100規格のHDR映像をVIDEO端子などに接続した機器で確認するためのLUT。1600%、400%のいずれかの輝度領域を、HDR対応ディスプレイに表示したときと同等に見えるように変換する。
LUT：HDRアシスト(400%)*1	独自ガンマ	BT.709	
LUT：ACESproxy*2 *3	ACESproxy	ACESproxy	ACESproxyに準拠する外部モニターで確認するためのLUT。フルレンジで出力する。

*1 VIDEO端子または C200 ファインダーのみ。

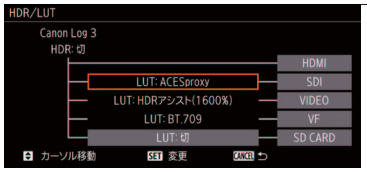
*2 SDI端子のみ。

*3 CP HDR 1 Custom Picture/HDR設定メニュー ➤「Preset」➤「Canon Log 3」を選んだときのみ。

LUTを適用できるガンマの組み合わせ

CP$_{HDR}$ Custom Picture/HDR設定メニュー ➤「Preset」で選択したガンマによって、LUTの適用可否と選択できるLUTが決まります。

カスタムピクチャー	選択できるLUT			
ガンマ	LUT：BT.709	LUT：HDRアシスト（1600%）	LUT：HDRアシスト（400%）	LUT：ACESproxy
Canon Log 3	●	●	●	●
Canon Log	●	—	—	—
Wide DR	—	—	—	—



① CP$_{HDR}$ 1 Custom Picture/HDR設定メニュー ➤「HDR/LUT」を順に選ぶ。
② ジョイスティックを上下に押して、LUTを適用する端子または出力先を選ぶ。
③ ジョイスティックを押す。
④ ジョイスティックを左右に押して、「LUT：BT.709」、「LUT：HDRアシスト（1600%）」、「LUT：HDRアシスト（400%）」、「LUT：ACESproxy」、「LUT：切」*のいずれかを選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

- 選択できるLUTは、LUTを適用する端子または出力先、カスタムピクチャーのプリセットやガンマによって異なる。
- 出力映像のガンマと色空間が変更される。
- LUTを適用しないときは「LUT：切」*を選ぶ。

* C200 ファインダーとVIDEO端子は、CP$_{HDR}$ 1 Custom Picture/HDR設定メニュー ➤「HDR/LUT」が「HDR：切」のときに選択可能。

MEMO

ACESproxyの映像を出力する（オンセット・グレーディング）

SDI端子に「LUT：ACESproxy」のLUTを適用すると、ACESproxy準拠の映像に変換して出力できます。対応する表示装置でモニタリングすることにより、撮影現場でカラーグレーディング時の映像を確認しながら撮影できます（🕮 22）。

- 「LUT：すべて」を割り当てたアサインボタンで、適用するLUTを切り換えることもできます（🕮 142）。
- カスタムピクチャーのプリセットやガンマを変更すると、LUTの「設定」および各出力はすべて「LUT：切」になります。

■ 出力映像に画面表示を重畳する

CAMERA | MEDIA | RAW | MP4 | XF-AVC

SDI端子、HDMI OUT端子から出力される映像に画面表示を重畳することができます。この設定は、メモリーカードに記録される映像には影響しません。

① 5 モニタリング設定メニュー *1 ➤「オンスクリーン表示」を順に選ぶ。

*1 C200B 4 モニタリング設定メニュー。

② 「入」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

- 画面に DISP が表示される*2。

*2 カメラモードでは、5 モニタリング設定メニュー *1 ➤「Custom Display2」➤「オンスクリーン表示」が「入」のときのみ表示される。

MEMO

- HDMI OUT端子から4K（3840×2160）59.94P ／ 50.00Pを出力するときは、画面表示がHDMI OUT端子に重畳されません。
- 「オンスクリーン表示」を割り当てたアサインボタンで操作することもできます（📖 142）。

音声出力を選択する

SDI端子やHDMI OUT端子、🎧(ヘッドホン)端子、スピーカーから音声を出力できます。音声を4チャンネルで記録したときは、記録メディアに記録した4チャンネルの音声のうち、🎧(ヘッドホン)端子やスピーカー *、HDMI OUT端子から出力される2チャンネルの音声は、メニューで選択します。

* モノラルで出力される。

音声の出力信号形式

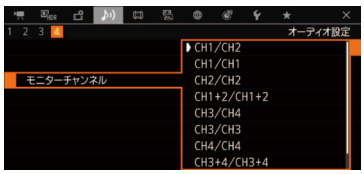
記録信号形式		撮影／再生時	
記録方式	量子化ビット数／ビットレート	SDI端子	HDMI OUT端子*
4ch リニアPCM	24 bitまたは16 bit	4ch リニアPCM 24 bit	2ch リニアPCM 16 bit
2ch MPEG-2 AAC-LC	256 kbps		

* 4chの記録音声から出力するチャンネルを選択可能 (🕮 180)。

■ 音声出力チャンネルを選ぶ

CAMERA | MEDIA | RAW | MP4 | XF-AVC

🎧(ヘッドホン)端子やスピーカーの出力チャンネルを選ぶ



① ♪))4 オーディオ設定メニュー * ➤「モニターチャンネル」を順に選ぶ。
* メディアモードのときは、♪))1 オーディオ設定メニュー。
② 次のいずれかを選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

設定値	出力音声	
	L	R
CH1/CH2	CH1	CH2
CH1/CH1	CH1	CH1
CH2/CH2	CH2	CH2
CH1+2/CH1+2	CH1 + CH2 (ミックス)	CH1 + CH2 (ミックス)
CH3/CH4*	CH3	CH4
CH3/CH3*	CH3	CH3
CH4/CH4*	CH4	CH4
CH3+4/CH3+4*	CH3 + CH4 (ミックス)	CH3 + CH4 (ミックス)
CH1+3/CH2+4*	CH1 + CH3 (ミックス)	CH2 + CH4 (ミックス)

* カメラモードで「MP4オーディオ形式」を「ACC 16 bit 2CH」にしたときは表示されない。

● 5 モニタリング設定 ➤「Custom Display 2」➤「モニターチャンネル」が「入」のときは、画面のオーディオレベルメーターの下に、選択した出力チャンネルが表示される。

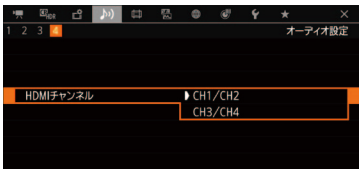
MEMO

● 「モニターチャンネル」を割り当てたアサインボタンで操作することもできます。(🕮 142)。

HDMI OUT端子の出力チャンネルを選ぶ

CAMERA | MEDIA | RAW | MP4 | XF-AVC

カメラモードでHDMI OUT端子は、2チャンネルの音声を出力できます。4チャンネルで記録／再生する音声のうち、HDMI OUT端子から出力するチャンネルをメニューで選択できます。



① ♪))4 オーディオ設定メニュー * ➤「HDMIチャンネル」を順に選ぶ。
* メディアモードのときは、♪))1 オーディオ設定メニュー。
②「CH1/CH2」または「CH3/CH4」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

クリップを保存／現像する

CAMERA | MEDIA | RAW | MP4 | XF-AVC

撮影したMP4クリップやXF-AVCクリップをパソコンに保存したり、RAWクリップをパソコンで現像したりすることができます。

MP4クリップを保存する

本機で撮影して記録したMP4クリップは、SDカードリーダーとソフトウェアData Import Utilityを使うと、パソコンに取り込むことができます。
ソフトウェアData Import UtilityはPIXELA社のホームページからダウンロードしてインストールします。ソフトウェアのダウンロードや最新の情報については、以下のPIXELA社ホームページをご覧ください。
http://www.pixela.co.jp/oem/canon/j/index_biz.html
その他のお問い合わせについては、キヤノンお客様相談センターをご利用ください。

ソフトウェアData Import Utilityを使ってできること

- SDカードリーダーを使って、クリップをパソコンに取り込む。
- リレー記録（🕮 57）によって分割されたクリップを結合する。
- 4GB（🕮 129）ごとに分割されたクリップを結合する。

インストールする前に

ソフトウェアをインストールする前に、Data Import Utilityの取扱説明書（PDFファイル）*をご覧のうえ、Data Import Utilityでできることの詳細と動作環境をご確認ください。
* ダウンロードしたソフトウェアの圧縮ファイルに含まれる[Manual]フォルダをご覧ください。

インストールと使いかた

Data Import Utilityのインストール手順や使いかたの詳細については、Data Import Utilityの取扱説明書（PDFファイル）をご覧ください。

XF-AVCクリップをパソコンに保存する

本機で撮影して記録したXF-AVCクリップをパソコンに保存するときはCanon XF Utilityを、ノンリニア編集ソフトウェアに読み込むときはCanon XF Plugin*1を使用します。これらのソフトウェアは、キヤノンのホームページからダウンロードしてインストールします。ソフトウェアの動作環境および最新の情報については、キヤノンのホームページをご覧ください。ソフトウェアのインストールについては、ダウンロードしたソフトウェアの圧縮ファイルに含まれるPDFファイルをご覧ください。ソフトウェアの使いかたの詳細については、ソフトウェアの使用説明書（PDFファイル）*2をご覧ください。
*1 Avid社のノンリニア編集ソフトウェア用のプラグインです。
*2 ソフトウェアと一緒にインストールされます。

Canon XF Utility（Windows用／ macOS用）

パソコンへの保存、クリップの確認・再生・管理、静止画の切り出しを行うソフトウェア

Canon XF Plugin for Avid Media Access（Windows用／ macOS用）

Avid Media Accessに対応したノンリニア編集ソフトウェアAvid Media Composer（Windows / macOS）から、カード内またはパソコンに保存したクリップを直接読み込むことができる。

RAWクリップを現像する

本機で撮影して記録したRAW形式のクリップは、現像ソフトウェアCinema RAW Developmentで現像して、DPX形式などの標準的なファイル形式の素材データに変換することによって、カラーグレーディングが可能となります。また、Canon RAW Pluginでノンリニア編集ソフトウェアに直接読み込むこともできます。Cinema RAW DevelopmentとCanon RAW Pluginは、キヤノンのホームページからダウンロードできます。システム構成や最新の情報についてはキヤノンのホームページをご覧ください。ソフトウェアのインストールについては、ダウンロードしたソフトウェアの圧縮ファイルに含まれるPDFファイルをご覧ください。詳細な使いかたについては、ソフトウェアに付属の使用説明書（PDF）*をご覧ください。

* ソフトウェアと一緒にインストールされます。

Cinema RAW Development（Windows用／ macOS用）

RAW クリップを現像して再生、およびRAW クリップを現像してエクスポートすることができる。

Canon RAW Plugin for Avid Media Access（Windows用／ macOS用）

Avid Media Accessに対応したノンリニア編集ソフトウェアAvid Media Composer（Windows / macOS）から、カメラで撮影してCFastカードに記録したクリップを直接読み込むことができる。

Canon RAW Plugin for Final Cut Pro X (macOS用)

ノンリニア編集ソフトウェアApple Final Cut Pro Xから、カメラで撮影してCFastカードに記録したクリップを直接読み込むことができる。

7 ネットワーク

ネットワークの接続設定をする 184

ネットワーク機器で
リモート撮影する 194

クリップをFTPで転送する 208

ネットワークの接続設定をする

Wi-Fi を使うか、品 (イーサネット)端子を使って本機をネットワークに接続すると、以下のネットワーク機能を使用することができます。ここでは、ネットワークの接続設定のしかたについて説明します。ネットワークへの接続は、各ネットワーク機能を有効にしたときに行われます。ネットワークの接続設定の詳細は、それぞれ、「Wi-Fiで接続する」(🕮 185)、「イーサネットで接続する」(🕮 192)で説明します。

ネットワーク機能と接続方式

機能名	概要	イーサネット	Wi-Fi		🕮
			インフラストラクチャー *1	カメラアクセスポイント*2	
ブラウザーリモート	ネットワーク機器から本機をリモート操作して撮影する。	●	–	●	194
FTP転送	撮影したクリップをネットワーク機器にFTP*3で転送する。	●	●	–	208

*1 アクセスポイントを介してWi-Fiに接続する通信方式。
*2 本機がアクセスポイントの働きをして、Wi-Fi機器と直接接続する方式。
*3 ネットワークに接続した機器間でファイルを転送するための通信規約。File Transfer Protocolの略。

ネットワーク機能を使用する前に

本書は、ネットワーク機器およびWi-Fiのアクセスポイントの設定が完了し、正しく動作していることを前提に説明しています。アクセスポイントの設定方法については、お使いの機器のメーカーにお問い合わせください。

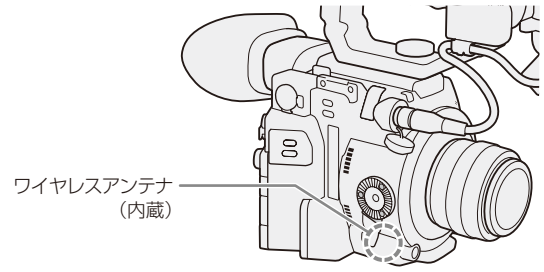
- ネットワークの接続の設定を行うには、ネットワーク (EthernetおよびWi-Fi)の設定方法に関する十分な知識が必要です。ネットワークの設定方法については、弊社ではサポートできませんので、あらかじめご了承ください。

ご注意

- 送信するデータは暗号化されません。
- ネットワーク機能を使用するためにネットワークに対して誤った設定を行った結果生じた損害、および本ネットワーク機能を使用した結果生じた損害については、弊社ではその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- セキュリティで保護されていないWi-Fiやネットワーク環境に接続することは避けてください。ネットワーク機能をすぐにお試しいただけるように、あらかじめパスワードなどが設定されていますが、パスワードを変更してからご使用ください (🕮 186、195)。お客様の個人情報などのデータが第三者に漏洩する危険性があります。

MEMO

- Wi-Fi接続するときや接続中は、内蔵ワイヤレスアンテナ付近を手などで覆わないでください。通信電波がさえぎられ、Wi-Fiの通信状態が悪くなります。
- Wi-Fi接続するときは、安定した通信状態を保つために、カメラグリップ GR-V1 (C200は付属、C200Bは別売)を外すことをおすすめします。
- ネットワーク機能を使用中は、CFastカードカバー／ SDカードカバーを開けないでください。
- SDI端子、またはHDMI OUT端子に接続したケーブルやユニットケーブルを、ワイヤレスアンテナの近くに配置しないでください。通信に影響することがあります。



Wi-Fiで接続する

Wi-Fi接続について

本機は、Wi-Fi認証を受け（右のロゴマークがある）、無線LAN規格IEEE802.11a / b / g / nに対応するアクセスポイント*1や携帯端末などと接続できます。Wi-Fiへの接続方法については、お使いのWi-Fiネットワーク環境によって仕様や制限事項が異なります。また、セキュリティで保護されていないWi-Fiネットワーク環境に接続すると、お客様の個人情報などのデータが第三者に漏洩する恐れがあります。十分、ご注意ください。

Wi-Fiに接続するには、「カメラアクセスポイント」と「インフラストラクチャー」の2つの方式があり、ネットワーク機能によって使用する方式が異なります。インフラストラクチャー方式のときは、さらに4つの設定方法を選択できます。

カメラアクセスポイント

屋外などアクセスポイントのない環境で、カメラとWi-Fi対応機器を直接接続します。カメラがアクセスポイントの働き*1をするので、Wi-Fi対応機器側はアクセスポイントに接続するのと同じ操作で接続できます。

インフラストラクチャー

WPS（プッシュボタン方式）*2：

パスワードなどの入力が不要な最も簡単な設定方法です。この方法で接続するときは、お使いのアクセスポイントがWPS用のボタンを備えていることを、あらかじめご確認ください。

WPS（PINコード方式）*2：

WPS用のボタンを備えていないアクセスポイントでも、PINコードを使って設定できるものがあります。接続は自動的に行われますが、アクセスポイントの設定画面を操作して、WPS機能を動作させるための一定の知識が必要です。詳しくはアクセスポイントの説明書をご覧ください。

アクセスポイント検索：

WPSに対応していないアクセスポイントに接続するときなどに、周囲のアクセスポイントを検索して設定できます。

マニュアル：

ステルス機能を有効にしているアクセスポイントに接続するときや、さまざまな設定を手動で行うとき。Wi-Fiやネットワークに関する知識が必要です。

*1 カメラとWi-Fi対応機器間の通信を行うのみで、市販のアクセスポイントの機能とは異なります。

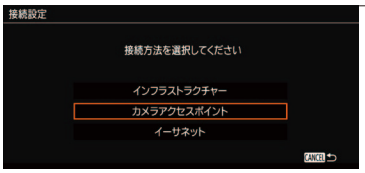
*2 WPSは、Wi-Fi Protected Setupの略で、アクセスポイントへの接続とセキュリティの設定を簡単に行うための規格です。

ご注意

- IEEE802.11a/nの5 GHz帯の電波を使用する場合、地域によっては屋外、またはカメラアクセスポイントでの使用に法律上の制限が定められていることがあります。使用可能地域をご確認ください。使用可能地域については、基本ガイドの取り扱い上のご注意「使用可能な地域について」の記載をご覧ください。

カメラアクセスポイントで接続する

カメラアクセスポイントの接続設定をします。画面の案内に従って、ウィザード形式で操作します。



1 カメラアクセスポイントを選ぶ

① 1 ネットワーク設定メニュー ➤「接続設定」を順に選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
② 接続設定先を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
③「編集」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
④「カメラアクセスポイント」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

2 SSIDを入力する

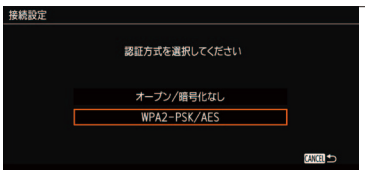
① 「Input」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
② SSIDを入力する。
参考 ▶▶「文字入力のしかた」(🕮 38)
● 入力したSSIDは接続時に必要となるため、メモしておく。
③「OK」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

3 通信モードを選ぶ

① 「5 GHz」または[2.4 GHz」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

4 チャンネルを選ぶ

① チャンネルを選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
● 操作3で選んだ通信モードによって、選択できるチャンネルが異なる。



5 認証方式と暗号化方式を選ぶ

① 「オープン/暗号化なし」 または「WPA2-PSK/AES」 を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
● 「オープン/暗号化なし」を選んだときは、操作7に進む。

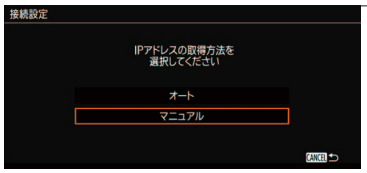
6 暗号化キーを入力する

① 「Input」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
② 暗号化キーを入力する。
参考 ▶▶「文字入力のしかた」(📖 38)
● 入力した暗号化キーは接続時に必要となるため、メモしておく。
③ 「OK」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

7 TCP/IP設定を行う (📖 187)

TCP/IPを設定する

ここでは、はじめにTCP/IPの設定を行い、次にネットワーク設定を保存します。TCP/IPの設定内容の詳細については、ネットワーク管理者、またはネットワークに詳しい方にお問い合わせください。



1 IPアドレスの取得方法を選ぶ

① いずれかを選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
オート： 自動で設定する。
マニュアル：IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、優先DNSサーバー、代替DNSサーバーを手動で設定する。
● 「オート」を選んだときは操作3に進む。

2 マニュアルを選んだとき IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、優先DNSサーバー、代替DNSサーバーを入力する

① ジョイスティックを上下に押して1番目の数字を選び、ジョイスティックを押す。
● カーソルが2番目の数字に移動する。
② ①の操作を繰り返して、4つの数字をすべて設定する。
③ カーソルが一番右の「セット」にある状態で、ジョイスティックを押す。
● IPアドレスが設定される。
④ IPアドレスと同じ要領でサブネットマスクとデフォルトゲートウェイ、優先DNSサーバー、代替DNSサーバーを入力する。
● カメラアクセスポイント(📖 186)で接続するときは、IPアドレスとサブネットマスクを入力して操作3に進む。

3 設定内容を確認する

① ジョイスティックを左右に押して確認画面を切り換え、設定内容を確認する。
② ジョイスティックを押す。

4 ネットワーク設定名を入力する

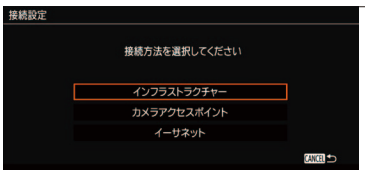
① 「Input」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- キーボード画面が表示される。

② ネットワーク設定名を入力する。
参考 ▶▶「文字入力のしかた」(📖 38)

③ 「OK」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
④ 「OK」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
⑤ 「OK」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- ネットワークの設定が保存される。選んだ設定番号にネットワーク設定が保存されている場合、新しい設定で上書きされる。

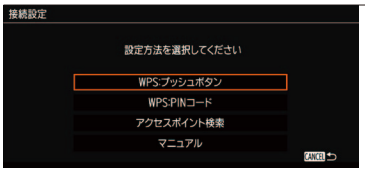
インフラストラクチャーで接続する

インフラストラクチャー方式で接続するにはアクセスポイントが必要です。



1 インフラストラクチャーを選ぶ

① 🌐 1 ネットワーク設定メニュー ➤ 「接続設定」を順に選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
② 接続設定先を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
③ 「編集」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
④ 「インフラストラクチャー」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。



2 Wi-Fi設定方法を選ぶ

① いずれかを選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- 各設定方法のページを参照して、以降の操作を行う。
「WPS：プッシュボタン」(📖 189)
「WPS：PIN コード」(📖 189)
「アクセスポイント検索」(📖 190)
「マニュアル」(📖 190)

WPSで接続する

WPSのプッシュボタン方式、またはPINコード方式で接続します。プッシュボタン方式では、アクセスポイントのWPS用ボタンを押すことで、カメラとアクセスポイントを簡単に接続することができます。PINコード方式では、カメラの画面に表示される8桁の識別番号（PINコード）を、アクセスポイントの設定画面に設定して接続します。周囲に複数のアクセスポイントが稼動している状況でも、比較的接続しやすい方式です。

プッシュボタン方式の場合

1 本機 「WPS：プッシュボタン」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す

2 アクセスポイント WPS用のボタンを長押ししてWPSを起動する

- 長押しの時間はアクセスポイントによって異なります。必ず、アクセスポイントの説明書をご覧になってから操作を行い、アクセスポイントがWPS起動状態になったことを確認してください。
- 操作3に進む。

PINコード方式の場合

1 本機 「WPS：PINコード」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す

- 7 ～ 8秒すると画面にPINコードが表示される。

2 アクセスポイント WPS（PINコード方式）の設定画面*に、操作1で表示されたPINコードを入力してWPSを起動する

* 多くのアクセスポイントは、Webブラウザーから設定します。

- アクセスポイントの操作については、アクセスポイントの説明書をご覧ください。

3 本機 操作2から2分以内にジョイスティックを押す

- アクセスポイントへの接続を開始する。
- 「接続中です」の画面が出ているときにCANCELを押すと、接続を中止する。
- 接続が完了すると、IPアドレスの取得方法選択画面が表示される。

4 本機 TCP/IP設定を行う（187）

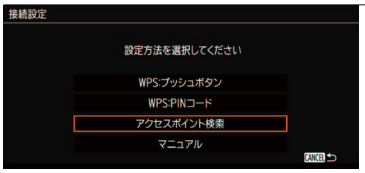
MEMO

- 周囲に複数のアクセスポイントが稼働していると、WPS（プッシュボタン方式）でうまく接続できないことがあります。このときは、WPS（PINコード方式）、またはアクセスポイント検索で接続してください。

アクセスポイントを検索して接続する

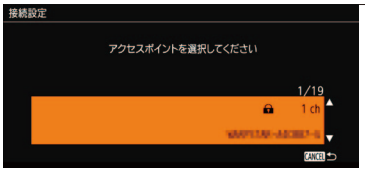
カメラが周囲のアクセスポイントを自動的に検出します。検出されたアクセスポイントの一覧から接続するアクセスポイントを選び、パスワードを入力して接続します。設定されているパスワードについては、アクセスポイントの説明書をご覧いただくか、ネットワークの管理者にお問い合わせください。

アクセスポイントを選ぶ



1 「アクセスポイント検索」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す

- 周囲のアクセスポイントが検索され、見つかったアクセスポイントのSSIDと暗号化状態などの情報が表示される。



2 アクセスポイントを選ぶ

① ジョイスティックを上下に押して、接続するアクセスポイントのSSIDを選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

3 暗号化キーを入力する

- アクセスポイントの認証方式／暗号化方式が「オープン／暗号化なし」のときは、この操作は不要。
- アクセスポイントの認証方式に従って、以降の操作を行う。

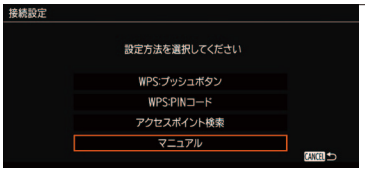
「オープン／ WEP」、「共有キー」または「WPS-PSK,WPA2-PSK」の場合

「マニュアルで接続する」(🕮 190)の操作5～6と同じ要領で設定する。

4 TCP/IP設定を行う (🕮 187)

マニュアルで接続する

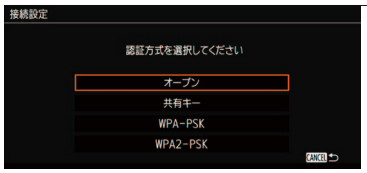
マニュアルでアクセスポイントへの接続設定をします。画面の案内に従って、ウィザード形式で操作します。



1 「マニュアル」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す

2 SSIDを入力する

① 「Input」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
② SSIDを入力する。
参考 ▸▸「文字入力のしかた」(📖 38)
③ 「OK」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。



3 認証方式を選ぶ

① 「オープン」、「共有キー」、「WPA-PSK」、「WPA2-PSK」のいずれかを選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

4 暗号化方式を選ぶ

「オープン」を選んだとき

① 「WEP」または「暗号化なし」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
● 「暗号化なし」を選んだときは、操作7に進む。

「WPA-PSK」または「WPA2-PSK」を選んだとき

① 「TKIP」または「AES」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

5 暗号化方式が「WEP」または「共有キー」のとき

WEPインデックスを選んでジョイスティックを押す

6 暗号化キーを入力する

① 「Input」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
● キーボード画面が表示される。
② 暗号化キーを入力する。
参考 ▸▸「文字入力のしかた」(📖 38)
③ 「OK」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
● IPアドレスの取得方法選択画面が表示される。

7 TCP/IP設定を行う (📖 187)

MEMO

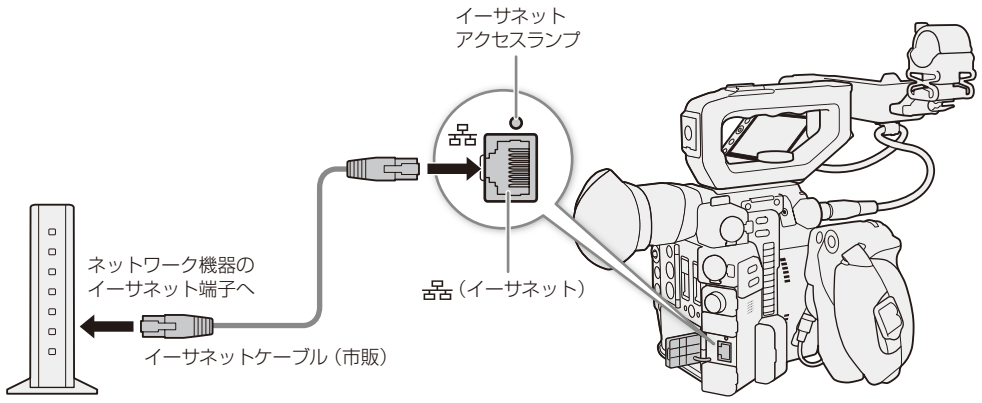
パスワードに使用可能な文字と文字数

パスワード	ASCII文字列*1	16進数*2
64ビットWEP	5文字	10文字
128ビットWEP	13文字	26文字
AES / TKIP	8 ～ 63文字	64文字

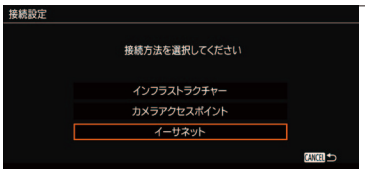
*1 0 ～ 9、a ～ z、A ～ Zおよび記号。
*2 0 ～ 9、a ～ f、A ～ F。

■ イーサネットで接続する

本機の 品 (イーサネット) とネットワーク機器をイーサネットケーブル (市販) で接続し、本機をネットワークに接続する方法です。イーサネットケーブルには、ギガビット対応でシールド性能の高い、カテゴリー 5e以上のSTP (Shielded Twisted Pair)ケーブルを使用してください。



1 本機とネットワーク機器をイーサネットケーブルで接続する



2 イーサネットを選ぶ

① 1 ネットワーク設定メニュー ➤「接続設定」を順に選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
② 接続設定先を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
③「編集」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
④「イーサネット」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

3 TCP/IP設定を行う (187)

■ ネットワーク接続設定を選ぶ

保存されているネットワーク接続設定から1つを選んで、ネットワークへの接続を簡単に行うことができます。ネットワークの新規設定を行った直後は、新規設定したネットワーク設定番号が自動的に選択されるため、この操作を行う必要はありません。

1 接続設定先を選ぶ

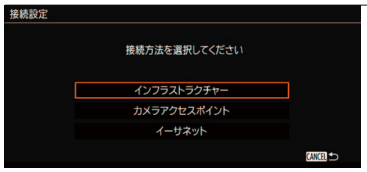
① 🌐 1 ネットワーク設定メニュー ➤「接続設定」を順に選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
② 接続設定先を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
③「OK」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

■ ネットワーク接続設定を確認／変更する

現在、選んでいるネットワーク接続設定の内容を確認し、必要に応じて変更できます。設定変更には、Wi-Fiやネットワークに関する知識が必要です。

1 接続設定先を選ぶ

① 🌐 1 ネットワーク設定メニュー ➤「接続設定」を順に選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
② 接続設定1 ～ 4を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。



2 接続設定を変更する

①「編集」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
②「インフラストラクチャー」、「カメラアクセスポイント」または「イーサネット」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

「インフラストラクチャー」を選んだとき

「インフラストラクチャーで接続する」(🕮 188)の操作2と同じ要領で設定する。

「カメラアクセスポイント」を選んだとき

「カメラアクセスポイントで接続する」(🕮 186)の操作2～7と同じ要領で設定する。

「イーサネット」を選んだとき

「イーサネットで接続する」(🕮 192)の操作1、3と同じ要領で設定する。

ネットワーク機器でリモート撮影する

Wi-Fi、またはイーサネットで本機をネットワークに接続すれば、ネットワークに接続した機器*1のWebブラウザーから本機をリモートで操作して、動画を撮影することができます（ブラウザーリモート）。
撮影時は、ライブビューによる画角の確認、さまざまな撮影設定*2が可能なほか、記録メディアやバッテリーの残量、タイムコードの確認を行うことができます。

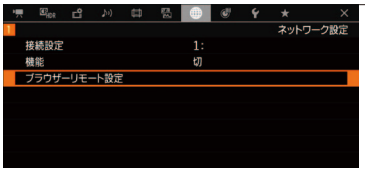
*1 OS、Webブラウザーなどの情報については、キヤノンのホームページなどでご確認ください。
*2 ホワイトバランス、ISO感度／ゲイン、シャッタースピード、NDフィルター、アイリス、フォーカス、ズームなどが調整可能。

■ リモート設定を行う

CAMERA | MEDIA | RAW | MP4 | XF-AVC

ネットワークに接続した機器のWebブラウザーからブラウザーリモートにアクセスするときに使用するポート番号とカメラIDを設定します。

ポート番号：HTTPプロトコルのポート番号。通常は80を使用し、必要に応じて変更します。
カメラID：　ビデオカメラ固有の文字列を設定しておくと、ブラウザーリモートの画面にカメラIDが表示されるので、制御対象のビデオカメラを識別することができます。



1 「ブラウザーリモート設定」を選ぶ

① 🌐 1 ネットワーク設定メニュー ➤「ブラウザーリモート設定」を順に選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

2 ポート番号を選ぶ

① 「Port No.」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
② ジョイスティックを左右に押して、Port No.の1番目の数字にカーソルを移動する。
③ ジョイスティックを上下に押してPort No.の1番目の数字を選び、ジョイスティックを押す。
● カーソルが2番目の数字に移動する。
④ ③の操作を繰り返して、5つの数字をすべて設定する。
⑤ カーソルが一番右の「セット」にある状態で、ジョイスティックを押す。

3 カメラIDを入力する

① 「カメラID」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
② 「Input」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
③ 8文字以内のカメラIDを入力する。
参考 ▶▶「文字入力のしかた」（🕮 38）
④ 「OK」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

ユーザー設定を変更する

ユーザーには次の3種類があり、用途に応じて1名（Fullのみ）か2名（CameraとMeta）かを選択できます。これらの設定は必要に応じて変更することもできます。なお、初期設定では、ユーザー設定は「1名(Full)」に設定されていますので、必要に応じて、ここで変更します。

Full：　詳細操作画面、メタデータ入力画面、簡易操作画面のすべてにアクセス可能。
Camera：詳細操作画面のみにアクセスできる。カメラの制御を行うユーザー用。
Meta：　メタデータ入力画面のみにアクセスできる。メタデータの入力を行うユーザー用。

■ ブラウザーリモートを起動する

CAMERA | MEDIA | RAW | MP4 | XF-AVC

携帯端末などネットワークに接続した機器*1のWebブラウザー *2からブラウザーリモートを起動します。現在のリモート設定の詳細は、ステータス画面で確認できます（🕮 241）。

*1 カメラアクセスポイントで接続した機器を含む。OS、Webブラウザーなどの情報については、キヤノンのホームページなどでご確認ください。
*2 JavaScript（ジャバスクリプト）に対応し、Cookie（クッキー）が有効になっている必要があります。

1 本機　ネットワークの接続設定を選ぶ（🕮 193）

- Wi-Fiのカメラアクセスポイント（🕮 186）、またはイーサネット（🕮 192）を使用する。
- イーサネットを使用するときは、本機とネットワーク機器をイーサネットケーブルで接続する。

2 ブラウザーリモートを選ぶ

① 🌐 1 ネットワーク設定メニュー ➤「機能」➤「ブラウザーリモート」を順に選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

- 本機がカメラアクセスポイントのときは、AP Remoteが表示される。
- 本機がイーサネットを使用しているときは、品 Remoteが表示される。
- ブラウザーリモートの接続準備が完了すると、AP Remoteまたは品 Remoteが黄色から白色に変わる。

3 本機 必要に応じて、ブラウザーリモートのネットワーク設定を確認する

① 「ステータス」を割り当てたアサインボタンを押す（📖 234）。
② ジョイスティックを左右に押して、ネットワーク設定ステータス画面に切り換える。
- Wi-Fiのカメラアクセスポイントを使用するときは「ネットワーク 1/5」画面でカメラのSSIDを、ブラウザーリモートを使うときは「ネットワーク 4/5」画面でカメラのURLと「ネットワーク 5/5」画面でユーザー名／パスワード*を、それぞれ確認する。

* 初期設定のパスワードのみ画面に表示される。

③ 再度「ステータス」を割り当てたアサインボタンを押して、ステータス画面を閉じる。

4 携帯端末など カメラに接続する

① Wi-Fiまたはイーサネットのネットワーク設定を行い、カメラに接続する。
- Wi-Fiのときは、操作3で確認したブラウザーリモートのSSID ／パスワードを使用して接続する。

5 携帯端末など Webブラウザーを起動する

6 携帯端末など 操作3で確認したURLを入力して、ブラウザーリモートを起動する

※ ログイン認証画面の例です。
表示される画面はWeb ブラウザーによって異なります。

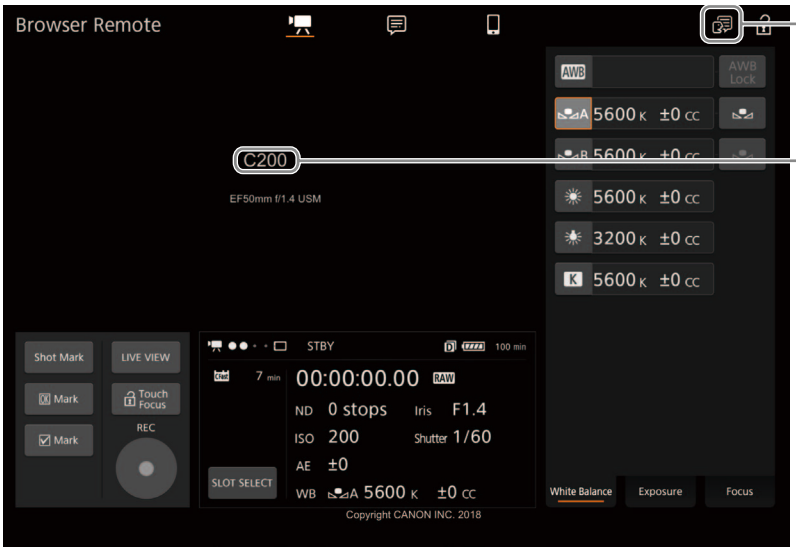
7 携帯端末など 操作3で確認したユーザー名とパスワードを入力する

① 名前（またはユーザー名）入力欄に、ユーザー名を入力する。
② パスワード入力欄にパスワードを入力する。
③ 「ログイン」を選ぶ。
- ブラウザーリモートの画面が表示される。
- ブラウザーリモートに接続中は、ブラウザーリモートの画面上の●●●●が、順に点灯→消灯を繰り返す。
- ユーザー名とパスワードが不明のときは、カメラの管理者にお問い合わせください。

8 携帯端末など カメラIDを確認し、言語を変更する

① 表示されたカメラID がリモート撮影に使用するカメラのIDであることを確認する。

② を押して表示されるリストから、ブラウザーリモートの表示言語を選ぶ。



9 本機 撮影後、ブラウザーリモートを終了する

① 1 ネットワーク設定メニュー ➤「機能」➤「切」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

- 画面のAP Remoteまたは Remoteが消え、ブラウザーリモートが無効になる。

MEMO

- カラーバーを表示中は、ライブビュー映像が表示されません。
- ネットワーク環境や通信状態によっては、ライブビューの表示や各種設定などに遅延が発生することがあります。
- ビデオカメラに「Camera ID」を設定していない場合、カメラIDはブラウザーリモート画面に表示されません。
- ブラウザーリモートで選んだ言語と異なる言語をパソコンなどで設定している場合は、正しく表示されないことがあります。

リモート撮影する

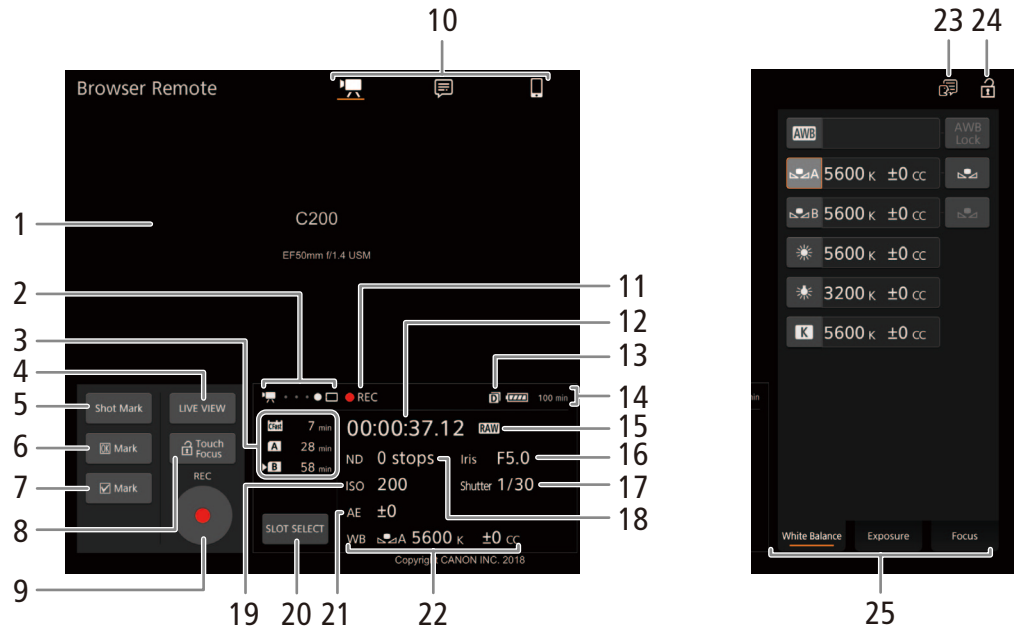
ブラウザーリモートの操作画面には、「詳細操作画面」、「簡易操作画面」、「メタデータ入力画面」があり、ログインしたユーザーによって操作できる画面が異なります。

MEMO

- ブラウザーリモートは、マルチタッチ操作には対応していません。

詳細操作画面

タブレットなど画面が比較的大きい携帯端末を使ってリモート撮影するときは、「詳細操作」画面を使えば、ブラウザーリモートで制御可能なすべての操作を行うことができます。撮影時の各設定項目の詳細については、各機能の説明ページをご覧ください。



1 ライブビュー映像表示エリア
- カメラのライブビュー映像を表示する。映像を表示していないときは、カメラID(📖 194)とレンズ情報が表示される。

2 ブラウザーリモート接続状態表示*

3 CFastカードとSDカードの状態／撮影可能時間

4 LIVE VIEW(ライブビュー)ボタン
- 押すとライブビュー映像が表示される。

5 Shot Mark(ショットマーク)ボタン

6 OK Mark(OKマーク)ボタン

7 ☑ Mark(チェックマーク)ボタン

8 🔒(🔓)Touch Focus(タッチフォーカスロック)ボタン

9 REC(記録開始／停止)ボタン

10 画面切り換えボタン (Fullユーザーのみ)
- 🖥 (詳細操作画面)、💬 (メタデータ入力画面)、📱 (簡易操作画面)のいずれかに切り換える。

11 撮影状態（📖 64）／記録コマンド状態
12 タイムコード*（📖 108）
13 ダブルスロット記録*（📖 57）
14 バッテリー残量とバッテリー残時間*（📖 65）
15 動画形式（📖 72）
16 F値／ T値
17 シャッタースピード
18 NDフィルター
19 ISO感度／ゲイン
20 SLOT SELECT（スロット選択）ボタン（📖 56）
21 AEシフト
22 ホワイトバランス
23 言語選択
- 一部の画面やメッセージの表示言語を選ぶ。

24 🔒（キーロック）ボタン
- ブラウザーリモートの操作ボタンをロックする。🔒を押すとロックは解除される。本体側の操作はロックされない。

25 カメラ設定変更エリア／切り換えタブ
- White Balance（ホワイトバランス ）、Exposure（ 露出）、Focus（フォーカス）、Zoom（ズーム）の各調整を切り換える。

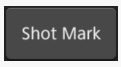
* 現在の設定を表示する。ブラウザーリモートで変更することはできない。

撮影する

1 REC（記録開始／停止）ボタンを押す

- 撮影が開始され、撮影状態表示が「● REC」に変わる。RECボタン中央の●が赤色に変わる。
- 撮影中は、タイムコードが歩進する。
- 再度、RECボタンを押すと撮影を終了し、撮影状態表示が「STBY」に変わる。

ショットマークを付加する



① 撮影中 「Shot Mark」を押す。

MEMO

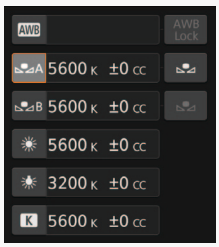
- ボタンを押した時点のフレームとショットマークを付加するフレームは、通信状況によっては0.5秒以上ずれることがあります。

OKマーク／チェックマークを付加する

① 撮影が終了したあと 「OK Mark」または「☑ Mark」を押す。

ホワイトバランスを調整する

1 White Balanceタブに切り換える



2 いずれかの設定方法を選ぶ

- 「AWB」を選んだときは、以降の操作は不要。

3 A、またはBを選んだとき　基準白色を取り込んで、登録する

① グレーカードや白い無地の被写体をモニター画面の中央に写し、「」を押す。
- 「A」または「B」が早く点滅し、点灯に変わったら調整完了。

4 AWB ／ A ／ B以外を選んだとき　微調整する

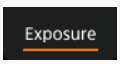
① 設定方法の右の色温度／色補正値を選ぶ。
② 「K」タブ、または「CC」タブを選ぶ。
③ 色温度、または色補正値を選ぶ。

MEMO

- 設定方法がAWBの場合、「AWB Lock」を押すと一時的にAWB動作を停止します。もう一度押すと再開します。

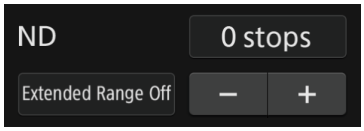
露出を調整する

Exposureタブに切り換える



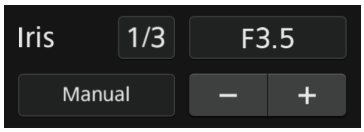
1 Exposureタブに切り換える

NDフィルターを切り換える



① 必要に応じて「Extended Range On」または「Extended Range Off」を選んで、ND濃度拡張の設定を変更する。
② ND設定値を押してリストから選ぶか、「−」または「+」を押してNDフィルターを選ぶ。
- NDフィルターが変更され、タイムコード表示の下に現在の設定が表示される。

アイリスを調整する



① 「Manual」を選んでアイリスモードをマニュアルにする
- オートアイリス対応レンズ装着時のみ設定可能。
- 「Automatic」を選ぶと自動調整になる。以降の操作は不要。

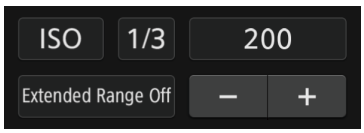
② 調整時の刻み幅（段）を「1/2」、「1/3」、「1/2 Fine」、「1/3 Fine」から選ぶ。
- 「1/2 Fine」または「1/3 Fine」を選ぶと、レンズの最小の刻み幅で調整できる（画面上は、選択した1/2、または1/3の刻み幅で表示する）。

③ F値を押してリストから値を選ぶか、「−」または「+」を押してF値を調整する。
- F値が変更され、タイムコード表示の下に現在の設定が表示される。
- F値を押したあと、「−」または「+」で調整することもできる。
- EFシネマレンズを装着したときは、T値が表示されます。

MEMO

- 「PUSH AUTO IRIS」を押すと、一時的にオートでアイリスを調整することができます。調整中はマニュアルでの調整はできません。
- EFシネマレンズの内蔵エクステンダーを使用しているときは、F値を選んで調整できません。

ISO感度／ゲインを調整する



① 必要に応じて、「ISO」または「Gain」を選ぶ。
② 必要に応じて、「Extended Range On」または「Extended Range Off」を選んで、感度拡張の設定を変更する。
③ 調整時の刻み幅を選ぶ。
④ ISO感度／ゲインの値を押してリストから値を選ぶか、「−」または「+」を押して値を調整する。
- ISO感度、またはゲインの値が変更され、タイムコード表示の下に現在の設定が表示される。

シャッタースピードを調整する

① シャッタースピードのモードを、「Speed」、「Angle」、「Clear Scan」、「Slow」、「Off」から選ぶ。
② 「Speed」を選んだときは、調整時の刻み幅（段）を「1/3」または「1/4」から選ぶ。
③ シャッタースピードの値を押してリストから値を選ぶ。
④ 必要に応じて、「−」または「+」を押して値を調整する。
- シャッタースピードの値が変更され、タイムコード表示の下に現在の設定が表示される。

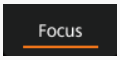
露出を調整する（AEシフト）

① 補正量、または「−」、「+」を押す。
- AEシフトの値が変更され、タイムコード表示の下に現在の設定が表示される。

フォーカスを調整する

準備する

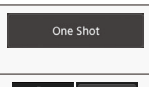
1 レンズのフォーカス設定をオートにする（92）
- モニター画面にAFが表示される。



2 Focusタブに切り換える

MEMO
- レンズのフォーカス設定をマニュアルにしていると、ブラウザーリモートからフォーカス調整できません。なお、レンズによっては、フォーカス調整できないことがあります。

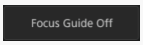
マニュアルで調整する



1 AFモードに「One Shot」を選ぶ

2 いずれかのフォーカス操作ボタンを押して、ピントを合わせる
- Nearのボタン（⌄、⌄⌄、⌄⌄⌄）を押すと至近方向に調整し、Farのボタン（⌃、⌃⌃、⌃⌃⌃）を押すと無限方向に調整します。
- 調整量は押すボタンによって異なり、⌄／⌃は小、⌄⌄／⌃⌃は中、⌄⌄⌄／⌃⌃⌃は大です。

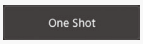
デュアルピクセルフォーカスガイドを使う



1 「Focus Guide Off」を「On」にして、フォーカスガイド表示を「On」にする

- 画面にフォーカスガイド枠（サブ枠を除く）が表示される。

ワンショットAFで調整する

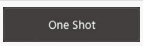


1 AFモードに「One Shot」を選ぶ

2 「ONE-SHOT AF」を押す

- 画面に白いAF枠が表示され、自動的にフォーカスが調整される。
- 枠は、ピントが合うと緑色に、フォーカス調整できないと赤色に変わり、その後数秒で消える。
- 必要に応じて、「AF Speed」からオートフォーカスのスピードを選択できる。

AFブーストMFで調整する

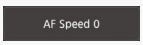


1 AFモードに「AF-Boosted MF」を選ぶ

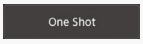
2 フォーカス操作ボタンを押して、ピントを調整する

- 「マニュアルで調整する」と同じ要領で操作する。
- フォーカス位置が自動調整領域に入ると、自動的にピント合わせ行う。
- 自動調整領域以外、または「AF Lock」でピントが固定されているときは、マニュアルで調整できる。
- 必要に応じて、「AF Speed」からオートフォーカスのスピードを選択できる。
- 「ONE-SHOT AF」ボタンが「AF Lock」に変わる。
- 「AF Lock」を押すと、ピントが固定される。もう一度押すと解除される。

コンティニュアスAFで調整する



1 必要に応じて、「AF Speed」からオートフォーカスのスピードを選ぶ



2 AFモードに「Continuous」を選ぶ

- 画面に白い枠（AF枠）が表示され、継続したピント合わせを行う。
- 「ONE-SHOT AF」ボタンが「AF Lock」に変わる。
- 「AF Lock」を押すと、ピントが固定される。もう一度押すと解除される。
- 「AF Lock」でピントが固定されているときは、マニュアルで調整できる。

AF枠の位置を変更する

ブラウザーリモートのライブビュー表示上でタッチした位置にAF枠を移動させることができます。

1 AF枠位置に「Selectable」を選ぶ

2 「Touch Focus」ボタンがロック解除状態であることを確認する

3 ライブビュー表示上で被写体をタッチする

- タッチした位置に、AFモードで選んだオートフォーカス機能に応じたAF枠が表示される。

顔を検出してフォーカスを合わせる

1 「Face Detection Off」を「On」にして、顔検出を「On」にする

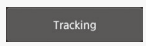
2 顔検出AFのモードを「Face Priority」または「Face Only」から選ぶ

3 カメラの画角に人物が入ると顔を検出する

- 検出したすべての顔に枠が表示され、メインの被写体と判断した顔の枠に◀と▶が付く。
- メインの被写体以外の枠をタッチすると、タッチした枠がメインの被写体になる。

4 マニュアル、またはAFモードで選んだオートフォーカスで調整する

選んだ被写体を追尾する



1 「Tracking」を選び、追尾を有効にする

2 ライブビュー画面上で被写体をタッチする

- タッチした被写体に追尾する。「Cancel Tracking」を選ぶと解除する。

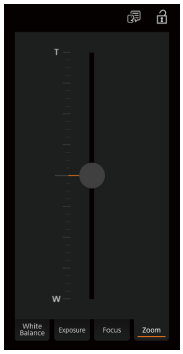
3 マニュアル、またはAFモードで選んだオートフォーカスで調整する

MEMO

- デュアルピクセルフォーカスガイドがONで、カメラ側でサブ枠表示を「入」にしていると、顔検出と追尾は使用できません。

ズームを調整する

ズーム調整に対応するEFシネマレンズ、またはパワーズームアダプタ PZ-E1(別売)に対応したEFレンズ(🕮 271)を装着しているときは、ズームを調整できます。 レンズの詳細についてはレンズの説明書をご覧ください。



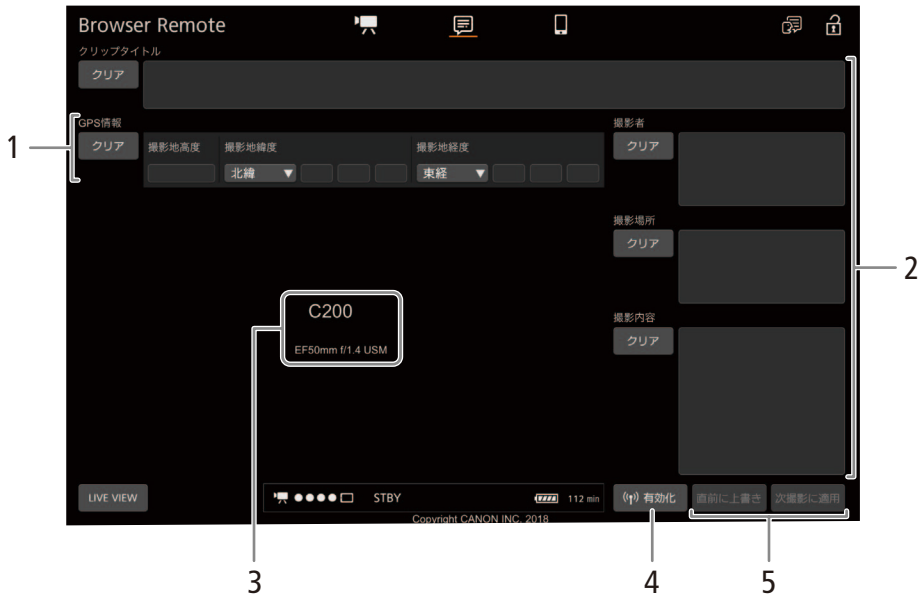
① レンズのズーム設定をSERVO*にする。
② Zoomタブに切り換える。
③ ズームスライダーを上下にドラッグして、ズームを調整する。
* PZ-E1はPZ(パワーズーム)。

MEMO

- 低速で操作すると、レンズの動き出しまでに時間がかかることがあります。

メタデータ入力画面（Full Control ／ Meta Control）

携帯端末などのネットワーク機器のブラウザーリモート画面からメタデータを設定することができます。設定可能なメタデータには、ユーザーメモ（クリップタイトル、撮影者、撮影場所、撮影内容）とGPS情報（撮影地の高度／経度／緯度）があります。



1 GPS情報入力エリア

2 ユーザーメモ入力エリア

3 ライブビュー映像表示エリア／カメラID ／レンズ情報*

* 現在の設定を表示する。ブラウザーリモートで変更することはできない。

4 (ψ)有効化ボタン

- ブラウザーリモートからのメタデータ設定を有効にする。

5 メタデータ設定操作ボタン

メタデータを入力する

直前に記録したクリップや記録中のクリップ、これから記録するクリップにユーザーメモを付加することができます。

(ψ) 有効化

1 ブラウザーリモートからのメタデータ設定を有効にする

① 「(ψ)有効化」を押す。

- 本体で次の操作を行って有効にすることもできる。
  4 記録/メディア設定メニュー ➤「メタデータ」➤「設定」➤「リモート」

クリップタイトル
撮影者
撮影場所
撮影内容
GPS情報

2 ユーザーメモ／ GPS情報を入力する

① 「クリップタイトル」、「撮影者」、「撮影場所」、「撮影内容」、「GPS情報」をそれぞれ設定する。
- 各項目の右側の「クリア」を押すと、入力した内容を消去できる

直前に上書き

次撮影に適用

3 ユーザーメモ／ GPS情報を本体に転送する

① 「直前に上書き」、「次撮影に適用」または「上書き」を押す。
直前に上書き*1：直前に記録したクリップに設定する。
次撮影に適用：　これから記録するクリップに設定する。
上書き*2：　撮影中のクリップに設定する。
*1 直前にクリップを記録したときのみ。
*2 撮影中のみ。
- ユーザーメモ／ GPS情報の内容がカメラ本体に転送され、押したボタンに応じて設定される。

MEMO

ブラウザーリモートから入力したメタデータ設定が解除される場合

- 本機の電源をOFF/ONしたとき。
- 4 記録/メディア設定メニュー ➤「メタデータ」➤「設定」で設定方法を切り換えたとき。

- ブラウザーリモートからのメタデータ設定を一端有効にすると、ブラウザーリモート画面で無効にすることはできません。SD カードから設定するときは、本機の 4 記録/メディア設定メニュー ➤「メタデータ」➤「設定」を「SDカード」にしてください。
- ブラウザーリモートを使って、リレー記録されたクリップにメタデータを設定する場合、リレー前のクリップにはメタデータは付加されません。

簡易操作画面

画面切り換えタブで「簡易操作」を選ぶと表示されます。スマートホンなど画面が小さい機器を使ってリモート撮影するときに使用します。簡易操作画面では、REC（記録開始／停止）、LIVE VIEW（ライブビュー）の入／切、画面切り換え、（キーロック）のみ行うことができます。

クリップをFTPで転送する

本機に記録したMP4クリップやXF-AVCクリップ、プロキシ動画（Proxy）を、FTPサーバーにまとめて転送できます。以下では、FTPサーバーがあらかじめ起動され、正しく動作していることを前提に説明しています。

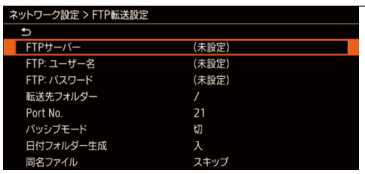
FTP転送の準備をする

CAMERA | MEDIA | RAW | MP4 | XF-AVC

転送先となるFTPサーバーに接続するための設定や、転送先のフォルダー生成や同名ファイルの扱いなどの詳細設定を行います。設定内容の詳細については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

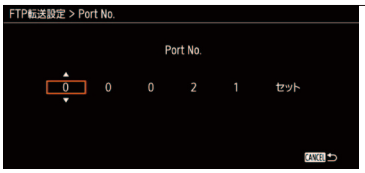
1 「FTP転送設定」を選ぶ

① 1 ネットワーク設定メニュー ➤「FTP転送設定」を順に選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。



2 FTPサーバー名、FTPユーザー名、FTPパスワード、転送先フォルダーを入力する

① 「FTPサーバー」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
② FTPサーバー名を入力する。
参考 ▶▶「文字入力のしかた」（📖 38）
③ 同様に、FTPユーザー名、FTPパスワード、転送先フォルダーを入力する。



3 ポートNo.を入力する

① 「Port No.」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
② 194ページの操作2と同じ要領でFTPポートを入力する。
③ 「セット」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

4 「パッシブモード」を選ぶ

① いずれかを選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
入： パッシブモードで通信する。ファイアウォールの内側からFTP転送を行うときなどに使用する。
切： アクティブモードで通信する。通常はこのモードを使用する。

5 「日付フォルダー生成」を選ぶ

① 「日付フォルダー生成」を選ぶ。
② 「入」または「切」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
● 「入」にすると、FTPサーバーの転送先フォルダーに日付のフォルダー（「YYYYMMDD ¥HHMMSS」）を自動的に作成し、その中にファイルを転送する。

6 「同名ファイル」を選ぶ

① 「同名ファイル」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
② いずれかを選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
スキップ： 転送先に同じ名前のファイルがあるとき、そのファイルを転送しない。
上書き： 転送先に同じ名前のファイルがあっても、上書きする。

MEMO
● 現在のFTPサーバー設定とFTP転送設定の詳細は、ステータス画面で確認できます（📖 242）。

クリップをFTPで転送する

CAMERA | MEDIA | RAW | MP4 | XF-AVC

SDカードに記録されたプロキシ動画を、FTPサーバーに転送します。

1つのクリップを転送する

① ネットワークの接続設定を選ぶ（📖 193）。
● Wi-Fiのインフラストラクチャー（📖 188）またはイーサネット（📖 192）を使用する。
● イーサネットを使用するときは、本機とネットワーク機器をイーサネットケーブルで接続する。
② 転送するクリップを選ぶ。
③ クリップメニュー ➤ 「FTP転送」を順に選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
④ 「OK」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
● ネットワーク接続方法に応じたアイコンが画面に表示される（📖 158）。ネットワークの接続が完了すると、アイコンが黄色から白色に変わる。
● FTPサーバーとの接続が完了すると画面にFTP（白色）が表示され、選択したクリップのファイルが転送される。
転送を中止するとき CANCELを押す。
● 転送が終了すると、画面のFTP（白色）がFTP（黄色）に変わり、消える。
⑤ ジョイスティックを押す。

クリップをまとめて転送する

① 転送するクリップがあるインデックス画面を出す（159）。
② ネットワークの接続設定を選ぶ（193）。
- Wi-Fiのインフラストラクチャー（188）またはイーサネット（192）を使用する。
- イーサネットを使用するときは、本機とネットワーク機器をイーサネットケーブルで接続する。

③ 1 ネットワーク設定メニュー ➤「FTP転送実行」を順に選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
④「選択」、「すべて」のいずれかを選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。

「選択」を選んだとき
❶ 転送するクリップを選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
❷ ❶を繰り返し、転送するクリップをすべて選ぶ。
❸ MENUボタンを押す。

⑤「OK」を選ぶ ➤ ジョイスティックを押す。
- ネットワーク接続方法に応じたアイコンが画面に表示される（158）。ネットワークの接続が完了すると、アイコンが黄色から白色に変わる。
- FTPサーバーとの接続が完了すると画面にFTP（白色）が表示され、表示しているインデックス画面内のクリップのファイルが転送される。

転送を中止するとき　CANCELを押す。
- 現在のファイルの転送が終了後、FTP転送が中止される。
- 転送が終了すると、画面のFTP（白色）がFTP（黄色）に変わり、消える。

⑥ ジョイスティックを押す。

ご注意

- ファイル転送中は、次のことを守ってください。通信が中断され、転送先に不要なファイルが残ることがあります。
  - SDカードカバーを開けない。
  - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
  - 転送先に不要なファイルが残っているときは、内容を十分に確認してから、削除してください。

MEMO

- アクセスポイントの性能や設定、通信状態によっては、ファイルの転送に時間がかかることがあります。

8 メニュー

メニュー一覧..... 212

メニュー一覧

CAMERA | MEDIA | RAW | MP4 | XF-AVC

本機のさまざまな機能をメニューによって設定することができます。ここではメニューの階層と設定項目の詳細について説明します。メニュー設定の基本操作については「メニューで設定を変える」(33)をご覧ください。

メニューの階層

MENUボタンを押すと、画面上側に次のメニューのアイコンが表示されます。

カメラモードのとき

MENU

- カメラ設定メニュー (216)
  (撮影時のカメラ設定)
  - 1ページ
    - Irisモード
    - Irisステップ
    - Irisファイン
    - Zoom連動F値補正
    - ND濃度拡張
  - 2ページ
    - Shutterモード
    - Shutterステップ
    - ISO/Gain
    - ISO/Gain感度拡張
    - ISOステップ
    - Gainステップ
  - 3ページ
    - 測光方式
    - AEシフト
    - AEレスポンス
    - ショックレスWB
    - AWBレスポンス
  - 4ページ
    - AFモード
    - AF枠位置
    - AF枠サイズ
    - AFスピード適用条件
    - AFスピード
    - AFレスポンス
  - 5ページ
    - 顔検出
    - 顔検出AF
    - 本体グリップズーム
    - 本体グリップズームスピード
    - デジタルテレコン
    - EF-Sレンズ
  - 6ページ
    - ABB
    - カラーバー
    - カラーバータイプ
    - 周辺光量補正
    - 色収差補正
- Custom Picture/HDR設定メニュー (218)
  (画質のカスタマイズ)
  - 1ページ
    - HDR/LUT
    - Preset
    - Gamma
    - Color Matrix
    - Activate Other Settings
    - Other Settings
    - ファイル
- 記録/メディア設定メニュー (219)
  (記録設定、記録メディア操作)
  - 1ページ
    - メディア初期化
    - 主記録形式
    - システム周波数
    - 記録モード
    - インターバル記録間隔
    - サブ記録設定
  - 2ページ
    - フレームレート
    - 解像度/カラーサンプリング
    - MP4オーディオ形式
    - RAWオーディオ形式
  - 3ページ
    - リレー記録
    - ダブルスロット記録
  - 4ページ
    - メタデータ
    - 記録コマンド
    - HDMI Time Code
    - MP4クリップ／静止画番号方式
- オーディオ設定メニュー (221)
  (音声の入出力設定)
  - 1ページ
    - CH1/CH2 Input選択
    - CH2 Input
    - CH3/CH4 Input選択
    - CH1/CH2 ALCリンク
    - CH3/CH4 ALCリンク
  - 2ページ
    - 録音レベル CH3
    - CH3レベル
    - 録音レベル CH4
    - CH4レベル
    - 録音レベル CH3/CH4
    - CH3/CH4 レベル
  - 3ページ
    - INPUT 1 Micトリミング
    - INPUT 1 Mic Att.
    - INPUT 2 Micトリミング
    - INPUT 2 Mic Att.
    - INPUT 1/2 リミッター
    - MIC Att.
    - MICローカット
  - 4ページ
    - 1 kHzトーン
    - ヘッドホン音量
    - モニターチャンネル
    - HDMIチャンネル

モニタリング設定メニュー（📖 223）
（画面／端子出力設定）
- 1ページ
  - LCD LM-V1明るさ
  - LCD LM-V1コントラスト
  - LCD LM-V1カラー
  - LCD LM-V1シャープネス
  - LCD LM-V1輝度
- 2ページ
  - C200 VF明るさ
  - C200 VFコントラスト
  - C200 VFカラー
  - C200 VFシャープネス
  - C200 VF輝度
  - C200 VFアイセンサー
- 3ページ*1
  - EVF-V70明るさ
  - EVF-V70コントラスト
  - EVF-V70カラー
  - EVF-V70シャープネス
  - EVF-V70輝度
  - EVF-V70アイセンサー
- 4ページ*2
  - 白黒：VIDEO端子
  - C200 白黒：VF
- 5ページ*3
  - オンスクリーン表示
  - Custom Display1
  - Custom Display2
  - 表示単位系

アシスト設定メニュー（📖 226）
（アシスト表示設定）
- 1ページ
  - フォーカスガイド
  - フォーカスガイドサブ枠表示
- 2ページ
  - ピーキング：VIDEO端子
  - C200 ピーキング：VF
  - ピーキング選択
  - ピーキング1
  - ピーキング2
  - ピーキング有効時白黒
- 3ページ
  - Magnification：VF+VIDEO端子*4
  - Magnification：SDI/HDMI
  - Magnification有効時白黒
- 4ページ
  - ゼブラ：VIDEO端子
  - C200 ゼブラ：VF
  - ゼブラ選択
  - ゼブラ1レベル
  - ゼブラ2レベル
- 5ページ
  - WFM：VF＋VIDEO端子*4
  - WFM：SDI
  - WFMタイプ
  - WFM Gain
  - WFM Yポジション
  - WFM ラインセレクト
- 6ページ
  - マーカー：VF＋VIDEO端子*4
  - マーカー：SDI/HDMI
  - センターマーカー
  - 水平マーカー
  - グリッドマーカー
  - アスペクトマーカー
  - マーカーアスペクト比
  - マーカー カスタムアスペクト比
- 7ページ
  - セーフティーゾーンマーカー
  - マーカー セーフティーゾーン基準
  - マーカー セーフティーゾーン面積

ネットワーク設定メニュー（📖 228）
（ネットワーク設定）
- 1ページ
  - 接続設定
  - 機能
  - ブラウザーリモート設定

アサインボタンメニュー（📖 229）
- 1ページ
  - カメラ1
  - カメラ2
  - カメラ3
  - カメラ4
  - カメラ5
  - カメラ6
  - カメラ7
- 2ページ
  - カメラ8
  - カメラ9
  - カメラ10
  - カメラ11
- 3ページ
  - 本体グリップ1
- 4ページ
  - LCD LM-V1 1
  - LCD LM-V1 2
- 5ページ
  - EVF-V70 1
  - EVF-V70 2
  - EVF-V70 3
  - EVF-V70 4
- 6ページ
  - RC-V100 1
  - RC-V100 2
  - RC-V100 3
  - RC-V100 4

*1 C200B 2ページ
*2 C200B 3ページ
*3 C200B 4ページ
*4 C200B に「VF+」は含まない。

- システム設定メニュー（📖 230）
  （リセット、日時、言語など）
  - 1ページ
    - リセット
    - メニュー / CP 設定保存
    - タイムゾーン
    - 日付/時刻
    - 日時スタイル
    - 言語
    - REMOTE端子
  - 2ページ
    - HDMI最大解像度
    - SDI出力
    - 3G-SDIマッピング
    - SDI/HDMIスキャンモード
  - 3ページ
    - Time Code モード
    - Time Code Run
    - Time Code DF/NDF
    - Time Code 設定
    - User Bit タイプ
  - 4ページ
    - 電子ダイヤル（カメラ）
    - 電子ダイヤル（本体グリップ）
    - 電子ダイヤル方向（カメラ）
    - 電子ダイヤル方向（本体グリップ）
    - SELECTダイヤル方向（EVF-V70）
    - キーロック
    - RECボタン（カメラ）
    - RECボタン（本体グリップ）
  - 5ページ
    - LED
    - ファン
    - タッチ操作レスポンス
    - レックレビュー
    - GPS自動時刻設定
  - 6ページ
    - 電源オフ時のレンズ収納
    - アワーメーターリセット
    - Firmware

- ★ マイメニュー（📖 232）
  - 1ページ
    - 編集
  - 2ページ
    - 編集
  - 3ページ
    - 編集
  - 4ページ
    - 編集
  - 5ページ
    - 編集

メディアモードのとき

MENU

記録/メディア設定メニュー（📖 219）
（記録設定、記録メディア操作）
1ページ
- メディア初期化
- システム周波数

オーディオ設定メニュー（📖 221）
（音声の出力設定）
1ページ
- ヘッドホン音量
- スピーカー音量
- モニターチャンネル
- HDMIチャンネル

モニタリング設定メニュー（📖 223）
（画面／端子出力設定）
1ページ
- LCD LM-V1明るさ
- LCD LM-V1コントラスト
- LCD LM-V1カラー
- LCD LM-V1シャープネス
- LCD LM-V1輝度

2ページ
- C200 VF明るさ
- C200 VFコントラスト
- C200 VFカラー
- C200 VFシャープネス
- C200 VF輝度
- C200 VFアイセンサー

3ページ*1
- EVF-V70明るさ
- EVF-V70コントラスト
- EVF-V70カラー
- EVF-V70シャープネス
- EVF-V70輝度
- EVF-V70アイセンサー

4ページ*2
- オンスクリーン表示
- Custom Display

アシスト設定メニュー（📖 226）
（アシスト表示設定）
1ページ
- WFM：VF＋VIDEO端子*3
- WFM：SDI
- WFMタイプ
- WFM Gain
- WFM Yポジション
- WFM ラインセレクト

ネットワーク設定メニュー（📖 228）
（ネットワーク設定）
1ページ
- 接続設定
- FTP転送実行
- FTP転送設定

アサインボタンメニュー（📖 229）
1ページ
- カメラ1
- カメラ2
- カメラ3
- カメラ4
- カメラ5
- カメラ6
- カメラ7

2ページ
- カメラ8
- カメラ9
- カメラ10
- カメラ11

3ページ
- 本体グリップ1

4ページ
- LCD LM-V1 1
- LCD LM-V1 2

5ページ
- EVF-V70 1
- EVF-V70 2
- EVF-V70 3
- EVF-V70 4

6ページ
- RC-V100 1
- RC-V100 2
- RC-V100 3
- RC-V100 4

システム設定メニュー（📖 230）
（リセット、日時、言語など）
1ページ
- リセット
- メニュー / CP 設定保存
- タイムゾーン
- 日付/時刻
- 日時スタイル
- 言語
- REMOTE端子

2ページ
- HDMI最大解像度
- SDI出力
- 3G-SDIマッピング
- SDI/HDMIスキャンモード

3ページ
- SELECTダイヤル方向（EVF-V70）

5ページ
- LED
- ファン速度

*1 C200B 2ページ
*2 C200B 3ページ
*3 C200B に「VF+」は含まない。

メニューの設定項目

各メニューで設定できる項目の機能と設定値について説明します。初期設定は太字で記載しています。メニューの項目は、他の機能の設定状態によっては表示されなかったり、使用できなかったりすることがあります。ページ数は、カメラモードのときです。メディアモードのときのページ数は、「メニューの階層」のメディアモードのとき（🕮 215）または設定項目の右側をご覧ください。

カメラ設定メニュー

CAMERA | MEDIA | RAW | MP4 | XF-AVC

	設定項目／内容・設定値	🕮
1	Irisモード* * 対応EFレンズ装着時のみ（🕮 271）	83
	アイリスのモードを設定する。 オート： アイリスをオートで調整する。 **マニュアル**： アイリスをマニュアル、またはプッシュオートアイリスで調整する。	
	Irisステップ	83
	設定値：1/2段、**1/3段** アイリス設定時の刻み幅を設定する。	
	Irisファイン	83
	設定値：入、**切** ／内容：ファインにすると、1/3段より細かい刻み幅で設定できる。	
	Zoom連動F値補正	—
	設定値：入、**切** ズーム操作によりF値が変化するレンズを使用時、入にすると、設定したF値を保つように絞りを補正する。ただし、絞りが動作するのにともない、若干の輝度のばらつきと動作音が発生する。切にすると、望遠側にズームするに従って、徐々にF値が大きくなる（暗くなる）。輝度変化は少なく、絞りの動作音は発生しない。	
	ND濃度拡張	81
	設定値：入、**切** ／内容：入にすると、NDの濃度に8 stopsと10 stopsが追加される。	
2	Shutterモード	75
	シャッタースピードのモードを設定する。 **スピード**： 秒数で設定。 アングル： 開角度で設定。 クリアスキャン： 周波数で設定。 スロー： フレームレートより低速のシャッタースピードを秒数で指定。 切： フレームレートの初期設定のシャッタースピード。	
	Shutterステップ	76
	設定値：1/3段、**1/4段** ／内容：シャッタースピード設定時の刻み幅を設定する。	
	ISO/Gain	79
	設定値：**ISO**、Gain ／内容：感度の設定方法をISO感度とゲインから選ぶ。	
	ISO/Gain感度拡張	78
	設定値：入、**切** ／内容：入にすると、設定できるISO感度／ゲインが拡張できる。	
	ISOステップ	79
	設定値：1段、**1/3段** ／内容：ISO感度設定時の刻み幅を選ぶ。	

	設定項目／内容・設定値	🕮
2	Gainステップ	79
	ゲイン設定時の刻み幅を選ぶ。 **ノーマル**：　3 dB ファイン：　0.5 dB	
3	測光方式	86
	絞りを自動調整するときの測光方式を設定する。 バックライト：　逆光時の暗部をより明るく制御する。 **スタンダード**：　画面中央の被写体に重点を置きながら、画面全体を測光する。 スポットライト：　スポット的に明るくなった部分が最適な明るさになるように制御する。	
	AEシフト	85
	設定値：＋2.0、＋1.75、＋1.5、＋1.25、＋1.0、＋0.75、＋0.5、＋0.25、**±0**、－0.25、－0.5、－0.75、－1.0、－1.25、－1.5、－1.75、－2.0 絞りを自動調整するときの明るさ目標値を設定して、17段階で露出補正を行う。	
	AEレスポンス	84
	設定値：ハイ、**ノーマル**、ロー 絞りを自動調整するときのAEの応答性を選ぶ。次のEFシネマレンズ装着時を除く。 • CN7×17 KAS S/E1　• CN20×50 IAS H/E1	
	ショックレスWB	87
	設定値：入、**切**　／内容：入にすると、ホワイトバランスを切り換えたときに値をなめらかに変化させる。	
	AWBレスポンス	90
	設定値：ハイ、**ノーマル**、ロー　／内容：オートホワイトバランスのときの応答性を選ぶ。	
4	AFモード	92
	オートフォーカスのモードを設定する。 **ワンショット**：　ワンショットAFによる自動調整が可能となる。 AFブーストMF：　手動で大まかに調整すると、合焦付近は自動的に調整される。 連続：　継続したAF動作による自動調整が可能となる。	
	AF枠位置	100
	設定値：**可動**、中央固定　／内容：AF枠の移動可否を選ぶ。「可動」にするとAF枠の位置を移動可能。	
	AF枠サイズ	100
	設定値：**大**、小　／内容：AF枠のサイズを選ぶ。	
	AFスピード適用条件	98
	設定値：**常時**、記録中　／内容：「AFスピード」の設定が常に有効か、記録中のみ有効かを選ぶ。	
	AFスピード	98
	設定値：＋2、＋1、**0**、－1～－7　／内容：オートフォーカスの調整速度を選ぶ。	
	AFレスポンス	98
	設定値：＋3、＋2、＋1、**0**、－1、－2、－3　／内容：オートフォーカスの応答性を選ぶ。	
5	顔検出	100
	設定値：入、**切**　／内容：入にすると顔検出が有効になる。	

	設定項目／内容・設定値	🕮
5	顔検出AF	100
	顔検出AFで顔が検出されないときの動作を選ぶ。 **顔優先**：　AFモードの設定に応じた調整方法で調整する。 顔限定：　ピントが固定される（マニュアルフォーカス）。	
	本体グリップズーム	103
	設定値：入、**切**　／内容：入にすると、カメラ本体のグリップのジョイスティックでズームを操作できる。	
	本体グリップズームスピード	103
	設定値：1 ～ 16（**8**）　／内容：ズームスピード（固定速）を16段階で選ぶ。値が大きいほど高速になる。	
	デジタルテレコン	—
	設定値：6.0×、3.0×、1.5×、**切**　／内容：デジタルズームの倍率を選ぶ。映像をデジタル処理するため、ズームの全域で映像が粗くなる。	
	EF-Sレンズ	43
	設定値：入、**切**　／内容：入にすると、約1.04倍の電子拡大を行い、映像の切り出し範囲を変更する。	
6	ABB	59
	設定値：**キャンセル**、OK　／内容：オートブラックバランスを実行する。	
	カラーバー	120
	設定値：入、**切**　／内容：入にすると、カラーバーを表示する。	
	カラーバータイプ	120
	設定値：**SMPTE**、EBU、ARIB　／内容：カラーバーのタイプを選ぶ。	
	周辺光量補正	42
	設定値：入、**切**　／内容：入にすると、レンズの特性によって四隅が暗くなるのを補正する。	
	色収差補正	42
	設定値：入、**切**　／内容：入にすると、レンズの特性によって生じる色ずれや色にじみを補正する。	

CP HDR Custom Picture/HDR設定メニュー

CAMERA MEDIA　RAW MP4 XF-AVC

	設定項目／内容・設定値	🕮
1	HDR/LUT	175、176
	HDR出力の設定値：HDR：HLG、HDR：PQ、**HDR：切** 「HDR：HLG」または「HDR：PQ」にすると、SDI端子またはHDMI OUT端子からHDR規格に準拠したHDR映像を出力する。 LUTの設定値：[CP Preset（プリセット）：Canon Log 3時のSDI端子]LUT：BT.709、LUT：ACESproxy、**LUT：切** [CP Gamma（ガンマ）：Canon Log 3 / Canon Log時のSDI端子]LUT：BT.709、**LUT：切** [「HDR：HLG」設定時のVIDEO端子と C200 VF（ファインダー）]**LUT：BT.709**、LUT：HDRアシスト（400%） [「HDR:PQ」設定時のVIDEO端子と C200 VF（ファインダー）]**LUT:BT.709**、LUT:HDRアシスト（1600%）、LUT:HDRアシスト（400%） [CP Gamma（ガンマ）：Canon Log 3時のVIDEO端子と C200 VF（ファインダー）]LUT：BT.709、LUT：HDRアシスト（1600%）、LUT：HDRアシスト（400%）、**LUT：切** [CP Gamma（ガンマ）：Canon Log 3時以外のVIDEO端子と C200 VF（ファインダー）]LUT：BT.709、**LUT：切** 各出力先に適用するLUTを選ぶ。HDRやカスタムピクチャーのプリセット、ガンマの設定によって、選択できる項目が異なる。	

	設定項目／内容・設定値	🕮
1	Preset	151
	あらかじめ用意された、プリセット（色空間、ガンマ、カラーマトリックスの組み合わせ）を選ぶ。	
	Gamma	151
	プリセットを使用しないときに、ガンマを個別に選ぶ。	
	Color Matrix	152
	プリセットを使用しないときに、カラーマトリックスを個別に選ぶ。	
	Activate Other Settings	152
	設定値：On、**Off**　／内容：Onにすると、Other Settingsで詳細な調整が可能になる。	
	Other Settings	152
	設定値：On、**Off**　／内容：Presetで選んだ設定に対して、さらに詳細な調整を行う。	
	ファイル	154
	カスタムピクチャーファイルの操作を行う。	

記録/メディア設定メニュー

CAMERA | MEDIA　RAW | MP4 | XF-AVC

	設定項目／内容・設定値	🕮
1	メディア初期化 ▶ CFast、SDカードA、SDカードB	55
	設定値：**キャンセル**、OK CFast、SDカードA、またはSDカードBの各スロットに入っているカードを初期化する。	
	主記録形式*1	72
	設定値：RAW（CFast）、**MP4（SDカード）**、XF-AVC（SDカード）　／内容：メイン動画の記録形式と記録先（出力先）を選ぶ。	
	システム周波数	72
	設定値：**59.94 Hz**、50.00 Hz、24.00 Hz　／内容：システム周波数を選ぶ。	
	記録モード*1	130
	設定値：[主記録形式：MP4またはXF-AVC時] **通常記録**、スローモーション記録、プレ記録、フレーム記録、インターバル記録、常時記録（MP4時のみ） [主記録形式：RAW時] **通常記録** 特殊記録を行うときは、使用する特殊記録のいずれかを選ぶ。通常の記録に戻すときは「通常記録」を選ぶ。	
	インターバル記録間隔*1	133
	設定値：**1**、5、10、30 sec、1、5、10 min　／内容：インターバル記録の記録時間間隔を選ぶ。	
	サブ記録設定*1	129
	設定値：MP4（SDカード）、XF-AVC（SDカード）、**切** 「MP4（SDカード）」または「XF-AVC（SDカード）」を選ぶと、メイン動画（RAW形式）と同時にサブ（プロキシ）動画を記録できる。	
	常時記録*1	135
	設定値：REC、**STBY** 常時記録モード時、SDカードBへの常時記録の開始／終了を制御する。RECを実行すると常時記録が開始され、STBYを実行するまで映像を継続して記録する。	

	設定項目／内容・設定値	🕮
2	フレームレート*1	72
	設定値：[59.94 Hz時] 59.94i、**59.94P**、29.97P、23.98P ／ [50.00 Hz時] 50.00i、**50.00P**、25.00P ／ [24.00 Hz時] 24.00P フレームレートを選ぶ。主記録形式やシステム周波数の設定によって選択できる値が異なる。	
	解像度/カラーサンプリング*1	72
	設定値：[RAW時] 4096×2160 12 bit、4096×2160 10 bit ／ [MP4時] **3840×2160 YCC420 8 bit**、1920×1080 YCC420 8 bit 解像度とカラーサンプリングを選ぶ。記録モードとフレームレートの設定によって選択できる値が異なる。	
	MP4オーディオ形式*1	114
	設定値：**AAC 16 bit 2CH**、LPCM 16 bit 4CH　／内容：MP4形式で記録したときのオーディオ形式を選ぶ。	
	RAWオーディオ形式	114
	設定値：**LPCM 16 bit 4CH**、LPCM 24 bit 4CH　／内容：RAW形式で記録したときのオーディオ形式を選ぶ。	
3	リレー記録*1	57
	設定値：入、**切**　／内容：リレー記録の入／切を切り換える。	
	ダブルスロット記録*1	57
	設定値：入、**切**　／内容：ダブルスロット記録の入／切を切り換える。	
4	メタデータ*1 ▶ カメラインデックス	67
	設定値：**A** ～ Z クリップファイル名を構成する「カメラインデックス」を設定する。カメラごとに異なる文字を設定する。	
	メタデータ*1 ▶ リール番号	67
	設定値：**001** ～ 999 ／**変更**、リセット、キャンセル クリップファイル名を構成する「リール番号」の初期値を設定する。記録メディアごとに異なる番号を設定する。	
	メタデータ*1 ▶ クリップ番号	67
	設定値：**001** ～ 999 ／**変更**、リセット、キャンセル クリップ番号方式が「通し番号」のときに、クリップファイル名を構成する「クリップ番号」の初期値を設定する。	
	メタデータ*1 ▶ ユーザー定義	67
	設定値：A ～ Z、0 ～ 9からなる5文字の文字列（**CANON**）／**変更**、リセット、キャンセル クリップファイル名を構成する「ユーザー定義」を設定する。	
	メタデータ*1 ▶ シーン	126
	設定値：A ～ Z、0 ～ 9、「+」、「−」、「：」、スペースからなる16文字以内の文字列（**未設定**）／**変更**、リセット、キャンセル シーンを識別する任意の文字列	
	メタデータ*1 ▶ テイク	126
	設定値：A ～ Z、0 ～ 9、「+」、「−」、「：」、スペースからなる8文字以内の文字列（**未設定**）／**変更**、リセット、キャンセル 同一シーンにおけるテイクを識別する任意の文字列	
	メタデータ*1 ▶ 設定	125
	メタデータの設定方法を選ぶ。 リモート：ブラウザーリモートから設定する。 **SDカード**：Canon XF Utilityを使って設定し、SDカードに保存したメタデータ（ユーザーメモ）を使用する。	

	設定項目／内容・設定値	🕮
4	メタデータ*1 ➤ User Memo	125
	設定値：**切**、ファイル選択 SDカードに記録されているユーザーメモファイルを選ぶ。切にすると、ユーザーメモは記録されない。	
	メタデータ*1 ➤ 国コード	—
	設定値：4文字の文字列／使用可能文字：A ～ Z、0 ～ 9、＋、－、：、スペース／**変更**、リセット、キャンセル UMID所有権情報の国コード。ISO-3166-1で定義している短縮文字を左詰めで入力する。	
	メタデータ*1 ➤ 組織	—
	設定値：4文字の文字列（**00**）／使用可能文字：A ～ Z、0 ～ 9、＋、－、：、スペース／**変更**、リセット、キャンセル UMID所有権情報の組織コード。各組織で運用する組織コード*を入力する。 * 組織コードは、SMPTE登録局に申請後、取得して初めて使用できる。取得していないときは「0000」を入力する。	
	メタデータ*1 ➤ ユーザーコード	—
	設定値：4文字の文字列／使用可能文字：A ～ Z、0 ～ 9、＋、－、：、スペース／**変更**、リセット、キャンセル UMID所有権情報のユーザーコード。ユーザーの識別用のコードを入力する*。 * 運用の方法は、ユーザーに任されているが、組織コードに「0000」を入力したときは、入力しない。	
	メタデータ*1 ➤ CP ファイル付加	151
	設定値：入、**切**　／内容：入にすると、クリップと一緒にカスタムピクチャーファイルが保存される。	
	メタデータ*1 ➤ クリップ番号方式	67
	クリップ番号の付けかたを選ぶ オートリセット：　記録メディアの交換後、初回の記録時に自動的に「001」にリセットする。 **通し番号**：　　記録メディアを交換しても連番を振る。	
	記録コマンド*1	174
	設定値：入、**切** 入にして、本機と他機をSDI端子、またはHDMI OUT端子でつなぐと、本機の撮影／撮影一時停止操作（RECボタンの操作）と連動して、他機の記録／記録一時停止を行うことができる。HDMI OUT端子のときは、同時に 4 記録/メディア設定メニュー ➤「HDMI Time Code」を「入」にする。	
	HDMI Time Code*1	174
	設定値：入、**切**　／内容：入にすると、HDMI OUT端子にタイムコードを重畳する。	
	MP4クリップ／静止画番号方式*1	70
	MP4クリップ／静止画番号の付けかたを選ぶ。 オートリセット：　MP4クリップ／静止画番号は100-0001。またはSDカード内に記録されているMP4クリップ／静止画のファイルの続きの番号になる。 **通し番号**：　　MP4クリップ／静止画番号は最後に記録したMP4クリップ／静止画のファイルの続きの番号になる。	

*1 カメラモードのみ。

♪))オーディオ設定メニュー

CAMERA | MEDIA | RAW | MP4 | XF-AVC

	設定項目／内容・設定値	🕮
1	CH1/CH2 Input選択*1、CH3/CH4 Input選択*1	115
	設定値：**INPUT端子**、MIC端子、モノラルマイク　／内容：CH1 ／ CH2、またはCH3 ／ CH4に録音する入力音声を選ぶ。	

	設定項目／内容・設定値	🕮
1	CH2 Input*1	115
	チャンネル2として記録する入力音声を選ぶ。 **INPUT 2**：　INPUT1入力をCH1にINPUT2入力をCH2に録音する。 INPUT 1：　INPUT1入力をCH1 ／ CH2の両方に録音する。	
	CH1/CH2 ALCリンク*1、CH3/CH4 ALCリンク*1	117
	設定値：連動、**独立** INPUT端子、またはMIC（マイク）端子が同じ音声入力に設定されている場合、連動にするとINPUT端子のCH1とCH2、またはCH3とCH4の録音レベル調整を連動させることができる。	
	スピーカー音量*2	162
	設定値：切、1 ～ 15（**8**）　／内容：スピーカーの音量を調整する。	
2	録音レベル CH3*1、録音レベル CH4*1、録音レベル CH3/CH4*1	117
	設定値：**オート**、マニュアル　／内容：CH3、CH4、またはCH3 ／ CH4の録音レベルの調整方法を選ぶ。	
	CH3レベル*1、CH4レベル*1、CH3/CH4 レベル*1	117
	設定値：0 ～ 100（**50**）　／内容：CH3、CH4、またはCH3 ／ CH4の録音レベルを手動で設定する。	
3	INPUT 1 Micトリミング*1、INPUT 2 Micトリミング*1	118
	設定値：+12 dB、+ 6dB、**0 dB**、－6 dB、－12 dB 外部マイク（INPUT1端子、またはINPUT2端子）の入力感度を調整する。	
	INPUT 1 Mic Att.*1、INPUT 2 Mic Att.*1	118
	設定値：入、**切**　／内容：入にすると、外部マイク（INPUT1端子、またはINPUT2端子）にアッテネーター（20 dB）がかかる。	
	INPUT 1/2 リミッター *1	117
	設定値：入、**切**　／内容：録音レベルをマニュアルで調整する場合、入にすると過大な音声入力によるひずみを防止できる。	
	MIC Att.*1	118
	設定値：入、**切**　／内容：入にすると、外部マイク（MIC端子）にアッテネーター（20 dB）がかかる。	
	MICローカット*1	118
	設定値：入、**切** 外部マイク（MIC端子）の特性を選ぶ。入にすると、風の影響を受ける屋外で撮影するとき、風によるノイズを低減する。	
4	1 kHzトーン*1	120
	設定値：－12 dB、－18 dB、－20 dB、**切**　／内容：カラーバーと同時にテストトーンを出力するときに設定する。	
	ヘッドホン音量 （メディアモード時　1ページ）	162
	設定値：切、1 ～ 15（**8**）　／内容：ヘッドホンの音量を調整する。	
	モニターチャンネル　（メディアモード時　1ページ）	179
	設定値：**CH1/CH2**、CH1/CH1、CH2/CH2、CH1+2/CH1+2、CH3/CH4、CH3/CH3、CH4/CH4、CH3+4/CH3+4、CH1+3/CH2+4 ヘッドホンの出力チャンネル（L / R）を選ぶ。「CH1+2」はCH1とCH2のミックスした信号であることを示す。「CH1+3」、「CH3+4」なども同様。	
	HDMIチャンネル　（メディアモード時　1ページ）	180
	設定値：**CH1/CH2**、CH3/CH4　／内容：4チャンネルの音声のうち、HDMI OUT端子から出力するチャンネルを選ぶ。	

*1 カメラモードのみ。
*2 メディアモードのみ。

モニタリング設定メニュー

CAMERA | MEDIA | RAW | MP4 | XF-AVC

	設定項目／内容・設定値	🕮
1	LCD LM-V1明るさ	46
	設定値：−99 ～＋99(**±0**) ／内容：LCDモニター LM-V1の明るさを調整する。	
	LCD LM-V1コントラスト	46
	設定値：−99 ～＋99(**±0**) ／内容：LCDモニター LM-V1のコントラストを調整する。	
	LCD LM-V1カラー	46
	設定値：−20 ～＋20(**±0**) ／内容：LCDモニター LM-V1のカラーを調整する。	
	LCD LM-V1シャープネス	46
	設定値：1 ～ 4(**2**) ／内容：LCDモニター LM-V1のシャープネスを調整する。	
	LCD LM-V1輝度	46
	設定値：**ノーマル**、＋1、＋2 ／内容：LCDモニター LM-V1のバックライトの明るさを選ぶ。	
2	**C200** VF明るさ	46
	設定値：−99 ～＋99(**±0**) ／内容：ファインダーの明るさを調整する。	
	C200 VFコントラスト	46
	設定値：−99 ～＋99(**±0**) ／内容：ファインダーのコントラストを調整する。	
	C200 VFカラー	46
	設定値：−20 ～＋20(**±0**) ／内容：ファインダーのカラーを調整する。	
	C200 VFシャープネス	46
	設定値：1 ～ 4(**2**) ／内容：ファインダーのシャープネスを調整する。	
	C200 VF輝度	46
	設定値：ハイ、**ノーマル** ／内容：ファインダーの輝度を選ぶ。	
	C200 VFアイセンサー	44
	設定値：**入**、切 ／内容：ファインダーの自動点灯・消灯機能を入／切する。	
3*3	EVF-V70明るさ	—
	設定値：−99 ～＋99(**±0**) ／内容：EVF-V70の明るさを調整する。	
	EVF-V70コントラスト	—
	設定値：−99 ～＋99(**±0**) ／内容：EVF-V70のコントラストを調整する。	
	EVF-V70カラー	—
	設定値：−20 ～＋20(**±0**) ／内容：EVF-V70のカラーを調整する。	
	EVF-V70シャープネス	—
	設定値：1 ～ 4(**2**) ／内容：EVF-V70のシャープネスを調整する。	
	EVF-V70輝度	—
	設定値：ハイ、**ノーマル** ／内容：EVF-V70の輝度を選ぶ。	

	設定項目／内容・設定値	🕮
3*3	EVF-V70アイセンサー	—
	設定値：**入**、切　／内容：入の場合、撮影時に約30秒間（再生時は約10秒間）接眼しないと、EVF-V70の輝度を下げる。	
4*4	C200 白黒：VF*1、白黒：VIDEO端子*1	46
	設定値：入、**切**　／内容：ファインダー、VIDEO端子の出力を白黒にする。	
	Custom Display*2 ➤ オーディオレベル	161
	設定値：**入**、切　／内容：クリップの再生画面にオーディオレベルメーターを表示する。	
	Custom Display*2 ➤ 日付/時刻	161
	設定値：入、**切**　／内容：クリップ／静止画の再生画面に日時を表示する。	
	Custom Display*2 ➤ カメラデータ	161
	設定値：入、**切** 入にすると、クリップの再生画面にカメラデータ（シャッタースピード、F値、ISO感度／ゲイン）を表示する。	
5*5	オンスクリーン表示　（メディアモード時　4ページ*4）	64
	設定値：**入**、切　／内容：映像を出力する端子に画面表示を重畳する DISP（画面表示出力）アイコンを表示する。	
	Custom Display1*1 ➤ 測光方式、Custom Picture/HDR、焦点距離、ND Filter、フォーカスモード、キーロック、AEシフト、露出バー、White Balance、Iris、ISO/Gain、Shutter、ピーキング、Magnification、LUT、レンズ	64
	設定値：**入**、切 [測光方式]：　測光方式がバックライト、またはスポットライトのときに、それぞれ▣または▲アイコンを表示する。 [Custom Picture/HDR]：カスタムピクチャーのプリセットや CP アイコンを表示する。 [焦点距離]：　焦点距離を表示する。 [ND Filter]：　NDフィルターの設定を表示する。 [フォーカスモード]：ワンショットAF枠、AFブーストMF枠、コンティニュアスAF枠、顔検出枠を表示する。レンズのフォーカスモードスイッチの設定に応じてAFまたはMFアイコンを表示する。 [キーロック]：　🔒（キーロック）アイコンを表示する。 [White Balance]：　ホワイトバランスの設定を表示する。 [AEシフト]：　AEシフトの設定（シフト値）を表示する。 [露出バー]：　露出バーを表示する。 [Iris]：　アイリスの設定（F値、T値）を表示する。 [ISO/Gain]：　ISO感度／ゲインの設定を表示する。 [Shutter]：　シャッタースピードの設定を表示する。 [ピーキング]：　PEAK1 ／ PEAK2（ピーキング）アイコンを表示する。 [デジタルテレコン]：　1.5x 3.0x 6.0x（デジタルテレコン）アイコンを表示する。 [EF-Sレンズ]：　EF-S（EF-Sレンズ）アイコンを表示する。 [Magnification]：　MAGN.（拡大表示）アイコンを表示する。 [LUT]：　LUTが有効のときにLUTアイコンを表示する。 [レンズ]：　装着したレンズと通信を行えないときに LENS（レンズ）アイコンを表示する。	
	Custom Display2*1 ➤ バッテリー残量、記録可能時間	64
	設定値：警告、**ノーマル**、切 バッテリー残量、または記録可能時間と動画形式の表示のしかたを、警告時のみ、常に、表示しない、から選ぶ。	

	設定項目／内容・設定値	🕮
5*5	Custom Display2*1 ➤ 記録モード、Time Code、リール番号/クリップ番号、インターバルカウンター	64
	設定値：**入**、切 [記録モード]：　撮影状態（記録モード）を表示する。 [Time Code]：　タイムコードを表示する。 [リール番号/クリップ番号]：　リール番号とクリップ番号を表示する。 [インターバルカウンター]：　インターバル記録のカウントダウン表示を行う。	
	Custom Display2*1 ➤ 静止画記録可能枚数	64
	設定値：警告、**ノーマル**、切　／内容：静止画記録可能枚数の表示のしかたを、警告時のみ、常に、表示しない、から選ぶ。	
	Custom Display2*1 ➤ 温度/ファン、解像度/カラーサンプリング、フレームレート、映像出力	64
	設定値：**入**、切 [温度/ファン]：　内部温度が高温時に 🌡 アイコンを、ファンが回転中に FAN アイコンを表示する。 [解像度/カラーサンプリング]：　解像度とカラーサンプリングを表示する。 [フレームレート]：　フレームレートを表示する。 [映像出力]：　SDI端子の出力がOFFのときに、SDI OFF アイコンを表示する。	
	Custom Display2*1 ➤ オンスクリーン表示、記録コマンド、User Memo、User Bit、モニターチャンネル	64
	設定値：入、**切**（「記録コマンド」の初期値は「入」） [オンスクリーン表示]：　映像を出力する端子に画面表示を重畳する DISP（画面表示出力）アイコンを表示する。 [記録コマンド]：　記録コマンド状態を表示する。 [User Memo]：　MEMO（ユーザーメモ）アイコンを表示する。 [User Bit]：　ユーザービットを表示する。 [モニターチャンネル]：　音声出力チャンネルを表示する。	
	Custom Display2*1 ➤ オーディオレベル、ネットワーク機能、GPS	64
	設定値：**入**、切 [オーディオレベル]：　オーディオレベルメーターと LIM（オーディオリミッター）アイコンを表示する。 [ネットワーク機能]：　（無線LAN）アイコンを表示する。 [GPS]：　（GPS）アイコンを表示する。	
	Custom Display2*1 ➤ 日付/時刻	64
	設定値：日付/時刻、時刻、日付、**切**　／内容：日時の表示のしかたを選ぶ。	
	表示単位系*1	—
	設定値：**Meters**、Feet　／内容：GPSの高度の表示単位を選ぶ。	

*1 カメラモードのみ。
*2 メディアモードのみ。
*3 C200B 2ページ
*4 C200B 3ページ
*5 C200B 4ページ

アシスト設定メニュー

CAMERA | MEDIA *1 | RAW | MP4 | XF-AVC

*1 メディアモード時はWFMのみ。

	設定項目／内容・設定値	🕮
1	フォーカスガイド	93
	設定値：入、**切**　／内容：デュアルピクセルフォーカスガイドを表示する。	
	フォーカスガイドサブ枠表示	94
	設定値：入、**切**　／内容：「入」にすると、フォーカスガイドのサブ枠を表示する。	
2	ピーキング：VIDEO端子、**C200** ピーキング：VF	95
	設定値：入、**切**　／内容：VIDEO端子、ファインダーにピーキングを出力する。	
	ピーキング選択	95
	設定値：**ピーキング1**、ピーキング2　／内容：表示するピーキングの種類を選ぶ。	
	ピーキング1 ▶ カラー	95
	設定値：**ホワイト**、レッド、イエロー、ブルー　／内容：ピーキング1の色を選ぶ。	
	ピーキング1 ▶ Gain	95
	設定値：切、1 ～ 15（**8**）　／内容：ピーキング1のゲインを選ぶ。	
	ピーキング1 ▶ 周波数	95
	設定値：1 ～ 4（**2**）　／内容：ピーキング1の周波数を選ぶ。	
	ピーキング2 ▶ カラー	95
	設定値：ホワイト、**レッド**、イエロー、ブルー　／内容：ピーキング2の色を選ぶ。	
	ピーキング2 ▶ Gain	95
	設定値：切、1 ～ 15（**15**）　／内容：ピーキング2のゲインを選ぶ。	
	ピーキング2 ▶ 周波数	95
	設定値：1 ～ 4（**1**）　／内容：ピーキング2の周波数を選ぶ。	
	ピーキング有効時白黒	95
	設定値：入、**切** 入にすると、ピーキング使用時に、画面を自動的に白黒にする。記録される映像や外部出力には影響しない。	
3	**C200** Magnification：VF+VIDEO端子、**C200B** Magnification：VIDEO端子、Magnification：SDI/HDMI	95
	設定値：入、**切**　／内容：ファインダー、VIDEO端子やSDI端子、またはHDMI OUT端子に拡大表示を出力する。	
	Magnification有効時白黒	95
	設定値：入、**切** 入にすると、拡大表示使用時に、画面を自動的に白黒にする。記録される映像や外部出力には影響しない。	
4	ゼブラ：VIDEO端子、**C200** ゼブラ：VF	107
	設定値：入、**切**　／内容：VIDEO端子やファインダーにゼブラを出力する。	
4	ゼブラ選択	107

	設定項目／内容・設定値	🕮
	表示するゼブラパターンの種類を選ぶ。 **ゼブラ1**：　設定した輝度レベル±5%の領域にゼブラパターンを表示する。 ゼブラ2：　設定した輝度レベル以上の領域にゼブラパターンを表示する。 ゼブラ1+2：　ゼブラパターン1と2を同時に表示する。	
	ゼブラ1レベル	107
	設定値：5±5% ～ 95±5%（**70±5%**） ゼブラパターン1の輝度レベルを5%刻みで選ぶ。	
	ゼブラ2レベル	107
	設定値：0% ～ **100%**　／内容：ゼブラパターン2の輝度レベルを5%刻みで選ぶ。	
5	**C200** WFM：VF＋VIDEO端子、**C200B** WFM：VIDEO端子、WFM：SDI　（メディアモード時　1ページ）	121
	設定値：入、**切**　／内容：ファインダーとVIDEO端子、またはSDI端子に波形モニター（WFM）を出力する。	
	WFMタイプ　（メディアモード時　1ページ）	121
	設定値：**ライン**、ライン+スポット、ラインセレクト、フィールド、RGB、YPbPr　／内容：波形モニターのタイプを選ぶ。	
	WFM Gain　（メディアモード時　1ページ）	121
	設定値：**1x**、2x　／内容：波形モニターの波形の倍率を選ぶ。	
	WFM Yポジション　（メディアモード時　1ページ）	121
	設定値：**0%**、15%、30%、45%、50% 波形モニターの倍率が2xのときに、縦軸（輝度）の表示開始輝度（%）を選択する。	
	WFM ラインセレクト　（メディアモード時　1ページ）	121
	設定値：[垂直解像度1080時] 0 ～ **540** ～ 1079（1ライン刻み）、[垂直解像度2160時] 0 ～ **1080** ～ 2158（2ライン刻み） 波形を表示するライン（赤い横線）の位置を選ぶ。	
6	**C200** マーカー：VF＋VIDEO端子、**C200B** マーカー：VIDEO端子、マーカー：SDI/HDMI	105
	設定値：**入**、切　／内容：ファインダー、VIDEO端子やSDI端子、またはHDMI OUT端子にマーカーを表示する。	
	センターマーカー、水平マーカー、グリッドマーカー、アスペクトマーカー	105
	設定値：イエロー、ブルー、グリーン、レッド、ブラック、グレー、ホワイト、**切** 各マーカーの色を選ぶ。切にすると、そのマーカーは表示されない。	
	マーカーアスペクト比	105
	設定値：　4:3、13:9、14:9、16:9、1.375:1、1.66:1、1.75:1、1.85:1、1.90:1、2.35:1、**2.39:1**、カスタム アスペクトマーカーの縦横比を選ぶ。「カスタム」を選ぶと「カスタムアスペクト比」で選んだ縦横比になる。	
	マーカー カスタムアスペクト比	105
	設定値：**1.00:1** ～ 9.99:1　／内容：アスペクトマーカーの任意の縦横比を設定する。	
7	セーフティーゾーンマーカー	105
	設定値：イエロー、ブルー、グリーン、レッド、ブラック、グレー、ホワイト、**切**　／内容：セーフティーゾーンを表示する。	
	マーカー セーフティーゾーン基準	105
	設定値：**映像全体**、アスペクトマーカー領域　／内容：セーフティーゾーンの基準領域を選ぶ。	
	マーカー セーフティーゾーン面積	105
	設定値：80%、90%、92.5%、**95%**　／内容：セーフティーゾーンの面積（基準領域に対する割合）を選ぶ。	

ネットワーク設定メニュー

CAMERA | MEDIA | RAW | MP4 | XF-AVC

	設定項目／内容・設定値	📖
1	接続設定	184
	設定値：1 ～ 4 インフラストラクチャー方式、カメラアクセスポイント方式、またはイーサネット方式の設定・変更を行う。 設定は4つまで保存できる。	
	機能	195
	設定値：**切**、ブラウザーリモート　／内容：ネットワーク機器からのリモート撮影を有効にする。	
	ブラウザーリモート設定*1 ➤ Port No.	194
	設定値：1 ～ 65535の数字（**80**） ネットワークに接続した機器のWebブラウザーからブラウザーリモートを起動するときに使用するポート番号を設定する。	
	ブラウザーリモート設定*1 ➤ カメラID	194
	設定値：英数字、記号8文字の文字列（**C200**）　／内容：カメラ固有の文字列を設定する。	
	ブラウザーリモート設定*1 ➤ ユーザー設定	194
	ログインできるユーザーの数と権限を選ぶ。各ユーザーのユーザー名とパスワードは初期値が設定されている。必要に応じて変更できる。 **1名(Full)**：　全画面を操作できるFull Controlユーザーのみログイン可能。 2名(Camera/Meta)：　詳細操作画面のみ操作できるCamera Controlユーザーとメタデータ入力画面のみ操作できるMeta Controlユーザーがログイン可能。	
	ブラウザーリモート設定*1 ➤ Full：ユーザー名、Camera：ユーザー名、Meta：ユーザー名	195
	設定値：8文字以内の文字列（**Full、Camera、Meta**） ブラウザーリモートのFull、CameraまたはMetaの各ユーザーのユーザー名を設定する。	
	ブラウザーリモート設定*1 ➤ Full：パスワード、Camera：パスワード、Meta：パスワード	195
	設定値：8文字以内の文字列（**12345678**） ブラウザーリモートのFull、CameraまたはMetaの各ユーザーのパスワードを設定する。	
	FTP転送実行*2	210
	設定値：**選択**、すべて　／内容：FTP転送を実行する。	
	FTP転送設定*2 ➤ FTPサーバー	208
	設定値：32文字以内の文字列（未設定）　／内容：FTPサーバー名を設定する。	
	FTP転送設定*2 ➤ FTP：ユーザー名	208
	設定値：32文字以内の文字列（未設定）　／内容：FTPサーバーのユーザー名を設定する。	
	FTP転送設定*2 ➤ FTP：パスワード	208
	設定値：32文字以内の文字列（未設定）　／内容：FTPサーバーのパスワードを設定する。	
	FTP転送設定*2 ➤ 転送先フォルダー	208
	設定値：152文字以内の文字列（**/**）　／内容：FTPサーバー側の転送先となるフォルダーパスを設定する。	
	FTP転送設定*2 ➤ Port No.	208
	設定値：1 ～ 65535の数字（**21**）　／内容：FTPのポート番号を設定する。	

	設定項目／内容・設定値	🕮
1	FTP転送設定*2 ➤ パッシブモード	208
	設定値：入、**切**　／内容：FTPの通信モードを選ぶ。	
	FTP転送設定*2 ➤ 日付フォルダー生成	208
	設定値：**入**、切　／内容：「入」を選ぶと、FTP転送を行ったときにFTPサーバーに日付フォルダーを作成する。	
	FTP転送設定*2 ➤ 同名ファイル	208
	設定値：**スキップ**、上書き 転送先に同じ名前のファイルがあるときの動作を、スキップ（そのファイルを転送しない）と上書き（同名ファイルを上書きする）から選ぶ。	

*1 カメラモードのみ。

*2 メディアモードのみ。

アサインボタンメニュー

CAMERA | MEDIA　RAW | MP4 | XF-AVC

	設定項目／内容・設定値	🕮
1	アサインボタン ➤ カメラ1 ～ 7 アサインボタン ➤ カメラ8 ～ 11 アサインボタン ➤ 本体グリップ1 アサインボタン ➤ LCD LM-V1 1 ～ 2 アサインボタン ➤ EVF-V70 1 ～ 4 アサインボタン ➤ RC-V100 1 ～ 4	142

本体のアサインボタンに機能を割り当てる。

初期値：[カメラ]　1：**Magnification**：すべて、2：**ピーキング**：すべて、3：**ゼブラ**：すべて、4：**WFM**：すべて、5：**ISO/Gain**、6：**Shutter**、7：**Display**、8：**FUNC**、9：**オーディオステータス**、10：**Push Auto Iris**、11：**One-Shot AF**

[本体グリップ]　1：**フォーカスガイド**

[LCD LM-V1]　1：**FUNC**、2：**Display**

[EVF-V70]　1：**FUNC**、2：**EVF-V70設定**、3：**Magnification**：すべて、4：（未設定）

[リモートコントローラー]　1：**Magnification**：すべて、2：**ピーキング**：すべて、3：**ゼブラ**：すべて、4：**WFM**：すべて

設定値：各アサインボタンに機能を割り当てる。次の機能を割り当てることができる。各機能の詳細について（🕮 142）。

（未設定）、One-Shot AF、AFロック、顔検出AF、顔検出、追尾、フォーカスガイド、ピーキング：すべて、ピーキング：VIDEO端子、C200 ピーキング：VF、Magnification：すべて、C200 Magnification：VF＋VIDEO端子、C200B Magnification：VIDEO端子、Magnification：SDI/HDMI、デジタルテレコン、Push Auto Iris、Irisモード、Iris＋、Iris －、ND＋、ND－、AEシフト＋、AEシフト －、バックライト、スポットライト、ゼブラ：すべて、ゼブラ：VIDEO端子、C200 ゼブラ：VF、WFM：すべて、C200 WFM：VF＋VIDEO端子、C200B WFM：VIDEO端子、WFM：SDI、LUT：すべて、LUT：VIDEO端子、C200 LUT：VF、LUT：SDI、White Balanceセット、AWBホールド、AWB AWB、セットA、セットB、太陽光、電球、K Kelvin、LCD LM-V1設定、C200 VF設定、EVF-V70設定、オンスクリーン表示、Display、マーカー：すべて、C200 マーカー：VF＋VIDEO端子、C200B マーカー：VIDEO端子、マーカー：SDI/HDMI、カラーバー、Photo、レックレビュー、Time Code、Time Codeホールド、Shot Mark追加、OK Mark追加、✓ Mark追加、ヘッドホン＋、ヘッドホン －、モニターチャンネル、オーディオレベル、FUNC、スローモーション記録、Shutter、ISO/Gain、White Balance、ステータス、オーディオステータス、Custom Picture/HDR、マイメニュー、メディア初期化、ユーザー設定

システム設定メニュー

CAMERA | MEDIA | RAW | MP4 | XF-AVC

	設定項目／内容・設定値	📖
1	リセット ▶ 全設定、カメラ設定*1、アサインボタン	247、145
	設定値：**キャンセル**、OK [全設定]：　アワーメーターを除く本機の設定を初期状態に戻す。 [カメラ設定]：　ホワイトバランス、アイリス、ISO感度／ゲイン、シャッタースピード、カメラ設定メニュー、カスタムピクチャーの各設定を初期状態に戻す。 [アサインボタン]：アサインボタンの機能割り当て設定を初期状態に戻す。	
	メニュー / CP 設定保存 ▶ 保存	156
	設定値：カメラ本体へ、SDカードBへ メニュー設定とカスタムピクチャーファイル（本機に保存されている9セット）を、カメラ本体、またはカードに保存する。	
	メニュー / CP 設定保存 ▶ 読み出し	156
	設定値：カメラ本体から、SDカードBから メニュー設定とカスタムピクチャーファイルを、カメラ本体またはカードから読み出す。	
	タイムゾーン	—
	設定値：UTC −12:00 〜＋14:00（**UTC＋09:00 トウキョウ**）　／内容：タイムゾーンを設定する。	
	日付/時刻	32
	設定値：日付・時間　／内容：日付と時間を設定する。	
	日時スタイル	32
	設定値：**YMD**、YMD/24H、MDY、MDY/24H、DMY、DMY/24H　／内容：日時の表示のしかたを選ぶ。	
	言語	—
	設定値：**日本語**、English　／内容：表示されるメニューやメッセージなどの言語を選ぶ。	
	REMOTE端子	140
	REMOTE端子に接続するリモコンのタイプを選ぶ。 RC-V100（REMOTE A）：リモートコントローラー RC-V100（別売）を接続するときに選ぶ。 **スタンダード**：　RC-V100以外のリモコン（市販）を接続するときに選ぶ。	
2	HDMI最大解像度	174
	設定値：3840×2160、**1920×1080**　／内容：HDMI OUT端子に出力する信号を選ぶ。	
	SDI出力	173
	設定値：2048×1080 / 1920×1080、**1920×1080**　／内容：SDI端子に出力する信号を選ぶ。	
	3G-SDIマッピング	173
	設定値：Level A、**Level B** SDI端子の出力信号のマッピング方式を選ぶ。SMPTE ST 425-1規格のLevel A、またはLevel Bに準拠した信号が出力される。	
	SDI/HDMIスキャンモード	173
	設定値：**P**、PsF　／内容：SDI端子またはHDMI OUT端子から出力する信号の操作方法を選ぶ。	
3	Time Code モード*1	108
	タイムコードのカウントアップ方式を選ぶ。 **Preset**：　「設定」で設定した任意のタイムコードから歩進する。 Regen.：　メディアに記録されている最後のタイムコードの続きから歩進する。	

	設定項目／内容・設定値	🕮
3	Time Code Run*1	108
	モードがPresetのときに歩進方法を選ぶ。 **Rec Run**： 記録時に歩進する。 Free Run： 記録に関係なく常に歩進する。	
	Time Code DF/NDF*1	109
	設定値：**DF**、NDF ドロップフレーム（DF）、またはノンドロップフレーム（NDF）を切り換える。なお、フレームレートが29.97P、59.94i、59.94P以外のときはNDFに固定される。	
	Time Code 設定*1	108
	設定値：**00:00:00:00** ～ 23:59:59:29 [**変更**、リセット、キャンセル] ／内容：タイムコードの初期値を設定する。	
	User Bit タイプ*1	110
	設定値：**設定**、時刻、日付 ／内容：ユーザービットを、8桁の任意の16進数（設定）、時刻、日付のいずれかで設定する。	
4	電子ダイヤル（カメラ）*1、電子ダイヤル（本体グリップ）*1	80
	設定値：**Iris**、ISO/Gain、切 カメラ本体、または本体グリップの電子ダイヤルに割り当てる機能を選ぶ。	
	電子ダイヤル方向（カメラ）*1、電子ダイヤル方向（本体グリップ）*1、SELECTダイヤル方向（EVF-V70）*2 （メディアモード時 3ページ）	80
	設定値：リバース、**ノーマル** ／内容：各ダイヤルの操作方向を選ぶ。	
	キーロック*1	63
	設定値：すべてのボタン、**RECボタン以外** POWER（電源）スイッチを🔒（キーロック）にしたときの動作を選ぶ。	
	RECボタン（カメラ）*1、RECボタン（本体グリップ）*1	—
	設定値：無効、**有効** ／内容：各RECボタンの有効／無効を選ぶ。	
	ファン速度*3	71
	設定値：ハイ、**ロー** ／内容：メディアモードのときの、冷却ファンの回転速度を選ぶ。	
5	LED ➤ タリーランプ（前面）*1、タリーランプ（背面）*1、メディアアクセス（CFast）、メディアアクセス（SDカード）、品品（イーサネット） （メディアモード時 4ページ）	62
	設定値：**入**、切 [タリーランプ（前面）、タリーランプ（背面）]：「入」にすると、撮影中にタリーランプが点灯する。 [メディアアクセス（CFast）、メディアアクセス（SDカード）]：「入」にすると、CFastカード／ SDカードにアクセスしたときに、それぞれのアクセスランプが点灯する。 [品品（イーサネット）]：「入」にすると、イーサネットによるネットワーク処理中に点灯／点滅する。	
	ファン*1 ➤ モード	71
	設定値：オート、**常時** ／内容：カメラモードにおける冷却ファンの動作方法を選ぶ。	
	ファン*1 ➤ ファン速度(常時)	71
	設定値：ハイ、**ロー** ／内容：ファンモードが「常時」のときの、冷却ファンの回転速度を選ぶ。	
	タッチ操作レスポンス*5	—
	設定値：**ノーマル**、ロー ／内容：LCDモニター LM-V1のタッチパネルを操作したときの応答性を選ぶ。	
5	レックレビュー*1	128

	設定項目／内容・設定値	🕮
	レックレビューで再生する範囲を選ぶ。 **クリップ先頭から**：　クリップの先頭からすべて。 最終4 sec：　クリップの最後の4秒間のみ。	
	GPS自動時刻設定*1*4	127
	設定値：入、**切**　／内容：GPSから得られる時刻情報を使って、本機の「日付/時刻」を自動的に設定する。	
6	電源オフ時のレンズ収納*1	—
	設定値：**入**、切 次のレンズを使用時、レンズのフォーカスモードスイッチをAFにして電源を切ると、自動的にレンズの全長を最短に収納できる。 • EF40mm F2.8 STM　• EF-S 24mm F2.8 STM　• EF50mm F1.8 STM	
	アワーメーターリセット*1	241
	設定値：**キャンセル**、OK カメラ本体の使用時間として、購入時からの使用時間と、最後にこの設定でリセットしたときからの使用時間とがある。アワーメーターリセットでは、最後にリセットしたときからの使用時間をリセットする。	
	Firmware*1 ➤ カメラ	—
	設定値：バージョン番号　／内容：ファームウェアのバージョン。	
	Firmware*1 ➤ レンズ	41
	設定値：バージョン番号　／内容：本機に装着したEFレンズのファームウェアの更新を行う。	

*1 カメラモードのみ。
*2 有機EL電子ビューファインダー EVF-V70（別売）装着時のみ。
*3 メディアモードのみ。
*4 GPSレシーバー GP-E2（別売）装着時のみ。
*5 LCDモニター LM-V1（C200は付属、C200Bは別売）装着時のみ。

★マイメニュー

CAMERA | MEDIA | RAW | MP4 | XF-AVC

	設定項目／内容・設定値	🕮
1～5	編集 ➤ 登録	35
	マイメニューに任意のメニュー項目を登録する。	
	編集 ➤ 並べ換え	36
	マイメニュー内で、選択したメニュー項目を並べ換える。	
	編集 ➤ 消去	37
	設定値：**キャンセル**、OK　／内容：マイメニュー内の選択したメニュー項目を消去する。	
	編集 ➤ 設定初期化	37
	設定値：**キャンセル**、OK　／内容：マイメニュー内のすべてのメニュー項目を消去する。	
	編集 ➤ メニュー名変更	37
	設定値：8文字の英数字・記号（**CAMERA-1～5**）　／内容：選択しているマイメニューの名前を設定する。	

その他

ステータス画面を表示する.....234

トラブルシューティング.....244

エラーメッセージ.....252

安全上のご注意.....257

取り扱い上のご注意／
日常のお手入れ.....259

アクセサリー紹介.....264

主な仕様.....266

索引.....274

ステータス画面を表示する

撮影や再生に関する様々な設定内容や状態をステータス画面に表示して確認することができます。ステータス画面は、外部モニター（🕮 173）に出力することもできます。次にあげるステータス画面を表示できます。なお、一部のステータス画面は英語で表示されます。

■ 操作のしかた

CAMERA | MEDIA | RAW | MP4 | XF-AVC

ここでは、ステータス画面の表示のしかた、確認したい画面への切り換えかた、ステータス画面の消しかたを説明します。

例：カメラアサイン8ボタンに「ステータス」を割り当てて、操作する場合

1 カメラアサイン8ボタンに「ステータス」を割り当てる（🕮 142）

2 カメラアサイン8ボタンを押す

- ステータス画面が表示される。
- 最後にステータス画面を消したときの画面が表示される。
- AUDIO STATUSボタン（🕮 15）を押すと、オーディオ専用のステータス画面が表示される。

3 ジョイスティックを左右に押す

- 右に押すと次の画面に、左に押すと前の画面に、ステータス画面が切り換わる。

4 カメラアサイン8ボタンを再度押す

- ステータス画面が消える。
- MENU（メニュー）ボタンを押しても、ステータス画面が消え、メニューが表示される。

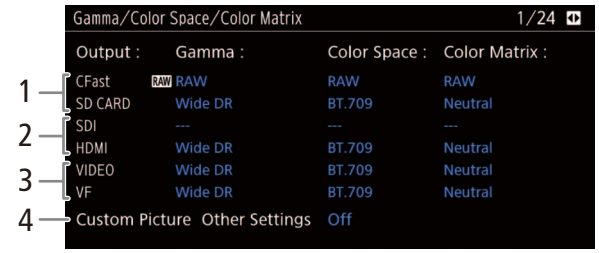
ステータス画面の詳細については、各画面のページをご覧ください。

ガンマ／色空間／カラーマトリックスステータス画面	🕮 235
カスタムピクチャーステータス画面	🕮 235
カメラステータス画面	🕮 236
アサインボタンステータス画面	🕮 237
オーディオステータス画面	🕮 238
メディアステータス画面	🕮 239
端子出力ステータス画面	🕮 239
記録ステータス画面	🕮 240
メタデータステータス画面	🕮 240
バッテリー／アワーメーターステータス画面	🕮 241
ネットワーク設定ステータス画面	🕮 241
GPS情報表示ステータス画面*1	🕮 243

*1 本機にGPSレシーバー GP-E2（別売）を取り付けたときのみ表示されます。

ガンマ／色空間／カラーマトリックスステータス画面

CAMERA | MEDIA | RAW | MP4 | XF-AVC

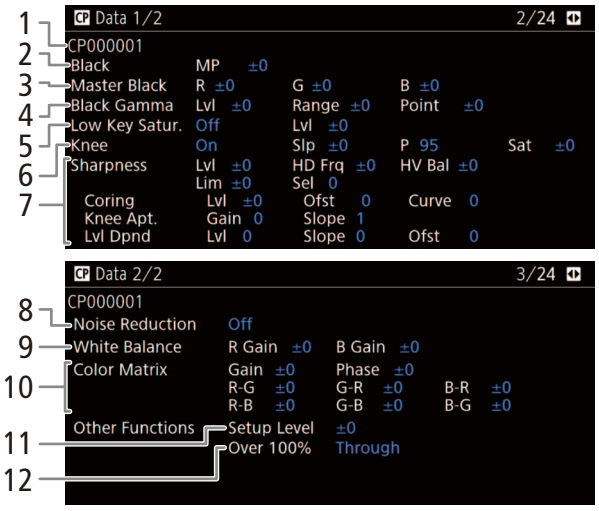


1 CFastカード／ SDカードのガンマ／色空間／カラーマトリックス
2 SDI端子／ HDMI OUT端子のガンマ／色空間／カラーマトリックス
3 VIDEO端子／ C200 ファインダーのガンマ／色空間／カラーマトリックス
4 カスタムピクチャーのActivate Other Settingsの状態（有効／無効）

カスタムピクチャーステータス画面

CAMERA | MEDIA | RAW | MP4 | XF-AVC

現在選択しているカスタムピクチャーファイルの設定内容を表示します。

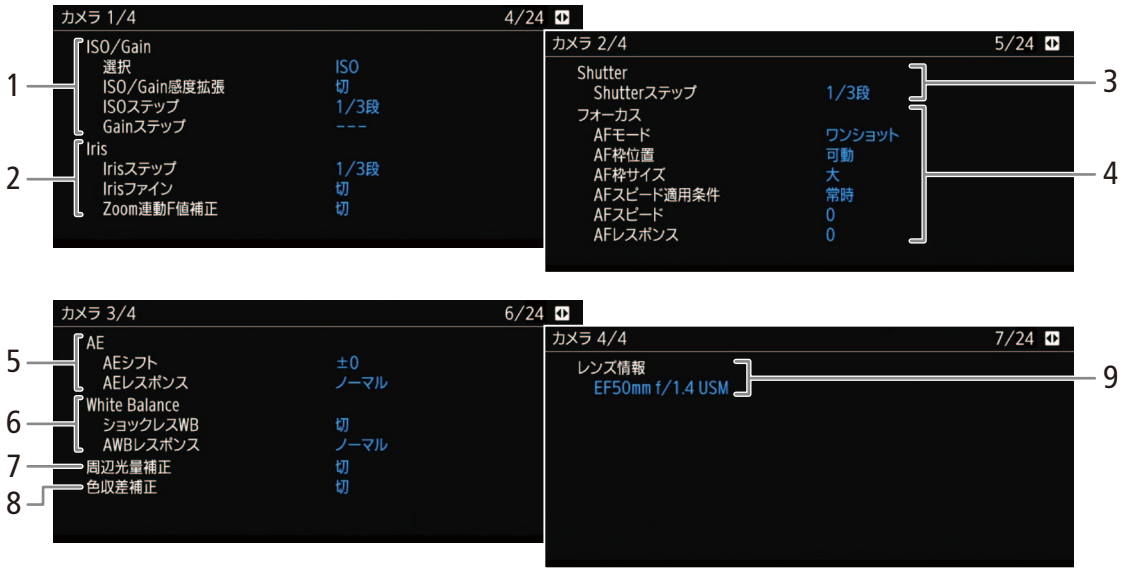


1 カスタムピクチャーファイル名 ▶▶ 📖 154
2 ブラック ▶▶ 📖 152
3 マスターブラック ▶▶ 📖 152
4 ブラックガンマ ▶▶ 📖 152
5 ローキーサチュレーション ▶▶ 📖 152
6 ニー ▶▶ 📖 153
7 シャープネス ▶▶ 📖 153
8 ノイズリダクション ▶▶ 📖 154
9 ホワイトバランス ▶▶ 📖 154
10 カラーマトリックスチューニング ▶▶ 📖 154
11 セットアップレベル ▶▶ 📖 154
12 オーバー 100% ▶▶ 📖 154

カメラステータス画面

CAMERA | MEDIA | RAW | MP4 | XF-AVC

ISO感度／ゲイン、アイリス、シャッタースピードや周辺光量補正などの撮影設定とレンズ型名情報を表示します。



1 ISO感度／ゲイン ▶▶ 78
選択、感度拡張、ISOステップ、ゲインステップ

2 アイリス ▶▶ 82
アイリスステップ、アイリスファイン、
ズーム連動F値補正

3 シャッタースピード ▶▶ 75
シャッターステップ

4 AF（オートフォーカス） ▶▶ 91
AFモード、AF枠位置、AF枠サイズ、
AFスピード適用条件、AFスピード、AFレスポンス

5 AE（自動露出） ▶▶ 85
AEシフト、AEレスポンス

6 ホワイトバランス ▶▶ 87
ショックレスホワイトバランス、AWBレスポンス

7 周辺光量補正 ▶▶ 42

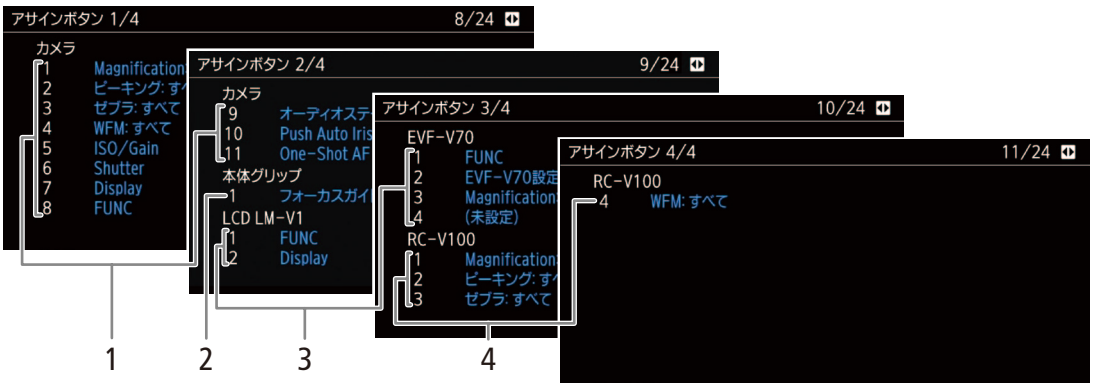
8 倍率色収差補正 ▶▶ 42

9 レンズ型名情報 ▶▶ 40

アサインボタンステータス画面

CAMERA | MEDIA | RAW | MP4 | XF-AVC

アサインボタンに割り当てられている機能の一覧を表示します。（142）



1 カメラアサインボタン1 ～ 11

2 本体グリップアサインボタン1

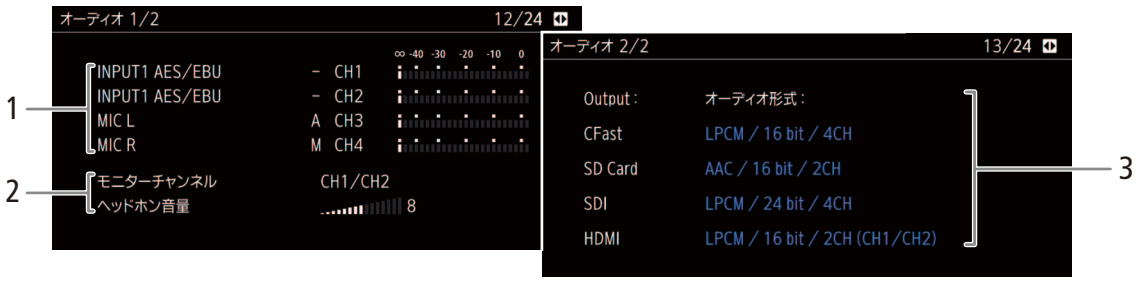
3 LCDモニターアサインボタン1 ～ 2 ／ EVF-V70アサインボタン1 ～ 4

4 リモートコントローラーアサインボタン1 ～ 4

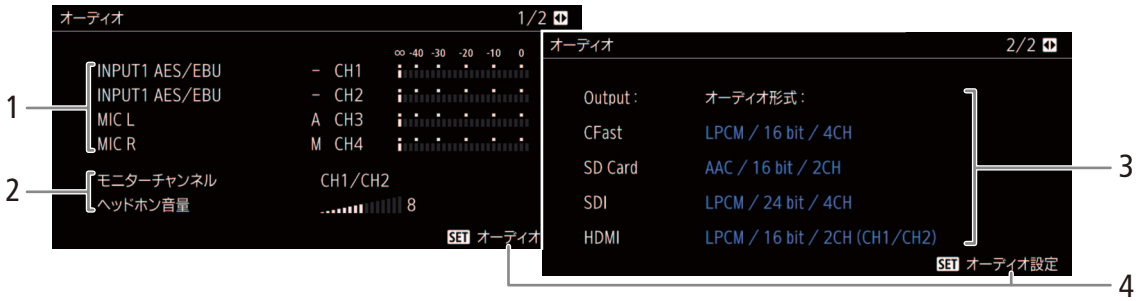
オーディオステータス画面

CAMERA | MEDIA | RAW | MP4 | XF-AVC

音声の記録、入出力などオーディオ関係の設定内容を表示します。



オーディオステータスボタンで表示したとき



メディアモードのとき

1 入力音声と録音レベルモード（CH1 ～ CH4）
▶▶ 111

2 モニターチャンネルとヘッドフォン音量

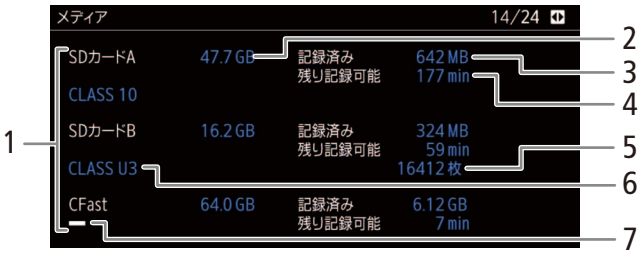
3 カードに記録、または端子に出力する音声の量子化ビット数とチャンネル数（114、179）
CFast ／ SDカード、SDI端子、HDMI OUT端子

4 1 オーディオ設定メニュー *（221）
* AUDIO STATUSボタンで表示したときのみ。

メディアステータス画面

CAMERA | MEDIA | RAW | MP4 | XF-AVC

CFastカードスロットと2つのSDカードスロットの記録メディアの状態を表示します（52）。



1 SDカードA ／ B、CFastカード
2 カードの総容量
3 カードの使用量
4 カードの記録可能時間
5 SDカードBの静止画記録可能枚数
6 SDカードのスピードクラス
7 カードの使用量の目安

MEMO

- カードによっては、CFastカード、またはSDカードの総容量が、カードに記載の容量より少なく表示されることがあります。

端子出力ステータス画面

CAMERA | MEDIA | RAW | MP4 | XF-AVC

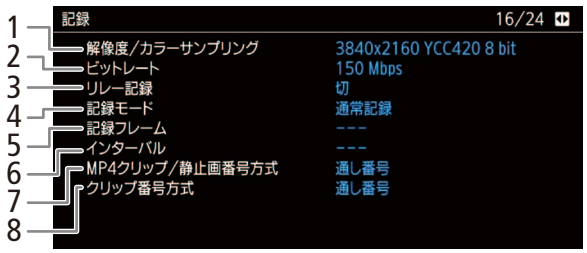
映像出力端子の設定内容を表示します。特殊記録モードのときは、特殊記録のモードと設定内容についても表示します。メディアモードでは、HDMI OUT端子／ SDI端子の出力状態、オンスクリーン表示について表示します。

1 HDMI OUT端子の出力状態 ▶▶ 174
2 SDI端子出力 ▶▶ 173
出力状態*、3G-SDIマッピング
* 表示されるビット数は映像信号のビット数。
3 オンスクリーン表示 ▶▶ 178
4 HDMI Time Code ▶▶ 174
5 ユーザービット ▶▶ 110
タイプ

■ 記録ステータス画面

CAMERA | MEDIA | RAW | MP4 | XF-AVC

映像記録の設定内容を表示します。



1 解像度／カラーサンプリング ▶▶ 72
2 ビットレート ▶▶ 72
3 リレー記録 ▶▶ 57
4 記録モード ▶▶ 130
5 フレーム記録／インターバル記録の記録フレーム数 ▶▶ 132、133
6 インターバル記録の記録間隔 ▶▶ 133
7 MP4クリップ／静止画番号方式 ▶▶ 70
8 クリップ番号方式 ▶▶ 68

■ メタデータステータス画面

CAMERA | MEDIA | RAW | MP4 | XF-AVC

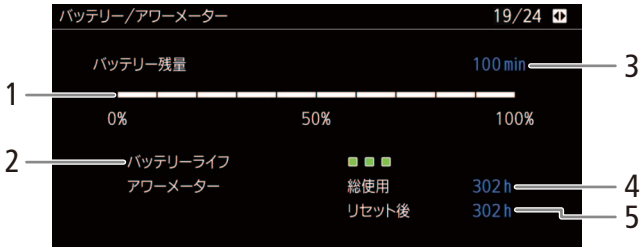
ユーザーメモ（クリップタイトル、撮影者、撮影場所、撮影内容）やUMID所有権情報などを表示します（125）。

1 ユーザーメモファイルのファイル名
2 クリップのタイトル
3 撮影者
4 撮影場所
5 撮影内容
6 クリップファイル名 ▶▶ 67、68、70
カメラインデックス、リール番号、クリップ番号、ユーザー定義
7 シーン、テイク ▶▶ 126
8 UMID所有権情報 ▶▶ 221
9 CPファイル付加 ▶▶ 151

バッテリー／アワーメーターステータス画面

CAMERA | MEDIA | RAW | MP4 | XF-AVC

バッテリーの残量やバッテリーライフを表示します。また、本体のご購入時からの使用時間と、最後にリセットしたときからの使用時間を表示します。

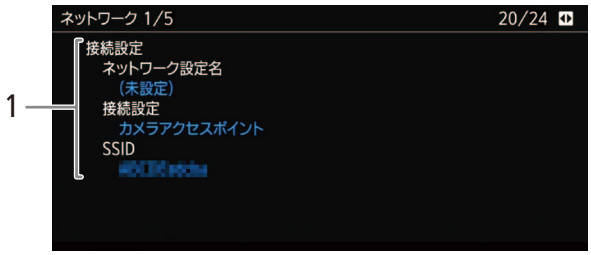


1 バッテリーの残量 ▶▶ 26
2 バッテリーライフ
3 撮影可能時間 ▶▶ 269
4 購入時からの使用時間 ▶▶ 232
5 リセット後の使用時間 ▶▶ 232

ネットワーク設定ステータス画面

CAMERA | MEDIA | RAW | MP4 | XF-AVC

ネットワーク関係の設定内容を表示します。ブラウザーリモート設定はカメラモードのみ、FTP転送設定はメディアモードのみに表示します。



1 接続設定 ▶▶ 184
ネットワーク設定名、接続設定、SSID

2 接続設定 ▶▶ 184
認証／暗号化方式、WEPインデックスキー、通信モード、カメラアクセスポイントのチャンネル

3

3 TCP/IP設定 ▶▶ 🕮 187

IPアドレスの取得方法、IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、優先DNSサーバー、代替DNSサーバー、MACアドレス、MACアドレス（イーサネット）

4

4 ブラウザーリモート設定 ▶▶ 🕮 194

カメラID、Port No.、URL

5

5 ブラウザーリモート設定 ▶▶ 🕮 194

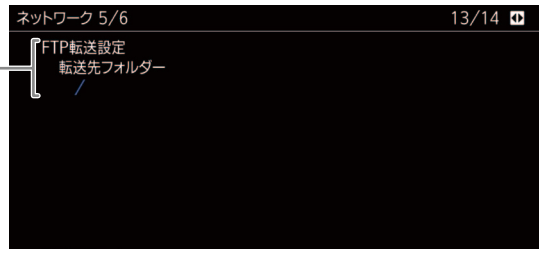
ユーザー設定、ユーザー名、パスワード

メディアモードのとき

6

6 FTP転送設定 ▶▶ 🕮 208

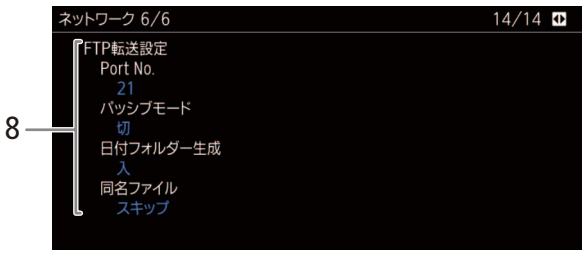
FTPサーバー、FTP：ユーザー名、FTP：パスワード設定の有無



7

7 FTP転送設定 ▶▶ 🕮 208

転送先フォルダー



8 FTP転送設定 ▶▶ 📖 208
Port No.、パッシブモード、日付フォルダー生成、同名ファイル

GPS情報表示ステータス画面

CAMERA | MEDIA | RAW | MP4 | XF-AVC

GPSレシーバー GP-E2(別売)を装着しているときは、GPSから取得した位置情報などを表示することができます。

1 緯度
2 経度
3 標高
4 UTC(協定世界時)
5 衛星捕捉状態、信号強度

トラブルシューティング

修理に出す前にこの「トラブルシューティング」で説明する内容をもう一度確認してください。それでも直らないときは、お客様相談センター（裏表紙）にご相談ください。

電源

こんなときは	どうするの？	🕮
電源が入らない。 途中で電源が切れる。	● バッテリーが消耗しているので、十分に充電したバッテリーと交換する。 ● バッテリーを正しく取り付け直す。	24
起動直後に電源が自動的に切れる	● 本機で使用できないバッテリーを取り付けた。本機に対応するバッテリーに交換する。	264
バッテリーが充電できない。	● バッテリーの温度が0 ℃未満になったか、または40 ℃を超えている。0 ℃未満のときはバッテリーを温めてから、40 ℃を超えたときは放置して40℃以下になってから、充電を開始する。 ● 周囲の温度が0 ℃～ 40 ℃のときに充電する。 ● バッテリーが故障しているので、別のバッテリーを使用する。	24
常温でバッテリーの消耗が極端に早い。	● バッテリーの寿命の可能性がある。バッテリーステータス画面でバッテリーの寿命を確認し、寿命がないときは、新しいバッテリーを購入する。	241

撮影中

こんなときは	どうするの？	🕮
カメラ本体の操作が利かない。	● カメラグリップの接続プラグがしっかりと接続されていない。カメラグリップを取り付けるときは、接続プラグが奥までしっかり差し込まれていることを確認する。カメラグリップの角度を変えるときは、接続プラグがしっかり接続されていることを確認する。 ● POWER（電源）スイッチを🔒（キーロック）にしていると、すべての操作、またはRECボタン以外の操作が無効になる*。POWER（電源）スイッチをCAMERAにする。 * 4 システム設定メニュー ➤「キーロック」で変更可能。	48 63
RECボタンを押しても録画しない。	● CFastカードやSDカードに空き容量がない。または999クリップ記録されている。別のCFastカードやSDカードと入れ換える。または不要なクリップを消すか、記録されているクリップをバックアップして初期化する。 ● 4 システム設定メニュー ➤「RECボタン（カメラ）」、「RECボタン（本体グリップ）」で、カメラ本体、カメラグリップ、またはモニターユニットのRECボタンが無効になっている。有効にする。 ● リモートコントローラー RC-V100（別売）を操作中は、記録を開始／停止できないことがある。RC-V100の操作を中断してから、RECボタンを押す。	53 181 168 — —
RECボタンを押した時点と、記録されたクリップの始めと終わりの時点が異なる。	● RECボタンを押してから、録画の開始／終了までに、多少時間がかかることがある。故障ではない。	—

こんなときは	どうするの？	🕮
ピントが合わない。	● オートフォーカスでフォーカスを調整するとき、被写体によってはピントが自動で合いにくいことがある。手動でピントを調整する。 ● AFモードがAFブーストMFのときは、合焦付近（AFブーストMF枠が白色に変わる）まで手動で調整する。 ● C200 ファインダーの視度が合っていない。視度調整レバーで画面がはっきり見えるように調整する。 ● レンズが汚れているのでお手入れする。	91 97 44 263
被写体が横切るとき、被写体がゆがんで見える。	● 撮像素子にCMOSセンサーを使用しているため、本機の前を被写体が素早く横切ると、少しゆがんで見えることがある。故障ではない。	—
画面に赤、緑、青の輝点が出る。	● ブラックバランス調整を行うと改善することがある。高度な精密技術で作られている撮像素子（CMOSセンサー）が、宇宙線などの影響を受けると、まれに画面上に小さな輝点（赤、緑、青）ができることがある。これは、撮像素子の原理によるもので、故障ではない。なお、次の場合は画面上に生じる輝点が見えやすくなる。 • 高温の場所で使用するとき。 • ISO感度／ゲインが高いとき。 • シャッタースピードのモードがスローのとき。	59
画面に通常出ない映像が出て、動画を正しく記録できない。	● 消耗したバッテリーを装着し、ACアダプターをつないで動画記録中に、ACアダプターが抜かれた。または、停電した。ACアダプターを再度つないで本機の電源を入れ直すか、十分に充電したバッテリーと交換する。	25 26
動画の「● REC」／「STBY」の切り換えに時間がかかる。	● クリップ数が多いとこのようになることがある。別のカードと入れ換えるか、クリップをバックアップしてカードを初期化する。	53 181 55
動画を正しく記録できない。	● 記録や消去を繰り返すと、このようになることがある。カードに記録されているクリップをバックアップしたあと、カードを初期化する。	181 55
長時間使うと熱くなる。	● 長時間使い続けると熱くなることがあるが、そのまま使用しても問題ない。本機の温度が急激に上昇したり、持てないほど熱くなったときは故障の可能性がある。お客様相談センターにご相談ください。	裏表紙

■ 再生中

こんなときは	どうするの？	🕮
クリップの消去ができない。	● SDカードの誤消去防止ツマミがLOCK側になっているので、ロックを解除する。	54
クリップの消去に時間がかかる。	● クリップ数が多いとこのようになることがある。クリップをバックアップしてカードを初期化する。	181 55
静止画を消せない。	● SDカードの誤消去防止ツマミがLOCK側になっているので、ロックを解除する。 ● 他機でプロテクトされた静止画は、本機では消去できない。	54

■ 表示やランプ

こんなときは	どうするの？	🕮
画面に（赤色）が出る。	● バッテリーが消耗しているので、十分に充電したバッテリーと交換する。	24
画面に が出る。	● 本機と通信できないバッテリーが取り付けられているため、使用可能時間を表示できない。	—
タリーランプが点灯しない。	● 5 システム設定メニュー ➤「LED」➤「タリーランプ（前面）」、「タリーランプ（背面）」を「入」にする。	231
タリーランプが速く点滅する。	（1秒に4回の点滅） ● バッテリーが消耗している。十分に充電されたバッテリーと交換する。 ● CFastやSDカードA、SDカードBに空き容量がない。別のCFastカードやSDカードと入れ換えるか、不要なクリップを消す。 ● システムエラーが発生している。電源を入れなおしても解決しないときは、故障の可能性がある。お客様相談センターにご相談ください。	24 53 168 裏表紙
タリーランプがゆっくり点滅する。	（1秒に1回の点滅） ● CFastカードやSDカードの空き容量が少なくなっている。SDカードは、記録中でないスロットのSDカードを別のカードと入れ換える。	53
画面に（赤色）が出る。	● SDカードエラー。電源を切り、SDカードを出し入れする。それでも赤く点灯しているときは、クリップ／静止画をバックアップしてSDカードを初期化する。	54 55
画面に（赤色）が出て、記録可能時間に「END」が表示される。	● CFastやSDカードA、SDカードBに空き容量がない。別のCFastカードやSDカードと入れ換えるか、クリップと静止画（SDカードのみ）を消す。	168 139
撮影を中断してもアクセスランプが赤く点灯している。	● 撮影したクリップを記録メディアに書き込んでいる。故障ではない。	—
画面に（黄色）が出る。	● 本機内部の温度が高くなり一定の温度に達した。そのまま使用しても問題ない。	—
画面に（赤色）が出る。	● 画面に（黄色）が出ている状態で、さらに内部温度が高くなった。 ● カメラモードで5 システム設定メニュー ➤「ファン」➤「モード」が「常時」かつ「ファン速度（常時）」が「ハイ」か、またはメディアモードで4 システム設定メニュー ➤「ファン速度」が「ハイ」のときは、本機の電源を切り、温度が下がるまで使用を中止する。 ● カメラモードで5 システム設定メニュー ➤「ファン」➤「モード」が「オート」の場合、撮影中に冷却ファンが停止しているときは自動的に冷却ファンが起動する（画面に FAN が出る）。	71
画面に FAN （赤色）が出る。	● 冷却ファンが故障した可能性がある。約10分後に電源が強制的に切れる。お客様相談センターにご相談ください。	裏表紙
画面に LENS が出る。	● レンズと正常に通信できない。	—
画面に（赤色）が出る。	● 充電型リチウム電池の残量がない。 ● メニューやカスタムピクチャーの設定をSDカードに保存して、充電型リチウム電池を充電する。メニューなどの設定データを本機に読み込む。	— 156 262

■ 画面や音

こんなときは	どうするの？	🕮
VIDEO端子に接続した機器の画面がつかない。	● カメラ本体とVIDEO端子をユニットケーブル（C200は付属、C200Bは別売）で正しく接続する。	29
画面に、ピーキング／ゼブラ／ WFMの表示、拡大表示、白黒表示が行われない。	● ピーキング、ゼブラ、WFM、拡大表示、白黒の各出力設定を行う。	226
HDR出力映像が、ファームウェア更新前よりも明るく表示される。	● 本ファームウェアでは、ITU-R BT.2408レポートに基づいた基準輝度で出力するため。記録した映像には影響しない。	—
画面がついたり消えたりを繰り返す。	● バッテリーが消耗しているので、十分に充電したバッテリーと交換する。 ● バッテリーを正しく取り付け直す。	24
画面に通常出ない文字が出たり、正常に動作しない。	● 電源を取り外し、しばらくしてから取り付ける。それでも解決しないときは、1 システム設定メニュー ➤「リセット」➤「全設定」を行う。アワーメーター（リセット後の使用時間）を除く本機の設定が初期状態に戻る。	24
画面にノイズが出る。	● 磁石、モーターの近くや電波塔の近くなど、強い磁気や電波が発生する場所から離れて本機を使用する。	—
画面に横帯が出る。	● 撮像素子にCMOSセンサーを使用しているため、撮影時の照明によっては横帯が見えることがある。故障ではない。電源の周波数に応じたシャッタースピードを設定すると軽減することがある。電源周波数が50 Hzのときは1/50秒*、または1/100秒を、60 Hzのときは1/60秒、または1/120秒を設定する。 * フレームレートによっては選択できない。	75
音声が記録されない。	● INPUT端子をAES/EBUにしてアナログ信号を入力したか、またはINPUT端子をANALOGにしてデジタル信号を入力した。INPUT 1 ／ INPUT 2端子切り換えスイッチを正しく設定する。 ● INPUT 1端子やINPUT 2端子を使用するときはXLRコネクターで、MIC（マイク）端子を使用するときはφ3.5mmステレオミニプラグで正しく接続する。 ● INPUT端子にファンタム電源が必要な外部マイクを取り付けたときに、INPUT 1 ／ INPUT 2端子切り換えスイッチを「MIC＋48V」に切り換えていない。	113 112 113
音声が極端に小さい。	● INPUT 1端子やINPUT 2端子、MIC（マイク）端子を使用時、録音レベル切り換えスイッチを「M（マニュアル）」にしていて、録音レベルをしぼっている。画面のオーディオレベルメーターで確認しながら適正なレベルに調整する。 ● マイクのアッテネーターを「入」にしている。アッテネーターを「切」にする。	116 118
音がひずんだり、実際より小さく記録される。	● 大きな音の近く（打上げ花火やコンサートなど）で撮影すると、このようになることがある。マイクアッテネーターを使うか、録音レベルをマニュアルで調整する。	116

■ アクセサリー

こんなときは	どうするの？	🕮
メモリーカードが入らない。	● CFastカードはCFastカードスロットに、SDカードはSDカードスロットにそれぞれ正しい向きで入れる。	53 54
CFastカードに動画を記録できない。	● 対応しているCFastカードを確認する。 ● はじめて使用するときは、CFastカードを本機で初期化する。 ● CFastカードに空き容量がないか、または記録可能なクリップ数（999個）を超えた。CFastカードの不要なクリップを消すか、別のCFastカードと入れ換える。	52 55 168 53
SDカードに動画、静止画を記録できない。	● 対応しているSDカードを確認する。 ● はじめて使用するときは、SDカードを本機で初期化する。 ● SDカードの誤消去防止ツマミがLOCK側になっているので、ロックを解除する。 ● 静止画を記録するとき、SDカードがSD CARD Ⓐに入っている。SDカードをSD CARD Ⓑに入れる。 ● SDカードに空き容量がない。別のカードと入れ換えるか、不要な動画と静止画を消す。 ● MP4クリップ／静止画番号が最大になったため、カードに記録できない。新しいSDカードを入れて、4 記録/メディア設定メニュー ➤「MP4クリップ／静止画番号方式」を「オートリセット」にする。	52 55 55 54 168 139 70
CFastカードへの書き込み／読み出しが遅くなった。	● 記録や消去を繰り返すとこのようになることがある。CFastカードに記録されているクリップをバックアップしたあと、CFastカードを初期化する。	181 55
SDカードへの書き込み／読み出しが遅くなった。	● 記録や消去を繰り返すとこのようになることがある。SDカードに記録されているクリップと静止画をバックアップしたあと、SDカードを初期化する。	181 55
リモートコントローラーRC-V100（別売）または市販のリモコンが動作しない。	● 1 システム設定メニュー ➤「REMOTE端子」を、RC-V100のときは「RC-V100（REMOTE A）」に、市販のリモコンのときは「スタンダード」に設定する。 ● 本機の電源を切ってリモコンを再接続したあと、本機の電源を入れる。 ● CP HDR 1 Custom Picture/HDR設定メニュー ➤「Activate Other Settings」が「Off」、または選択しているカスタムピクチャーファイルがプロテクトされていると、RC-V100からカスタムピクチャーの設定を調整できない。「Activate Other Settings」を「On」にしてプロテクトを解除する。	140 — 146

他機

こんなときは	どうするの？	🕮
テレビの放送画面にノイズが出る。	● テレビの近くで使用するときは、テレビやアンテナケーブルからACアダプターを離す。	—
再生しても、外部モニターに映像が出ない。	● 本機と外部モニターとの接続が正しく行われていない。ケーブルの接続を確認する。 ● 外部モニターの設定を、接続した端子に切り換える。	173
正しく接続しているのにパソコンから本機が認識されない。	● 接続ケーブルを抜き差しし、本機の電源を入れ直す。 ● パソコンの別のUSB端子につなぐ。 ● MP4クリップ／静止画インデックス画面を表示中にUSB接続を行う。	—
MP4形式の動画／静止画をパソコンに取り込めない。	● カードリーダーなどを使って取り込む。 ● SDカードに記録されているMP4クリップ／静止画が多すぎる。総数が以下になるように消して、カードリーダーなどを使って取り込む（Windows：2500未満。macOS：1000未満）。	—
SDI端子に映像と音が出ない。	● HDMI OUT端子にHDMIケーブルが接続されている。HDMIケーブルを抜く。 ● 本機の出力信号に合わせて、外部機器の設定を行う。	173
HDMIケーブルで接続しているとき、外部モニターに映像や音が出ない。	● HDMIケーブルを抜き差しするか、本機の電源を入れ直す。	—
ファインダー、VIDEO端子にピーキングや白黒表示、拡大表示、ゼブラ、WFM、マーカーが表示されない。	● ピーキングや白黒表示、拡大表示、ゼブラ、WFM、マーカーの各出力設定を行う。	226
SDI端子に拡大表示、WFM、マーカーが表示されない。	● 拡大表示、WFM、マーカーの各出力設定を行う。	226 227
HDMI OUT端子に拡大表示、マーカーが表示されない。	● 拡大表示、マーカーの各出力設定を行う。	226 227

■ ネットワーク接続

お使いのネットワーク機器の説明書も併せてご覧ください。

はじめに確認してください

□ アクセスポイントやパソコンなどのネットワーク機器と本機の電源は入っていますか？
□ ネットワークの設定が完了し、正しく動作していますか？
□ パソコンなどのネットワーク機器は、本機と同じネットワークに正しく接続していますか？
□ 本機をアクセスポイントまたはパソコンなどWi-Fi対応機器から見通しの良い場所に置いていますか？

こんなときは	どうするの？	🕮
アクセスポイントに接続できない。	● 電波状況が悪いか、周囲の電子機器と電波が干渉している可能性がある。カメラグリップ GR-V1を外して、再度ネットワーク設定を行う。それでも解決しないときは、「Wi-Fi接続の注意点とトラブル対処方法」を参考に対応する。 ● 保存しておいたメニュー設定を本機に読み込むと、暗号化キーとパスワードが解除される。再度、ネットワーク設定を行う。 ● Wi-Fi接続をするとき、アクセスポイントでステルス機能を有効にしていると、本機からアクセスポイントを検出できない。「手動設定」で接続するか、アクセスポイントのステルス機能を無効にする。	184 251 184 —
Wi-Fiのカメラアクセスポイントで、本機に接続できない。	● 電波状況が悪いか、周囲の電子機器と電波が干渉している可能性がある。カメラグリップ GR-V1を外して、再度ネットワーク設定を行う。それでも解決しないときは、「Wi-Fi接続の注意点とトラブル対処方法」を参考に対応する。 ● 本機の全設定をリセットすると、ネットワーク設定が解除される。再度、設定を行う。	184 251 186
イーサネットに接続できない。	● イーサネットケーブルには、カテゴリー 5e以上のSTPケーブルを使用する。 ● 別のイーサネットケーブルで接続する。 ● 本機の全設定をリセットすると、ネットワーク設定が解除される。初期設定で接続するか、再度設定を行う。 ● 本機と接続しているネットワーク機器が正しく動作しているか確認する。1000BASE-Tで通信するときはギガビットに対応したネットワーク機器を使用する。	— — 192 —
ブラウザーリモートが起動できない。	● 🌐1 ネットワーク設定メニュー ➤「機能」で「ブラウザーリモート」を選ぶ。 ● ネットワーク機器のWebブラウザーに入力したURLが間違っている。本機のネットワーク設定ステータス画面4/4でブラウザーリモートを起動するためのURLを確認する。	195 241
ネットワーク機器のWebブラウザーで、ブラウザーリモートの画面が正しく表示されない。	● ブラウザーリモートが対応していないOSやWebブラウザーを使用した。キヤノンのホームページで動作環境を確認する。 ● Webブラウザーの設定で、CookieとJavaScriptが無効になっているときは、有効にする。 ● Webブラウザーの設定で、ブラウザーリモートに関係するキャッシュやCookieなどを消去してから、ブラウザーリモートを再起動する。	— — —

Wi-Fi接続の注意点とトラブル対処方法

ここでは、Wi-Fi接続に関する注意点と、トラブル発生時の一般的な対応方法を説明します。Wi-Fiを使用しているときに「通信速度が遅くなる」、「接続が途切れる」などの現象が起きたときには、以下の例を参考に対応してください。

ネットワーク機器（アクセスポイント／携帯端末）の設置のしかたについて

- Wi-Fiを室内で使用するときは、本機とネットワーク機器を同じ部屋に設置してください。
- 本機とネットワーク機器の間に人や遮蔽物が入らない、見通しの良い場所に設置してください。
- 本機とネットワーク機器をできるだけ近付けて設置してください。必要に応じて、設置する高さや向きを変えてください。

周囲の電子機器について

- 周囲にある電子機器の影響（電波の干渉）で通信速度が遅くなるときは、5 GHz帯の電波を使用するか、チャンネルを変更すると、問題を解消できることがあります。
- IEEE 802.11b/g/nの無線LANでは、電子レンジやコードレス電話機、ワイヤレスマイク、Bluetooth機器などと同じ2.4 GHz帯の電波を使用します。このため、周囲にこれらの機器があると通信速度が遅くなります。
- 本機と同じ周波数帯を使用するアクセスポイントが近くで稼動していると、通信速度が遅くなります。

本機やアクセスポイントを複数台使用するとき

- 同一ネットワーク内の機器のIPアドレスが重複しないようにしてください。
- 同じアクセスポイントにC200またはC200Bを2台以上接続すると、通信速度が遅くなります。
- IEEE 802.11b/gまたはIEEE 802.11n（2.4 GHz帯）のアクセスポイントを複数台使用するときは、電波干渉を少なくするため、無線LANのチャンネルの間隔を、「1、6、11」、「2、7、12」、「3、8、13」のように4チャンネル分空けてください。5 GHz帯の電波を使用するIEEE 802.11a/nが使用可能なときは、IEEE 802.11a/nに切り換え、異なるチャンネルを設定してください。

エラーメッセージ

本機の画面にメッセージが出たときは、次のような対処をしてください。なお、メッセージの冒頭に、「CFast」、「SDカードA」、「SDカードB」などが表示されることがあります。これは、エラーが発生した記録メディアを表わします。

メッセージ	原因と対処	🕮
CFast(SDカードA)(SDカードB) 空き容量がありません	● メモリーカードに空き容量がない。別のカードと入れ換えるか、不要なクリップを消す。 ● SDカードA(SDカードB)に空き容量がないため記録を開始できない。もう一方のスロットに切り換えてから撮影する。	53 168 56
CFast(SDカードA)(SDカードB) 空き容量がわずかです	● カードの空き容量が少なくなっている。別のカードと入れ換えるか、不要なクリップを消す。 ● SDカードAとSDカードBを合わせた空き容量が少なくなっている。記録中ではないスロットのSDカードを別のカードと入れ換える。	53 54
SDカードA(SDカードB) カードの誤消去防止ツマミを確認してください	● SDカードの誤消去防止ツマミがLOCK側になっているため、カードに書き込めない。誤消去防止ツマミを反対側にする。	55
カバーがあいています	● カメラモードに切り換えたときに、CFastカードカバー、またはSDカードカバーが開いていた。メモリーカードを入れたらカードカバーを閉じる。	53
カメラとレンズの通信不良です レンズの接点を清掃してください	● レンズ接点が汚れているので、本機とレンズが通信できない。画面に LENS アイコンが表示される。レンズの接点を柔らかい布などでふく。	—
CFast(SDカードA)(SDカードB) 記録を中止しました	● 管理情報が壊れたか、またはエンコーダーにエラーが発生したため、記録できない。電源を入れなおしてカードを出し入れするか、別のカードと入れ換える。それでも解決しないときは、お客様相談センターにご相談ください。	53 54 裏表紙
CFast(SDカードA)(SDカードB) クリップ数がいっぱいです	● 記録中のメモリーカードがクリップ数の上限(999個)に達した。別のカードと入れ換える。	53
本体グリップの接続を確認してください	● カメラグリップ GR-V1が正しく取り付けられていない可能性がある。GR-V1の接続を確認する。	48
SDカードA(SDカードB) このカードでは動画記録できないことがあります	● 「主記録形式」を「MP4(SDカード)」に設定したときにSDスピードクラス4以下のSDカードが、「XF-AVC(SDカード)」に設定したときにSDスピードクラス6以下のSDカードがスロットに入っている。使用可能なSDカードを入れる。	52
SDカードA(SDカードB) 現在の動画記録設定に対応していないカードです	● UHSスピードクラス3非対応のSDカードがスロットに入っており、「主記録形式」を「MP4(SDカード)」または「XF-AVC(SDカード)」にして「解像度/カラーサンプリング」を「3840×2160 YCC420 8bit」に設定している。UHSスピードクラス3対応のSDカードに入れ換えるか、「解像度/カラーサンプリング」を「1920×1080 YCC420 8bit」に変更する。	52
再生できません	● メモリーカード内のクリップが異なるシステム周波数で記録されている。本機のシステム周波数を、記録されているクリップと同じにする。 ● XF-AVCクリップの管理情報が壊れた*1か、またはデコーダーにエラーが発生したため、再生できない。電源を入れなおしてカードを出し入れする。それでも解決しないときは、お客様相談センターにご相談ください。	53 裏表紙
修復が必要なクリップがあります	● 記録中に停電したり、記録中にカードを取り外したりしたことにより、XF-AVCクリップに異常が発生した。クリップを修復する。	57
使用中のレンズにこの機能が対応していません	● 選択中の機能がレンズに対応していないため、この機能を使用できない。	—

*1 破損した管理情報は修復できません。また、管理情報が破損したメモリーカードやXF-AVCクリップを、ソフトウェア(Canon XF Utilityまたはノンリニア編集ソフトウェア用プラグイン)で読み込むことはできません。

メッセージ	原因と対処	🕮
操作は無効です	● 次にあげる無効な操作を行った。 • ショットマークを同じフレームに付加しようとした。 • OKマーク、チェックマークを同じクリップに付加しようとした。 • フレーム記録モードまたはインターバル記録モードのときにショットマークを付加しようとした。 • メモリーカードが入っていないときに、RECボタンを押した。	—
データを修復できませんでした	● クリップを修復できなかった。カードに記録されているクリップをバックアップしたあと、修復に失敗したクリップを消去する。 ● カードの空き容量がないと修復できないことがある。不要なクリップを消去する。	181 168
バッテリー通信エラー ご使用のバッテリーにCanonロゴはありますか？	● キヤノンの推奨以外のバッテリーを取り付けて、電源を入れた。 ● キヤノン推奨のバッテリーを使用している場合は、カメラ本体またはバッテリーの故障の可能性がある。カメラ修理受付センターにご相談ください。	264 裏表紙
バッテリーパックを取り換えてください	● バッテリーが消耗している。十分に充電されたバッテリーと交換する。	24
CFast(SDカードA)(SDカードB) バッファオーバーです 記録を中止しました	● メモリーカードの書き込み速度が遅いため、記録を中断した。推奨のカードを入れる。	52
CFast(SDカードA)(SDカードB) 非対応メディアです	● 容量が600MB以下のCFastカード、または256MB以下のSDカードを使用できない。別のカードと入れ換える。	53 54
CFast(SDカードA)(SDカードB) ファイル名が作成できません	● クリップ番号が最大になったときに、RECボタンを押した。クリップをバックアップしてカードを初期化するか、クリップをすべて消す。	181 168
CFast(SDカードA)(SDカードB) ファイル名が作成できません	● 静止画番号が最大になったときに、「Photo」を割り当てたアサインボタンを押した。4 記録/メディア設定メニュー➤「MP4クリップ／静止画番号方式」を「オートリセット」にしてカードを初期化するか、静止画をすべて消す。	70 55 139
ファンエラー	● 冷却ファンが故障した可能性がある。約10分後に電源が強制的に切れる。お客様相談センターにご相談ください。	裏表紙
信号形式の設定が変わりました 設定を確認してください	● 記録/メディア設定メニューの変更に伴い、信号形式の設定のいずれかが自動的に変更された。設定を確認する。	—
レンズエラー 電源を入れなおしてください	● 本機とレンズの通信エラーが発生した。本機の電源を入れ直す。	—
レンズエラー フレームレートを変更してください	● 現在設定しているフレームレートに非対応のレンズが装着された。フレームレートを変更する。	72
CFast(SDカードA)(SDカードB)にアクセス中です 取り出さないでください	● メモリーカードにアクセス中に、カードカバーをあけた。カードカバーを閉める。	53

メッセージ	原因と対処	🕮
CFast(SDカードA)(SDカードB)を確認してください	● メモリーカードにアクセスできない。カードが正しく入っているか、カードに不具合がないか確認する。 ● メモリーカードにエラーがあり、記録や再生ができない。カードを出し入れするか、別のカードと入れ換える。 ● マルチメディアカードを入れた。推奨のSDカードを入れる。 ● 「カードを確認してください」が4秒後に消えて CFast または A / B が赤く点灯するときは、電源を切り、カードを出し入れする。CFast または A / B が緑色に点灯すれば、そのまま記録や再生ができる。それでも赤く点灯しているときは、動画と静止画をバックアップして初期化する。	53 54 — 52 181 55
CFast(SDカードA)(SDカードB) データの確認と初期化をお勧めします	● 次の理由によりカードを使用できない。カードに記録されているクリップをバックアップしたあと、カードを初期化する。 • カードに異常があるため、記録・再生できない。 • カードの情報が取得できない。 • パソコンなど他の機器で初期化されている。 • カード内にパーティションが設定されている。 ● 本機とファームウェアが異なるカメラで初期化されている。このカードに記録するときは、カードに記録されているクリップをバックアップしたあと、本機でこのカードを初期化する。	181 55
SDカードA(B)→SDカードB(A) 切り換えました	● リレー記録、またはスロット切り換え操作(SLOT SELECTボタンを押す)により、記録先がSDカードAからSDカードB(SDカードBからSDカードA)に切り換わった。	—
SDカードA(B)→SDカードB(A) まもなく切り換えます	● SDカードA(SDカードB)の空き容量が少なくなったため、リレー記録によって、約1分後に記録先スロットが切り換わる。	—
SDスロット 切り換えできません	● 撮影中など、SDカードスロットの切り換えができないときにSLOT SELECT(スロット選択)ボタンを押した。撮影終了後にSDカードスロットを切り換える。	56
Lens firmware update Firmware update failed. Try updating again.	● レンズのファームウェアの更新が正常に終了しなかった。再度アップデートを行う。	41
NDの枚数が変わりました フォーカスを確認してください	● 8 stopsと10 stopsは、NDフィルターの枚数が他の濃度と異なるため、ピントがずれることがある。フォーカスを調整する。	91
静止画とMP4クリップの総数が多すぎます USBケーブルをぬいてください	● SDカードに記録されているMP4クリップ／静止画が多すぎる。USBケーブルを抜き、カードリーダーなどを使用してパソコンに移動する。または総数が以下になるように消す(Windows：2500未満。macOS：1000未満)。その後、USBケーブルを接続し直す。	168
RAW以外への出力／サブ記録映像のノイズが増えます	● 主記録形式が「RAW(CFast)」で、カスタムピクチャーのガンマが「Canon Log」、「Canon Log 3」以外に設定されている。この設定では、プロキシ動画(SDカード)、またはSDI端子出力の映像にノイズが増える。RAW以外で記録するときは、主記録形式を記録する形式に設定する。	72
Shot Mark数オーバー	● ショットマーク数が最大の100個になったため、付加できない。	—
パワーズームアダプター 電源を確認してください	● パワーズームアダプターの電池残量が少ない。電池を入れ換える。	—
パワーズームアダプター 温度が上昇したため操作できません	● パワーズームアダプターの温度が上昇している。温度が下がるまで、使用を中止する。	—

■ ネットワーク機能使用時

インフラストラクチャーの場合は、お使いのアクセスポイント（無線親機）の説明書も併せてご覧ください。

メッセージ	原因と対処	🕮
アクセスポイントが見つかりませんでした	● アクセスポイント検索を実行したが見つからなかった。アクセスポイントが正常に動作しているか確認して、もう一度接続を行う。	—
	● アクセスポイントのステルス機能を有効にしていると、見つからない。ステルス機能を無効にする。	—
	● アクセスポイントのMACアドレスフィルタリングを有効にしていると見つからないことがある。本機のステータス画面「ネットワーク設定 3/4」で本機のMACアドレスを確認し、アクセスポイントに設定する。	241
接続できませんでした	● アクセスポイントなどのネットワーク機器に接続できなかった。	—
	● コードレス電話機、電子レンジ、冷蔵庫などからの電波と干渉することがある。これらの機器から離れた場所で本機を操作する。	260
転送できなかったファイルがあります	● ファイルシステムが壊れている、または本機以外の製品で記録したクリップを転送した。それらのファイルやクリップをSDカードから消去して、再度FTP転送を行う。	168 208
	● 転送先のフォルダーに同じファイル名のファイルがある。ファイルを移動する、またはファイル名を変更するか、🌐 1 ネットワーク設定メニュー ➤「FTP転送設定」➤「同名ファイル」を「上書き」にする。	209
ネットワーク機能が正しく動作していません	● ネットワーク機能にハードウェアエラーが発生した。本機の電源を入れ直す。それでも解決しないときは、キヤノンお客様相談センターにご相談ください。	裏表紙
Wi-Fiの接続が切れました	● Wi-Fi接続中に、接続先のアクセスポイント、またはパソコンなどのネットワーク機器に異常が発生した。接続先を確認して、もう一度、接続を行う。	184
	● 通信状態が悪くなったため無線ネットワークの接続が切断された。しばらく待つか、周囲にある電子機器を停止する。またはそれらから離れて、もう一度接続する。	184
複数のアクセスポイントが検出されました　もう一度操作してください	● 他のWi-Fi機器がWPS のプッシュボタン方式で接続を行っている。しばらくしてから操作するか、「WPS：PINコード」または「アクセスポイント検索」で接続する。	188
FTPサーバーに接続できません	● FTPサーバーに接続できなかった。本機のFTPサーバー設定を確認する。	208
FTPサーバーにファイルを転送できません	● FTPサーバーにファイルを転送できなかった。FTPサーバーの記憶装置（ハードディスクなど）に空き容量があるか確認する。	—
FTPサーバーにログインできません	● FTPサーバーにログインできなかった。本機の「FTP転送設定」の「FTP：ユーザー名」と「FTP：パスワード」を確認する。	208
FTP通信中にエラーが発生しました ファイル転送は完了していません	● FTPファイル転送中に、通信エラーが発生した。ネットワーク機器と本機の電源を入れ直し、再度FTP転送を行う。	—
IP アドレスが重複しています	● 本機と同じIPアドレスの機器が、同一ネットワーク内にあった。IPアドレスが重複している他機、または本機のIPアドレスを変更する。	187

メッセージ	原因と対処	🕮
IP アドレスを取得できませんでした	● DHCP サーバーを使用していないときは、Wi-Fi接続を「マニュアル」で行い、IP アドレスを「マニュアル」で設定する。	190
	● DHCP サーバーを確認する。 · DHCP サーバーは、電源が入っていて正常に動作しているか。 · DHCP サーバーに割り当てられるアドレスに余裕はあるか。	—
	● DNS サーバーを使用していないときは、DNS アドレスを「0.0.0.0」以外に設定する。	187
	● 使用するDNS サーバーと同じIP アドレスを本機に設定する。	193
	● DNS サーバーを確認する。 · DNS サーバーは、電源が入っていて正常に動作しているか。 · DNS サーバーにIP アドレスと、そのアドレスに対応する名前が正しく設定されているか。	—
	● ゲートウェイ機能を持つアクセスポイントを使用しているときは、本機を含むすべてのネットワーク機器に、正しいゲートウェイアドレスを設定する。	187
LANケーブルが接続されていません	● イーサネットで接続時に、イーサネットケーブルが接続されていなかった。本機またはネットワーク機器のイーサネット端子にケーブルが接続されていることを確認する。	192
Wi-Fiの暗号化キーが違います	● 認証方式に「WPA-PSK」、「WPA2-PSK」、または「共有キー」を選んだとき、または暗号化方式にWEPを選択したときに、入力した暗号化キー（AESやTKIP、またはWEPキー）の文字数／桁数が正しくない。AESやTKIPを英数字で入力するときは、8 ～ 63文字で、16進数で入力するときは、64文字で入力する。WEPキーを英数字で入力するときは、5文字（64bit時）、または13文字（128bit時）で、16進数で入力するときは、10桁（64bit時）、または26桁（128bit時）で入力する。	192
Wi-Fi の暗号化方式が違います	● 本機とアクセスポイントの認証／暗号化方式が異なる。本機をアクセスポイントの設定に合わせる。	191
Wi-Fi の認証方式が違います	● 本機とアクセスポイントの認証／暗号化方式が異なる。本機をアクセスポイントの設定に合わせる。	191
WPSで接続できませんでした もう一度操作してください	● WPS起動後に2分経過したため、アクセスポイントに接続できなかった。もう一度、WPS接続を行う。	188
	● WPS（プッシュボタン方式）で接続するときは、あらかじめアクセスポイントの説明書をご覧になり、アクセスポイントがWPS起動状態になるまで、WPSのボタンを押してください。	188
	● アクセスポイントの暗号化方式がWEPに設定されている。WPSで接続する場合、暗号化方式がWEPのアクセスポイントには接続できない。アクセスポイントの暗号化方式を変更するか、WPS以外の接続方法で接続する。	188
	● 本機とアクセスポイントの電源を入れ直して、設定し直す。それでも解決しないときは、「アクセスポイント検索」で接続する。	190

ネットワーク機器の画面に表示されるメッセージ

メッセージ	原因と対処	🕮
A User is already accessing the server. Try again later.　[Retry]	● 他のネットワーク機器が、すでにビデオカメラに接続している。他機の接続を解除してから「Retry」をタッチする。	—
これ以上調整できません	● ブラウザーリモートでフォーカスを調整するとき、レンズが無限端、または至近端に達しても、さらに操作を行った。	—

安全上のご注意

安全に使っていただくための注意事項です。必ずお読みください。お使いになる方だけでなく、他人への危害や損害を防ぐためにお守りください。

⚠ 警告 死亡や重傷を負うおそれがある内容です。

煙が出ている、異臭がするなどの異常が発生したときは使わない。

破損したときは、内部に触れない。

液体でぬらしたり、内部に液体や異物を入れない。

雷が鳴り出したら、コンセントにつながれた製品に触れない。
感電の原因となります。

分解や改造をしない。

強い衝撃や振動を与えない。

指定外の電源は使わない。

バッテリーチャージャーやACアダプターを使うときは、次のことに注意する。

- 雷が鳴り出したら、コンセントにつながれたバッテリーチャージャーやACアダプターに触れない。
- 電源プラグの差し込みが不十分なまま使わない。
- コードを引っ張って電源プラグを抜かない。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
- 電源コードに重いものをのせたり、傷つけたり、破損させたり、加工したりしない。
- 電源に長時間つないだままにしない。
- 電源プラグや端子に金属製のピンやゴミを触れさせない。
- 0℃～ 40℃の範囲外で充電しない。

バッテリーや電池を使うときは、次のことに注意する。

- 液漏れしたものは使わない。
  液漏れして身体や衣服についたときは、水でよく洗い流す。目に入ったときは、きれいな水で十分洗った後、すぐ医師に相談してください。
- 指定外の製品で使わない。
- 熱したり、火中投入しない。
- 指定外の製品で充電しない。
- 端子に他の金属や金属製のピンやゴミを触れさせない。
- 廃却するときは、接点にテープを貼るなどして絶縁する。

C200 ファインダーで強い光源（晴天時の太陽や人工的な強い光源など）を見ない。

レンズやレンズを付けたカメラは、レンズキャップを外した状態で放置しない。
光がレンズを通して焦点を結び、火災の原因となります。

使用中および使用後すぐに、製品に布などをかけない。

長時間、身体の同じ部位に触れさせたまま使わない。
熱いと感じなくても、皮膚が赤くなったり、水ぶくれができたりするなど、低温やけどの原因となることがあります。気温の高い場所で使うときや、血行の悪い方や皮膚感覚の弱い方などが使うときは、三脚などを使ってください。

乳幼児の手の届くところに置かない。
ストラップを首に巻き付けると、窒息することがあります。

電源プラグやコンセントのほこりを、定期的に乾いた布で拭き取る。

使用が禁止されている場所では、電源を切るなどの指示に従う。
電波の影響で機器類が誤動作し、事故の原因となるおそれがあります。

⚠ **注意** 傷害を負う可能性がある内容です。

禁止

ストラップ使用時は、他のものに引っ掛けたり、強い衝撃や振動を与えない。
けがやカメラの故障の原因となります。

製品を高温や低温となる場所に放置しない。
製品自体が高温や低温になり、触れるとやけどやけがの原因となります。

強制

三脚を使うときは、十分に強度があるものを使う。

取り扱い上のご注意／日常のお手入れ

ここでは本機やバッテリーとメモリーカードなどを取り扱うときに注意していただきたいことや、カメラ本体の日常のお手入れについて説明しています。

■ カメラ本体

ホコリなどの多い場所で使わない

ホコリ・砂・水・泥・塩分の多い場所で使用・保管しないでください。本機は防水・防じん構造になっていませんので、これらが内部に入ると故障の原因となります。レンズにホコリや砂が付くのを防ぐため、使用後は、ホコリなどの少ない場所でレンズフードを外してレンズキャップを取り付けてください。また、水滴が付いたときは乾いたきれいな布で、潮風にあたったときは固くしぼったきれいな布で、よくふき取ってください。万一、本機が水に濡れてしまったときは、早めにお客様相談センター（裏表紙）にご相談ください。

強い磁気の発生する場所では使わない

磁石、モーターの近くや電波塔の近くなど、強い磁気や電波が発生する場所での使用は避けてください。映像や音声が乱れたり、ノイズが入ったりすることがあります。

強い光源にレンズやファインダーを向けない

カメラやファインダーを強い光源（晴天時の太陽や人工的な強い光源など）に向けないでください。撮像素子などの内部の部品が損傷する恐れがあります。特に三脚を使用しているときやショルダーストラップを使って持ち運ぶときは、本体、またはファインダーの角度を変えて直射日光などが入らないようにしてください。本機を使用しないときは、レンズを外して、ボディキャップを取り付けてください。ファインダーを使用しないときは、ファインダーキャップを取り付けてください。

LCDモニターを...

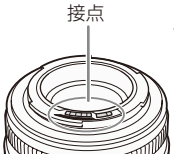
つかんでもちあげない ➔ LCDモニターの接合部が破損することがあります。
無理に収納しない ➔ 正しい位置に戻してから収納しないと破損することがあります。

カメラのレンズ接点に手で触れない

接触不良や腐食の原因になることがあります。接点が腐食するとカメラが正しく動作しなくなることがあります。

レンズを取り外したときは・・・

接点やレンズ面を傷つけないように、取り付け面を上にして置き、ダストキャップを取り付けてください。接点に汚れ、傷、指紋などが付くと、接触不良や腐食の原因となり、カメラやレンズが正確に動作しないことがあります。



Wi-Fi機能について

使用可能な地域について

- 本製品のWi-Fi機能は国内でのみ使用いただけます。国外ではご使用になれません。

電波に関するご注意

- 本製品には、電波法に基づく認証を受けた無線装置が内蔵されており、証明ラベルは無線設備に添付されています。

- 本製品のうち、外国為替、および外国貿易法の規定により、戦略物資等（または役務）に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可（または役務取引許可）が必要です。

電波干渉に関するご注意

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）、および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

① この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局、および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認して下さい。

② 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変更するか、または電波の発射を停止した上、お客様相談窓口にご連絡いただき、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談下さい。

③ その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局、あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、お客様相談窓口へお問い合わせ下さい。

この表示は、2.4GHz帯を使用している無線機器であることを意味します。

本製品は、他の電波を発する機器（コードレス電話、電子レンジ、Bluetooth機器など）から、電波干渉を受ける場合があります。これらの機器からできるだけ遠く離すか、ご利用時間を分けるなどして電波干渉を避けて使用してください。

次の事項を行うと、法律で罰せられます。
本製品を分解、改造すること。本製品上の証明ラベルをはがすこと。

- 医療用の装置や、電子機器の近くで本製品を使用しないで下さい。医療用の装置や、電子機器の動作に影響を及ぼすおそれがあります。

- 36-64チャンネルは、電波法により屋外での使用が禁止されています。

- 航空機内で使用する場合は、乗務員の指示に従ってください。

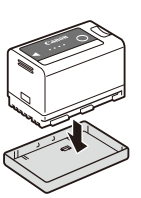
■ バッテリー

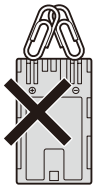
端子はいつもきれいに

バッテリーと本体端子（充電器の端子）の間に異物が入り込まないようにしてください。接触不良、ショート、破損の原因となります。バッテリーの端子は、乾いた布、または綿棒などで定期的に清掃してください。

保管するときは端子カバーを使う

バッテリーを持ち運ぶときや保管するときは、必ず端子カバーを取り付けてください（図A）。金属などでショートすると高熱や液漏れ、破損の原因となります（図B）。


（図A）


（図B）

正しく残量表示されないときは

バッテリーを使い切ってからフル充電してください。ただし、バッテリーを高温下で長時間使ったり、フル充電後に放置したりすると、正しく表示されないことがあります。使用回数が多いバッテリーも正しく表示されないことがあります。なお、表示は目安としてご使用ください。

使用時間を長くするコツ

こまめに電源を切り、10℃～ 30℃のところで使用すると、長く使えます。スキー場などでバッテリーが冷たくなると、一時的に使用時間が短くなりますので、ポケットなどに入れて温めてから使用すると効果的です。

長い間保管するとき

- バッテリーの消耗を防ぐため本体から取り外し、乾燥した30℃以下のところで保管してください。
- バッテリーの劣化を防ぐため、画面に「バッテリーパックを取り換えてください」が表示されるまで使い切ってから、保管してください。
- 1年に1回程度、充電完了まで充電してから使い切ってください。

充電済みバッテリーパックの見分けかた

ショート防止用端子カバーには▭の穴があり、バッテリーに取り付けるときの向きによって▭の穴から見える色が異なります。これを利用して端子カバーを取り付ければ、充電済みバッテリーを見分けることができます。

海外で使用するときは

海外でも付属のバッテリーチャージャーやACアダプター（AC100 ～ 240 V 50/60 Hzまでの電源に対応）を使用できます。お使いになる国のコンセント形状にあった変換プラグを使用してください。

- バッテリーチャージャーやACアダプターを変圧器に接続しないでください。故障するおそれがあります。

■ メモリーカード

データはバックアップする

カメラ本体／メモリーカードの故障や静電気などによるデータの損傷・消失に備えて、データはパソコンなどにバックアップしてください。なお、データ損傷および消失については、当社では一切の責任を負いかねます。

端子に触れない

汚れが付着し、接触不良の原因となります。

磁気に注意する

強い磁気が発生する場所で使わないでください。

高温・多湿の場所に放置しない

シールを貼らない

メモリーカード表面にシールなどを貼ると、シールが差し込み口につまるおそれがあります。

ていねいに扱う

落とす、ぬらす、強い衝撃を与えるなどしないでください。分解は絶対にしないでください。

■ 充電式内蔵電池

本機には充電式のリチウム電池が内蔵されており、日付などの設定を保持しています。この電池は本機を使用中、自動的に充電されますが、約3か月間使わないと完全に放電してしまいます。このときは次のようにして充電してください。

充電のしかた（所要時間：24時間）

① 電源を切る
② ACアダプターを使って、本機をコンセントにつなぐ

■ その他のご注意

情報漏洩に注意（譲渡・廃棄するときは）

メモリーカードに記録されたデータは、消去や初期化をしても、ファイル管理情報が変更されるだけで、完全には消えません。譲渡・廃棄するときは、データを復元できないように、一度メモリーカードの初期化（🕮 55）を行った後、本機にボディキャップを取り付けて最後まで撮影し、再度初期化を行います。これによって、情報漏洩を防いでください。

結露について

室温が高いとき、冷水の入ったコップの表面に水滴がつくことがあります。この現象を結露といいます。本機が結露した場合、そのままの状態で使うと故障の原因になりますので注意してください。なお、次のような条件のときに結露が発生しやすくなります。

- 寒い所から急に暖かい所に移動したとき
- 湿度の高い部屋の中
- 夏季、冷房のきいた部屋から急に温度や湿度の高い所に移動したとき

結露したらどうする？

周囲の環境によって多少異なりますが、水滴が消えるまで約2時間程度放置してください。

温度差のある場所へ移動するときは

バッテリーを取り外し、メモリーカードを取り出して、本機をビニール袋に空気がはいらないように入れて密閉します。移動先の温度になじんだら袋から取り出します。

付属の電源コードは本製品のみに使用する

本機に付属の電源コードは、本製品専用です。他の機器に使用することはできません。

Li-ion

○ 不要になった電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで最寄りの電池リサイクル協力店へお持ちください。詳細は、一般社団法人JBRCのホームページをご参照ください。
ホームページ　http://www.jbrc.com
○ プラス端子、マイナス端子をテープ等で絶縁してください。
○ 被覆をはがさないでください。
○ 分解しないでください。

■ カメラ本体を清掃する（日常のお手入れ）

大切なカメラをより長くお使いいただくために、日常のお手入れには十分注意してください。

お手入れ

製品の汚れは乾いたやわらかい布で軽くふいてください。化学ぞうきんやシンナーなどの使用は、製品を傷めることがあるのでおやめください。

レンズはいつもきれいに

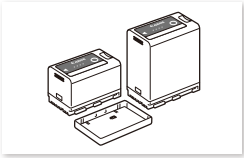
レンズは常にきれいに保つようにしてください。レンズにホコリや汚れがついたときは、最初にブロアーで表面のゴミ、ホコリを取り除き、それから汚れをふき取るようにしてください。

LCDモニターについて

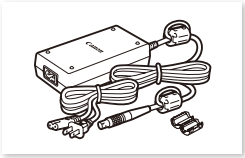
- 汚れたときは市販の眼鏡クリーナー（布製）などで拭いてください。
- 温度差の激しいところでは、画面に水滴がつくことがあります。柔らかい乾いた布で拭いてください。

アクセサリー紹介

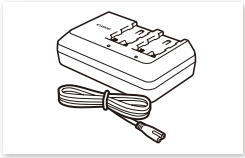
本機に対応する別売アクセサリーは次のとおりです。



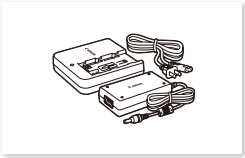
バッテリーパック
BP-A30*1、BP-A60*1



ACアダプター CA-A10

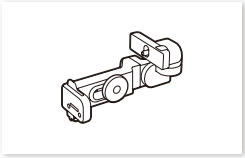


バッテリーチャージャー
CG-A10



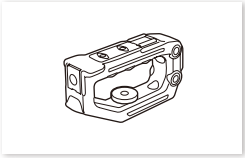
バッテリーチャージャー
CG-A20とコンパクトパワーアダプター CA-CP200B（CG-A20用）

LCDモニター LM-V1

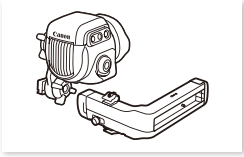


LCDアタッチメントユニット
LA-V1

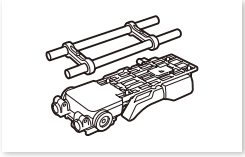
カメラグリップ GR-V1



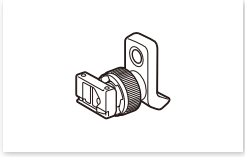
ハンドルユニット　HDU-2



有機EL電子ビューファインダー
EVF-V70*2

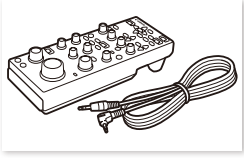


ショルダーサポート
ユニット SU-15



クランプベース CL-V2

ロッドクランプ RD-1

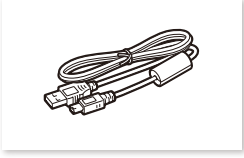


リモートコントローラー
RC-V100

GPSレシーバー
GP-E2

ユニットケーブル
UN-5（50 cm）/ UN-10（100 cm）

三脚ベース
TB-1



USBケーブル
（インターフェースケーブル）
IFC-400PCU

*1 このバッテリーパックは、カメラと通信することにより、バッテリー残量を分単位（目安）で確認できるインテリジェントリチウムイオンバッテリーです。
*2 本機に装着するときは、クランプベース CL-V2（別売）が必要です。

ご注意

アクセサリーはキヤノン純正品のご使用をおすすめします。

このカメラでキヤノン純正以外のバッテリーをお使いになると、「バッテリー通信エラー」のメッセージが表示され、所定の操作が必要となります。なお、純正以外のバッテリーに起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。

このマークは、キヤノンのビデオ関連商品の純正マークです。キヤノンのビデオ機器をお求めの際は、同じマークもしくはキヤノンビデオ関連商品をおすすめします。

MEMO

レンズマウント交換サービスについて

本機のEFレンズマウントをPLレンズマウントに交換することができます。詳しくは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

主な仕様

C200 ／ C200B本体

システム			
記録方式	動画：	RAW時：	
		映像記録方式：	Cinema RAW Light
		音声記録方式：	リニアPCM、16 bit / 24 bit、48 kHz、4 ch
		ファイルフォーマット：	CRM（Canon Raw Movie：キヤノン独自フォーマット）
		MP4時：	
		映像圧縮方法：	MPEG-4 AVC / H.264
		音声記録方式：	MPEG-2 AAC-LC、16 bit、48 kHz、2 ch リニアPCM、16 bit、48 kHz、4 ch
		ファイルフォーマット：	MP4
		XF-AVC時：	
		映像圧縮方法：	MPEG4 AVC / H.264
		音声記録方式：	リニアPCM、24 bit、48kHz、4 ch
		ファイルフォーマット：	MXF
	静止画：	DCF準拠、Exif Ver2.3準拠、静止画圧縮方法：JPEG	
記録／再生信号形式	メイン動画：RAW時：		
		ビットレート：	1 Gbps
		解像度：	4096×2160
		色深度*：	10 bit / 12 bit
		フレームレート：	59.94P、50.00P、29.97P、23.98P、25.00P、24.00P
		* フレームレートに応じて使用できる値が異なる。	
		MP4時：	
		ビットレート：	150 Mbps / 35 Mbps
		解像度：	3840×2160、1920×1080
		カラーサンプリング：	4:2:0 8 bit
		フレームレート：	59.94P、50.00P、29.97P、23.98P、25.00P、24.00P
		XF-AVC時：	
		ビットレート：	160 Mbps / 45 Mbps
		解像度：	3840×2160、1920×1080
		カラーサンプリング：	4:2:0 8 bit
		フレームレート：	59.94P/i、50.00P/i、29.97P、23.98P、25.00P、24.00P
	サブ動画：	MP4時：	
		ビットレート：	35 Mbps Long GOP
		解像度：	2048×1080
		カラーサンプリング：	4:2:0 8 bit
		フレームレート：	59.94P、50.00P、29.97P、23.98P、25.00P、24.00P
		XF-AVC時：	
		ビットレート：	45 Mbps Long GOP
		解像度：	2048×1080
		カラーサンプリング：	4:2:0 8 bit
		フレームレート：	59.94P、50.00P、29.97P、23.98P、25.00P、24.00P

システム	
記録メディア	メイン動画： CFastカード、CFast 2.0規格準拠 SD / SDHC / SDXCメモリーカード*（2スロット） サブ動画／静止画：SD / SDHC / SDXCメモリーカード*（サブ動画：2スロット/ 静止画：スロットBのみ） * カスタムピクチャーファイル、設定データの保存／読み込みにも使用。
撮像素子	スーパー 35mm相当、CMOS（単板） 有効画素： 水平解像度が4096 / 2048のとき：約885万画素（4096×2160） 水平解像度が3840 / 1920のとき：約829万画素（3840×2160）
ファインダー	**C200** ワイドカラー有機ELファインダー（0.46型、約177万ドット、視野率100%）
レンズマウント	キヤノンEFマウント、キヤノンEFレンズ群対応（EF-Sレンズ、EFシネマレンズを含む）
35mmフィルム換算時の焦点距離	水平解像度が4096 / 2048のとき： 実焦点距離* × 約1.460** 水平解像度が3840 / 1920のとき： 実焦点距離* × 約1.534** * レンズの焦点距離 ** 変換係数
周辺光量補正／倍率色収差補正	キヤノンEFレンズ群で可能* * 一部のレンズは対応していません。
シャッタースピード（🕮 75）	スピード（1/3段ステップ、1/4段ステップ）、アングル、クリアスキャン、スロー、切
アイリス	マニュアル、プッシュオートアイリス、オートアイリス ステップ（1/2段、1/3段、ファイン）
ISO感度／ゲイン	ISO感度： 100*、125*、160 ～ 25600、32000* ～ 102400* ステップ（1段、1/3段） * 感度拡張時のみ。 ゲイン： −6 dB ～ 54 dB（ノーマル：3 dBステップ）、 −2 dB ～ 54 dB（ファイン：0.5 dBステップ）
NDフィルター	内蔵（OFF、2 stops、4 stops、6 stops、8 stops*、10 stops*）、電動式 * 「ND濃度拡張」使用時のみ。
露出	AEシフト、測光方式（スタンダード、スポットライト、バックライト）
ホワイトバランス	セットA、セットB、プリセット設定（太陽光 約5600K、電球 約3200K）*、色温度設定（2000K ～ 15000K）、AWB * 色温度は目安です。 色温度（K）／色補正値（CC）による微調整（ホワイトバランスセット、AWB以外）
フォーカス	調整方法： マニュアル、ワンショットAF、AFブーストMF、コンティニュアスAF、 顔検出AF、追尾 AF方式： デュアルピクセルCMOS AF、コントラストAF
感度	**59.94 Hz** F10（2048×1080 / 59.94P時）、**50.00 Hz** F11（2048×1080 / 50.00P時） いずれも、ISO800、2000ルクス、反射率89.9 %時
S/N	53 dB（Typical、**59.94 Hz** 3840×2160 / 29.97P時、**50.00 Hz** 3840×2160 / 25.00P時） いずれもHDMI OUT端子出力、Canon Log 3ガンマ、ISO800時
被写体照度	**59.94 Hz** 0.45ルクス（シャッタースピード1/30秒時） **50.00 Hz** 0.38ルクス（シャッタースピード1/25秒時） いずれもISO25600、F1.2レンズ装着時でかつ100%出力時

システム	
Wi-Fi	無線LAN規格：IEEE802.11b /g /n（2.4 GHz帯） IEEE802.11a / n（ 5 GHz帯） 接続方法：　インフラストラクチャー（WPS：プッシュボタン方式、WPS：PINコード方式、アクセスポイント検索、マニュアル）、カメラアクセスポイント 認証方式：　オープン、共有キー、WPA-PSK、WPA2-PSK 暗号化方式：　WEP-64、WEP-128、TKIP、AES
マイク	モノラルエレクトレットコンデンサーマイク
静止画サイズ	3840×2160、2048×1080、1920×1080

入・出力端子	
SDI端子	BNCジャック（出力のみ）、0.8 Vp-p ／ 75 Ω、不平衡 3G-SDI（SMPTE 424、425、ST 299-2準拠） HD-SDI（SMPTE 292、ST 299-1準拠） エンベデッドオーディオ、タイムコード（VITC / LTC） HDR出力（HLG、PQ）、LUT（BT.709、ACESproxy） アシスト表示（画面表示、拡大表示、WFM）
HDMI OUT端子	HDMIコネクター、出力のみ、タイムコード、HDR出力（HLG、PQ） アシスト表示（画面表示、拡大表示）
INPUT1端子 INPUT2端子	XLR（バランス）（①シールド、②ホット、③コールド）、2系統 アナログ（MIC時）：−60 dBu（マニュアルボリュームセンター、フルスケール−18 dB）／ 600 Ω／ Att.：20 dB アナログ（LINE時）：＋4 dBu（マニュアルボリュームセンター、フルスケール−18 dB）／ 10 kΩ デジタル（AES/EBU）：AES3規格（48 kHz、24 bit、2 ch）／ 110Ω
MIC（マイク）端子	φ3.5mmステレオミニジャック −72 dBV（マニュアルボリュームセンター、フルスケール−18 dB）／ 5.6 kΩ Att.：20 dB
∩（ヘッドホン）端子	φ3.5 mmステレオミニジャック −∞〜−8 dBV（16 Ω負荷、ボリュームMin 〜 Max）／ 50 Ω以下
USB端子	mini-B、Hi-Speed USB、出力のみ
REMOTE端子	φ2.5 mmステレオミニミニジャック
品（イーサネット）端子	Ethernet（イーサネット）、1000BASE-T対応
VIDEO端子	LCDモニター LM-V1*、または有機EL電子ビューファインダー EVF-V70（別売）の接続専用。 出力のみ。　* C200は付属、C200Bは別売。
カメラグリップ接続端子	カメラグリップの接続プラグ専用

電源その他	
電源電圧	DC 14.4 V(バッテリーパック)、DC 16.7 V(DC IN)
消費電力	**C200** 19.3 W (59.94P記録時、MP4 / XF-AVC：3840×2160 / RAW：4096×2160) 18.5 W (50.00P記録時、MP4 / XF-AVC：3840×2160 / RAW：4096×2160) いずれもSDI端子、ファインダー、LCDモニター LM-V1使用時。 **C200B** 17.5 W (59.94P記録時、MP4 / XF-AVC：3840×2160 / RAW：4096×2160) 16.6 W (50.00P記録時、MP4 / XF-AVC：3840×2160 / RAW：4096×2160) いずれもSDI端子使用時。
動作温度	0 ºC ～ +40 ºC
外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	**C200** カメラ本体のみ：約144×153×179 mm カメラグリップ GR-V1装着時：約178×153×204 mm カメラ本体、ハンドルユニット HDU-2、LCDモニター LM-V1、LCDアタッチメントユニット LA-V1、カメラグリップ GR-V1、マイクホルダー装着時：約335×275×275 mm **C200B** カメラ本体のみ：約144×146×137 mm サムレスト、マイクホルダー装着時：約169×209×137 mm
撮影時総重量	**C200** カメラ本体、ハンドルユニット HDU-2、LCDモニター LM-V1、LCDアタッチメントユニット LA-V1、カメラグリップ GR-V1、マイクホルダー、アイカップ、六角穴付きボルト1本使用時*： 約2745 g * いずれもバッテリーパックBP-A30、CFastカード1枚、ユニットケーブル1本を含む **C200B** カメラ本体、サムレスト、マイクホルダー使用時*： 約1630 g * いずれもバッテリーパックBP-A30、CFastカード1枚を含む
本体質量 (本体のみ)	**C200** 約1430 g **C200B** 約1335 g
連続撮影時間	**C200** 59.94P記録時 (MP4 / XF-AVC：3840×2160 / RAW：4096×2160)： 約125分(BP-A30使用時)、約270分(BP-A60使用時) 50.00P記録時 (MP4 / XF-AVC：3840×2160 / RAW：4096×2160)： 約130分(BP-A30使用時)、約280分(BP-A60使用時) **C200B** 59.94P記録時 (MP4 / XF-AVC：3840×2160 / RAW：4096×2160)： 約145分(BP-A30使用時)、約310分(BP-A60使用時) 50.00P記録時 (MP4 / XF-AVC：3840×2160 / RAW：4096×2160)： 約155分(BP-A30使用時)、約325分(BP-A60使用時)

付属品

C200 LCDモニター LM-V1	
パネル	4.0型カラー液晶、アスペクト比 16:9、約123万ドット、 視野率 100%、静電容量方式タッチパネル
VIDEO端子	カメラ本体の接続専用
外形寸法	約120 mm× 75 mm× 37 mm
質量	約185 g

C200 LCDアタッチメントユニット LA-V1	
特長	着脱可能、回転可能
外形寸法	約143 mm× 117 mm× 75 mm
質量	約255 g

C200 カメラグリップ GR-V1	
特長	着脱可能、6° 刻みで回転可能、操作ボタン／ダイヤル
外形寸法	約60 mm× 124 mm× 75 mm
質量	約260 g

C200 ハンドルユニット HDU-2	
特長	着脱可能、固定補助金具、汎用取り付け穴
外形寸法	約44 mm× 81 mm× 156 mm
質量	約220 g

ACアダプター CA-A10	
定格入力	AC 100 ～ 240 V、50/60 Hz 100 VA（AC 100 V）～ 124 VA（AC 240 V）
定格出力	DC16.7 V、3.0 A
使用温度	0 ℃～ +40 ℃
外形寸法（幅×高さ×奥行き）	約73×40×139 mm
質量	約450 g

	バッテリーチャージャー CG-A20	コンパクトパワーアダプター CA-CP200B
定格入力	DC 24 V 1.8 A	AC 100 ～ 240 V、50 / 60 Hz 90 VA（AC 100 V）～ 120 VA（AC 240 V）
定格出力	DC 16.7 V、1.5 A	DC 24 V、1.8 A
使用温度	0 ℃～ +40 ℃	0 ℃～ +40 ℃
外形寸法（幅×高さ×奥行き）	約100×24×100 mm	約67.5×37×134 mm
質量	約145 g	約290 g

バッテリーパック BP-A30	
使用電池	リチウムイオン（インテリジェントリチウムイオンバッテリー）
使用温度	0 ℃ ～ +40 ℃
公称電圧	DC 14.4 V
公称容量	3100 mAh / 45 Wh
外形寸法（幅×高さ×奥行き）	約41.5×45.1×69.7 mm
質量	約225 g

■ 対応レンズと機能

ご購入いただいた時期によっては、レンズのファームウェアのアップデートが必要になることがあります。詳細については、お客様相談センター（裏表紙）にお問い合わせください。

レンズ		カメラからのアイリス調整			カメラからのズーム調整
		マニュアル	プッシュオート	オート	
EFレンズ		●	●	–	–
	オートアイリスに対応するEFレンズ	●	●	●	●*
EFシネマレンズ	CN20x50 IAS H/E1	●	●	●	●
	CN7x17 KAS S/E1 CN-E18-80mm T4.4 L IS KAS S CN-E70-200mm T4.4 L IS KAS S	●	●	●	●
	デュアルピクセルフォーカスガイドが使用可能なマニュアルフォーカスレンズ	–	–	–	–

* パワーズームアダプター PZ-E1（別売）に対応したレンズのみ

レンズ		カメラからのフォーカス調整					フォーカスガイド
		マニュアル	ワンショット	コンティニュアス	顔検出AF	追尾	
EFレンズ		●	●	●	●	●	●
	オートアイリスに対応するEFレンズ	●	●	●	●	●	●
EFシネマレンズ	CN20x50 IAS H/E1	●	–	–	–	–	–
	CN7x17 KAS S/E1 CN-E18-80mm T4.4 L IS KAS S CN-E70-200mm T4.4 L IS KAS S	●	●	●	●	●	●
	デュアルピクセルフォーカスガイドが使用可能なマニュアルフォーカスレンズ	–	–	–	–	–	●

オートアイリスに対応するEFレンズ

- EF-S10-18mm F4.5-5.6 IS STM
- EF-S55-250mm F4-5.6 IS STM
- EF70-300mm F4-5.6 IS II USM
- EF85mm F1.4L IS USM
- EF-S18-55mm F3.5-5.6 IS STM
- EF24-105mm F3.5-5.6 IS STM
- EF-S18-55mm F4-5.6 IS STM
- EF70-200mm F4L IS II USM
- EF-S18-135mm F3.5-5.6 IS STM
- EF-S18-135mm F3.5-5.6 IS USM
- EF-S35mm F2.8 MACRO IS STM

デュアルピクセルフォーカスガイドが使用可能なマニュアルフォーカスレンズ

- CN-E14mm T3.1 L F
- CN-E50mm T1.3 L F
- CN-E20mm T1.5 L F
- CN-E24mm T1.5 L F
- CN-E85mm T1.3 L F
- CN-E35mm T1.5 L F
- CN-E135mm T2.2 L F

■ 動画の記録可能時間の目安

メイン動画（CFastカード：RAW形式）

容量 ＼ ビットレート	1 Gbps
64 GB	約5分
128 GB	約15分
256 GB	約30分

メイン動画、プロキシ動画（SDカード：MP4形式）*

ビットレート / 容量	150 Mbps	35 Mbps
8 GB	約5分	約25分
16 GB	約10分	約55分
32 GB	約25分	約120分
64 GB	約55分	約240分
128 GB	約110分	約485分

メイン動画、プロキシ動画（SDカード：XF-AVC形式）*

ビットレート / 容量	160 Mbps	45 Mbps
8 GB	約5分	約20分
16 GB	約10分	約45分
32 GB	約25分	約90分
64 GB	約50分	約185分
128 GB	約105分	約375分

* 1回の記録でSDカードの空き容量がなくなるまで記録したとき。

バッテリーの充電時間の目安

充電時間の目安

バッテリーパック	BP-A30（付属）	BP-A60（別売）
充電時間*（バッテリーチャージャー CG-A20を使用時）	約170分	約300分

* 周囲の温度や充電状態によって異なります。

索引

ア

アイカップ ……45
アイリス ……82
アクセサリー……264
アサインボタン ……142
アワーメーター……232、241
イーサネット……192
色空間 ……147、151、176
色深度……72
インターバル記録 ……133
インフラストラクチャー……185
エラーメッセージ……252
オーディオステータス画面……238
オーディオリミッター ……117
オートアイリス……85
音声出力チャンネル……179
音声を記録する……111
音声をモニターする……119
オンセット・グレーディング……177

カ

解像度……72
外部マイク／外部ライン入力機器を接続する……112
外部レコーダーを接続する ……174
カウントアップ方式 ……108
顔検出AF……100
拡大表示 ……95
カスタムピクチャー ……146
カメラアクセスポイント ……185
カメラグリップ……19、47
カメラダイレクト設定……74
カラーサンプリング ……72
カラーバー ……120
キーロック ……63
吸気口……13
記録信号形式 ……72
記録メディア
：初期化する……55
：CFastカードを入れる……53
：CFastカードを取り出す ……54
：SDカードを入れる／出す……54
：SDカードスロットを切り換える ……56
クリップ
：インデックス画面……158
：クリップ情報を表示する……164
：現像する……182
：再生する……160
：修復する……57
：消去する……168
：ショットマークを付加／消去する……167
：OKマーク／チェックマークを付加する ……165
：保存する……181
クリップ番号……63、67
クリップファイル名 ……67
ゲイン ……78
結露……263
コンティニュアスAF……97

サ

再生
：クリップを再生する……158
：静止画を再生する ……138
撮影
：動画を撮影する ……62
撮影フレームレート……130
サブ記録 ……129
サムレスト……47
三脚に取り付ける……47
システム周波数……72
シャッタースピード……75
周辺光量補正 ……42
修理対応……279
出力信号形式 ……170
ジョイスティックガイド……162
仕様……266
消去
：クリップを消去する……168
：静止画を消去する ……139
使用時間 ……232、241
常時記録 ……135
焦点距離 ……64
ショットマーク……123、165
ショルダーストラップ ……49
ズーム……103、205
ステータス画面……234

スローモーション記録 ····· 130
静止画
：記録する ····· 137
：再生する ····· 138
：消去する ····· 139
接続
：外部モニター／レコーダーを接続する ····· 173
：ヘッドホンでモニターする ····· 119
設定データ ····· 156
ゼブラパターン ····· 107
測光方式 ····· 86

タ

タイムコード ····· 108
タイムコードホールド ····· 109
ダブルスロット記録 ····· 57
タリーランプ ····· 62、231
端子カバーを取り付ける／取り外す ····· 50
チェックマーク ····· 124
追尾 ····· 102
テストトーン ····· 120
デュアルピクセルCMOS AF ····· 3
デュアルピクセルフォーカスガイド ····· 93
電源
：コンセントに接続する ····· 26
：バッテリーパックを使う ····· 24
電源を入れる／切る ····· 27
トラブルシューティング ····· 244
ドロップフレーム ····· 109

ナ

ノンドロップフレーム ····· 109

ハ

排気口 ····· 12
倍率色収差補正 ····· 42
波形モニター ····· 121
バッテリー
：残量を確認する ····· 26、241
：充電時間 ····· 273
：充電する ····· 24
：使用時間 ····· 269
：本体に取り付ける／取り外す ····· 25
ハンドルユニット ····· 20、28
ピーキング ····· 95
日付・時刻 ····· 32
ビットレート ····· 72
C200 ファインダーを使う ····· 44
ファン ····· 71
フォーカス ····· 91
フォーカスアシスト ····· 93
プッシュオートアイリス ····· 84
ブラウザーリモート ····· 194
ブラックバランス ····· 59
フリーラン ····· 108
フリッカーを抑える ····· 77
プレ記録 ····· 132
フレーム記録 ····· 132
フレームレート ····· 72
プロキシ動画 ····· 129
ヘッドホン端子 ····· 119、162
保存
：クリップを保存する ····· 181
ホワイトバランス ····· 87
：色温度／色補正値（CC）調整 ····· 89
：色温度設定 ····· 89
：プリセット設定 ····· 89
：ホワイトバランスセット ····· 88

マ

マーカー ····· 105
マイク ····· 112
マイクの感度 ····· 118
マイクホルダー ····· 20、49
マイメニュー ····· 35
メイン動画 ····· 72
メッセージ ····· 252
メニュー
：基本操作 ····· 33
：メニュー一覧 ····· 212

ヤ

ユーザービット ····· 110

ユーザーメモ……125
ユニットケーブル……10、29

ラ

リール番号……67
量子化ビット数……111
冷却ファン……71
レックラン……108
レックレビュー……128
レンズ……40
レンズファームウェア……41
録音レベル調整……116
露出補正……85

ワ

ワンショットAF……96

番号

2K……129
4K……52
4Kワークフロー……21
24.00 Hz……72
50.00 Hz……72
59.94 Hz……72

その他

ABB……59
ACESproxy……22、177
ACアダプター……26
AEシフト……85
AFスピード……98
AF枠……100
Att.……118
Cameraユーザー……195
Canon Log ／ Canon Log 3……151
CFastカード……52
Cinema RAW Development……182
Cinema RAW Light……2、72
DC IN端子……27
EFシネマレンズ……271
EFレンズマウント……40
EVF-V70……51
FOCUS GUIDE……93
FTP転送……208
Fullユーザー……195
F値……82
Gamma……151
GPS……127
HDMI OUT端子……174
HDR……175
INPUT端子……111
ISO感度……78
LCDアタッチメントユニット……18、29
LCDモニター……29、44
LUT……176
Metaユーザー……195
MIC（マイク）端子……112
MP4……72
MP4クリップ／静止画番号の付けかたを選ぶ……70
ND濃度拡張……81
NDフィルター……81
OKマーク……124
POWER（電源）スイッチ……27
Preset……147、151
PUSH AUTO IRIS……84
RAW……8、72
REMOTE（リモート）端子……13
SDカード……52、54
Shot Mark……123、165
VIDEO端子……29
Wi-Fi……184
WPS……185
XF-AVC……72
XF Utility……125、181
品（イーサネット）端子……192
🎧（ヘッドホン）端子……119、162

商標について

- SD、SDHC、SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- キヤノンは、様々な国/地域で登録されている CFast 2.0™ 商標の公認ライセンシーです。
- Microsoft、Windowsは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Apple、macOSは、米国およびその他の国で登録されているApple Inc.の商標です。
- Wi-Fiは、Wi-Fi Allianceの登録商標です。
- JavaScriptは、Oracle Corporationおよびその子会社、関連会社の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing Administrator, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- DCFロゴマークは、(社)電子情報技術産業協会(JEITA)の「Design rule for Camera File system」の規格を表す団体商標です。
- その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

MPEG-4使用許諾について

This product is licensed under AT&T patents for the MPEG-4 standard and may be used for encoding MPEG-4 compliant video and/or decoding MPEG-4 compliant video that was encoded only (1) for a personal and noncommercial purpose or (2) by a video provider licensed under the AT&T patents to provide MPEG-4 compliant video. No license is granted or implied for any other use for MPEG-4 standard.

C200 / C200Bは、DCFに準拠しています。DCFは、(社) 電子情報技術産業協会 (JEITA) で主として、デジタルカメラ等の画像ファイル等を、関連機器間で簡便に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。

本機器は、Microsoftからライセンスされたexfat技術を搭載しています。

MEMO

アクセサリーは、キヤノン純正品のご使用をおすすめします

本製品は、キヤノン純正の専用アクセサリーと組み合わせて使用した場合に最適な性能を発揮するように設計されておりますので、キヤノン純正アクセサリーのご使用をおすすめいたします。なお、純正品以外のアクセサリーの不具合（例えばバッテリーパックの液漏れ、破裂など）に起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。また、この場合のキヤノン製品の修理につきましては、保証の対象外となり、有償とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

修理対応について

1. 保証期間経過後の修理は原則として有料となります。なお、運賃諸掛かりは、お客様にてご負担願います。
2. 本製品の修理対応期間は、製品製造打切り後7年間です。なお、弊社の判断により、修理対応として同一機種または同程度の仕様製品への本体交換を実施させていただく場合があります。同程度の機種との交換の場合、ご使用の消耗品や付属品をご使用いただけないことや、対応OSが変更になることがあります。
3. 修理品をご送付の場合は、見本となる撮影データを記録した記録メディアを添付するなど、修理箇所を明確にご指示の上、十分な梱包でお送りください。

修理を依頼されるときは

修理についてはお買い求めの販売店、もしくはお客様相談センター（裏表紙）にお問い合わせください。

- 購入年月日、製品の型名、故障内容を明確にお伝えください。不具合内容を確認の上、修理方法をご案内いたします。
- 修理品を送付される場合は十分な梱包でお送りください。

使用方法／修理に関するご相談窓口

キヤノンお客様相談センター

050-555-90006（全国共通）

平日 9:00～17:00

※土・日・祝日と年末年始、弊社休業日は休ませていただきます。

※上記番号をご利用になれない方は03-5428-1208をご利用ください。

※上記番号はIP電話プロバイダーのサービスによってつながらないことがあります。

CINEMA EOS SYSTEMホームページ

CINEMA EOS SYSTEMのホームページを開設しています。最新の情報が掲載されておりますので、ぜひお立ち寄りください。

CINEMA EOS SYSTEM製品情報
canon.jp/cinema-eos

キヤノン サポートページ
canon.jp/support

■保証書は製品の箱に添付されています

保証書は必ず「購入店・購入日」等の記入を確かめて、購入店よりお受け取りください。

■本書の記載内容は2018年10月現在のものです

製品の仕様および外観は予告なく変更することがあります。ご了承ください。最新の使用説明書については、キヤノンのホームページなどでご確認ください。

キヤノン株式会社／キヤノンマーケティングジャパン株式会社
〒108-8011　東京都港区港南2-16-6

PUB. DIJ-0465-000E

© CANON INC. 2018